

胎内市地域公共交通網形成計画

—地域の概要・現状把握資料—

目次

1-1	地勢・自然環境	1
1-1-1	地勢	1
1-2	土地利用	2
1-2-1	土地利用	2
1-2-2	居住区域の分布状況、生活圏	3
1-2-3	都市交通	4
1-2-4	土地区画整理事業・開発行為	5
1-2-5	道路・河川・公園	6
1-3	人口・世帯数	7
1-3-1	人口・世帯の推移	7
1-4	日常生活圏	9
1-4-1	従業の状況	9
1-4-2	従業者の利用交通手段の状況	11
1-4-3	通学の状況	11
1-4-4	通学者の利用交通手段の状況	15
1-4-5	利用交通手段の状況	16
1-4-6	行先	20
1-5	事業所・従業者	24
1-5-1	事業所	24
1-5-2	従業者	26
1-6	各種施設分布	27
1-6-1	医療機関	27
1-6-2	福祉施設	28
1-6-3	商業施設	29
1-6-4	教育施設等	30
1-6-5	社会教育施設、観光・レクリエーション施設	31
1-6-6	その他公共施設	32
1-7	その他	33
1-7-1	自動車運転免許証保有状況	33
1-7-2	高齢者運転免許自主返納等支援事業	34
1-7-3	自家用車保有状況	35
1-8	公共交通等の種類	36
1-8-1	鉄道	37
1-8-2	のれんす号	41
1-8-3	スクールバス等	48
1-8-4	民間タクシー	51
1-9	住民・利用者等の意向	53
1-9-1	住民・利用者等の意向	53
2-1	のれんす号アンケート	56
2-2	地域公共交通アンケート	126

1—1 地勢・自然環境

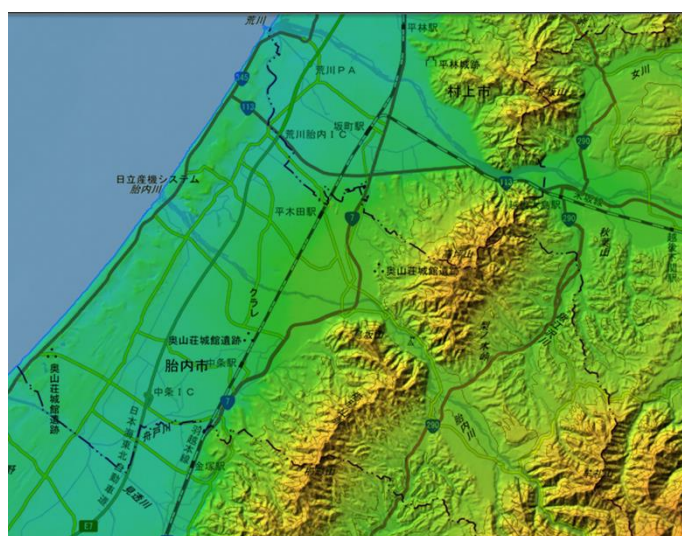
1—1—1 地勢

- ・本市は、新潟県の北東部に位置しており、県都・新潟市から約40km、東には飯豊連峰が西には日本海が広がっており、総面積は264.89km²となっています。
- ・飯豊連峰を源とする母なる川・胎内川を中心に市域が形成されており、上流部は四季折々の渓谷美に彩られるほか、扇状地には緑の優良農地が、また河口を中心に15kmに及ぶ海岸線には砂丘と松林が広がっています。
- ・地域の中央には南北に楡形山脈・蔵王山塊が連なり、平野部と山間部を分けています。
- ・市街地は、楡形山脈の裾野、JR羽越本線中条駅周辺及び本町地区に中心市街地が形成されています。また、胎内川沿いに工業団地として、さらに、黒川地区をはじめ乙地区や築地地区には住宅地として、市街地がそれぞれ形成されています。
- ・基幹産業は農業。そのほかにも中核工業団地を造成し、県北の工業都市としての基盤を確立しているほか、豊かな自然環境を活かしたスキー場、リゾートホテルなどの施設が整った観光都市でもあります。
- ・市内には日本海側最北の前期古墳である、城の山古墳をはじめとした文化財の宝庫であり、学術的にも全国の注目を集めています。

【位置図】



【色別標高図】



(資料：国土地理院図)

1-2 土地利用

1-2-1 土地利用

- ・市域の大部分（57.9%）を山林が占めており、宅地は4.4%となっています。

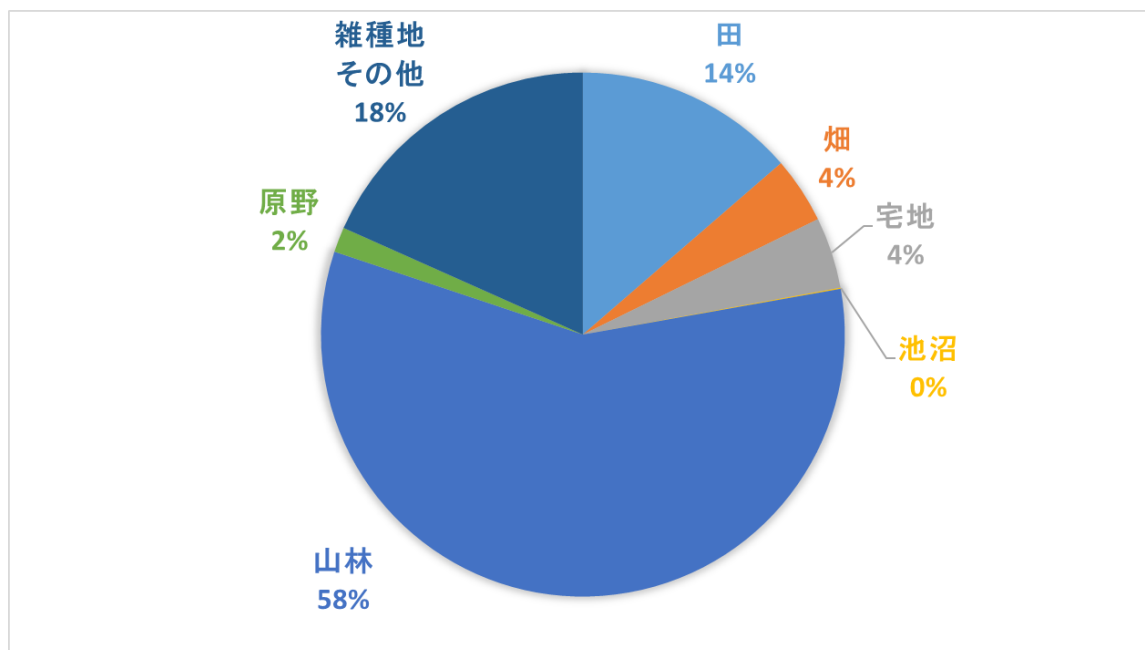
【地目の状況】

地目別面積（2018（平成30）.1.1現在）

（単位：ha）

	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地 その他
面積(ha)	26,488.9	3,616.3	1,083.2	1,165.7	17.7	15,340.9	409.5	4,855.6
割合	100.0%	13.7%	4.1%	4.4%	0.1%	57.9%	1.5%	18.3%

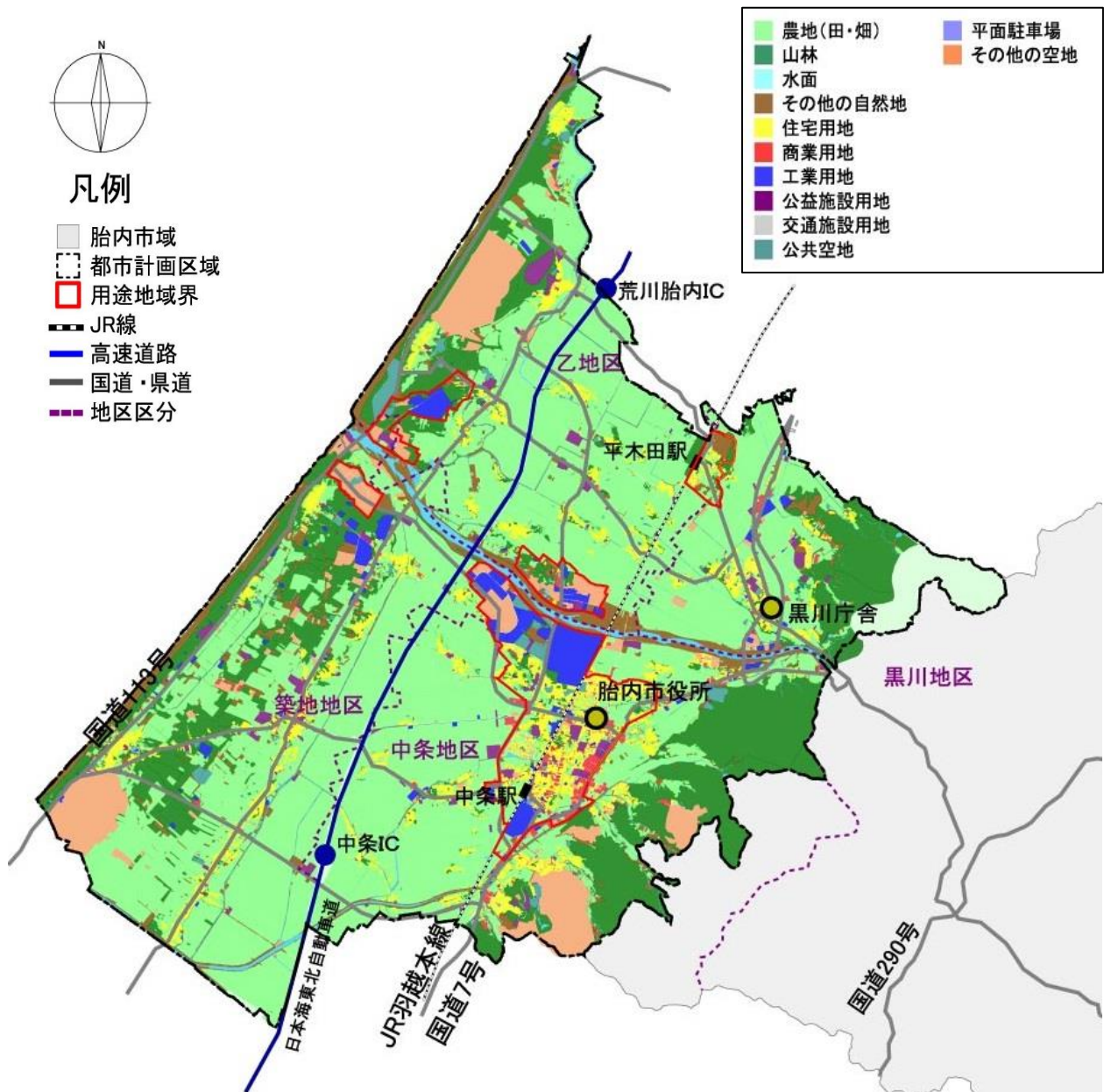
資料：新潟県統計データハンドブック



1-2-2 居住区域の分布状況、生活圏

- ・市内の居住地は、中条地区の用途地域内に形成された市街地に一定の集積がみられます。
- ・市街地周辺に広がる水田地帯には、田園集落が点在しているほか、国道7号沿いには宅地開発により形成された住宅団地が点在しています。
- ・日常的な生活圏は、地勢的な面や交通アクセスの面から、各種都市機能が集積する中条地区の中心市街地に自家用車でアクセスできる都市計画区域内を基本とした範囲内に形成されています。

【居住地、生活圏】

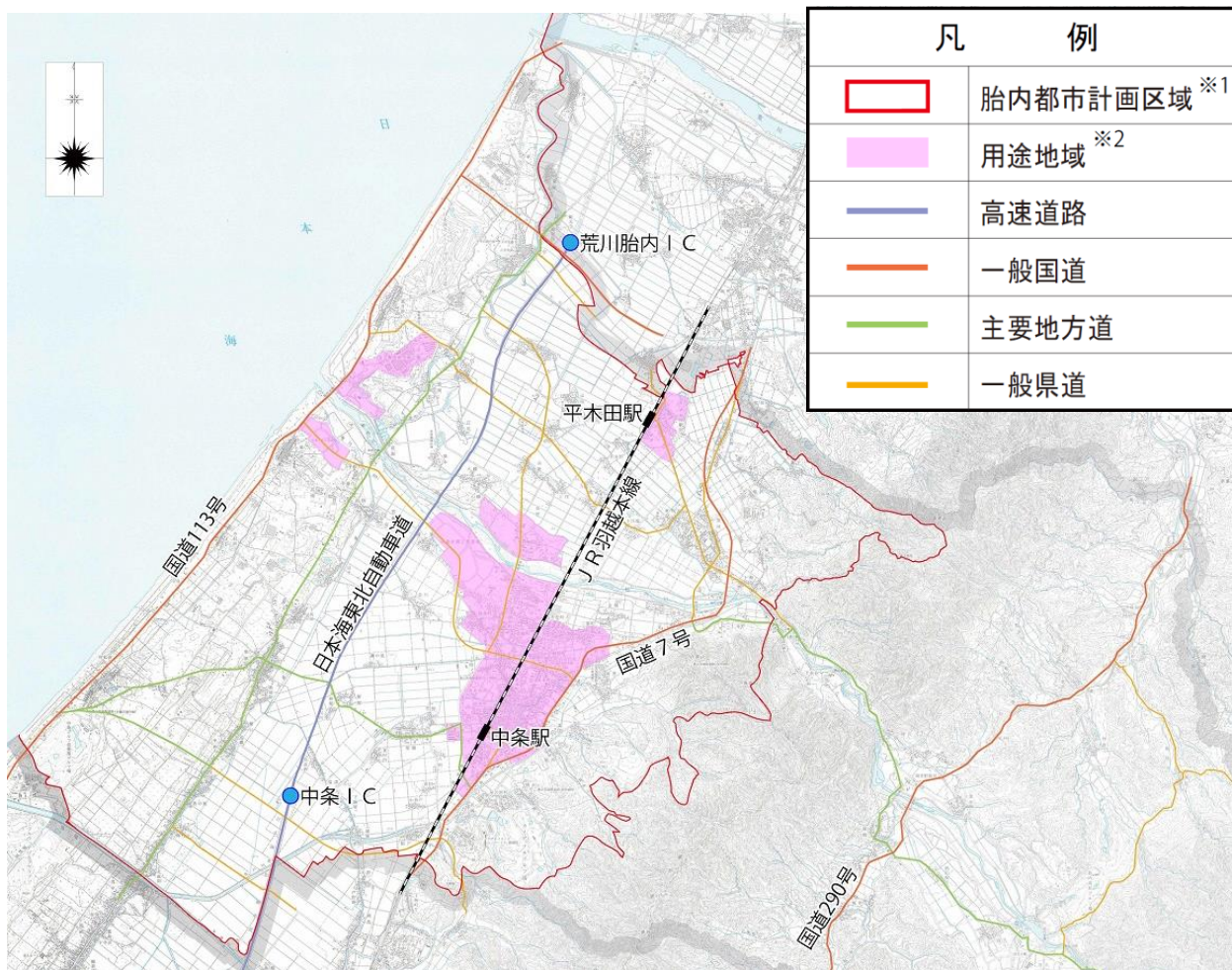


(資料：平成20年度胎内市都市計画基礎調査(一部修正))

1-2-3 都市交通

- ・道路網は、国道7号、国道113号、国道290号が南北方向の骨格を成しており、さらに日本海東北自動車道による高速交通体系が形成されています。
- ・JR羽越本線が南北に通っており、中条駅、平木田駅の2か所の駅が設置されています。

【都市交通網】

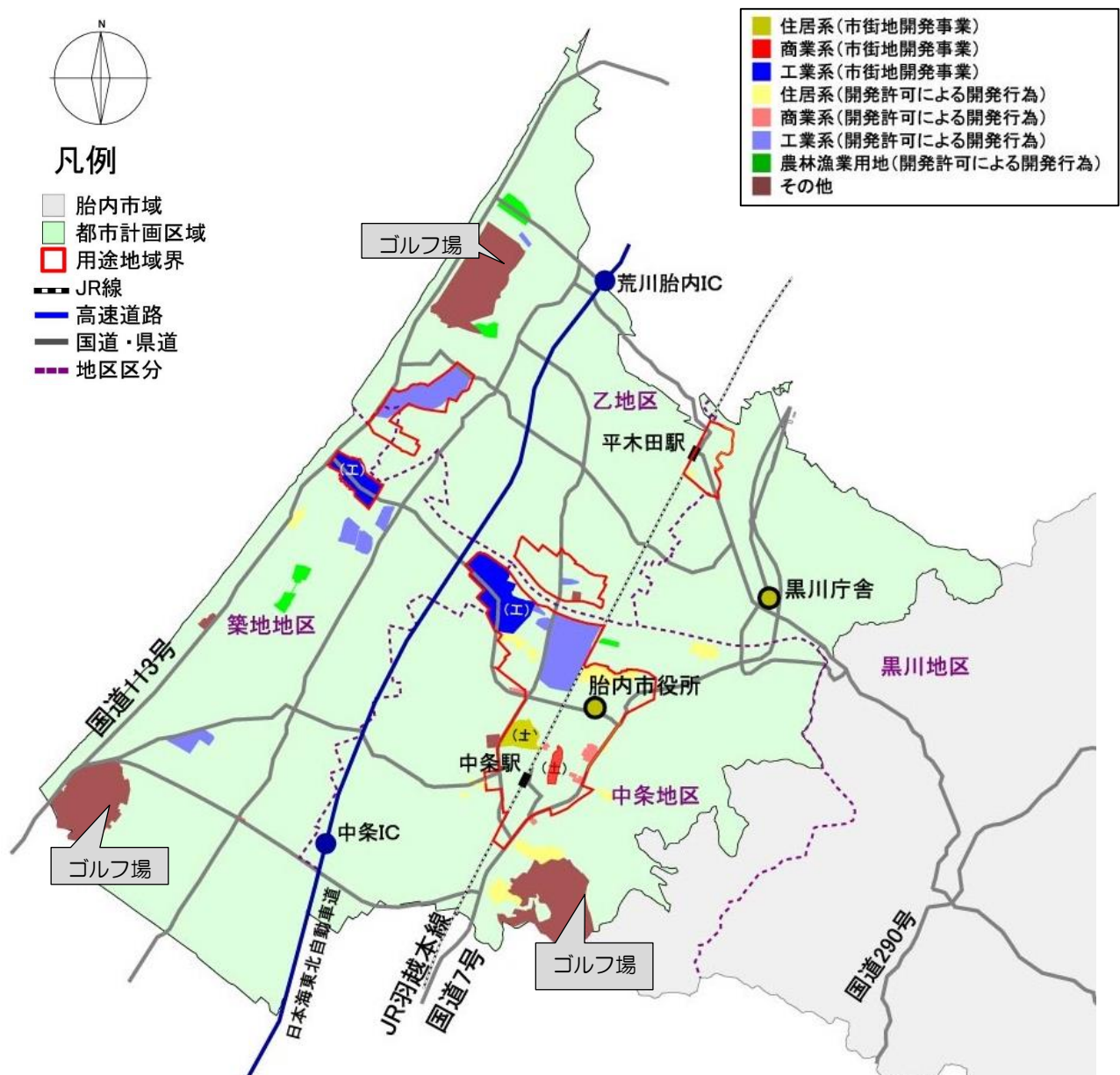


(資料：胎内市地図（一部修正）)

1-2-4 土地区画整理事業・開発行為

- ・中条地区の用途地域内の一部では、土地区画整理事業による計画的な面整備が行われています。
- ・住宅系の開発行為は、中条地区の用途地域内とその周辺などで行われており、国道7号へのアクセス性に優れた場所に多く点在しています。
- ・その他、工業系の面整備や開発行為が胎内川沿いの用途地域内を中心に行われているほか、郊外部では、ゴルフ場開発が行われています。

【土地区画整理事業・開発行為】

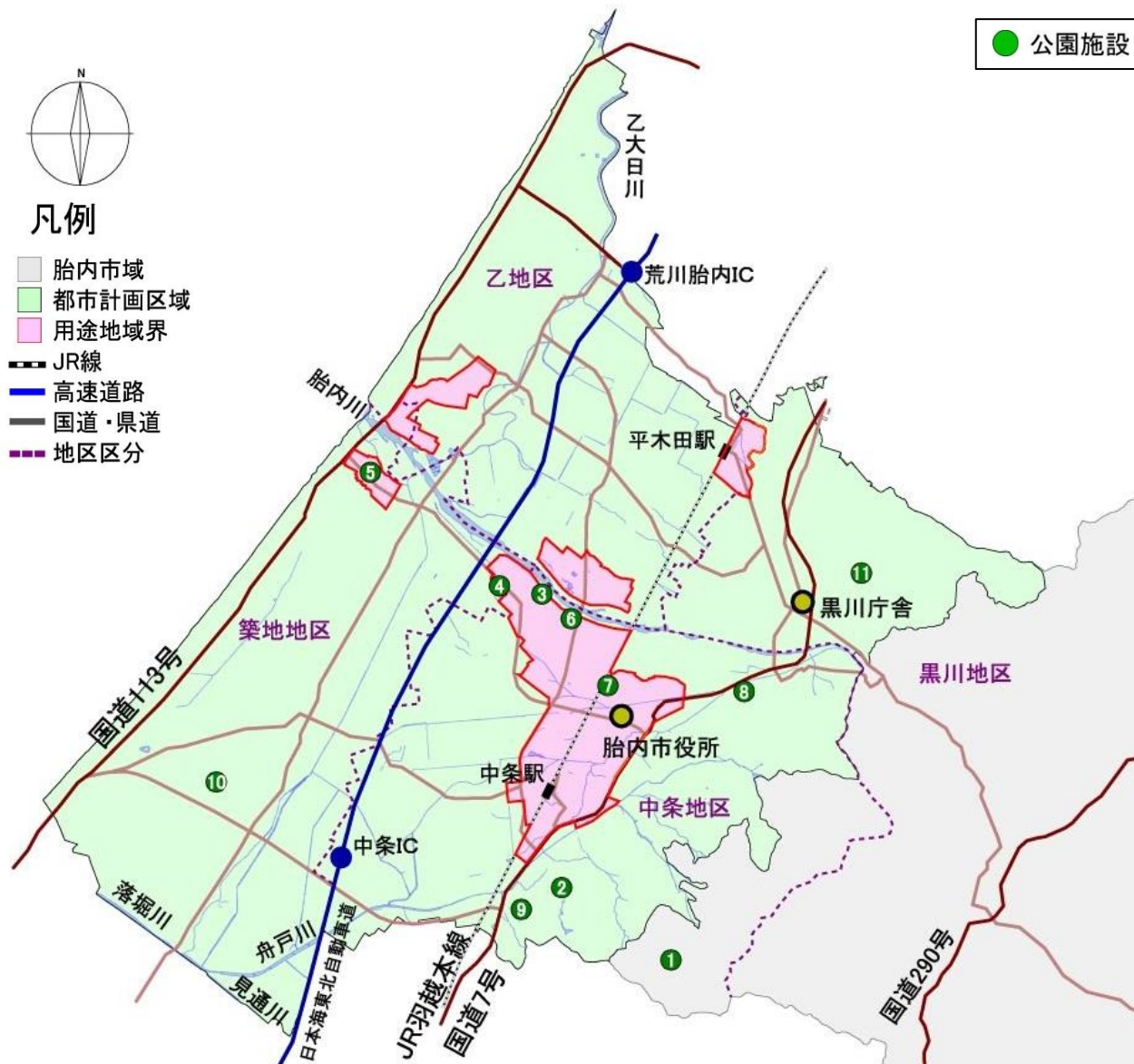


(資料：国土地理院 基盤地図情報)

1-2-5 道路・河川・公園

- ・道路網は、国道7号、国道113号、国道290号が南北方向の骨格を成しており、さらに日本海東北自動車道による高速交通体系が形成されています。（再掲）
- ・河川は、市中央を胎内川が、中条地区の市街地近辺を舟戸川が流れています。
- ・公園は、主に都市計画区域内で整備されています。

【道路・河川・公園】



(資料：国土地理院 基盤地図情報)

■公園施設

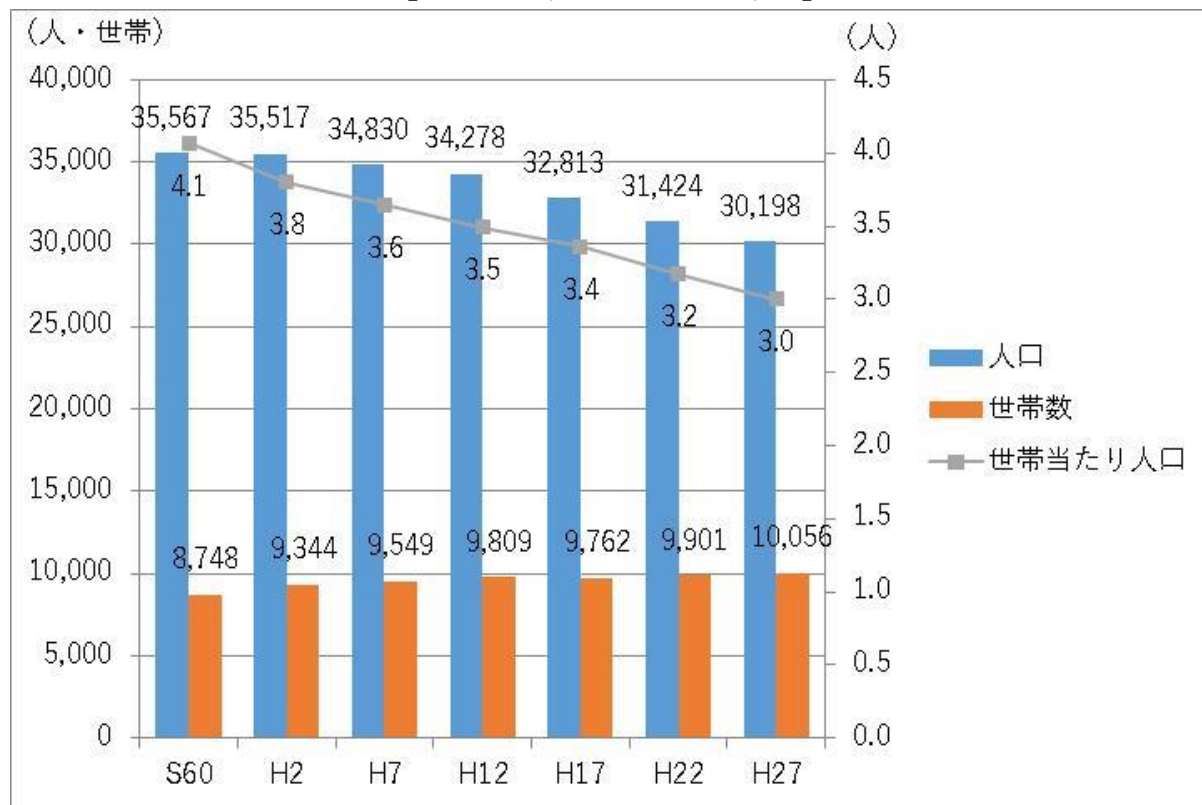
1	関沢森林公園	7	中条北公園
2	国際交流公園	8	白鳥公園
3	胎内川リバーサイドパーク	9	さくら公園
4	鴻の巣公園	10	長池憩いの森公園
5	笹口浜公園	11	黒川石油公園
6	赤川霞堤公園		

1-3 人口・世帯数

1-3-1 人口・世帯の推移

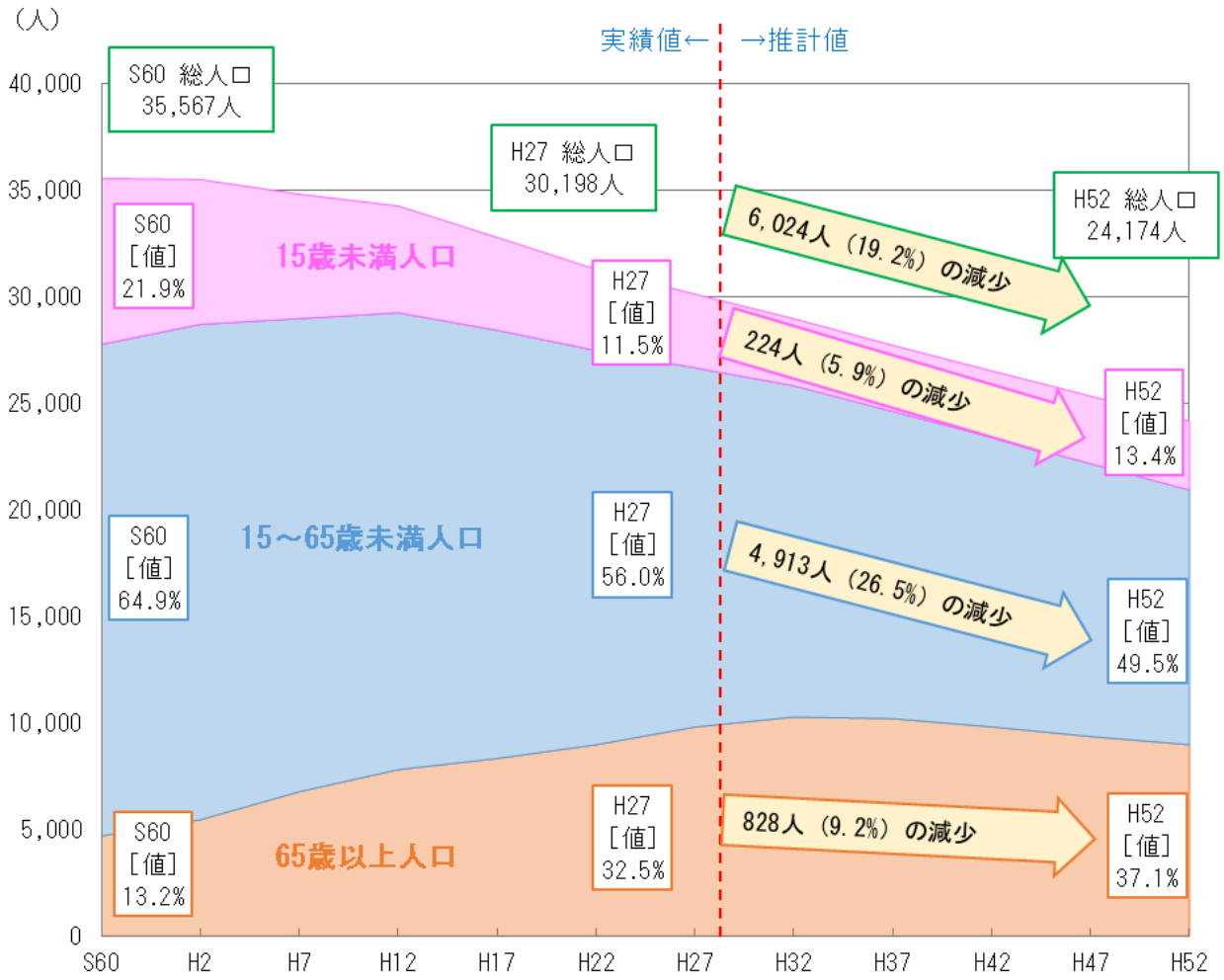
- ・人口の減少が続く中で、世帯数は増加の一途をたどっており、世帯当たり人員は、3.0人に減少しています。
- ・多世代同居が減少し、核家族化が進展している状況が伺えます。
- ・2040（H52）年の総人口は、24,174人となり、2015（H27）年の30,198人と比較すると約8割まで減少すると予測されます。
- ・現役世代が大幅に減少することにより、これまで続けてきた人口減少・少子高齢化がこれからも続くものと予測されます。
- ・2040（H52）年の15歳未満人口（以下「年少人口」という。）は、3,240人となり、2015（H27）年比で224人（5.9%）減少し、総人口に占める割合は、13.4%になると予測されます。
- ・2040（H52）年の15～65歳未満人口（以下「生産人口」という。）は、11,958人となり、2015（H27）年比で4,913人（26.5%）減少し、総人口に占める割合は、49.5%まで低下すると予測されます。
- ・2040（H52）年の65歳以上人口（以下「老年人口」という。）は、8,976人となり、2015（H27）年比で828人（9.2%）減少し、総人口に占める割合は、37.1%まで上昇すると予測されます。

【人口と世帯当たり人員の推移】



(資料：国勢調査)

【年齢階層別人口の推移と将来推計】



(資料 : S60~H27 まで国勢調査、H32 以降は胎内市人口ビジョン)

1-4 日常生活圏

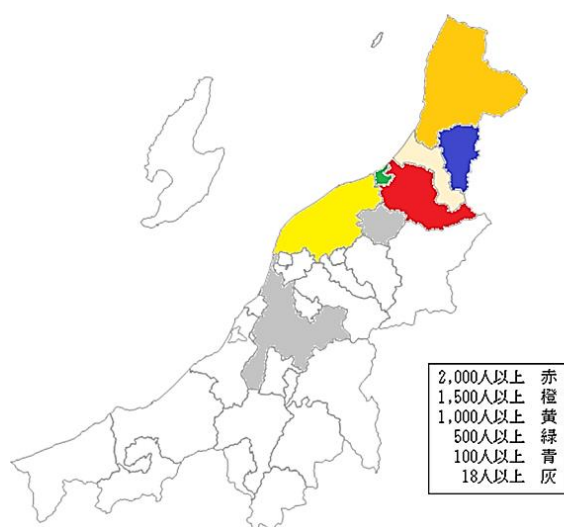
1-4-1 従業の状況

- ・ 常住人口の49.1%に当たる14,838人が従業しており、そのうち9,577人（全体の31.7%）が市内で従業しています。
- ・ 市外で従業している人の従業地は近隣市町村であることが多く新発田市が2,016人（13.6%）、村上市が1,342人（9.0%）、新潟市が959人（6.5%）となっています。

【15歳以上従業者の従業先市町村の状況】

	就業者・通学者数		（再掲）就業者数		（再掲）通学者数	
当地に常住（従業地・通学地）	16,273	100.0%	14,838	100.0%	1,435	100.0%
自市町村で従業・通学	10,073	61.9%	9,577	64.5%	496	34.6%
自宅	2,130	13.1%	2,130	14.4%	-	-
自宅外	7,943	48.8%	7,447	50.2%	496	34.6%
他市区町村で従業・通学	6,125	37.6%	5,197	35.0%	928	64.7%
県外	144	0.9%	114	0.8%	30	2.1%
県内	5,981	36.8%	5,083	34.3%	898	62.6%
新発田市	2,358	14.5%	2,016	13.6%	342	23.8%
村上市	1,537	9.4%	1,342	9.0%	195	13.6%
新潟市	1,306	8.0%	959	6.5%	347	24.2%
新潟市 中央区	598	3.7%	372	2.5%	226	15.7%
新潟市 北区	326	2.0%	279	1.9%	47	3.3%
新潟市 東区	174	1.1%	165	1.1%	9	0.6%
新潟市 西区	100	0.6%	60	0.4%	40	2.8%
新潟市 江南区	63	0.4%	58	0.4%	5	0.3%
新潟市 秋葉区	28	0.2%	15	0.1%	13	0.9%
新潟市 南区	9	0.1%	7	0.0%	2	0.1%
新潟市 西蒲区	8	0.0%	3	0.0%	5	0.3%
聖籠町	537	3.3%	537	3.6%	-	-
関川村	141	0.9%	141	1.0%	-	-
阿賀野市	37	0.2%	37	0.2%	-	-
長岡市	18	0.1%	9	0.1%	9	0.6%

（資料：2015年国勢調査）

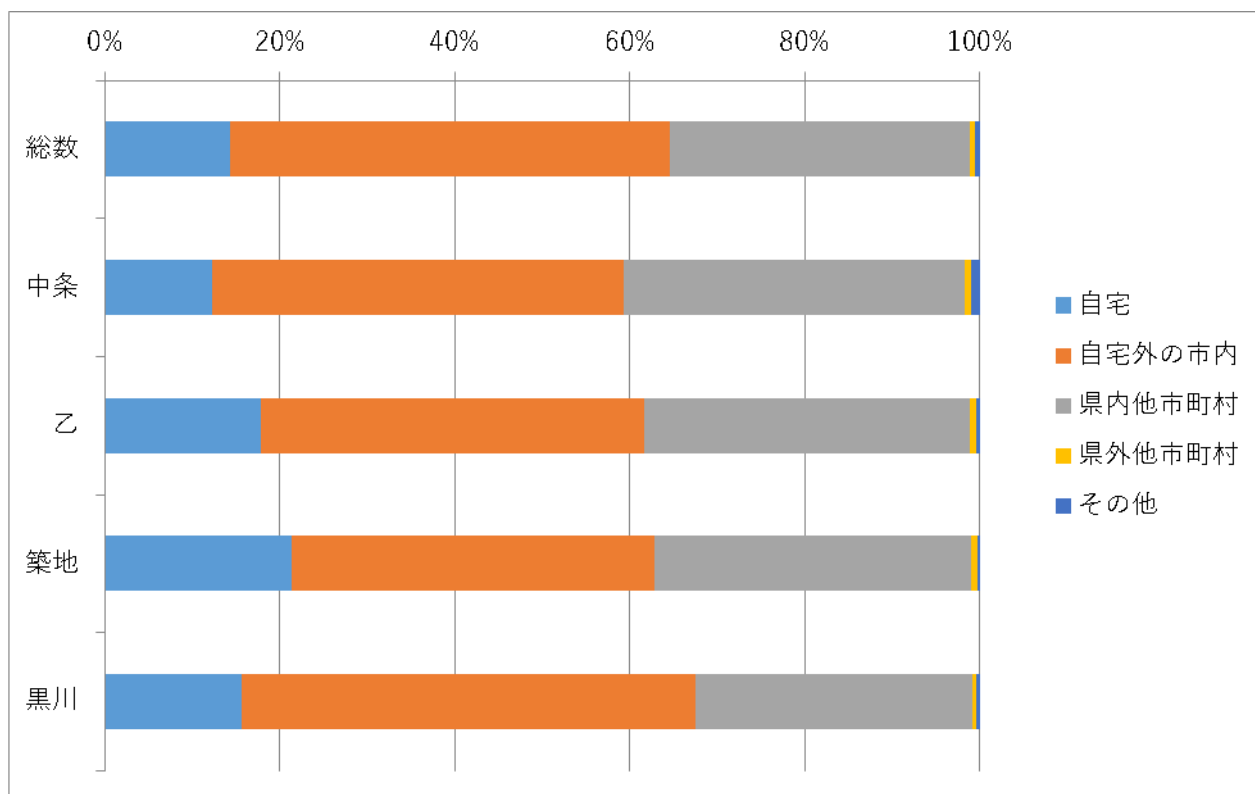


- ・地区別で見ると、築地地区では自宅での従業が市内平均を7ポイント上回っており21.3%となっている一方で、中条地区では1割を下回っています。
- ・乙地区では他市区町村での従業が市内平均を3.2ポイント上回っており38.2%となっています。

【地区別の従業状況】

	総数	市内	他市町村					その他
			(再掲) 自宅	(再掲) 自宅外	(再掲) 県内	(再掲) 他県		
総数	14,838	9,577	2,130	7,447	5,173	5,083	90	88
	100.0%	64.5%	14.4%	50.2%	34.9%	34.3%	0.6%	0.6%
中条	7,554	4,913	798	3,040	2,577	2,534	43	64
	100.0%	65.0%	10.6%	40.2%	34.1%	33.5%	0.6%	0.8%
地区 乙	2,367	1,458	423	1,035	900	884	16	9
	100.0%	61.6%	17.9%	43.7%	38.0%	37.3%	0.7%	0.4%
築地	2,453	1,542	523	1,019	904	887	17	7
	100.0%	62.9%	21.3%	41.5%	36.9%	36.2%	0.7%	0.3%
黒川	2,464	1,664	386	1,278	792	778	14	8
	100.0%	67.5%	15.7%	51.9%	32.1%	31.6%	0.6%	0.3%

(資料：2015国勢調査)



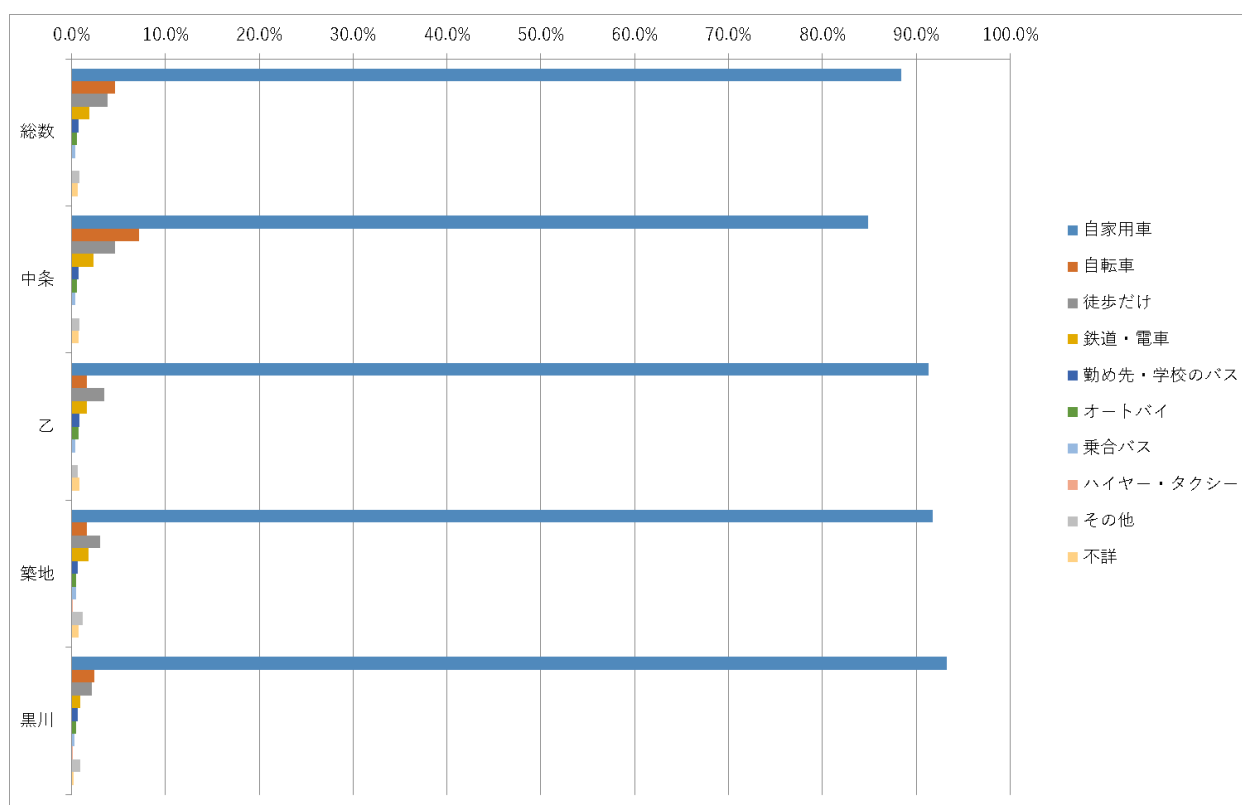
1-4-2 従業者の利用交通手段の状況

- ・自家用車を利用して移動する人は11,301人(88.4%)、電車を利用している人は241人(1.9%)います。
- ・地区別で見ると、乙・築地・黒川地区で自家用車による移動が9割を超えています。
- ・中心市街地である中条地区では、自転車の利用や徒歩のみが多い傾向にあります。

【地区別の利用交通手段】

	自宅外		自転車	徒歩 だけ	鉄道 電車	勤め先 のバス	オート		ハイヤー		その他	不詳
	就業者数	自家用車					バイク	乗合バス	タクシー			
総数	12,781	11,301	593	487	241	93	75	54	8	112	88	
	100.0%	88.4%	4.6%	3.8%	1.9%	0.7%	0.6%	0.4%	0.1%	0.9%	0.7%	
地区	中条	6,580	5,585	474	308	153	48	40	29	3	54	51
	100.0%	84.9%	7.2%	4.7%	2.3%	0.7%	0.6%	0.4%	0.0%	0.8%	0.8%	
	乙	1,933	1,765	31	68	31	17	14	7	0	13	17
	100.0%	91.3%	1.6%	3.5%	1.6%	0.9%	0.7%	0.4%	0.0%	0.7%	0.9%	
	築地	2,017	1,851	33	62	36	14	9	10	2	24	15
	100.0%	91.8%	1.6%	3.1%	1.8%	0.7%	0.4%	0.5%	0.1%	1.2%	0.7%	
	黒川	2,251	2,100	55	49	21	14	12	8	3	21	5
	100.0%	93.3%	2.4%	2.2%	0.9%	0.6%	0.5%	0.4%	0.1%	0.9%	0.2%	

(資料：2010国勢調査)



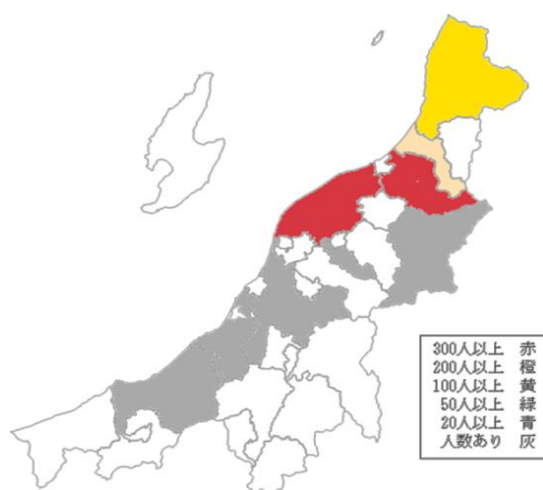
1-4-3 通学の状況

- ・15歳以上の1,435人（全体の4.8%）が市内に通学しています。なお、15歳以上という括りなので中学校3年生もこの中に含まれています。
- ・通学者の64.7%に当たる928人が市外に通学しており、新潟市が347人（24.2%）、新発田市が342人（23.8%）、村上市が195人（13.6%）となっています。
- ・市内中学生の卒業後の進学先高校がある市町村を見てみると、新発田市が4割強、村上市と胎内市が約2割となっており、国勢調査の結果とあわせて見てみると新発田市、村上市への通学者のほとんどが高校生だと推測されます。

【15歳以上通学者の通学先市町村の状況】

	就業者・通学者数		（再掲）就業者数		（再掲）通学者数	
当地に常住（従業地・通学地）	16,273	100.0%	14,838	100.0%	1,435	100.0%
自市町村で従業・通学	10,073	61.9%	9,577	64.5%	496	34.6%
自宅	2,130	13.1%	2,130	14.4%	-	-
自宅外	7,943	48.8%	7,447	50.2%	496	34.6%
他市区町村で従業・通学	6,125	37.6%	5,197	35.0%	928	64.7%
県外	144	0.9%	114	0.8%	30	2.1%
県内	5,981	36.8%	5,083	34.3%	898	62.6%
新潟市	1,306	8.0%	959	6.5%	347	24.2%
新潟市 中央区	598	3.7%	372	2.5%	226	15.7%
新潟市 北区	326	2.0%	279	1.9%	47	3.3%
新潟市 東区	174	1.1%	165	1.1%	9	0.6%
新潟市 西区	100	0.6%	60	0.4%	40	2.8%
新潟市 江南区	63	0.4%	58	0.4%	5	0.3%
新潟市 秋葉区	28	0.2%	15	0.1%	13	0.9%
新潟市 南区	9	0.1%	7	0.0%	2	0.1%
新潟市 西蒲区	8	0.0%	3	0.0%	5	0.3%
新発田市	2,358	14.5%	2,016	13.6%	342	23.8%
村上市	1,537	9.4%	1,342	9.0%	195	13.6%
聖籠町	537	3.3%	537	3.6%	-	-
関川村	141	0.9%	141	1.0%	-	-
阿賀野市	37	0.2%	37	0.2%	-	-
長岡市	18	0.1%	9	0.1%	9	0.6%

（資料：2015年国勢調査）

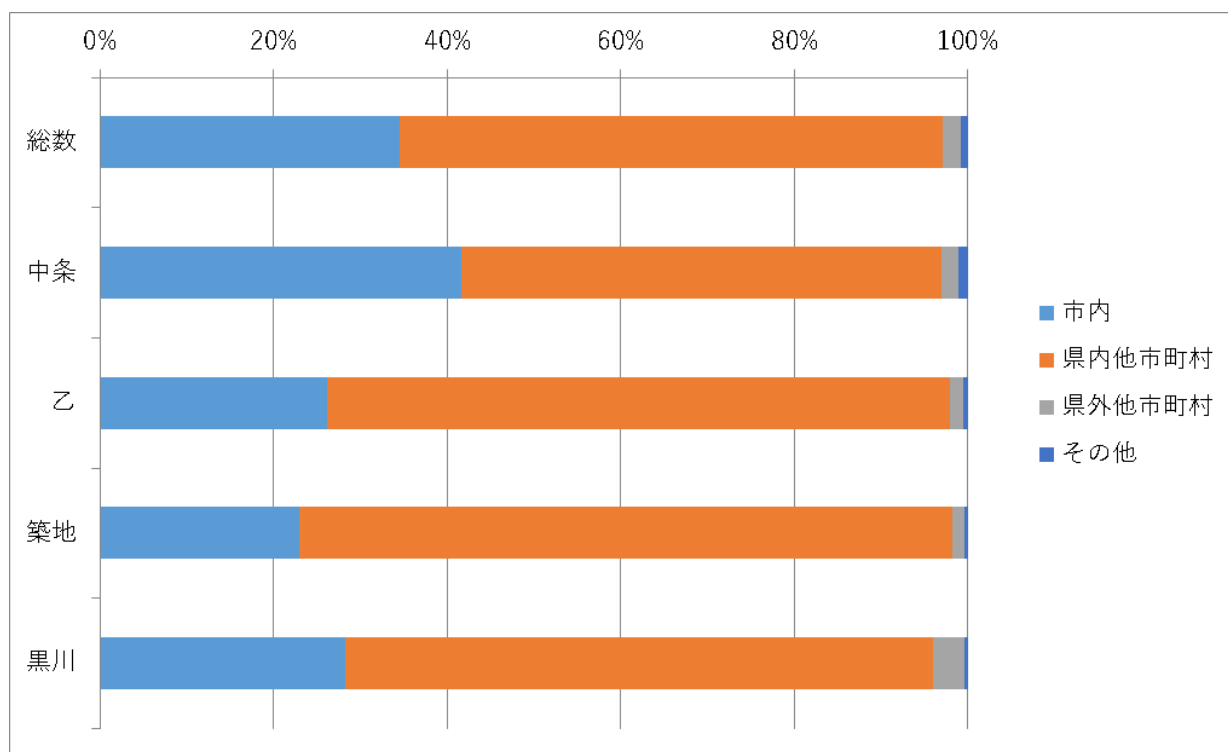


- ・中条地区の41.6%が自市区町村へ通学している一方で、築地地区では76.6%が他市区町村に通学しています。

【地区別の通学状況】

地区	総数	市内	他市町村	再掲		その他
				県内	他県	
				(再掲)	(再掲)	
総数	1,435	496	927	898	29	12
	100.0%	34.6%	64.6%	62.6%	2.0%	0.8%
中条	799	332	458	443	15	9
	100.0%	41.6%	57.3%	55.4%	1.9%	1.1%
乙	195	51	143	140	3	1
	100.0%	26.2%	73.3%	71.8%	1.5%	0.5%
築地	218	50	167	164	3	1
	100.0%	22.9%	76.6%	75.2%	1.4%	0.5%
黒川	223	63	159	151	8	1
	100.0%	28.3%	71.3%	67.7%	3.6%	0.4%

(資料：2015国勢調査)



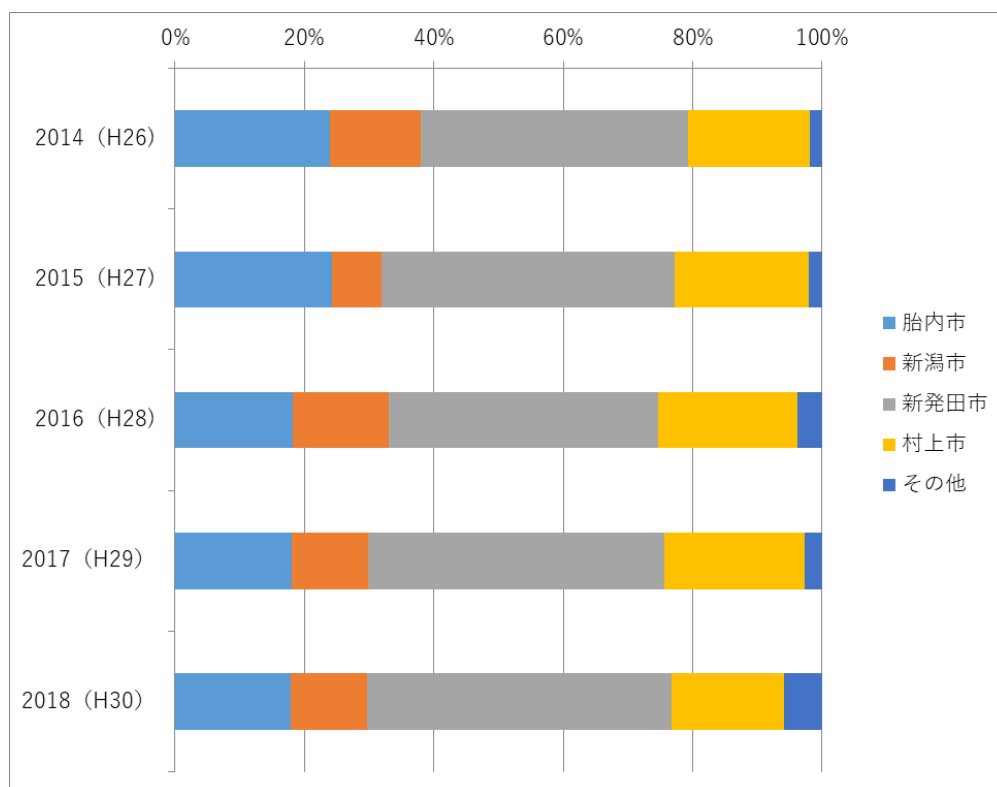
・バラつきがあるものの中学卒業後の4割が新発田市内に、2割が村上市内に通学しています。

【中学卒業後進学状況】

年度末	総計	胎内市	新潟市	新発田市	村上市	その他
2014 (H26)	271	65	38	112	51	5
	100.0%	24.0%	14.0%	41.3%	18.8%	1.8%
2015 (H27)	289	70	22	131	60	6
	100.0%	24.2%	7.6%	45.3%	20.8%	2.1%
2016 (H28)	264	48	39	110	57	10
	100.0%	18.2%	14.8%	41.7%	21.6%	3.8%
2017 (H29)	221	40	26	101	48	6
	100.0%	18.1%	11.8%	45.7%	21.7%	2.7%
2018 (H30)	236	42	28	111	41	14
	100.0%	17.8%	11.9%	47.0%	17.4%	5.9%

※胎内市には高校進学しない在宅者を含む。

(資料：胎内市教育委員会)



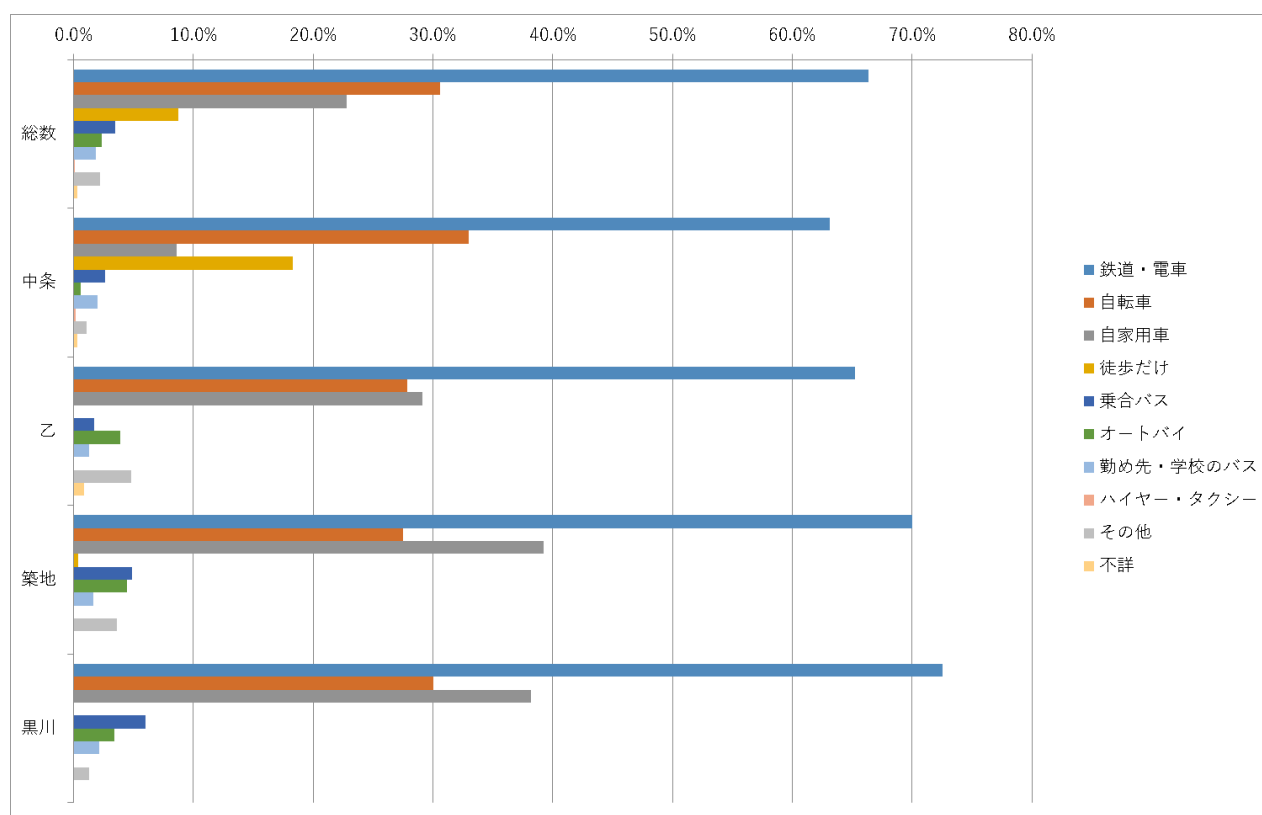
1-4-4 通学者の利用交通手段の状況

- ・電車を利用している人は 896 人 (66.4%)、自転車を利用する人は 413 人 (30.6%)、自家用車を利用して移動する人は 308 人 (22.8%) います。
- ・地区別で見ると、築地地区、黒川地区で自家用車による移動が市内平均よりも 15 ポイント以上高い状況です。
- ・中心市街地である中条地区では、徒歩のみによる移動が市内平均よりも 9.6 ポイント高い状況です。また、自転車による移動も市内平均よりも 2.4 ポイント高い状況です。

【利用交通手段】

	総数	鉄道			徒歩		オート	学校の	ハイヤー	その他	不詳	
		電車	自転車	自家用車	だけ	乗合バス	バイ	バス	タクシー			
総数	1,350	896	413	308	118	47	32	25	1	30	4	
	100.0%	66.4%	30.6%	22.8%	8.7%	3.5%	2.4%	1.9%	0.1%	2.2%	0.3%	
中条	640	404	211	55	117	17	4	13	1	7	2	
	100.0%	63.1%	33.0%	8.6%	18.3%	2.7%	0.6%	2.0%	0.2%	1.1%	0.3%	
地区	乙	230	150	64	67	0	4	9	3	0	11	2
	100.0%	65.2%	27.8%	29.1%	0.0%	1.7%	3.9%	1.3%	0.0%	4.8%	0.9%	
	築地	247	173	68	97	1	12	11	4	0	9	0
	100.0%	70.0%	27.5%	39.3%	0.4%	4.9%	4.5%	1.6%	0.0%	3.6%	0.0%	
	黒川	233	169	70	89	0	14	8	5	0	3	0
	100.0%	72.5%	30.0%	38.2%	0.0%	6.0%	3.4%	2.1%	0.0%	1.3%	0.0%	

(資料：2010国勢調査)



1-4-5 利用交通手段の状況

- ・従業者は自家用車で移動する人が88.4%おり、通学者は電車を利用する人が66.4%います。通学者は、18歳未満で自動車運転免許証を持っていないことや本人が常時使用できる自動車を持たない人が多いことから通学に電車を利用する傾向にあるようです。
- ・従業者で自家用車を利用して移動する人は11,301人(88.4%)、電車を利用している人は241人(1.9%)います。(再掲)
- ・通学者で電車を利用している人は896人(66.4%)、自転車を利用する人は413人(30.6%)、自家用車を利用して移動する人は308人(22.8%)います。(再掲)
- ・従業者について、地区別で見ると、乙・築地・黒川地区で自家用車による移動が9割を超えています。(再掲)
- ・通学者について、地区別で見ると、築地・黒川地区で自家用車による移動が市内平均よりも15ポイント以上高い状況です。(再掲)
- ・従業者について、中心市街地である中条地区では、自転車の利用や徒歩のみが多い傾向にあります。(再掲)
- ・通学者について、中心市街地である中条地区では、徒歩のみによる移動が市内平均よりも9.6ポイント高い状況です。(再掲)

- ・どの地区でも自家用車(本人運転と送迎)の利用が6割を超え、次いで自転車、電車の利用が多くなっています。

- ・10代は自家用車による送迎率が高く、鉄道や自転車の利用率も高くなっています。
- ・70歳以上になると本人が自家用車を運転する割合が大きく減り、のれんす号による移動が増えています。

【利用交通手段（全体）】

	総数 (利用交通手段)		勤め先								
	自家用車		鉄道 電車	自転車	徒歩 だけ	学校の バス	オート バイ	乗合バス	ハイヤー タクシー	その他	不詳
総数	14,131	11,609	1,137	1,006	605	118	107	101	9	142	92
	100.0%	82.2%	8.0%	7.1%	4.3%	0.8%	0.8%	0.7%	0.1%	1.0%	0.7%
中条	7,220	5,640	557	685	425	61	44	46	4	61	53
	100.0%	78.1%	7.7%	9.5%	5.9%	0.8%	0.6%	0.6%	0.1%	0.8%	0.7%
地区 乙	2,163	1,832	181	95	68	20	23	11	0	24	19
	100.0%	84.7%	8.4%	4.4%	3.1%	0.9%	1.1%	0.5%	0.0%	1.1%	0.9%
築地	2,264	1,948	209	101	63	18	20	22	2	33	15
	100.0%	86.0%	9.2%	4.5%	2.8%	0.8%	0.9%	1.0%	0.1%	1.5%	0.7%
黒川	2,484	2,189	190	125	49	19	20	22	3	24	5
	100.0%	88.1%	7.6%	5.0%	2.0%	0.8%	0.8%	0.9%	0.1%	1.0%	0.2%

(資料：2010国勢調査)

【利用交通手段（従業者）】

	自宅外 就業者数										
	自家用車		自転車	徒歩 だけ	鉄道 電車	勤め先 のバス	オート バイ	乗合バス	ハイヤー タクシー	その他	不詳
総数	12,781	11,301	593	487	241	93	75	54	8	112	88
	100.0%	88.4%	4.6%	3.8%	1.9%	0.7%	0.6%	0.4%	0.1%	0.9%	0.7%
中条	6,580	5,585	474	308	153	48	40	29	3	54	51
	100.0%	84.9%	7.2%	4.7%	2.3%	0.7%	0.6%	0.4%	0.0%	0.8%	0.8%
地区 乙	1,933	1,765	31	68	31	17	14	7	0	13	17
	100.0%	91.3%	1.6%	3.5%	1.6%	0.9%	0.7%	0.4%	0.0%	0.7%	0.9%
築地	2,017	1,851	33	62	36	14	9	10	2	24	15
	100.0%	91.8%	1.6%	3.1%	1.8%	0.7%	0.4%	0.5%	0.1%	1.2%	0.7%
黒川	2,251	2,100	55	49	21	14	12	8	3	21	5
	100.0%	93.3%	2.4%	2.2%	0.9%	0.6%	0.5%	0.4%	0.1%	0.9%	0.2%

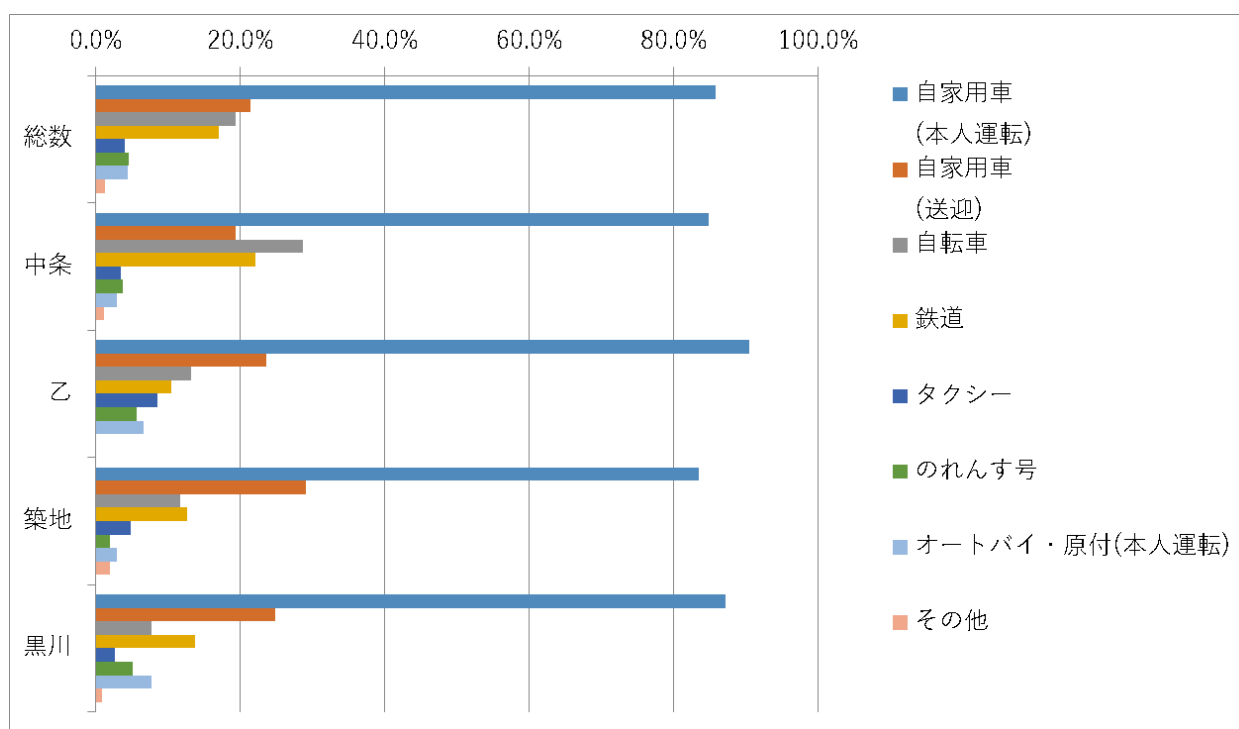
(資料：2010国勢調査)

【地区別利用することの多い交通手段（3つまで）】

	総数	自家用車		自転車	鉄道	タクシー	のれんす号	オートバ	その他
		(本人運転)	(送迎)					イ・原付 (本人運転)	
総数	751	645	161	145	128	34	33	30	7
	100.0%	85.9%	21.4%	19.3%	17.0%	4.5%	4.4%	4.0%	0.9%
中条	352	299	68	101	78	13	10	12	4
	100.0%	84.9%	19.3%	28.7%	22.2%	3.7%	2.8%	3.4%	1.1%
地区	乙	106	96	25	14	11	6	7	9
	100.0%	90.6%	23.6%	13.2%	10.4%	5.7%	6.6%	8.5%	0.0%
築地	103	86	30	12	13	2	3	5	2
	100.0%	83.5%	29.1%	11.7%	12.6%	1.9%	2.9%	4.9%	1.9%
黒川	117	102	29	9	16	6	9	3	1
	100.0%	87.2%	24.8%	7.7%	13.7%	5.1%	7.7%	2.6%	0.9%

※総数には居住地無回答を含む

(資料：2015総合計画作成時アンケート調査)

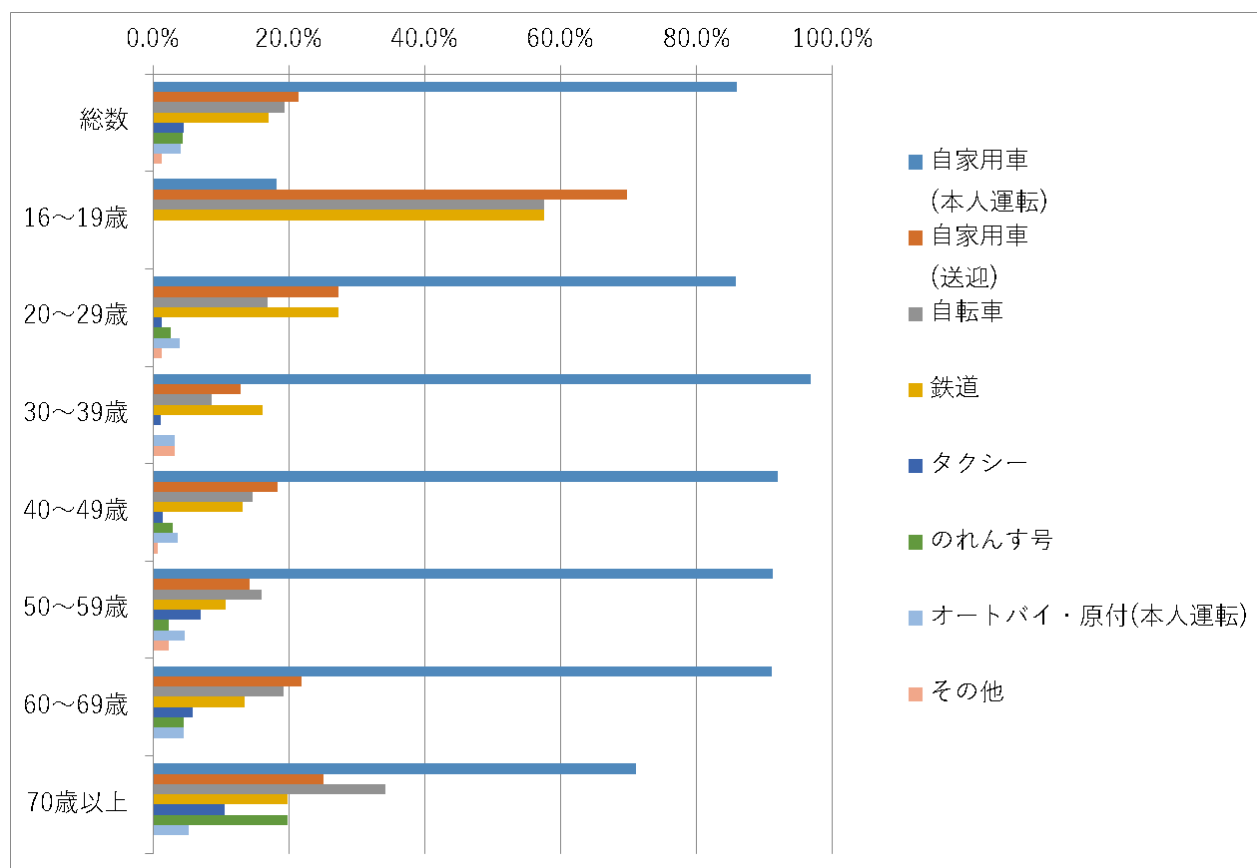


【年代別利用することの多い交通手段（3つまで）】

	自家用車		自転車	鉄道	タクシー	オートバ のれんす イ・原付		その他	
	総数	(本人運転)				(送迎)	号		(本人運転)
総数	751	645	161	145	128	34	33	30	9
	100.0%	85.9%	21.4%	19.3%	17.0%	4.5%	4.4%	4.0%	1.2%
16～19歳	33	6	23	19	19				
	100.0%	18.2%	69.7%	57.6%	57.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	77	66	21	13	21	1	2	3	1
	100.0%	85.7%	27.3%	16.9%	27.3%	1.3%	2.6%	3.9%	1.3%
30～39歳	93	90	12	8	15	1		3	3
	100.0%	96.8%	12.9%	8.6%	16.1%	1.1%	0.0%	3.2%	3.2%
40～49歳	137	126	25	20	18	2	4	5	1
	100.0%	92.0%	18.2%	14.6%	13.1%	1.5%	2.9%	3.6%	0.7%
50～59歳	170	155	24	27	18	12	4	8	4
	100.0%	91.2%	14.1%	15.9%	10.6%	7.1%	2.4%	4.7%	2.4%
60～69歳	156	142	34	30	21	9	7	7	
	100.0%	91.0%	21.8%	19.2%	13.5%	5.8%	4.5%	4.5%	0.0%
70歳以上	76	54	19	26	15	8	15	4	
	100.0%	71.1%	25.0%	34.2%	19.7%	10.5%	19.7%	5.3%	0.0%

※総数には年齢無回答を含む

(資料：2015総合計画作成時アンケート調査)



1-4-6 行先

- ・従業者・通学者のうち 7,943 人（48.8%・常住者全体の 26.3%）は市内移動が主となっています。
- ・従業者・通学者のうち 2,358 人（14.5%・常住者全体の 7.8%）が新発田市に、1,537 人（9.4%・常住者全体の 5.1%）が村上市に、1,306 人（8.0%・常住者全体の 4.3%）が新潟市に、537 人（3.3%・常住者全体の 1.8%）が聖籠町に移動しています。
- ・のれんす号利用者の多くは通院時に活用しています。そのほか授産施設への通所等やスーパーへの買い物、駅までの移動などに多く利用されています。
- ・会社への移動で利用している人もいますが、会社からの乗車は少ない状況です。

【従業・通学先の状況】

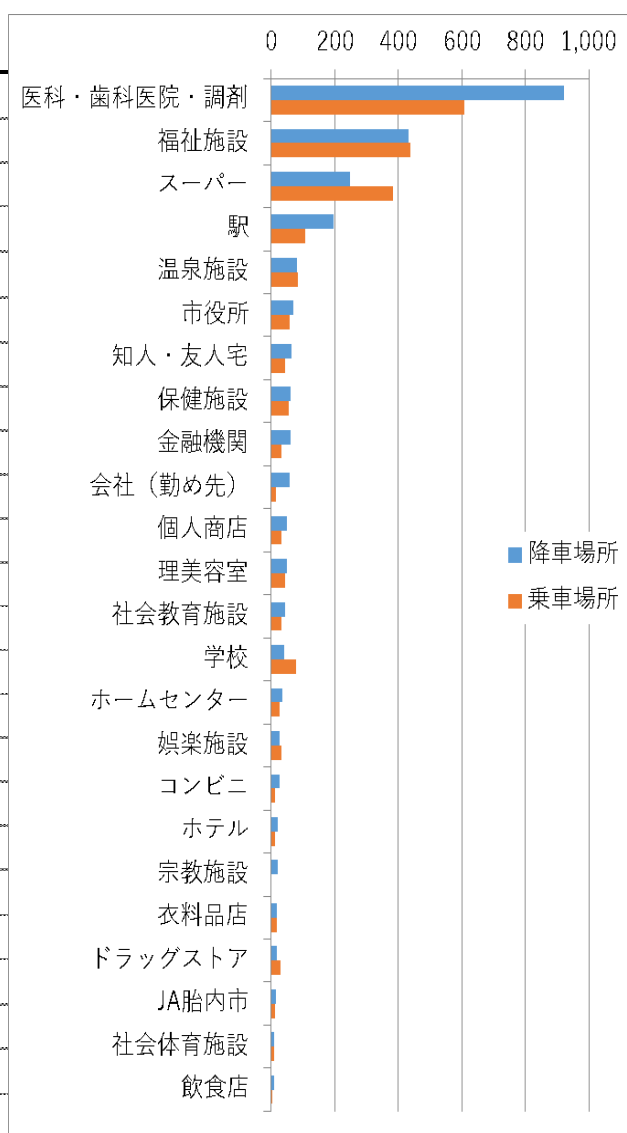
15歳以上就業者及び15歳以上通学者の従業・通学場所の状況

	就業者・通学者数		（再掲）就業者数		（再掲）通学者数	
当地に常住（従業地・通学地）	16,273	100.0%	14,838	100.0%	1,435	100.0%
自市町村で従業・通学	10,073	61.9%	9,577	64.5%	496	34.6%
自宅	2,130	13.1%	2,130	14.4%	-	-
自宅外	7,943	48.8%	7,447	50.2%	496	34.6%
他市区町村で従業・通学	6,125	37.6%	5,197	35.0%	928	64.7%
県外	144	0.9%	114	0.8%	30	2.1%
県内	5,981	36.8%	5,083	34.3%	898	62.6%
新発田市	2,358	14.5%	2,016	13.6%	342	23.8%
村上市	1,537	9.4%	1,342	9.0%	195	13.6%
新潟市	1,306	8.0%	959	6.5%	347	24.2%
新潟市 中央区	598	3.7%	372	2.5%	226	15.7%
新潟市 北区	326	2.0%	279	1.9%	47	3.3%
新潟市 東区	174	1.1%	165	1.1%	9	0.6%
新潟市 西区	100	0.6%	60	0.4%	40	2.8%
新潟市 江南区	63	0.4%	58	0.4%	5	0.3%
新潟市 秋葉区	28	0.2%	15	0.1%	13	0.9%
新潟市 南区	9	0.1%	7	0.0%	2	0.1%
新潟市 西蒲区	8	0.0%	3	0.0%	5	0.3%
聖籠町	537	3.3%	537	3.6%	-	-
関川村	141	0.9%	141	1.0%	-	-
阿賀野市	37	0.2%	37	0.2%	-	-
長岡市	18	0.1%	9	0.1%	9	0.6%

（資料：2015年国勢調査）

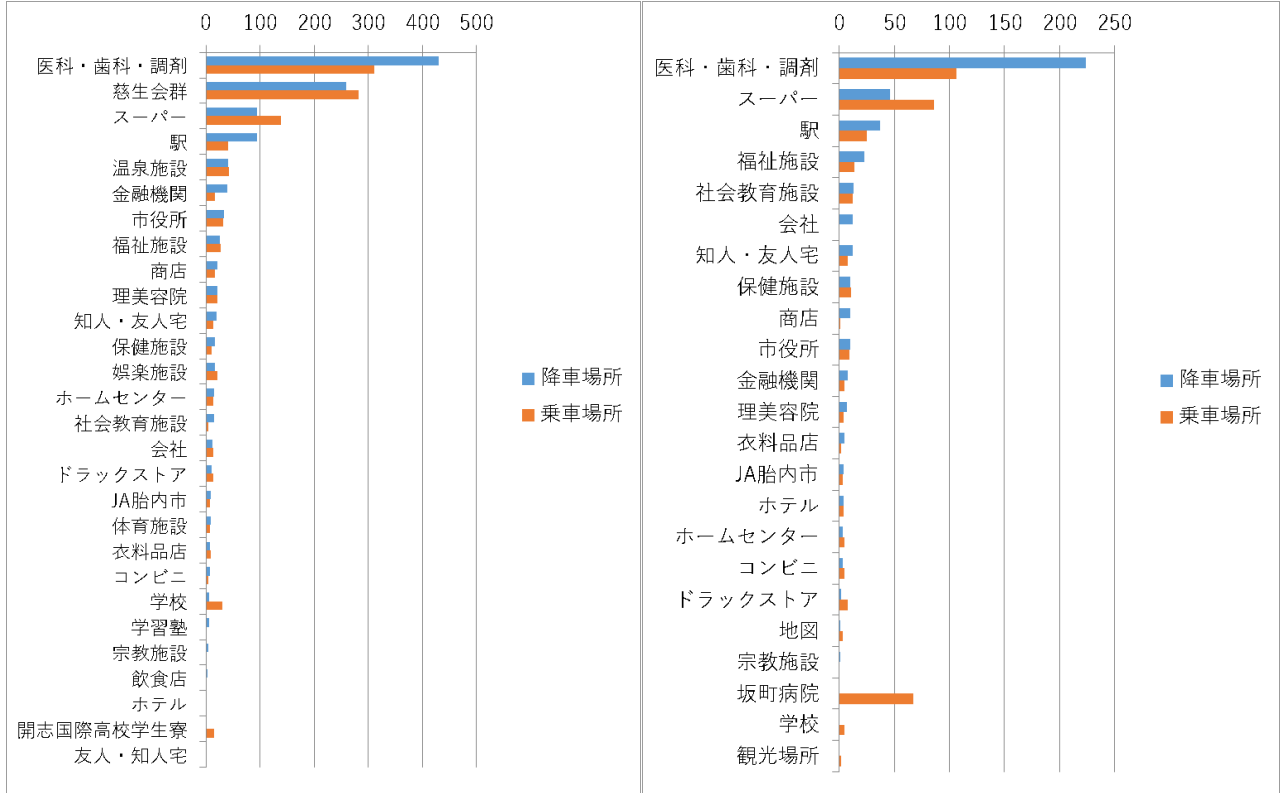
【2017年10月 のれんす号利用者の乗降車場所 市全体】

	降車場所	乗車場所
医科・歯科医院・調剤	922	607
福祉施設	431	439
スーパー	247	383
駅	195	107
温泉施設	80	85
市役所	70	59
知人・友人宅	65	43
保健施設	62	56
金融機関	61	31
会社（勤め先）	57	14
個人商店	49	32
理美容室	48	44
社会教育施設	45	32
学校	41	79
ホームセンター	35	26
娯楽施設	27	33
コンビニ	26	13
ホテル	22	13
宗教施設	20	
衣料品店	19	19
ドラッグストア	18	30
JA胎内市	15	13
社会体育施設	10	9
飲食店	10	4
学習塾	7	
開志国際高校学生寮	4	27
集会所	4	4
警察署	2	
文化施設	1	1
観光場所		2



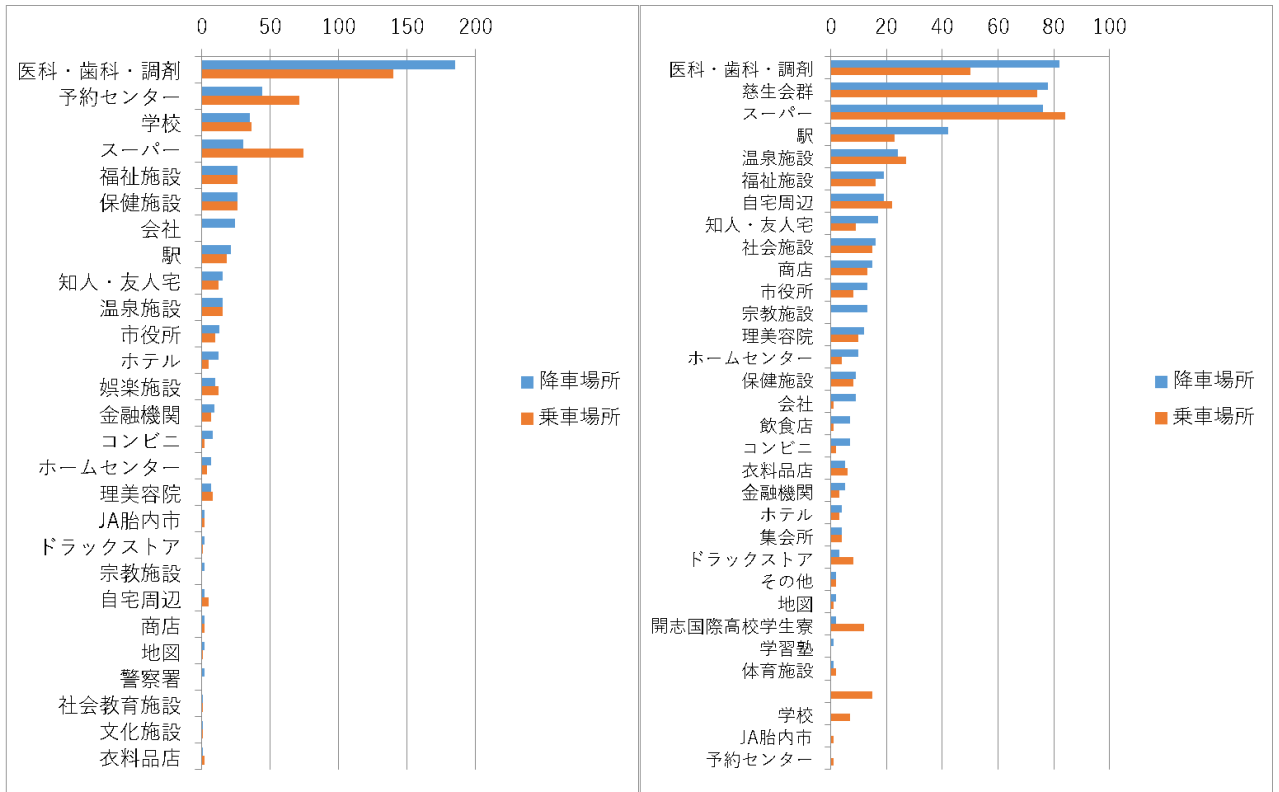
【中条築地エリア】

【乙エリア】



【黒川エリア】

【循環】



【降車場所の詳細（医療機関）】

降車場所	人数
中条病院（中央）	254
坂町病院	115
ひらの整形外科	99
野々村眼科医院	42
坂上医院	37
佐野医院	35
笹川医院	35
わたなべ医院	33
ちの医院	33
中条駅前じゅん耳鼻科	25
花野医院	21
橋本医院	19
大浦整形外科	18
相馬医院	18
佐藤歯科クリニック	17
黒川病院	16
斎藤歯科医院	13
小林歯科医院	13
鈴木医院	12
村山歯科医院	11

【降車場所の詳細（スーパー）】

降車場所	人数
ウオロク中条店	122
イオン中条店	106
ひらせい食良品館	15
こんげん	3
ひらせいホームセンター中	1

【降車場所の詳細（駅）】

降車場所	人数
中条駅	173
坂町駅	12
金塚駅	7
平木田駅	3

【降車場所の詳細（福祉施設）】

降車場所	人数
じょぶ倶楽部	286
スカイ	33
特別養護老人ホームとっさ	22
老人保健施設中条愛広苑	19
そら倶楽部	18
有楽荘	17
虹の家	6
地域生活支援センターごっ	5
いわはら荘	5
養護老人ホームひめさゆり	5
大峰寮	3
特別養護老人ホームりんど	3
ちゅーりっぷ苑・さくら	2
アップルはなはな	2
特別養護老人ホーム第二胎	2
まごころの里	1
ウェルネス中条	1
こばと作業所	1

【降車場所の詳細（温泉施設）】

降車場所	人数
塩の湯温泉	51
クアハウスたいない	23
サンセット中条	6

1-5 事業所・従業者

1-5-1 事業所

- ・卸売業、小売業の事業所数が25%超となっています。
- ・全体の事業所数が5年で50か所減少している中で、製造業の事業所数は27か所増加しています。これは新潟中条工業団地をはじめとした場所に企業誘致により事業所の立地があったためと考えられます。
- ・市内に本社があり年間売上1億円超の企業は132あります。築地地区に製造業が多いのは、工業団地が当該地域に所属しているためです。

【事業所数の推移】

産業別事業所数 胎内市全域	(か所)					
区分	2009 (H21)		2012 (H24)		2014 (H26)	
全産業（公務を除く）	1,419	100.0%	1,388	100.0%	1,369	100.0%
農業、林業、漁業	33	2.3%	36	2.6%	37	2.7%
鉱業、採石業、砂利採取業	5	0.4%	6	0.4%	6	0.4%
建設業	226	15.9%	210	15.1%	195	14.2%
製造業	119	8.4%	133	9.6%	146	10.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	3	0.2%	1	0.1%	1	0.1%
情報通信業	6	0.4%	5	0.4%	5	0.4%
運輸業、郵便業	33	2.3%	30	2.2%	26	1.9%
卸売業、小売業	404	28.5%	372	26.8%	357	26.1%
金融業、保険業	12	0.8%	10	0.7%	12	0.9%
不動産業、物品賃貸業	45	3.2%	39	2.8%	42	3.1%
学術研究、専門・技術サービス業	27	1.9%	22	1.6%	25	1.8%
宿泊業、飲食サービス業	121	8.5%	118	8.5%	116	8.5%
生活関連サービス業、娯楽業	148	10.4%	168	12.1%	160	11.7%
教育、学習支援業	49	3.5%	49	3.5%	52	3.8%
医療、福祉	72	5.1%	73	5.3%	79	5.8%
複合サービス事業	21	1.5%	19	1.4%	15	1.1%
サービス業（他に分類されないもの）	95	6.7%	97	7.0%	95	6.9%

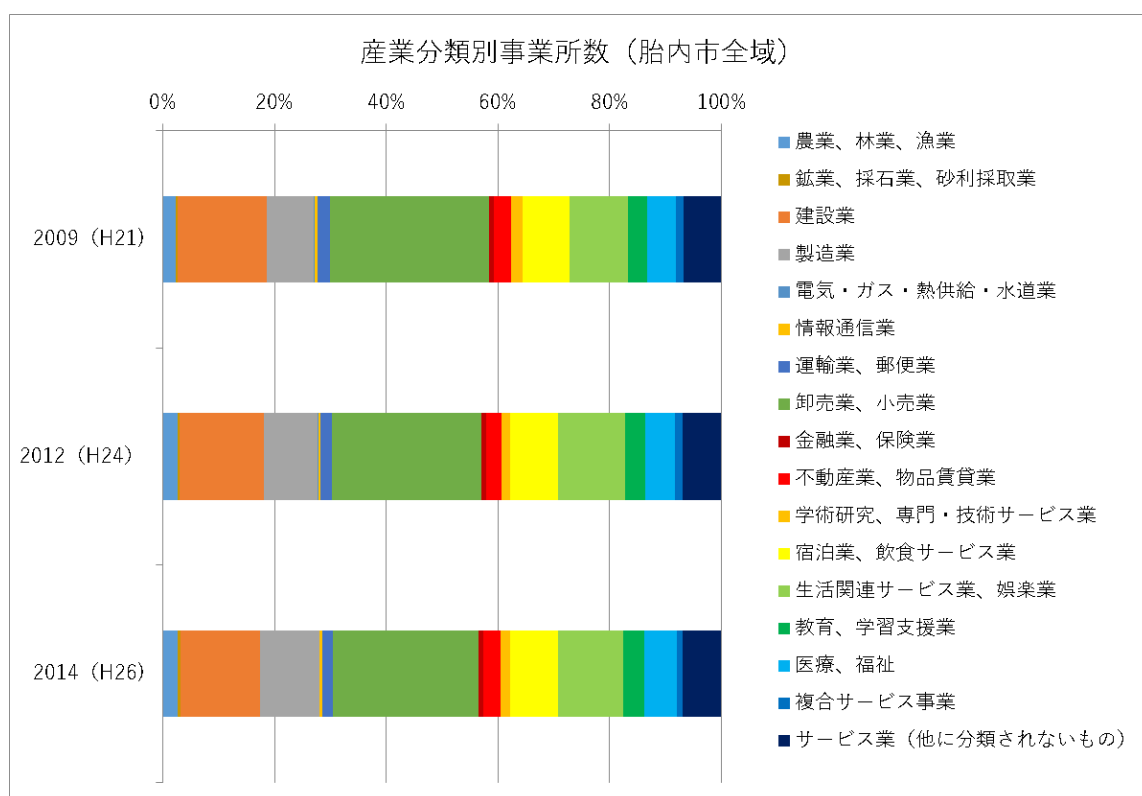
(出典：RESAS)

【市内に本社があり年間売上1億円超企業の業種別分布】

区分	(か所)				
	市全体	中条	乙	築地	黒川
全産業（公務を除く）	132	75	18	22	17
農業、林業、漁業	4	1	1	2	
鉱業、採石業、砂利採取業	1	1			
建設業	36	22	6	5	3
製造業	26	9	4	9	4
電気・ガス・熱供給・水道業	0				
情報通信業	0				
運輸業、郵便業	8	5	2	1	
卸売業、小売業	32	23	2	4	3
金融業、保険業	0				
不動産業、物品賃貸業	1	1			
学術研究、専門・技術サービス業	0				
宿泊業、飲食サービス業	4	3			1
生活関連サービス業、娯楽業	11	5	2	1	3
教育、学習支援業	0				
医療、福祉	5	3			2
複合サービス事業	0				
サービス業（他に分類されないもの）	4	2	1		1

(資料：帝国データバンクデータ)

2016年8月時点の内容に基づく



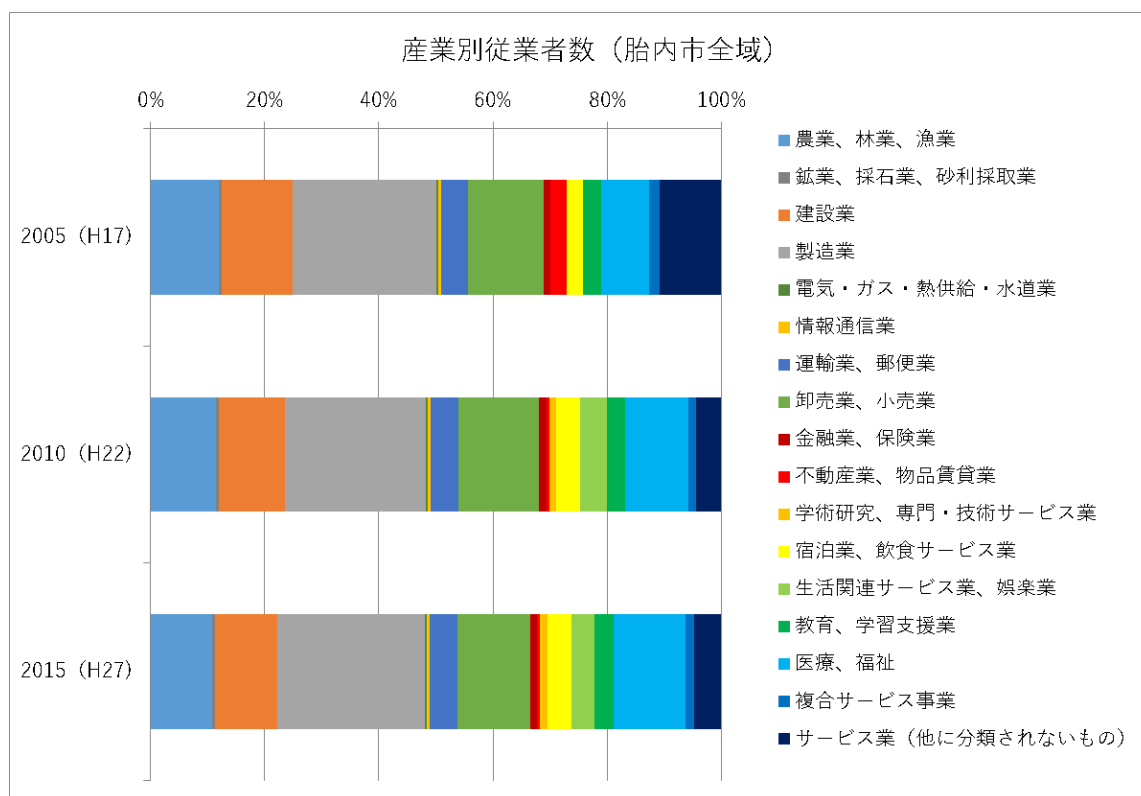
1-5-2 従業者

- ・従業者の4人に1人が製造業に従事しています。
- ・医療・福祉の従事者数は、10年間で428人増えています。

【従業者数の推移】

産業別従業者数 胎内市全域		(人)					
区分	2005 (H17)		2010 (H22)		2015 (H27)		
全産業（公務を除く）	15,570	100.0%	14,674	100.0%	14,201	100.0%	
農業、林業、漁業	1,903	12.2%	1,685	11.5%	1,525	10.7%	
鉱業、採石業、砂利採取業	97	0.6%	62	0.4%	65	0.5%	
建設業	1,990	12.8%	1,710	11.7%	1,536	10.8%	
製造業	4,026	25.9%	3,588	24.5%	3,633	25.6%	
電気・ガス・熱供給・水道業	51	0.3%	55	0.4%	47	0.3%	
情報通信業	91	0.6%	87	0.6%	84	0.6%	
運輸業、郵便業	749	4.8%	697	4.7%	669	4.7%	
卸売業、小売業	2,114	13.6%	2,071	14.1%	1,811	12.8%	
金融業、保険業	175	1.1%	198	1.3%	151	1.1%	
不動産業、物品賃貸業	462	3.0%	76	0.5%	86	0.6%	
学術研究、専門・技術サービス業		0.0%	158	1.1%	191	1.3%	
宿泊業、飲食サービス業	462	3.0%	635	4.3%	576	4.1%	
生活関連サービス業、娯楽業		0.0%	683	4.7%	575	4.0%	
教育、学習支援業	502	3.2%	455	3.1%	485	3.4%	
医療、福祉	1,341	8.6%	1,615	11.0%	1,769	12.5%	
複合サービス事業	296	1.9%	206	1.4%	214	1.5%	
サービス業（他に分類されないもの）	1,738	11.2%	650	4.4%	661	4.7%	

(資料：国勢調査)

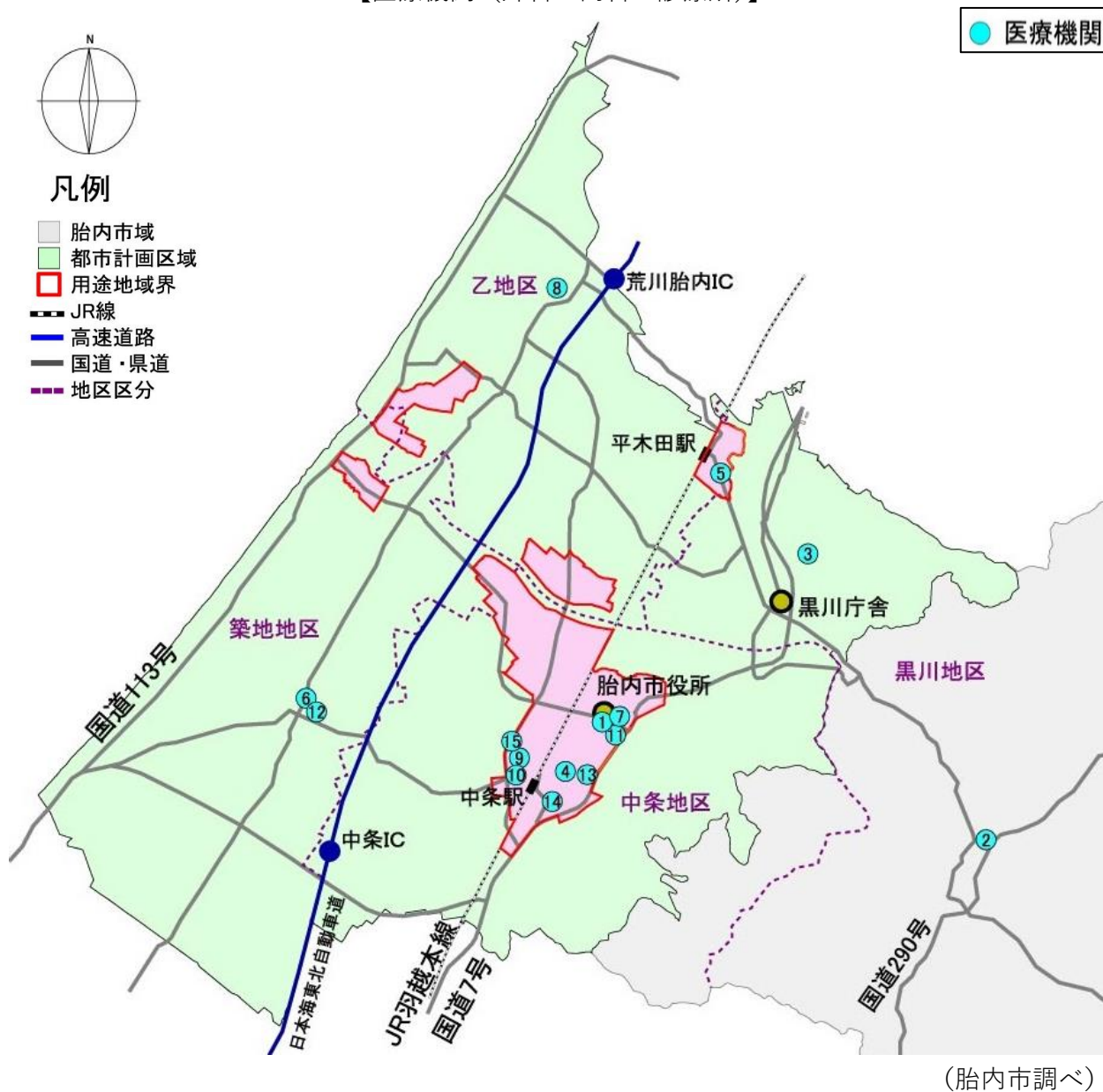


1-6 各種施設分布

1-6-1 医療機関

- ・医療機関（外科・内科・診療所）は、中条地区の用途地域内に半数以上が集積しています。
- ・用途地域外では、各地区に点在しています。

【医療機関（外科・内科・診療所）】

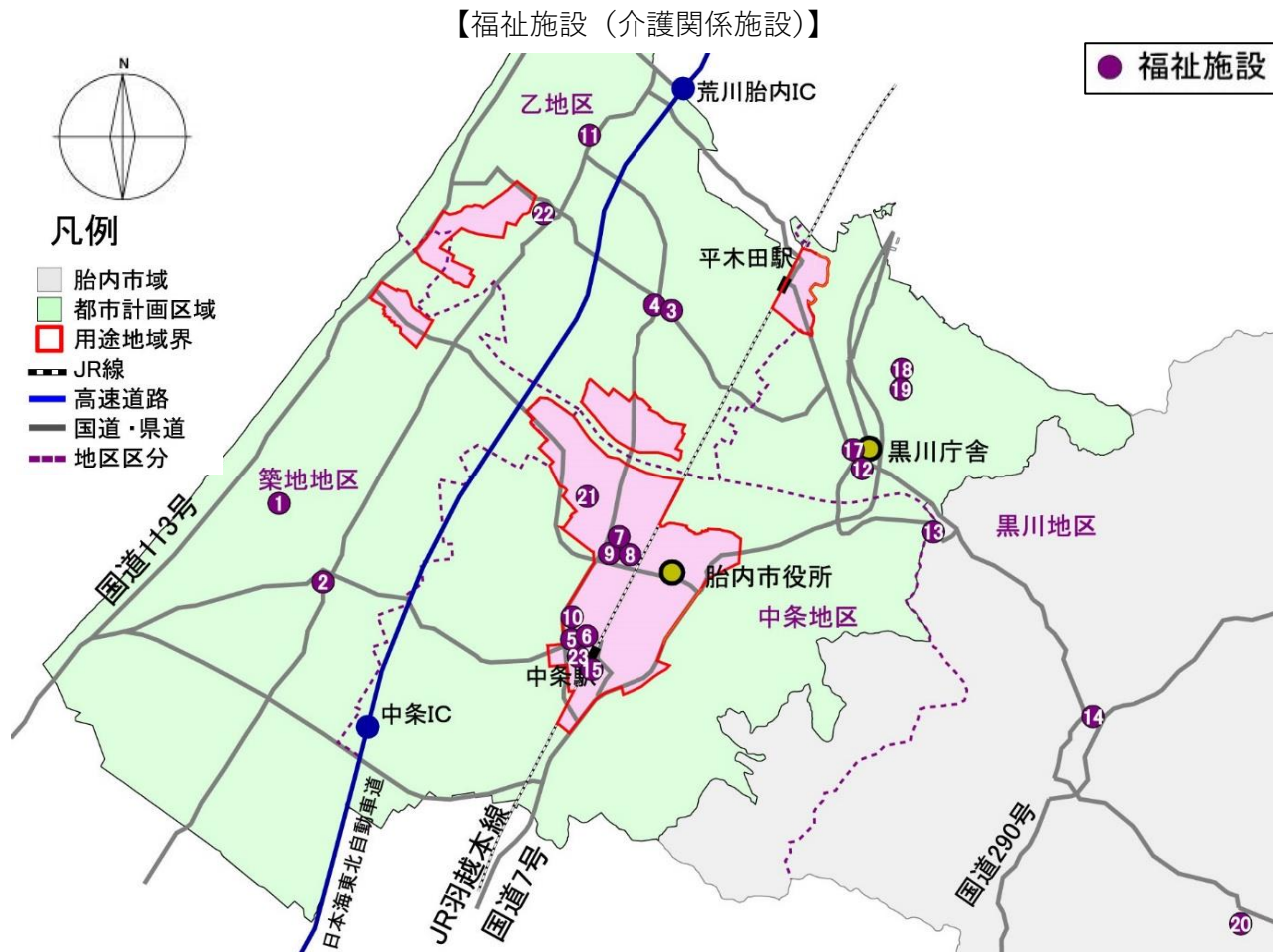


■医療機関(外科・内科・診療所)

1	大浦整形外科医院	6	相馬医院	11	橋本医院
2	胎内市黒川診療所	7	ちの泌尿器科・内科医院	12	はなの医院
3	黒川病院	8	時田医院	13	ひらの整形外科医院
4	坂上医院	9	中条地区休日診療所	14	わたなべ医院
5	鈴木医院	10	中条中央病院	15	丹呉医院

1-6-2 福祉施設

・福祉施設（介護関係施設）は、主に中条地区の用途地域内に集積していますが、郊外部にも点在しています。



(資料：胎内市調)

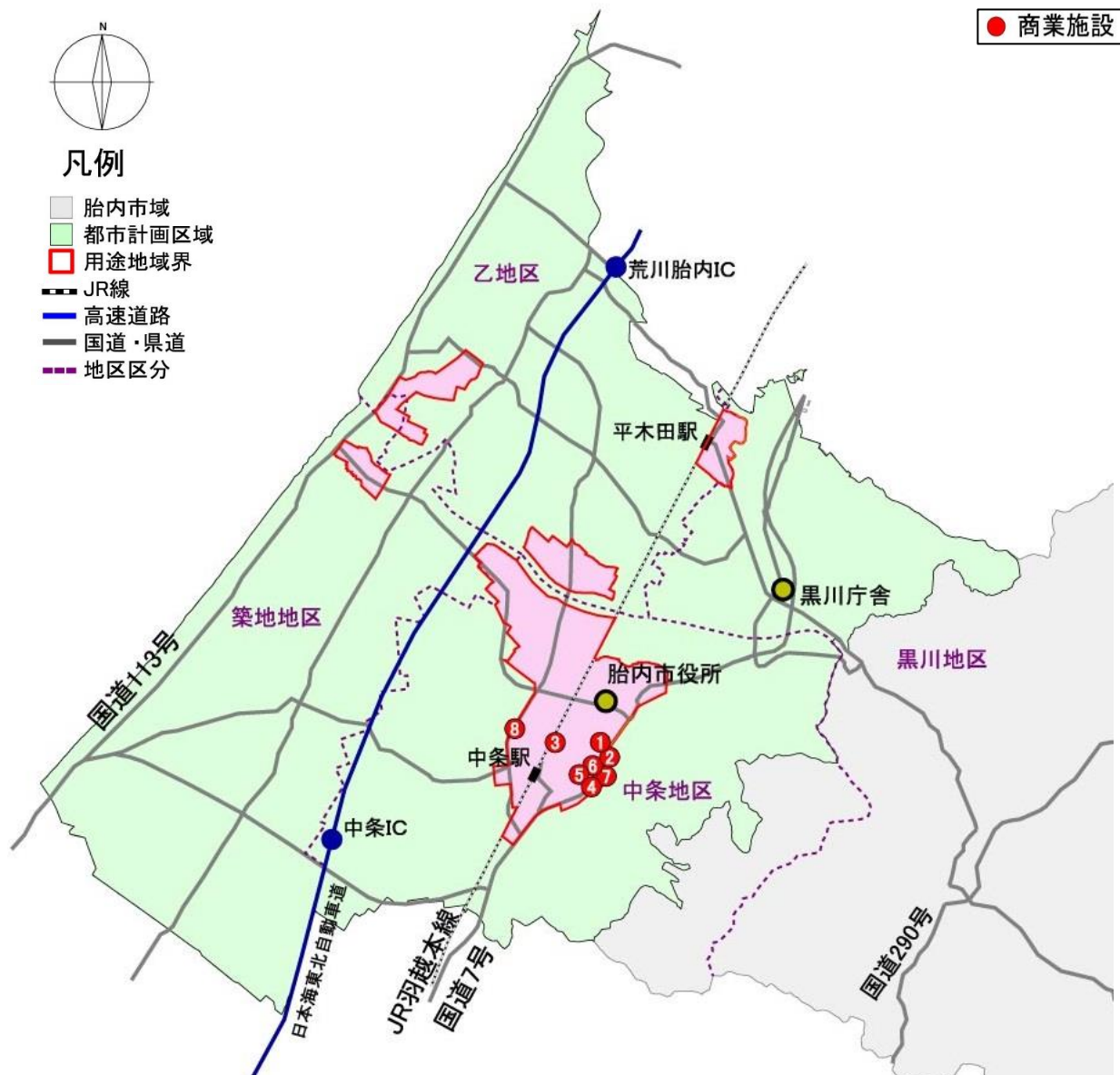
■福祉施設(介護関係施設)

1	介護老人保健施設 マチュアハウス中条	9	システムアイ 介護相談所
	居宅介護支援事業所 マチュアハウス中条	10	居宅介護支援事業所おおぞら
2	特別養護老人ホーム 胎内まごころの里	11	よりあいサークル 一円相
	介護老人保健施設 中条愛広苑	12	よりあいサークルけやきの杜
3	居宅介護支援事業所 中条愛広苑	13	胎内市デイサービスセンター いわはら荘
	地域包括支援センター 中条愛広苑	14	胎内市デイサービスセンター 栗木野荘
	訪問介護ステーション 中条愛広苑	15	ウェルネス中条
	ケアステーション どっこん	16	胎内市地域包括支援センター みらい
4	グループホーム どっこんの家	17	グループホーム 黒川
	ヘルパーステーション なかじょう	18	特別養護老人ホーム りんどう
	特別養護老人ホーム とっさか		短期入所生活介護 りんどう
5	デイサービスセンター とっさか	19	介護老人保健施設 やまぼうし
	居宅支援 しろとり		黒川居宅介護支援事業所
	社会福祉法人 胎内市社会福祉協議会		地域包括支援センター やまぼうし
6	地域包括支援センター 胎内市社協	20	特別養護老人ホーム 第二胎内やすらぎの家
	デイサービスセンター と・も・だ・ち		ショートステイデイサービス アップル花はな
	デイホーム ちゅーりっぷ苑・つばき	21	居宅介護支援事業所 アップル花はな
7	グループホーム ちゅーりっぷ苑・つばき	22	特別養護老人ホーム 胎内まごころの里きのと
	デイサービス ちゅーりっぷ苑・つばき		ショートステイ 胎内まごころの里きのと
	居宅支援事業所 ちゅーりっぷ苑	23	中条中央病院(訪問リハビリステーション)
8	デイホーム チューリップ苑・さくら		中条中央病院(通所リハビリステーション)
	グループホーム チューリップ苑・さくら		

1-6-3 商業施設

- ・商業施設（延べ面積 1,500 ㎡以上）は、中条地区の用途地域内に集積しており、特に国道 7 号沿道に集積しています。

【商業施設（延べ面積 1,500 ㎡以上の店舗）】



(資料：全国大型小売店総覧 2015 年版)

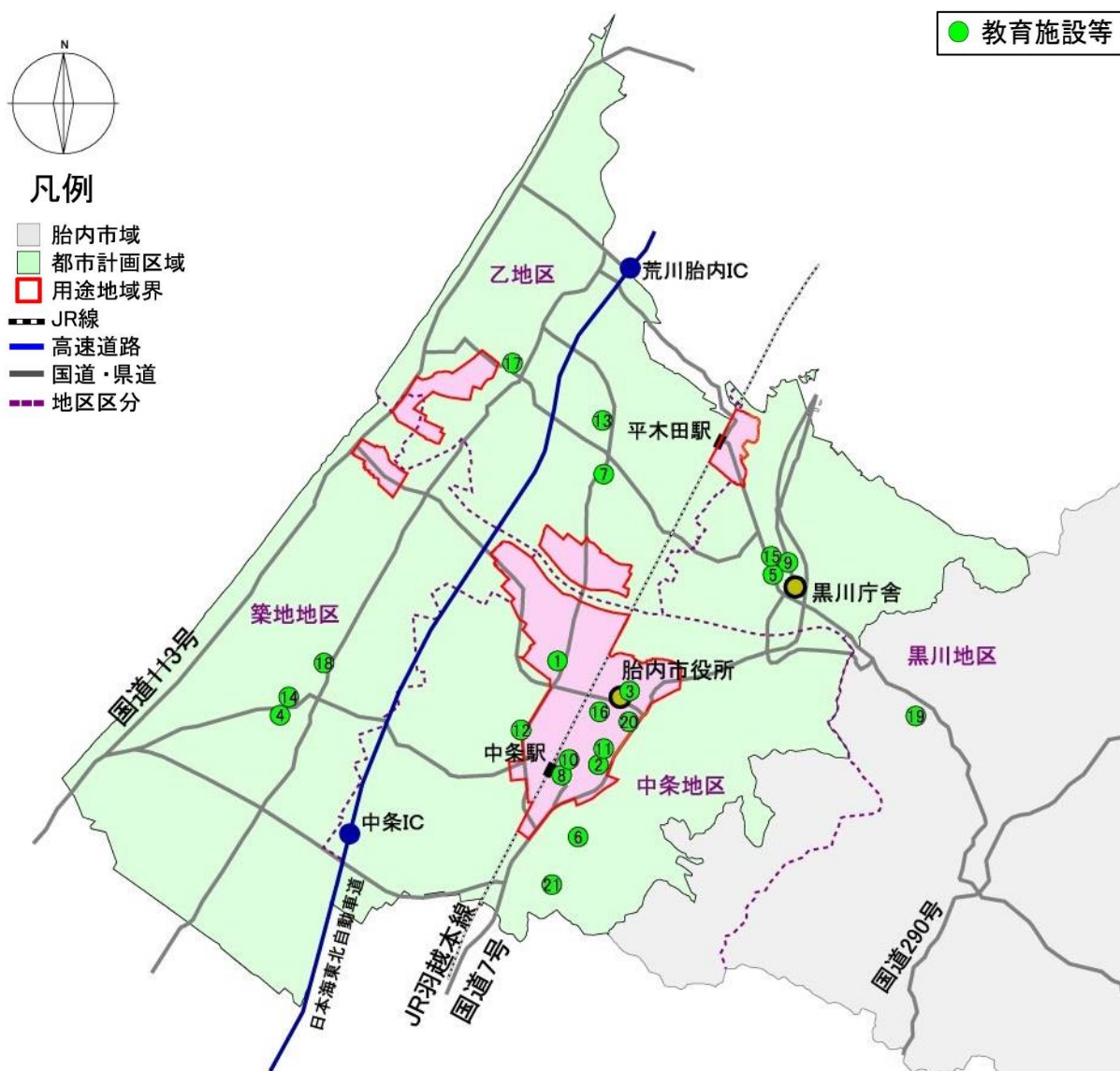
■商業施設(延べ面積1,500㎡以上の店舗)

1	中条ST(中条店・ダイユーエイト中条店)
2	ファッションセンターしまむら中条店
3	ウオロク中条店
4	コメリホームセンター中条店
5	ケーズデンキ胎内店
6	ファミリードラック中条店
7	ひらせいホームセンター中条店
8	くすりのアオキあかね店

1-6-4 教育施設等

- ・教育施設（保育施設、小学校、中学校、高等学校、大学）は、主に中条地区の用途地域内に集積しています。
- ・用途地域外では、「黒川庁舎周辺」「築地地区の地域拠点周辺」などに若干の集積がみられます。

【教育施設等（保育施設、小学校、中学校、高等学校、大学）】



(資料：胎内市調)

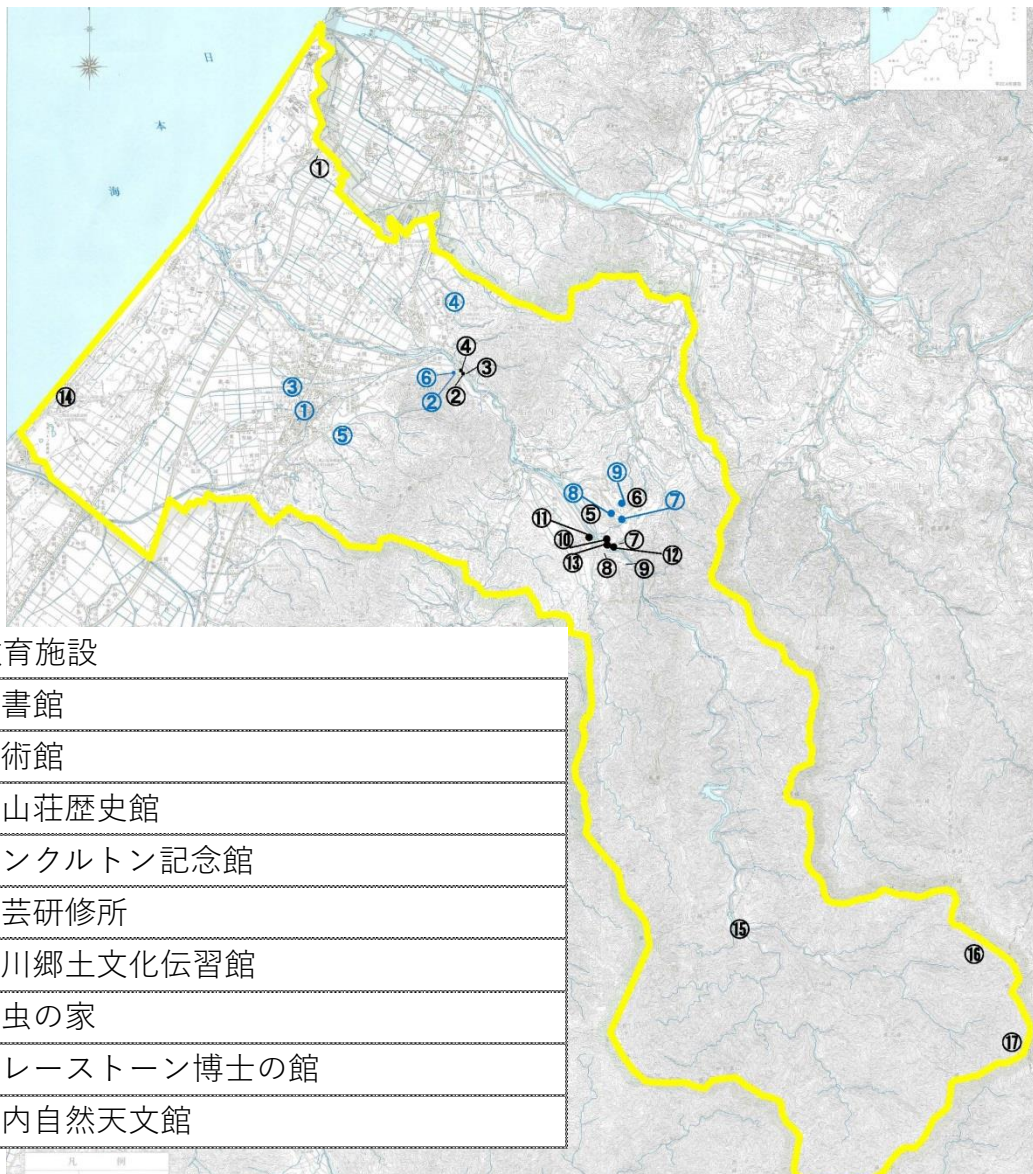
■教育施設等（保育施設、小学校、中学校、高等学校）

1	市立すこやかこども園	8	私立さわらび乳児園	15	市立黒川小学校
2	市立日の出保育園	9	私立きすげこども園	16	市立中条中学校
3	市立ふたば保育園	10	私立聖心こども園	17	市立乙中学校
4	市立ついじ保育園	11	市立中条小学校	18	市立築地中学校
5	市立黒川保育園	12	市立胎内小学校	19	市立黒川中学校
6	私立さわらび保育園	13	市立きのと小学校	20	県立中条高等学校
7	私立ひだまり保育園	14	市立築地小学校	21	私立開志国際高等学校

1-6-5 社会教育施設、観光・レクリエーション施設

・主な観光施設等は、道の駅「胎内」付近と胎内リゾートエリアに集積されています。

【社会教育施設・観光・レクリエーション施設】



■社会教育施設

1	図書館
2	美術館
3	奥山荘歴史館
4	シンクルトン記念館
5	陶芸研修所
6	黒川郷土文化伝習館
7	昆虫の家
8	クレーストーン博士の館
9	胎内自然天文館

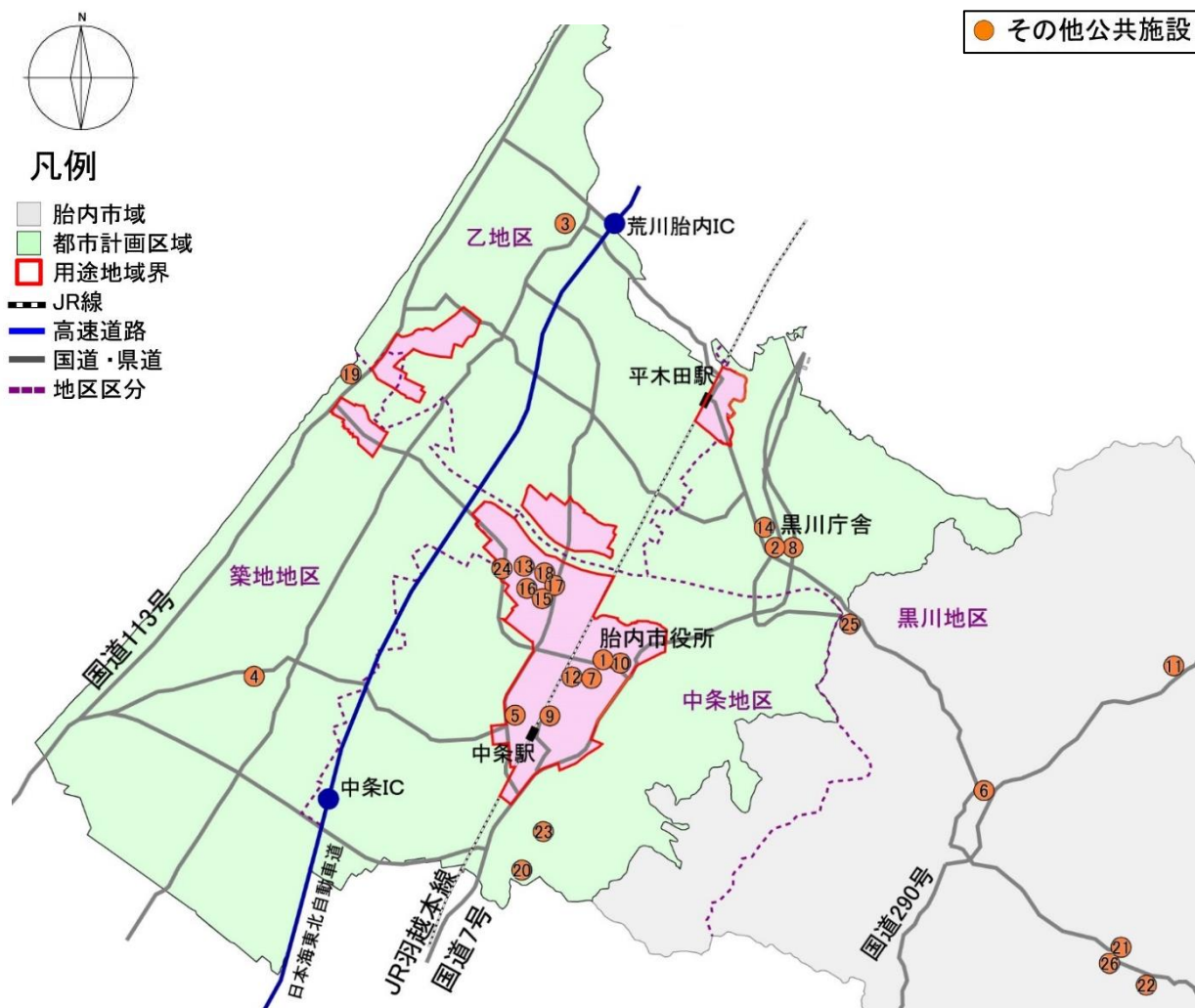
■観光・レクリエーション施設

1	きのと観光物産館	10	そば処みゆき庵
2	観光交流センター	11	胎内フィッシングパーク
3	樽が橋遊園	12	ロイヤル胎内パークホテル
4	クアハウスたいない	13	胎内アウレツ館
5	胎内フラワーパーク	14	サンセット中条
6	グリーンハウスたいない	15	奥胎内ヒュッテ
7	胎内平キャンプ場	16	門内避難小屋
8	胎内山荘	17	頼母木避難小屋
9	胎内スキー場		

1-6-6 その他公共施設

・その他公共施設（市役所、図書館、体育施設）は、ほとんどが用途地域内に立地しています。

【その他公共施設】



(資料：胎内市調)

■その他公共施設

1	胎内市役所	15	総合グラウンド陸上競技場
2	胎内市役所 黒川庁舎	16	総合グラウンド野球場
3	きのと交流館(諸証明交付所)	17	B&G海洋センター体育館・総合グラウンド体育館・総合グラウンド交流棟
4	築地農村環境改善センター(諸証明交付所)	18	B&G海洋センター プール
5	保健福祉施設 ほっとHOT・中条	19	B&G海洋センター 艇庫
6	保健福祉施設 にこ楽・胎内	20	サンビレッジ中条
7	中央公民館	21	胎内球場
8	黒川地区公民館	22	胎内スキー場
9	図書館	23	国際交流公園テニスコート
10	産業文化会館	24	鴻の巣公園テニスコート
11	大長谷地区防災拠点施設	25	クアハウスたいない
12	交流センターしゃくなげ	26	新潟県立ライフル射撃場
13	胎内市総合体育館「ぷれすぽ胎内」		
14	黒川体育館		

1-7 その他

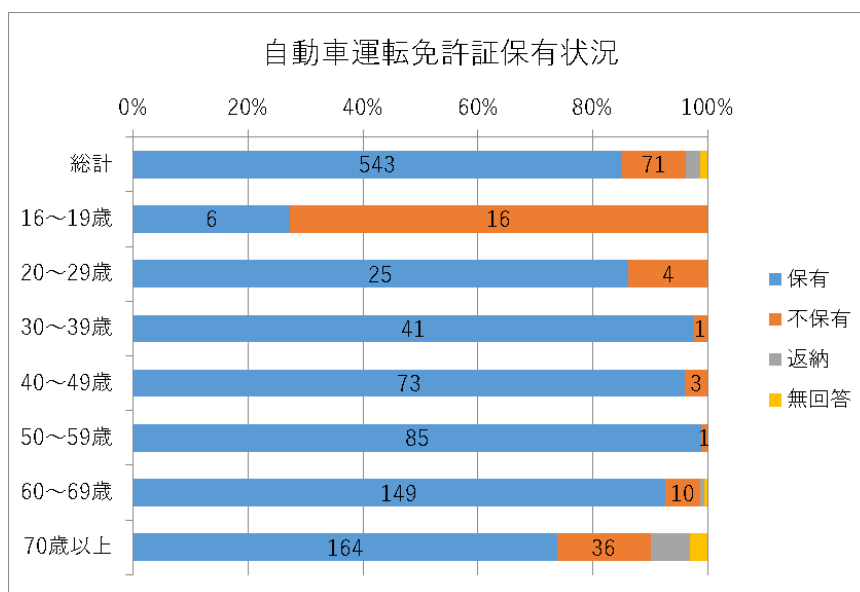
1-7-1 自動車運転免許証保有状況

- ・ 18 歳以上の 85%以上が自動車運転免許証を保有しています。
- ・ 30 代から 60 代までの自動車運転免許証保有率は 95%以上です。
- ・ 70 歳以上では保有率が 74%まで低くなります。

【自動車運転免許証保有状況】

	総計	保有	不保有	返納	無回答
総計	638	543	71	16	8
	100%	85%	11%	3%	1%
16～19歳	22	6	16		
	100%	27%	73%		
20～29歳	29	25	4		
	100%	86%	14%		
30～39歳	42	41	1		
	100%	98%	2%		
40～49歳	76	73	3		
	100%	96%	4%		
50～59歳	86	85	1		
	100%	99%	1%		
60～69歳	161	149	10	1	1
	100%	93%	6%	1%	1%
70歳以上	222	164	36	15	7
	100%	74%	16%	7%	3%

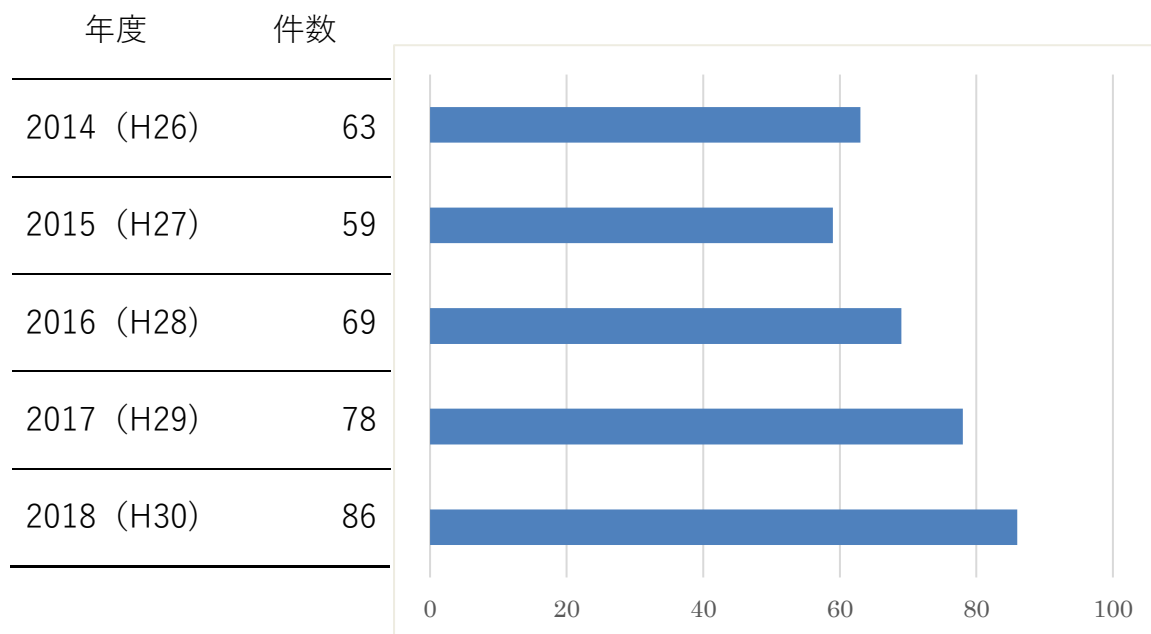
(資料：2016のれんす号利用アンケート調査)



1-7-2 高齢者運転免許自主返納等支援事業

- ・満70歳以上の方が免許証を返納した場合、申請によりデマンドタクシー「のれんす号」の回数券22枚を1回限り交付する高齢者運転免許自主返納等支援事業を2011年度（平成23年度）から実施しており、事業を活用する方は年々増加傾向にあります。

【高齢者運転免許自主返納等支援事業実績】



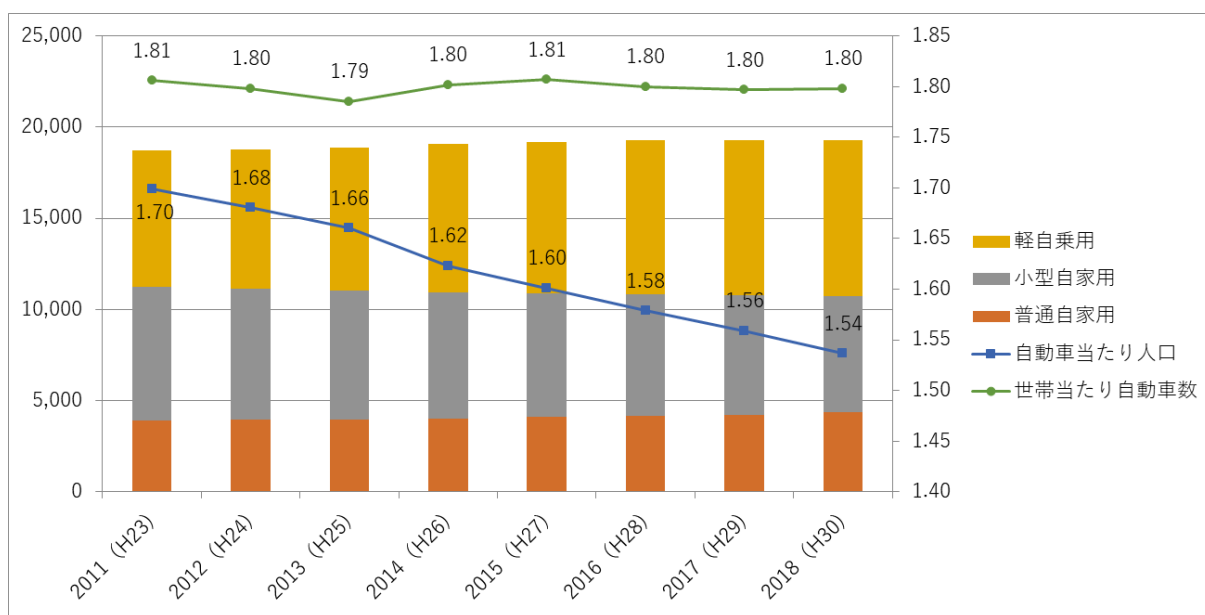
1-7-3 自家用車保有状況

- ・ 1世帯当たりほぼ2台保有する状況が続いています。
- ・ 自動車当たりの人口は減少してきています。
- ・ 小型自動車を保有する人が減り、普通自家用車や軽自動車を保有する人が増えています。特に軽自動車の保有が2011年と比べ1.1倍になっています。

【自家用車保有状況の推移】

年度	総計	普通自家用	小型自家用	軽自乗用	人口	世帯数	自動車当たり人口	世帯当たり自動車数
2011 (H23)	18,723	3,912	7,315	7,496	31,814	10,367	1.70	1.81
2012 (H24)	18,753	3,932	7,220	7,601	31,510	10,428	1.68	1.80
2013 (H25)	18,858	3,976	7,071	7,811	31,307	10,562	1.66	1.79
2014 (H26)	19,059	4,006	6,913	8,140	30,931	10,579	1.62	1.80
2015 (H27)	19,179	4,089	6,767	8,323	30,708	10,614	1.60	1.81
2016 (H28)	19,271	4,150	6,676	8,445	30,421	10,706	1.58	1.80
2017 (H29)	19,288	4,235	6,558	8,495	30,071	10,735	1.56	1.80
2018 (H30)	19,274	4,350	6,379	8,545	29,611	10,720	1.54	1.80

(資料：北陸信越運輸局 運輸概況)



1-8 公共交通等の種類

- ・ J R 東日本の鉄道駅である中条駅と平木田駅では、J R 羽越本線が運行されており、南北方向の基幹的公共交通路線（1日30本以上の運行頻度）としての役割を果たしています。
- ・路線バスに代わる公共交通機関としてデマンドタクシー「のれんす号」が運行されています。
- ・ J R 中条駅にタクシー乗り場が設置されています。
- ・ 小学校は通年で、中学校は冬期間のみスクールバスを運行しています。
- ・ 保育園・こども園では通年で通園バスが運行されています。ルートは利用者の所在により変更されるので一定ではありません。
- ・ 開志国際高等学校では生徒の通学のために中条駅と学校の間でスクールバスを運行しています。
- ・ 2018年4月に開学した新潟食料農業大学では中条駅から胎内キャンパス、胎内キャンパスから新潟キャンパス（新潟市北区）を運行しています。

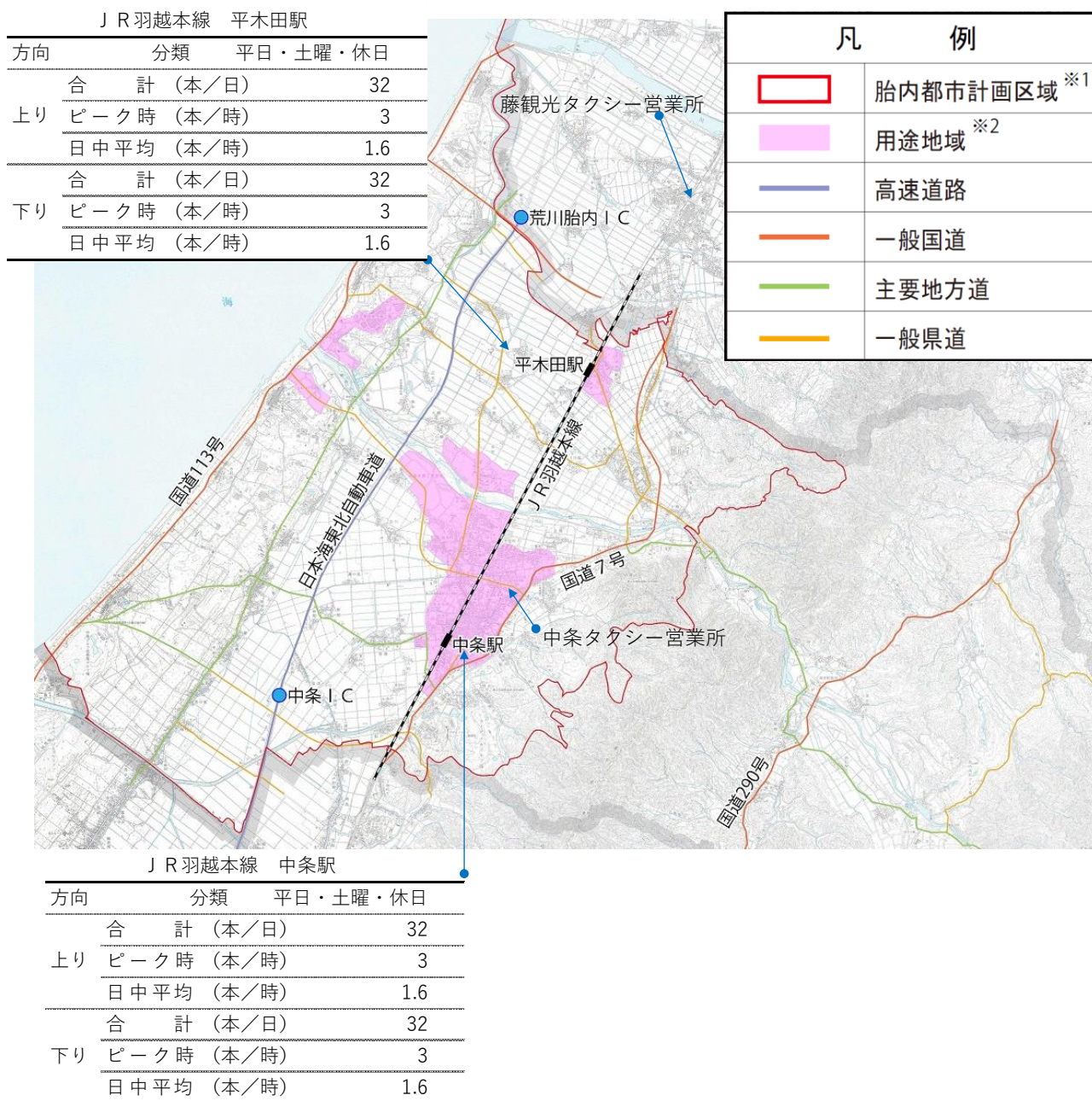
【公共交通等の種類】

名称	種類	事業主体	運行エリア	備考
J R 羽越本線	鉄道	J R 東日本	中条駅 平木田駅	特急停車 無人駅
中条タクシー	タクシー	(株)中条タクシー	胎内市全域ほか	
藤観光タクシー	タクシー	(株)藤観光タクシー	胎内市全域ほか	
のれんす号	デマンドタクシー	胎内市ハイヤー・タクシー協会	胎内市全域ほか	
小学校スクールバス	通学用バス	胎内市	各小学校区	
中学校スクールバス	通学用バス	胎内市	各中学校区	冬期間 (12/1~3/31) のみ
保育園・こども園通園バス	通園バス	胎内市	各保育園入園者存在地区 さわりび保育園 ひだまり保育園 聖心こども園	さわりび保育園入園者所在地 ひだまり保育園入園者所在地 聖心こども園入園者所在地
開志国際高校	学校用バス	開志国際高校	中条駅送迎ほか	
新潟食料農業大学	学校用バス	新潟食料農業大学	中条駅送迎ほか	平成30年4月開学
外出支援サービス	福祉タクシー	胎内市社会福祉協議会	新発田圏及び岩船圏並びに新潟圏	月2回まで無料。利用者条件あり。

1-8-1 鉄道

整備状況

- ・ J R羽越本線が南北に通っており、中条駅、平木田駅の2か所の駅が設置されています。



運行状況

- ・ 鉄道は、J R 羽越本線が運行されており、南北方向の基幹的公共交通路線（1日 30 本以上の運行頻度、概ねピーク時 3 本以上に相当）としての役割を果たしています。

【 J R 中条駅運行時刻表】

上り（新潟方面）（平日）				下り（村上方面）（平日）			
時				時			
5	49			5	30	快	
6	9	37	吉	6			
7	01	特い	24 関 47 内	7	01	酒	37
8	05	津	18 特い	8	36	56	特い
9	11			9	24	快	43
10	15	吉	39 特い	10	06	特い	33
11	42			11	28	特い	40
12	24	特い	47	12	35		
13	34	特い		13	04	特い	
14	00	特い	40	14	12	特い	40
15	35			15	30	特い	58 酒
16	06	特い	27	16	41		
17	31	特い	35 津	17	27	米	47 特い
18	8			18	17	53	
19	12	39	特い	19	29	特い	46
20	11	津	46 快 52	20	35	43	快
21	34	快		21	20	鼠	45 特い
22	47	津		22	13		
23				23	07		
24				24	07		

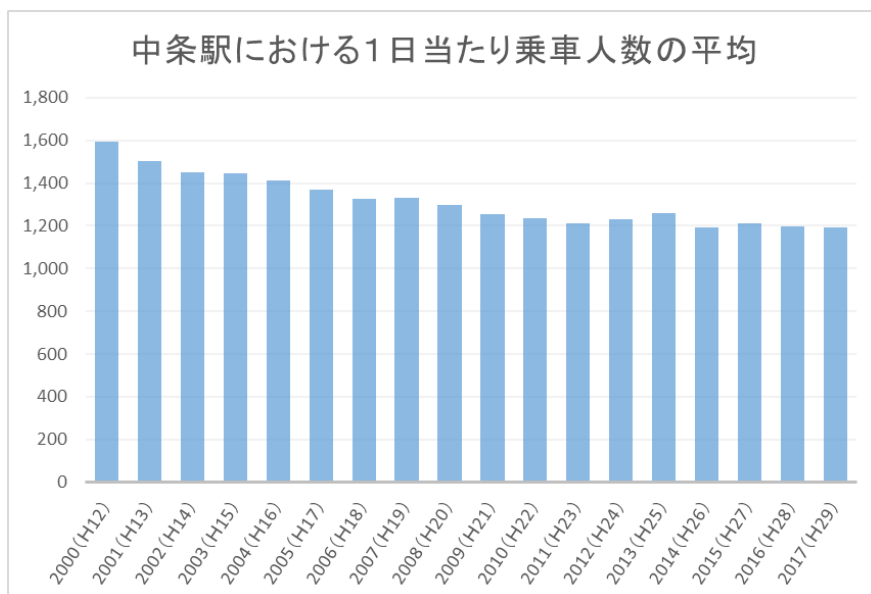
特い…特急いなほ 快…快速
 吉…吉田行 関…関屋行
 内…内野行 津…新津行
 無記載は、新潟行

酒…酒田行 米…米沢行
 鼠…鼠ヶ関行
 無記載は村上行

（資料：JRホームページ 2019年3月時点）

利用状況

- ・ 中条駅において、2000 年の乗車人数は 1,596 人でしたが 2017 年には約 25% 減少し、1,191 人となっています。これは人口減少率の 12% を上回る減少率です。



（資料：J R 東日本ホームページ）

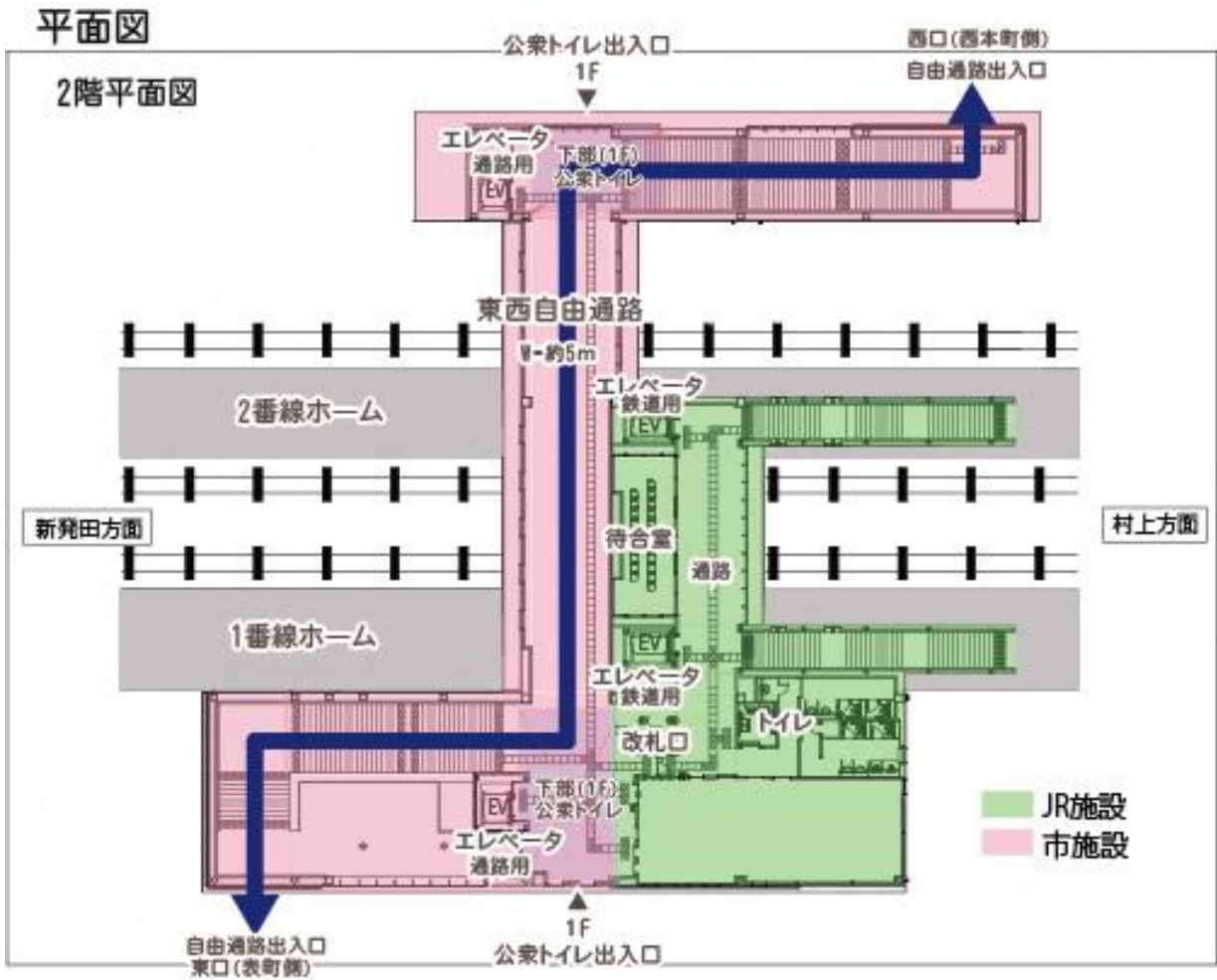
利用環境

- ・ J R 東日本の鉄道駅である中条駅と平木田駅があり、中条駅は特急停車駅で橋上駅舎化及び東西自由通路の整備を行い、平成 30 年 7 月から供用を開始しました。平木田駅は無人駅ですが、パークアンドライドの推進を図るため、両駅周辺には駐車場及び駐輪場が整備されています。

<p>中条駅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東側から順に、駅舎に面した単式ホーム 1 面 1 線、島式ホーム 1 面 2 線、合計 2 面 3 線のホームを有する橋上駅です。 ・ 早朝夜間駅員が不在となる直営駅です。 ・ 駅舎内にはみどりの窓口や自動券売機、自動改札機、待合所、トイレなどがあります。 ・ Suica などの交通系 IC カードに対応しています。 ・ 東西に駅前広場が整備され、ロータリー化されており、タクシー乗降場があります。 ・ 東口にパーク・アンド・ライドを進める駐車場と駐輪場が整備されています。 ・ 東口の 1 階にはインフォメーションコーナー・交流待合コーナーが設置されています。 <p><設備></p> <p>通路用 13 人乗りエレベーター：2 基 鉄道用 11 人乗りエレベーター：2 基 自動改札機：3 通路 自動券売機：2 つ 待合所椅子：20 脚 トイレ</p> <p>駅舎内</p> <p>東口 1 階：男性（小 1、洋 1）、女性（洋 2） 西口 1 階：男性（小 1、洋 1）、女性（洋 2） 2 階：男性（小 2、洋 2）、女性（洋 2） オストメイト対応多機能（1）</p> <p>屋外</p> <p>東 口：男性（小 1、洋 1）、女性（洋 2） 西 口：男性（小 1、洋 1）、女性（洋 2）</p> <p>駐車場：東口 27 台（西口には一時駐車場のみ 6 台） 駐輪場：東口 474 台、西口 160 台</p>
<p>平木田駅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単式ホーム 2 面 2 線を有する地上駅です。 ・ 駅舎（東側）と両ホームは跨線橋で連絡しています。 ・ 駅舎内は待合室の機能のみで、自動券売機、トイレ、自動販売機等がありません。 ・ Suica などの交通系 IC カードには対応していません。 ・ パーク・アンド・ライドを進める駐車場と駐輪場が整備されています。

	<p><設備></p> <p>自動券売機：1つ</p> <p>トイレ：屋外に男女兼（和1）</p> <p>公衆電話：屋外に1</p> <p>駐車場：43台</p> <p>駐輪場：80台</p>
--	--

【中条駅の平面図】

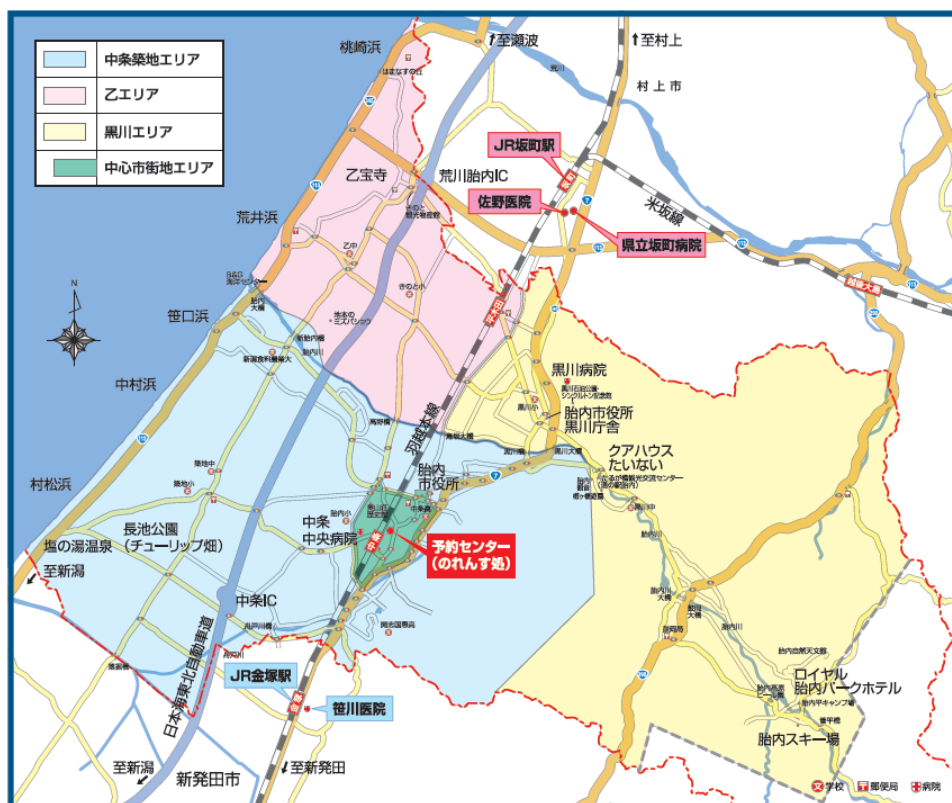


1-8-2 のれんす号

整備状況

- ・路線バスに代わる公共交通機関として2009年4月からデマンドタクシー「のれんす号」が運行されています。概ね発時刻を設定した基本ダイヤ型で運行エリア内であれば出発地及び目的地を自由に設定し、ドア to ドア方式で運行するため、従来の路線バスでは成しえなかったきめ細かいサービスの提供が可能となり、増加傾向にある交通弱者の有効な交通手段となっています。

【のれんす号運行エリア図】



【のれんす号運行時刻表】

のれんす号運行時刻表

中条築地エリア		乙エリア		黒川エリア	
①	②	③	④	⑤	⑥
中心市街地行	郊外行	中心市街地行	郊外行	中心市街地行	郊外行
★ 7:00		★ 7:00		★ 7:00	
8:00	8:30	8:00	8:30	8:15	
9:00	9:30	9:00	9:30	9:30	9:00
10:00	10:30	10:00	10:30	10:00	10:30
11:00	11:30	11:00	11:30	11:15	11:00
12:00	12:30	12:00	12:30	12:30	12:00
13:00	13:30	13:00	13:30		13:45
14:00	14:30	14:00	14:30	14:30	
15:00	15:30	15:00	15:30		15:15
16:00	16:45	16:00	16:45	16:00	16:45
	★ 18:00		★ 18:00		★ 18:00

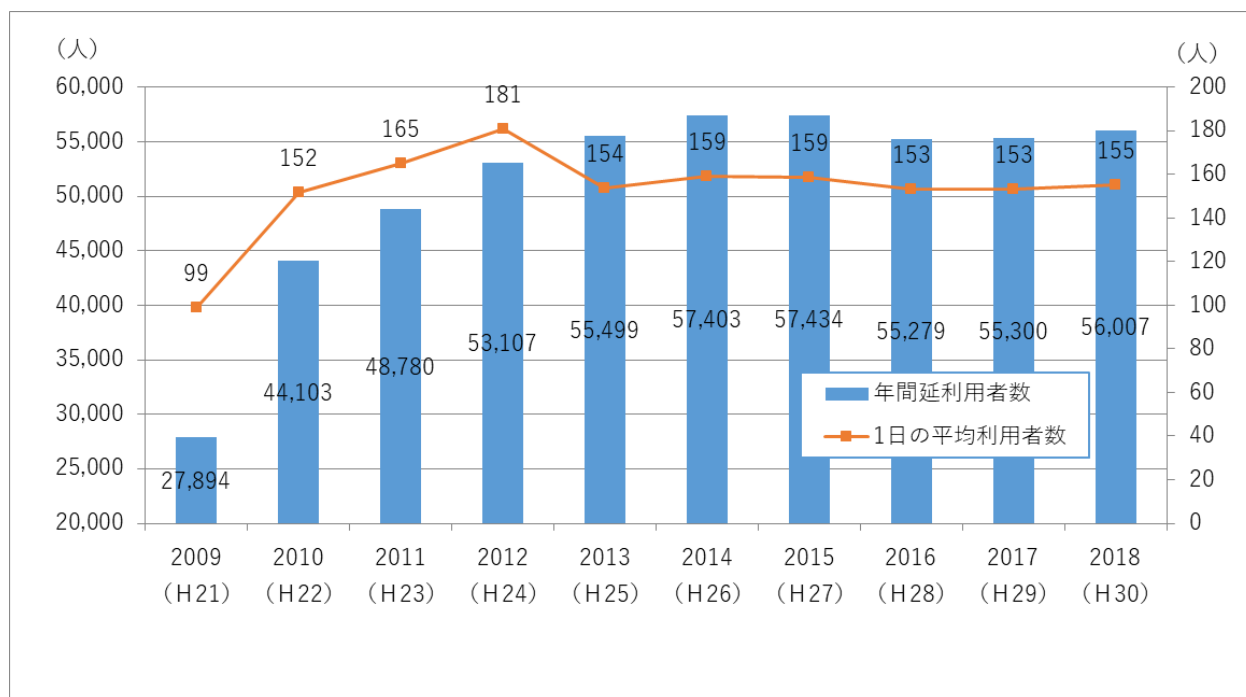
★は土日祝日運休

利用状況

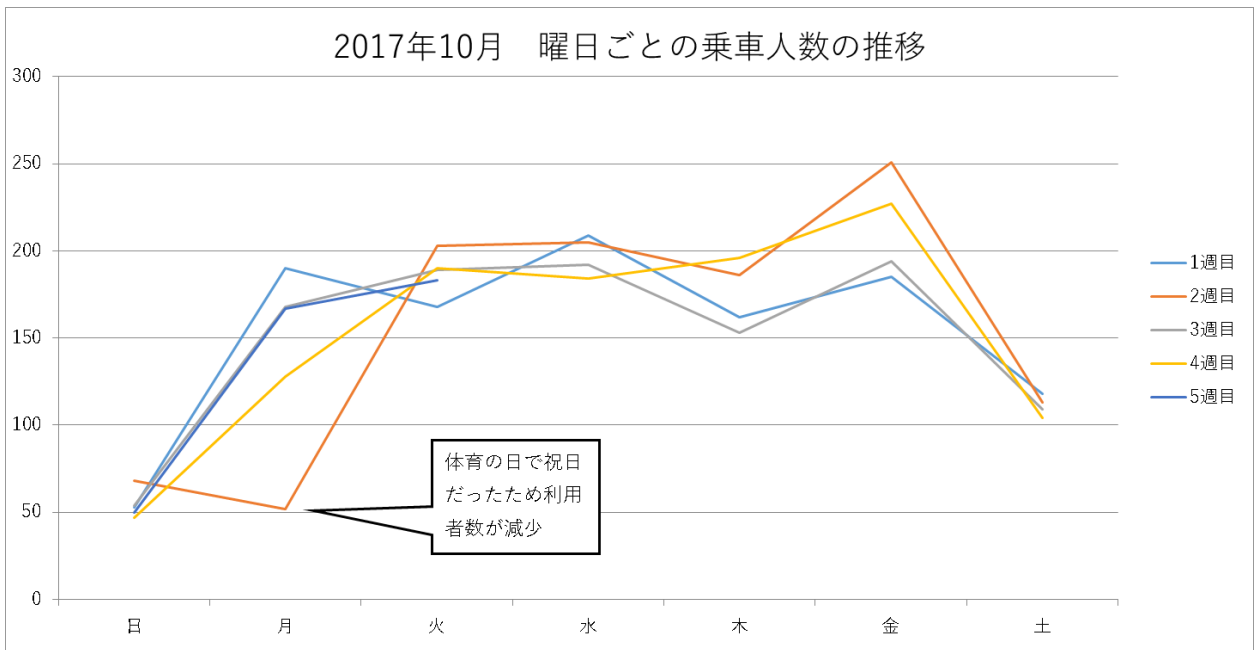
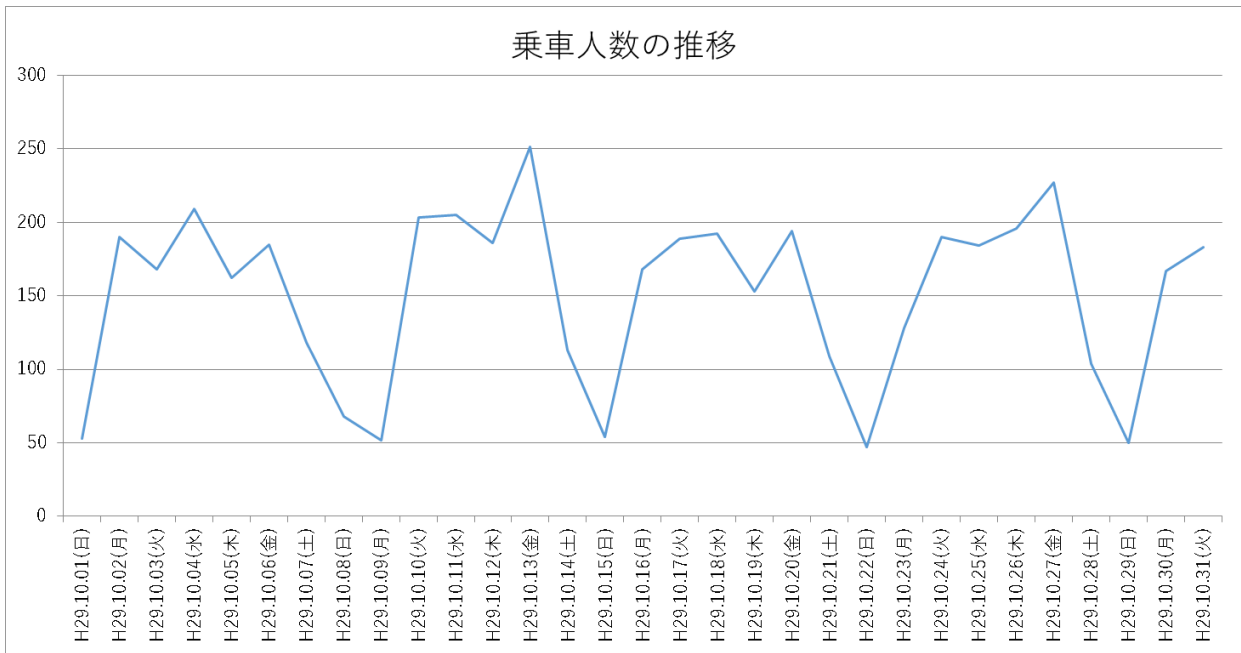
- ・ 2009 年に運行を開始して以来、徐々に利用者が増え、2015 年に年間延べ 57,434 人が利用した以降ほぼ横ばいで推移しています。
- ・ 2013 年から 2014 年にかけての 1 日の平均利用者数の減少は 2014 年 4 月から日祝運行を開始したことによるものです。
- ・ 日曜日の利用は少ない状況です。
- ・ 平日の利用は日によってばらつきがあるものの 150 から 200 人となっています。金曜日の利用が多い傾向にあります。
- ・ 中条築地エリアでは、郊外発中心市街地行の 9 時・10 時・16 時の便が乗車定員の 9 人を超える（複数台で運行している）状況となっています。これは、通院する人たちが午前中に利用することが多いことを表しています。なお、16 時の便については、障害者の通所施設から自宅に帰る人たちが乗車するためです。
- ・ また、中心市街地発郊外行の 8 時 30 分・11 時 30 分便が乗車定員の 9 人を超える傾向にあります。8 時 30 分の便の乗車が多いのは、障害者の通所施設に通う人たちが乗車するためです。
- ・ それ以外の地区では利用者が少ない便が多くみられます。

【のれんす号利用者数の推移】

年度	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
年間延利用者数	27,894	44,103	48,780	53,107	55,499	57,403	57,434	55,279	55,300	56,007
1日の平均利用者数	99	152	165	181	154	159	159	153.66	153.13	153.19



【のれんす号の利用実績】



【地域・時刻・曜日ごとの乗車人数の平均】

地域・時刻・曜日ごとの乗車人数の平均（2017年10月）

単位：人

中条築地便					
郊外発 → 中心市街地行					
時刻	月	火	水	木	金
7:00	2.5	2.6	2.3	2.0	2.5
8:00	3.0	4.6	4.3	4.3	4.0
9:00	9.8	9.6	12.5	10.5	15.0
10:00	9.3	12.0	11.5	7.8	13.0
11:00	4.3	4.4	5.0	3.3	5.3
12:00	2.8	1.0	2.3	1.0	1.5
13:00	3.5	2.8	1.8	5.0	5.5
14:00	3.0	3.4	2.3	1.5	1.5
15:00	2.0	2.8	1.0	0.5	3.5
16:00	16.8	14.8	9.8	14.0	13.8
中心市街地発 → 郊外行					
時刻	月	火	水	木	金
8:30	14.3	14.4	9.5	11.5	10.8
9:30	2.5	1.6	0.8	1.5	4.0
10:30	4.3	5.8	8.3	6.8	5.3
11:30	7.5	7.6	8.8	9.3	9.8
12:30	4.8	6.2	8.0	3.0	5.8
13:30	2.0	5.6	3.0	2.8	5.0
14:30	1.0	1.6	2.0	2.5	2.5
15:30	2.8	3.8	3.8	3.8	6.8
16:45	3.0	3.4	3.0	3.8	3.3
18:00	1.0	1.4	0.5	0.0	0.5

単位：人

乙便					
郊外発 → 中心市街地行					
時刻	月	火	水	木	金
7:00	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3
8:00	1.3	1.2	2.8	1.5	3.3
9:00	4.0	4.4	6.3	2.0	7.3
10:00	6.0	4.4	3.8	4.0	4.0
11:00	1.3	2.4	2.5	3.3	3.0
12:00	1.3	1.4	1.8	1.5	1.3
13:00	1.0	0.4	1.8	1.8	1.0
14:00	0.5	1.6	2.3	2.0	1.3
15:00	0.8	1.2	1.5	1.3	0.5
16:00	0.8	2.4	1.8	1.0	0.5
中心市街地発 → 郊外行					
時刻	月	火	水	木	金
8:30	1.8	1.8	2.3	2.3	2.0
9:30	2.5	3.6	2.5	3.8	2.3
10:30	2.0	3.6	3.8	2.0	6.5
11:30	2.8	4.4	4.5	3.8	2.8
12:30	2.8	2.6	3.0	1.8	2.5
13:30	1.3	0.8	1.8	2.0	1.3
14:30	1.0	0.4	1.3	0.8	1.0
15:30	0.3	1.4	2.3	1.0	2.0
16:45	2.8	2.0	2.3	2.8	2.3
18:00	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3

乗車定員の9を超える場合に着色

単位：人

黒川便					
郊外発 → 中心市街地行					
時刻	月	火	水	木	金
7:00	2.0	3.0	3.8	3.0	3.3
8:15	1.3	3.6	3.5	3.3	6.0
9:30	3.8	4.4	7.5	5.0	6.5
10:00	0.3	0.2	0.5	0.0	1.8
11:15	1.5	0.2	1.8	1.3	2.0
12:00	0.3	2.0	2.5	0.5	2.0
12:30	1.5	0.2	0.8	2.0	0.5
14:30	1.3	2.0	0.8	1.8	2.5
16:00	2.8	3.4	4.0	5.3	2.8
16:30	0.5	0.2	1.5	0.3	0.3
中心市街地発 → 郊外行					
時刻	月	火	水	木	金
9:00	0.3	1.0	1.8	1.8	0.8
10:30	4.3	5.0	5.3	6.8	6.8
11:00	2.5	1.8	3.3	1.5	2.8
12:00	1.0	4.2	3.8	2.3	5.5
13:00	0.5	0.6	2.3	0.5	0.5
13:45	1.3	2.0	2.0	2.0	1.0
15:15	1.0	0.6	1.5	1.5	1.5
16:45	3.3	1.2	2.8	1.8	3.5
18:00	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5

単位：人

全域便					
循環					
時刻	祝	土	日	土日祝日	
8:00	1.0	3.5	1.0	2.0	
8:15	2.0	3.3	1.2	2.1	
8:30	8.0	8.0	3.2	5.6	
9:00	7.0	6.3	3.8	5.1	
9:30	1.0	7.3	2.2	4.1	
10:00	5.0	13.3	3.0	7.3	
10:30	0.0	5.8	1.8	3.2	
11:00	2.0	9.0	4.0	5.8	
11:15	1.0	0.5	1.0	0.8	
11:30	3.0	8.5	1.8	4.6	
12:00	1.0	6.5	3.6	4.5	
12:30	3.0	4.8	3.2	3.8	
13:00	0.0	3.8	2.4	2.7	
13:30	0.0	2.3	1.4	1.6	
13:45	0.0	1.8	1.0	1.2	
14:00	0.0	2.8	1.8	2.0	
14:30	0.0	2.3	2.6	2.2	
15:00	1.0	2.5	1.4	1.8	
15:15	2.0	1.5	1.2	1.4	
15:30	0.0	3.0	2.2	2.3	
16:00	14.0	11.8	7.2	9.7	
16:45	1.0	3.0	3.4	3.0	

利用環境

- ・本町通り商店街に予約センター兼乗継所の「のれんす処」があります。
- ・予約センターと乗継所（待合室）は扉で仕切られています。
- ・乗継所にはトイレ（男女別）、給湯・シンク、ベンチ、椅子、テーブルなどがあります。

【のれんす処の様子】



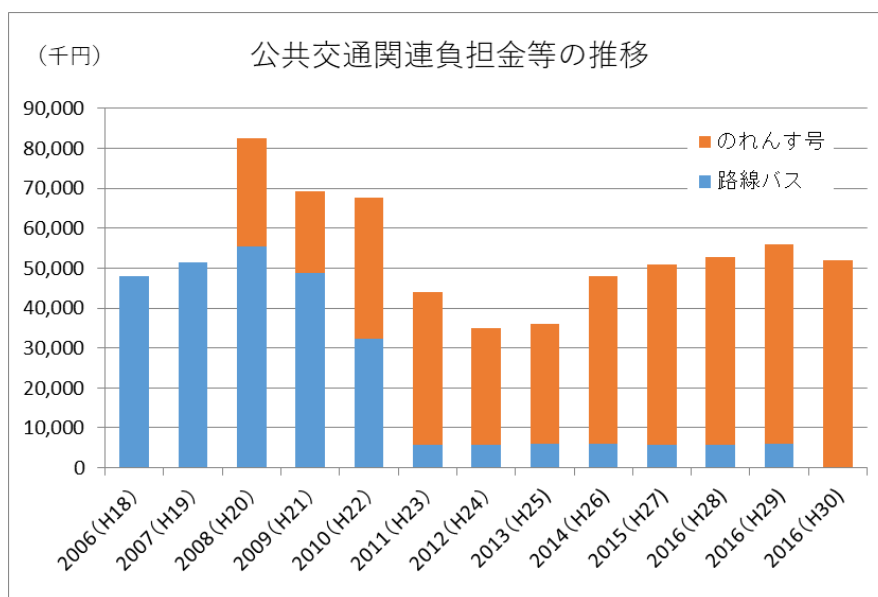
経営状況

- ・地域公共交通に係る市の財政負担は、2008年の82,684千円をピークに路線バスの廃止に伴う運行費補助金の減額により2012年には35,098千円まで減少しましたが、デマンドタクシー「のれんす号」の利便性向上に伴う運行委託費の上昇や国庫補助上限額の減額に伴い、市の財政負担は年々増加している状況です。

【公共交通関連負担金等の推移】

(単位：千円)

年度	総計	路線バス	のれんす号
2005 (H17)	0		
2006 (H18)	48,046	48,046	
2007 (H19)	51,382	51,382	
2008 (H20)	82,684	55,445	27,239
2009 (H21)	69,255	48,883	20,372
2010 (H22)	67,614	32,378	35,236
2011 (H23)	43,940	5,840	38,100
2012 (H24)	35,098	5,798	29,300
2013 (H25)	36,065	5,965	30,100
2014 (H26)	47,875	5,975	41,900
2015 (H27)	50,831	5,831	45,000
2016 (H28)	52,762	5,762	47,000
2016 (H29)	56,000	6,029	50,000
2016 (H30)	52,000	0	52,000



1-8-3 スクールバス等

- ・ 小学校は通年で、中学校は冬期間のみスクールバスを運行しています。
- ・ 保育園・こども園では通年で通園バスが運行されています。ルートは利用者の所在により変更されるので一定ではありません。
- ・ 開志国際高等学校では生徒の通学のために中条駅と学校の間でスクールバスを運行しています。
- ・ 2018年4月に開学した新潟食料農業大学では中条駅から胎内キャンパス、胎内キャンパスから新潟キャンパス（新潟市北区）を運行しています。

【施設所在とスクールバスの経路】



■スクールバス運行経路

1	追分～中条小		17	西条町～胎内小	
2	つくし町～中条小		18	追分～中条中	
3	弥彦岡～胎内小、東川内～胎内小		19	星の宮町～中条中	
4	桃崎浜～きのと小		20	西川内～中条中	
5	富岡～きのと小		21	柴橋～中条中	
6	荒井浜～きのと小		22	桃崎浜～乙中	
7	平木田～きのと小		23	平木田駅前～乙中	
8	北成田～築地小、村松浜～築地小		24	横道～乙中	
9	苔実～築地小		25	笹口浜～築地中	
10	下高畑～築地小		26	鴻巣～築地中	
11	鴻巣～築地小		27	北成田～築地中	
12	鎌江～黒川小		28	下江端～黒川中	
13	熱田坂～黒川小		29	近江新～黒川中	
14	鼓岡～黒川小		30	持倉～黒川中	
15	星の宮町～中条小		31	川合～黒川中	
16	西条～胎内小				

※在籍する児童生徒の所在等により運行経路等変更されます。

※点線のルートが冬期間のみ運行するルートです。

【通園バスの状況】

	園名	通園バス (台)	迎え (便)	送り (便)
市立	中条すこやかこども園	2	1	2
	日の出保育園	1	1	1
	ふたば保育園	1	1	1
	ついじ保育園	1	1	1
	黒川保育園	1	1	1
私立	さわらび保育園	1	1	1
	さわらび乳児園	0	-	-
	ひだまり保育園	2	1	1
	聖心こども園	1	1	1
	きすげこども園	0	-	-
	まごころ保育園たいない	0	-	-

【開志国際高校スクールバスの状況】

	日	月	火	水	木	金	土
朝便	-	6:42	6:42	6:42	6:42	6:42	6:42
	-	7:10	7:10	7:10	7:10	7:10	7:10
	-	7:40	7:40	7:40	7:40	7:40	7:40
	-	8:08	8:08	8:08	8:08	8:08	8:08
午後・夕便	-	-	-	-	-	-	13:25
	-	17:35	17:35	17:35	17:35	17:35	-
	-	18:35	18:35	18:35	18:35	18:35	-
	-	19:35	19:35	19:35	19:35	19:35	-
	-	20:25	20:25	20:25	20:25	20:25	-

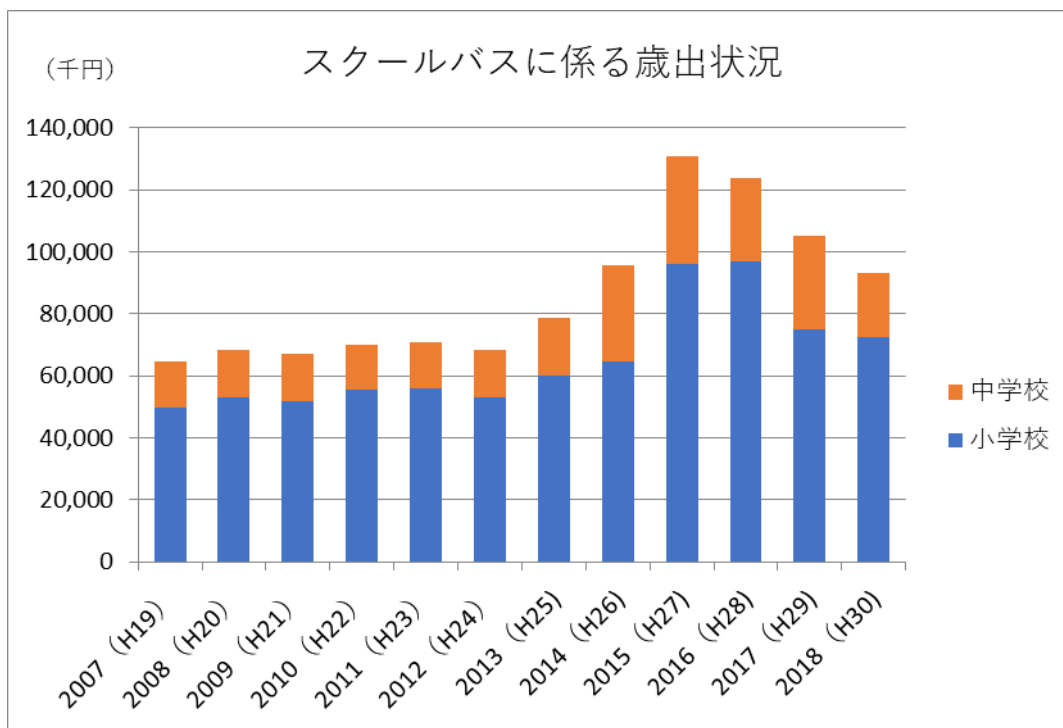
・朝便は中条駅発の時刻、午後・夕便は開志国際高校発の時刻

経営状況

- ・ 2015 年度からの委託料の増加については、貸切バスの料金制度改定があったためです。

【スクールバスの経営状況】

スクールバスに係る歳出状況		(単位：千円)	
年度	総計	小学校	中学校
2007 (H19)	64,685	49,637	15,048
2008 (H20)	68,494	53,083	15,411
2009 (H21)	66,984	51,888	15,096
2010 (H22)	70,086	55,457	14,629
2011 (H23)	70,725	55,897	14,828
2012 (H24)	68,402	52,995	15,407
2013 (H25)	78,507	60,028	18,479
2014 (H26)	95,575	64,439	31,136
2015 (H27)	130,888	95,957	34,931
2016 (H28)	123,720	96,915	26,805
2017 (H29)	105,254	75,079	30,175
2018 (H30)	92,986	72,537	20,449



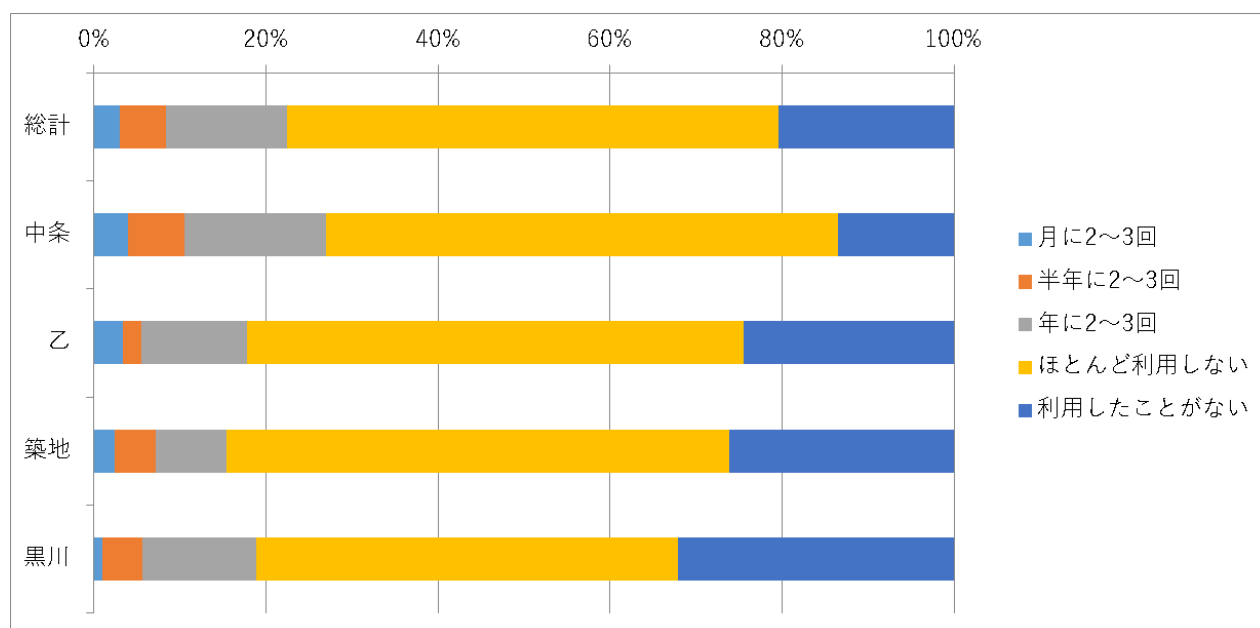
1-8-4 民間タクシー

- ・市内では民間タクシー会社 2 社が営業しており、その 2 社で構成される胎内市ハイヤー・タクシー協会がデマンドタクシー「のれんす号」の運行を受託しています。
- ・77.4%の人がタクシーをほとんど利用しない、利用したことがないと回答しています。
- ・地区別にみると、中条地区に住んでいる人の利用割合が高くなっています。
- ・年代別にみると、40～50 代の利用割合が高くなっています。

【地区別・タクシーの利用状況】

	総計	月に2～3回	半年に2～3回	年に2～3回	ほとんど利用しない	利用したことがない
総計	584 100.0%	18 3.1%	31 5.3%	82 14.0%	334 57.1%	119 20.3%
中条	304 100.0%	12 3.9%	20 6.6%	50 16.4%	181 59.5%	41 13.5%
地区						
乙	90 100.0%	3 3.3%	2 2.2%	11 12.2%	52 57.8%	22 24.4%
築地	84 100.0%	2 2.4%	4 4.8%	7 8.3%	49 58.3%	22 26.2%
黒川	106 100.0%	1 0.9%	5 4.7%	14 13.2%	52 49.1%	34 32.1%

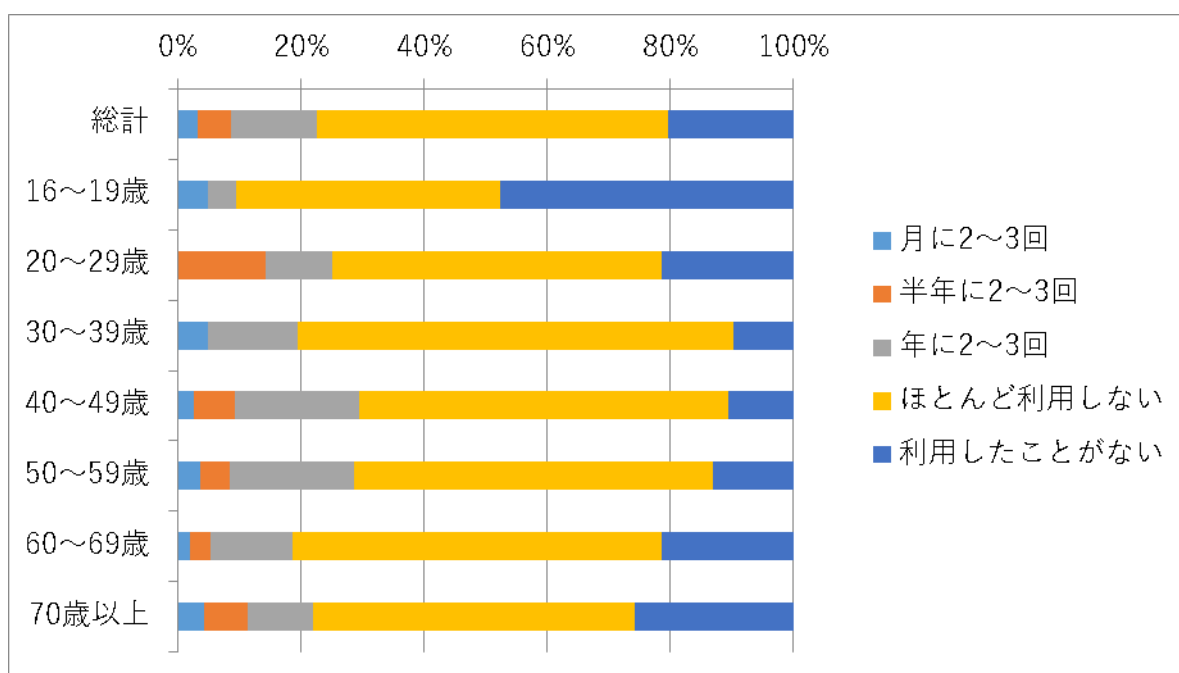
(資料：2016のれんす号利用アンケート調査)



【年代別・タクシーの利用状況】

	総計	月に2～3回	半年に2～3回	年に2～3回	ほとんど利用しない	利用したことがない
総計	585 100.0%	19 3.2%	31 5.3%	82 14.0%	334 57.1%	119 20.3%
16～19歳	21 100.0%	1 4.8%	0 0.0%	1 4.8%	9 42.9%	10 47.6%
20～29歳	28 100.0%	0 0.0%	4 14.3%	3 10.7%	15 53.6%	6 21.4%
30～39歳	41 100.0%	2 4.9%	0 0.0%	6 14.6%	29 70.7%	4 9.8%
40～49歳	75 100.0%	2 2.7%	5 6.7%	15 20.0%	45 60.0%	8 10.7%
50～59歳	84 100.0%	3 3.6%	4 4.8%	17 20.2%	49 58.3%	11 13.1%
60～69歳	150 100.0%	3 2.0%	5 3.3%	20 13.3%	90 60.0%	32 21.3%
70歳以上	186 100.0%	8 4.3%	13 7.0%	20 10.8%	97 52.2%	48 25.8%

(資料：のれんす号利用アンケート調査)



1-9 住民・利用者等の意向

1-9-1 住民・利用者等の意向

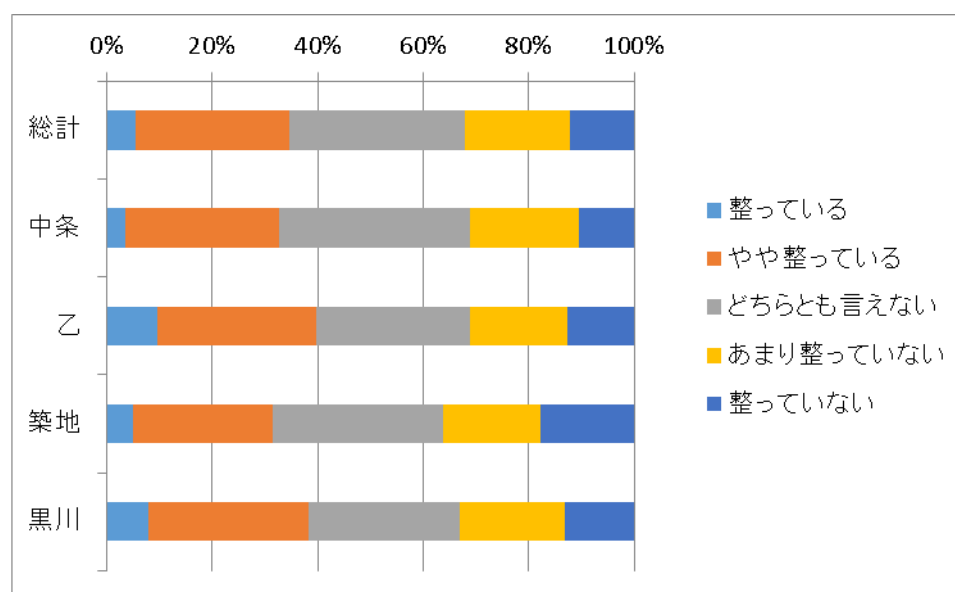
- ・4割程度の方が、胎内市は高齢者になっても安心して暮らし続けることができる環境が「あまり整っていない」、「整っていない」と回答しています。年代別では、40代が最も高く42%、60代が22.6%と最も低くなっています。
- ・安心して暮らし続けるために今後必要な取組の分野については、「通院や買い物等の外出支援」を選択する人が最も多くいました。

【地区別・環境整備状況】

胎内市は高齢者になっても安心して暮らし続けることができる環境が整っていると思うか

	総計	整っている	やや整っている	どちらとも言えない	あまり整っていない	整っていない
総計	668	36	195	222	133	82
	100.0%	5.4%	29.2%	33.2%	19.9%	12.3%
中条	348	12	102	126	72	36
	100.0%	3.4%	29.3%	36.2%	20.7%	10.3%
地区 乙	103	10	31	30	19	13
	100.0%	9.7%	30.1%	29.1%	18.4%	12.6%
築地	102	5	27	33	19	18
	100.0%	4.9%	26.5%	32.4%	18.6%	17.6%
黒川	115	9	35	33	23	15
	100.0%	7.8%	30.4%	28.7%	20.0%	13.0%

(資料：2015総合計画策定時アンケート調査)

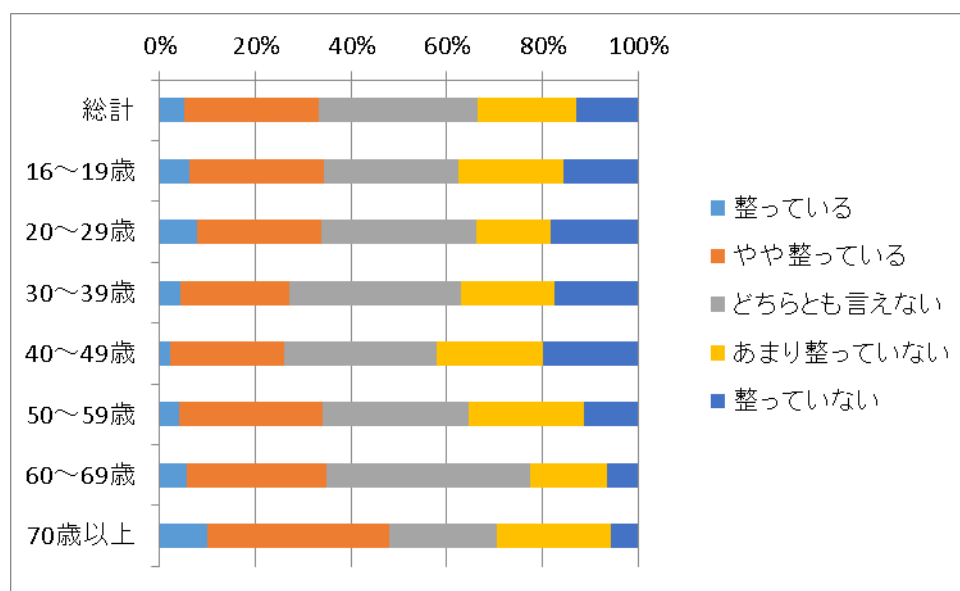


【年代別・環境整備状況】

胎内市は高齢者になっても安心して暮らし続けることができる環境が整っていると思うか

	総計	整っている	やや整っている	どちらとも言えない	あまり整っていない	整っていない
総計	729	38	204	243	149	95
	100.0%	5.2%	28.0%	33.3%	20.4%	13.0%
16～19歳	32	2	9	9	7	5
	100.0%	6.3%	28.1%	28.1%	21.9%	15.6%
20～29歳	77	6	20	25	12	14
	100.0%	7.8%	26.0%	32.5%	15.6%	18.2%
30～39歳	92	4	21	33	18	16
	100.0%	4.3%	22.8%	35.9%	19.6%	17.4%
40～49歳	135	3	32	43	30	27
	100.0%	2.2%	23.7%	31.9%	22.2%	20.0%
50～59歳	167	7	50	51	40	19
	100.0%	4.2%	29.9%	30.5%	24.0%	11.4%
60～69歳	155	9	45	66	25	10
	100.0%	5.8%	29.0%	42.6%	16.1%	6.5%
70歳以上	71	7	27	16	17	4
	100.0%	9.9%	38.0%	22.5%	23.9%	5.6%

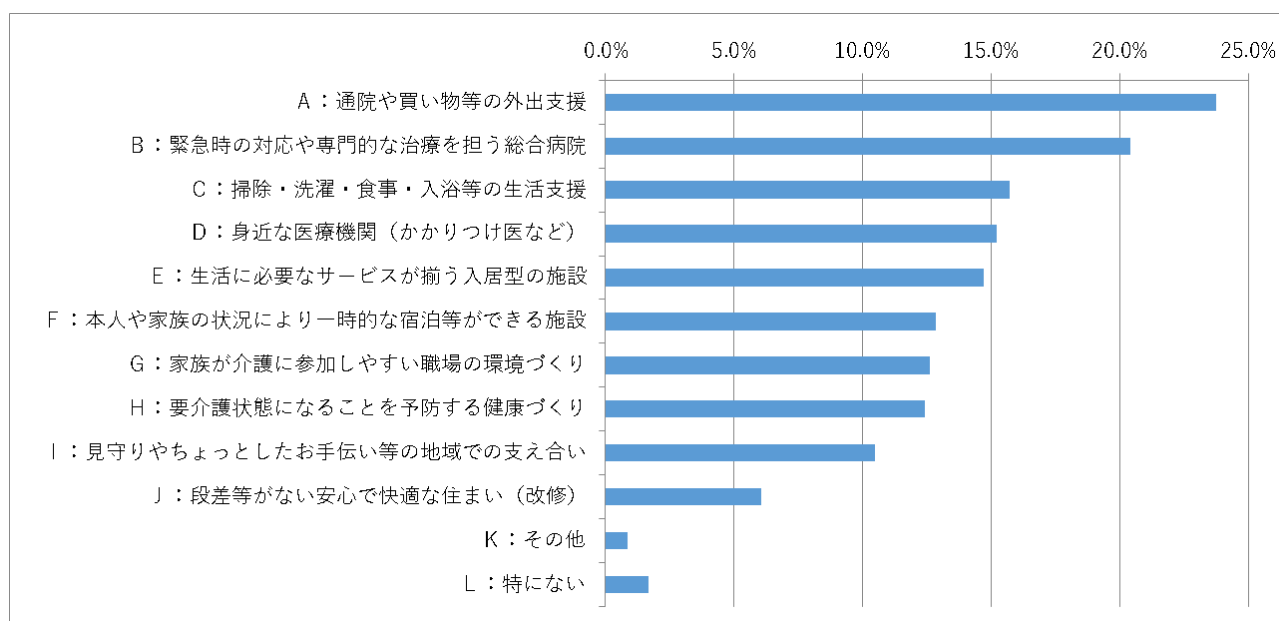
(資料：2015総合計画策定時アンケート調査)



【地区別・今後取組が必要な分野】

	総計	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
総計	966	283	243	187	181	175	153	150	148	125	72	10	20
	100.0%	29.3%	25.2%	19.4%	18.7%	18.1%	15.8%	15.5%	15.3%	12.9%	7.5%	1.0%	2.1%
中条	513	142	134	109	90	84	70	76	82	69	38	3	12
	100.0%	27.7%	26.1%	21.2%	17.5%	16.4%	13.6%	14.8%	16.0%	13.5%	7.4%	0.6%	2.3%
地区	160	46	42	28	33	31	26	24	20	14	11	2	2
乙	100.0%	28.8%	26.3%	17.5%	20.6%	19.4%	16.3%	15.0%	12.5%	8.8%	6.9%	1.3%	1.3%
築地	138	42	35	26	25	33	29	21	19	19	10	1	4
	100.0%	30.4%	25.4%	18.8%	18.1%	23.9%	21.0%	15.2%	13.8%	13.8%	7.2%	0.7%	2.9%
黒川	155	53	32	24	33	27	28	29	27	23	13	4	2
	100.0%	34.2%	20.6%	15.5%	21.3%	17.4%	18.1%	18.7%	17.4%	14.8%	8.4%	2.6%	1.3%

(資料：2015総合計画策定時アンケート調査)



2-1 のれんす号アンケート

- 1 調査対象：市民1,200人
- 2 調査方法：無作為に抽出した16歳以上の市民にアンケート調査票を郵送し、期限までに投函してもらう。
- 3 調査期間：2017年3月15日から2017年3月30日
- 4 有効回答数：638（回答率53.2%）
- 5 回答者の属性：

各項目のnは無回答を除く。

<年齢 n=638>

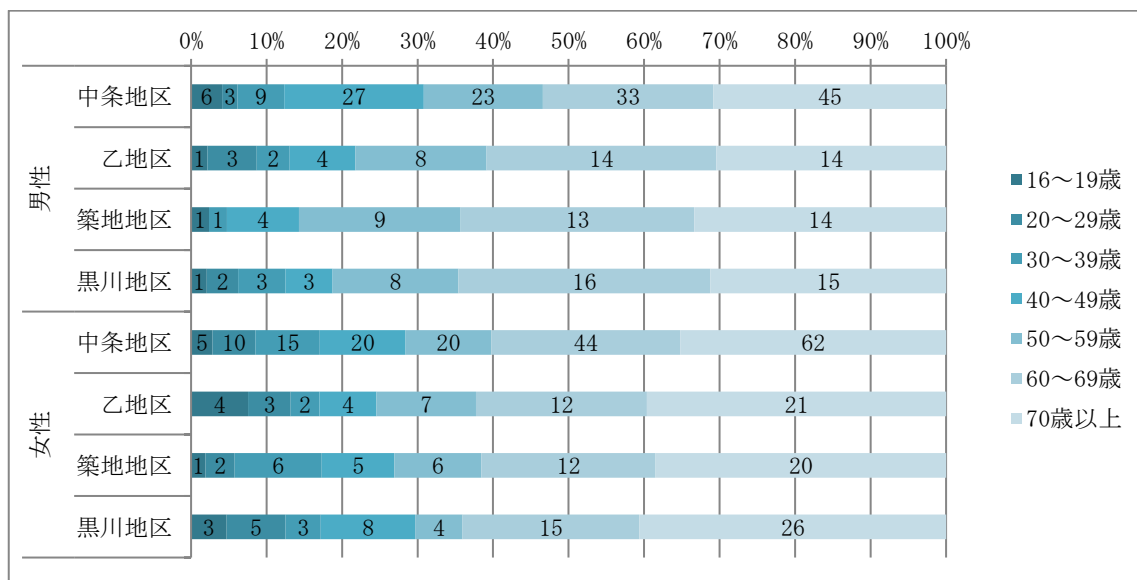
年代	計
10代	22
20代	29
30代	42
40代	76
50代	86
60代	161
70代以上	222

<性別 n=628>

性別	計
男性	282
女性	346
無回答	10

<居住地域 n=638>

地区	計
中条地区	327
乙地区	100
築地地区	94
黒川地区	116
その他	1



<職業 n=633>

職業	計
会社員・団体職員	163
公務員・教員	25
派遣・嘱託・契約社員	14
パート・アルバイト	61
農林漁業	31
自営業（農林漁業を除く）	32
家事専業	90
学生	23
無職	194
無回答	5

<運転免許証 n=630>

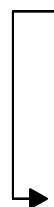
保有の有無	計
保有している	543
保有していない	71
保有していたが返納した	16
無回答	8

<居住形態 n=636>

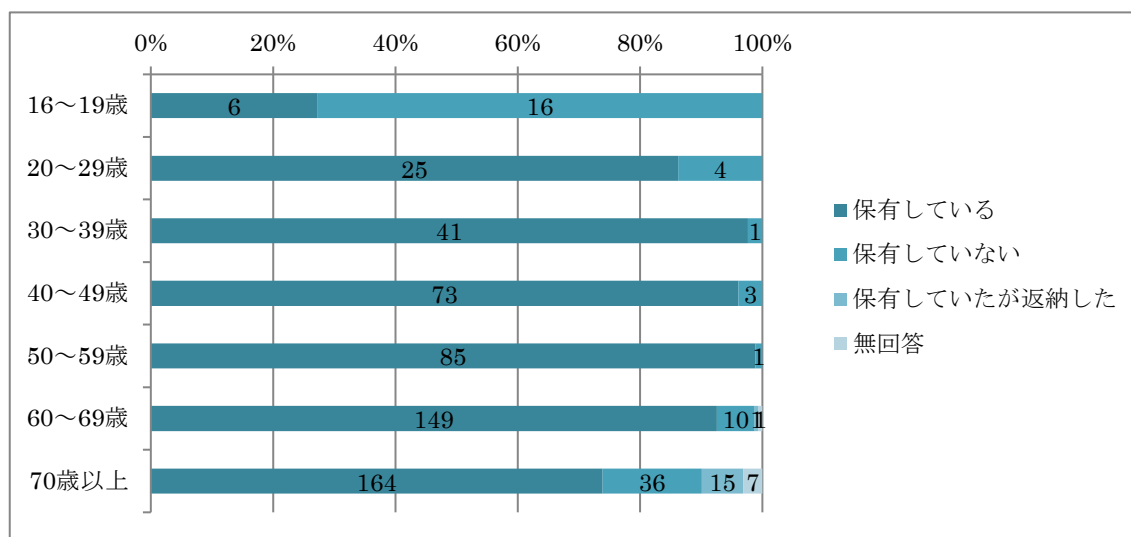
居住形態	計
持ち家（家族所有含む）	600
民間借家・アパート	21
公営住宅	12
社宅等	3
無回答	2

<家族構成 n=634>

家族構成	計
単身	52
夫婦のみ	151
二世帯同居（親と子供）	268
三世帯同居（親と子供と孫）	152
その他	11
無回答	4



四世代同居	2
兄弟姉妹	3
二世帯同居	3



< 普段の移動手段 n=638 >

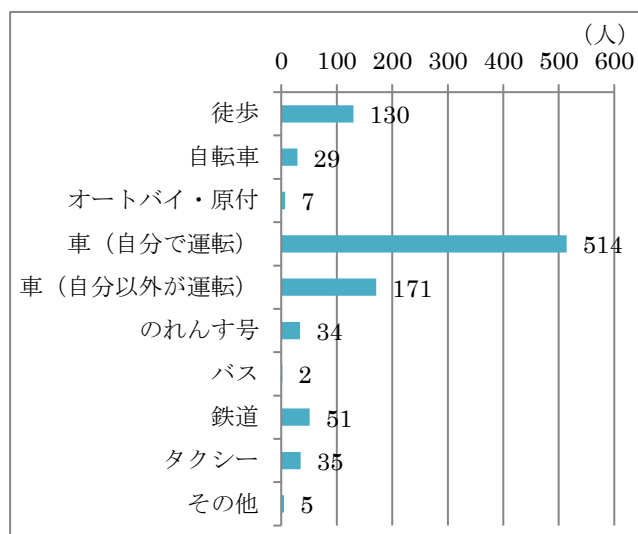
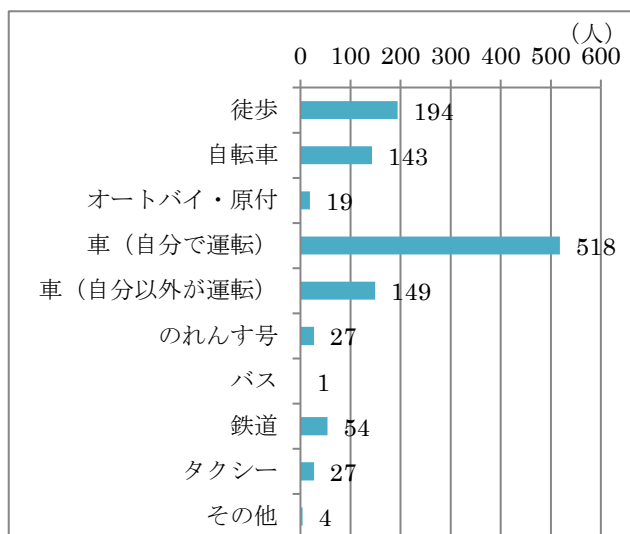
普段の移動手段	計	割合
徒歩	194	30.4%
自転車	143	22.4%
オートバイ・原付	19	3.0%
車（自分で運転）	518	81.2%
車（自分以外が運転）	149	23.4%
のれんす号	27	4.2%
バス	1	0.2%
鉄道	54	8.5%
タクシー	27	4.2%
その他	4	0.6%

外出支援	1
有料福祉バス	1
入院中	1

< 天候不良時の移動手段 n=638 >

天候不良時の移動手段	計	割合
徒歩	130	20.4%
自転車	29	4.5%
オートバイ・原付	7	1.1%
車（自分で運転）	514	80.6%
車（自分以外が運転）	171	26.8%
のれんす号	34	5.3%
バス	2	0.3%
鉄道	51	8.0%
タクシー	35	5.5%
その他	5	0.8%

家から出ない・日を改める	2
外出支援	1
有料福祉バス	1
入院中	1



移動手段の増減率	普段	天候不良時	増減率
徒歩	194	130	▲ 33.0 %
自転車	143	29	▲ 79.7 %
オートバイ・原付	19	7	▲ 63.2 %
車（自分で運転）	518	514	▲ 0.8 %
車（自分以外が運転）	149	171	▲ 14.8 %
のれんす号	27	34	▲ 25.9 %
バス	1	2	▲ 100.0 %
鉄道	54	51	▲ 5.6 %
タクシー	27	35	▲ 29.6 %
その他	4	4	▲ 0.0 %

調査結果

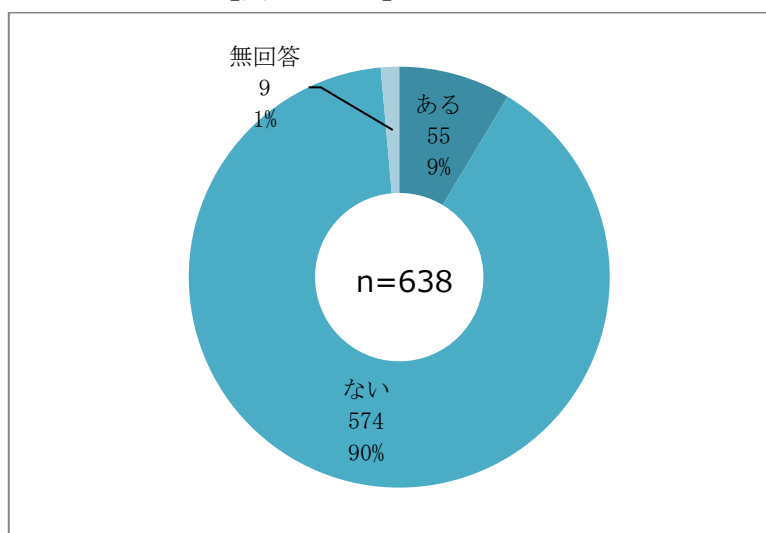
1 予約制乗り合い自動車「のれんす号」の利用状況等

- ◆ 予約制乗り合い自動車「のれんす号」を利用したことがある人は 55 人で今回のアンケート調査回答者の 8.6%

のれんす号を利用したことがあると回答した人は、55 人（8.6%）でした。なお、実際の実利用者数は、平成 28 年度において年間で 1,739 人（5.8%※）でした。（※平成 29 年 3 月末人口で割返し）

年代別では自動車運転免許証を保有していない人の割合が多い 10 代及び免許証を保有していない又は返納した人の割合が多い 70 歳以上の利用が多い状況です。居住地区による利用の状況は、乙地区に居住している人の利用が 13%、黒川地区に居住している人の利用が 10%となっています。また、家族構成別では、単身者の利用が 17%と他の区分よりも多い状況です。

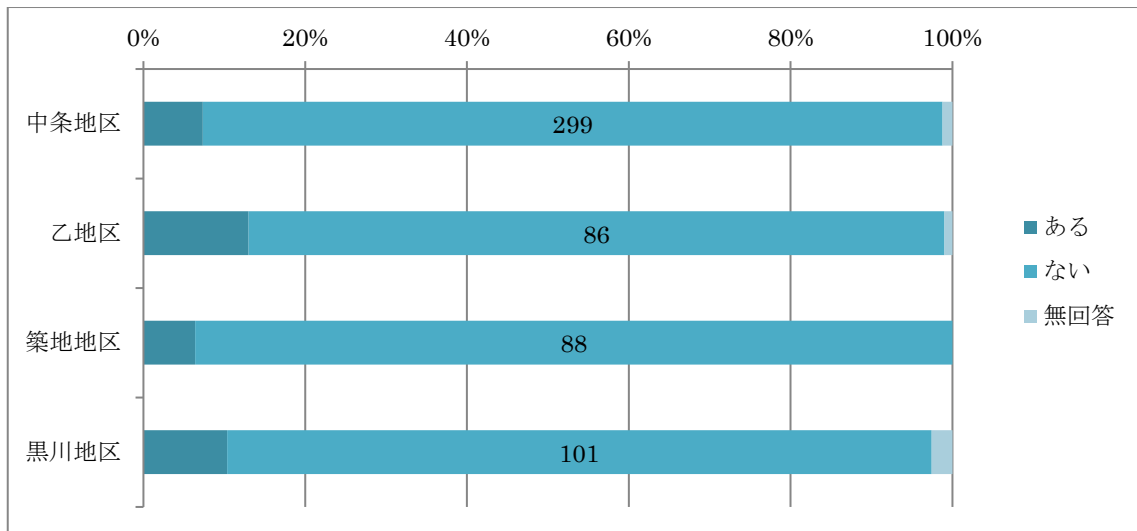
【図表 1 - 1】利用者の割合



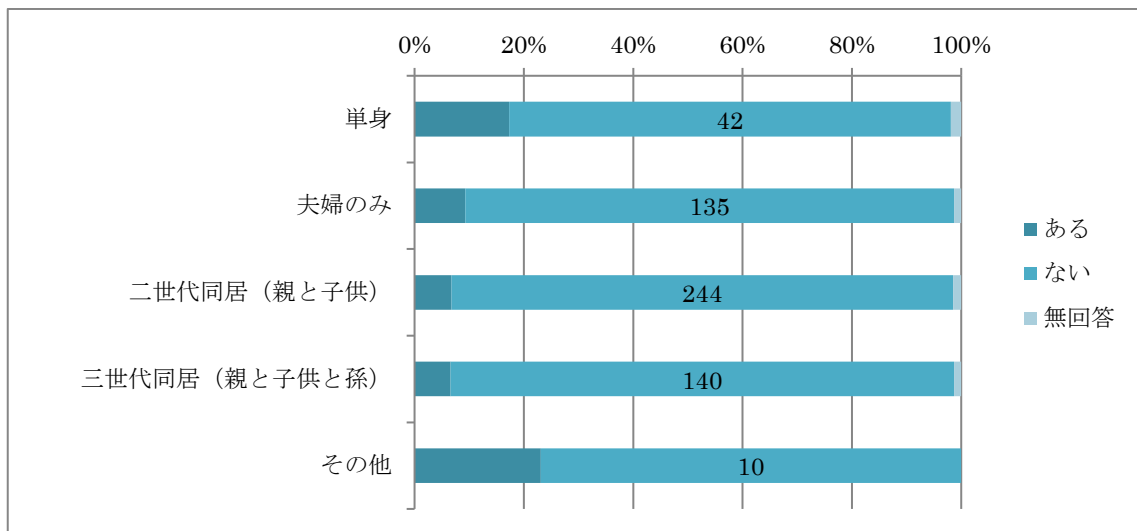
【図表 1 - 2】年代別利用者の割合



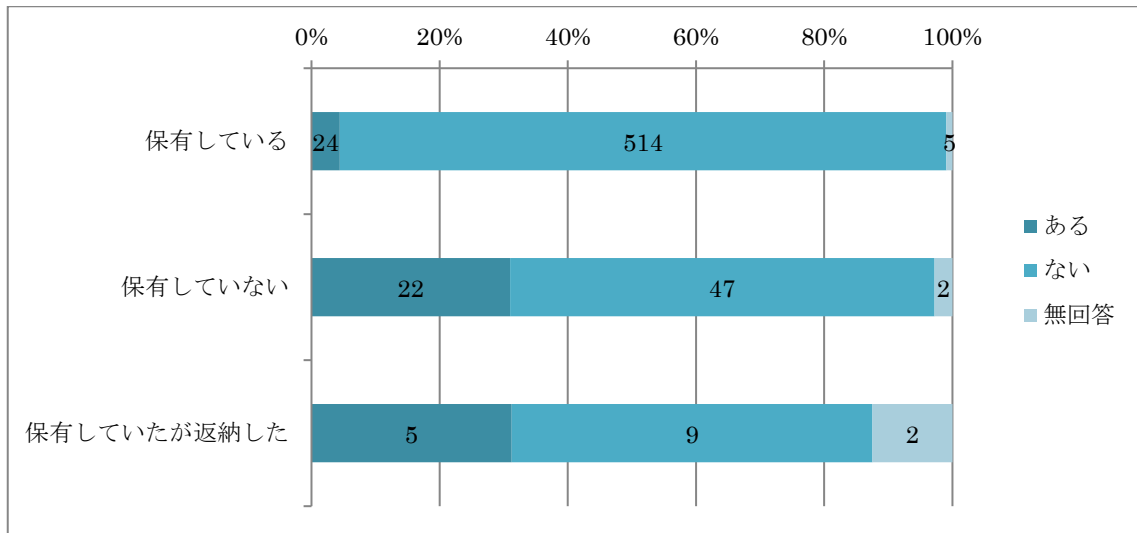
【図表 1 - 3】居住地区別別利用者の割合



【図表 1 - 4】家族構成別利用者の割合



【図表 1 - 5】免許保有状況別利用者の割合



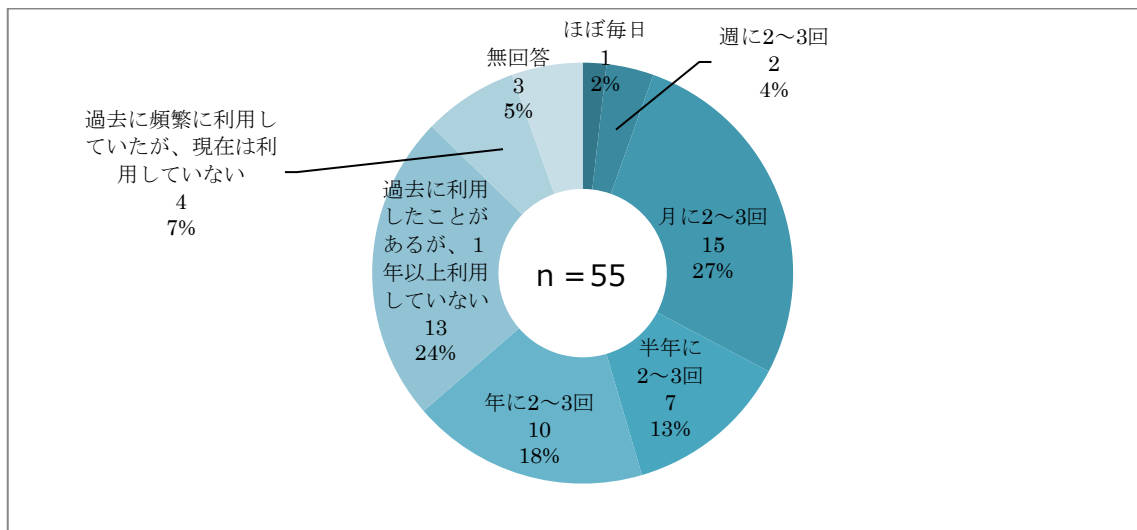
◆ のれんす号を利用したことがある人の利用頻度で最も多いものは、「月2～3回」の利用

最も多い利用区分は、「月に2～3回利用する」で15人（27%）、「過去に利用したことがあるが、1年以上利用していない」で13人（24%）、「年に2～3回利用する」が10人（18%）、「半年に2～3回利用する」が7人（13%）となっています。

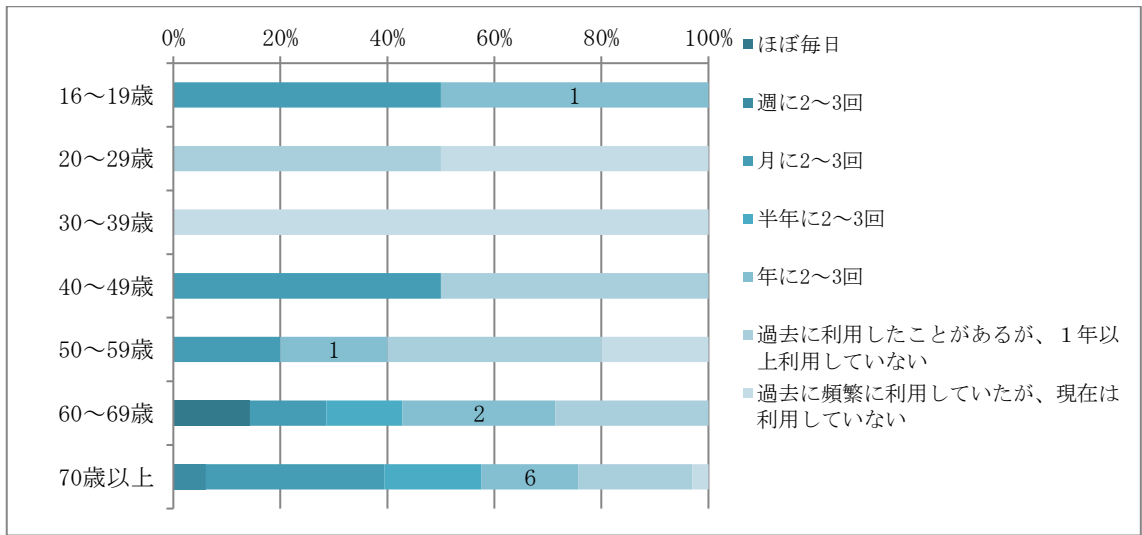
そして、「ほぼ毎日利用する」が2%、「週に2～3回利用する」が4%と、ヘビーユーザーも少なからずいました。

なお、今回の調査において、ほぼ毎日利用する人は、60代で利用目的は、「親族や知人の所に行くため」となっています。また、週に2～3回利用する人は、70歳以上で利用目的は、「通院」や「買い物」となっています。

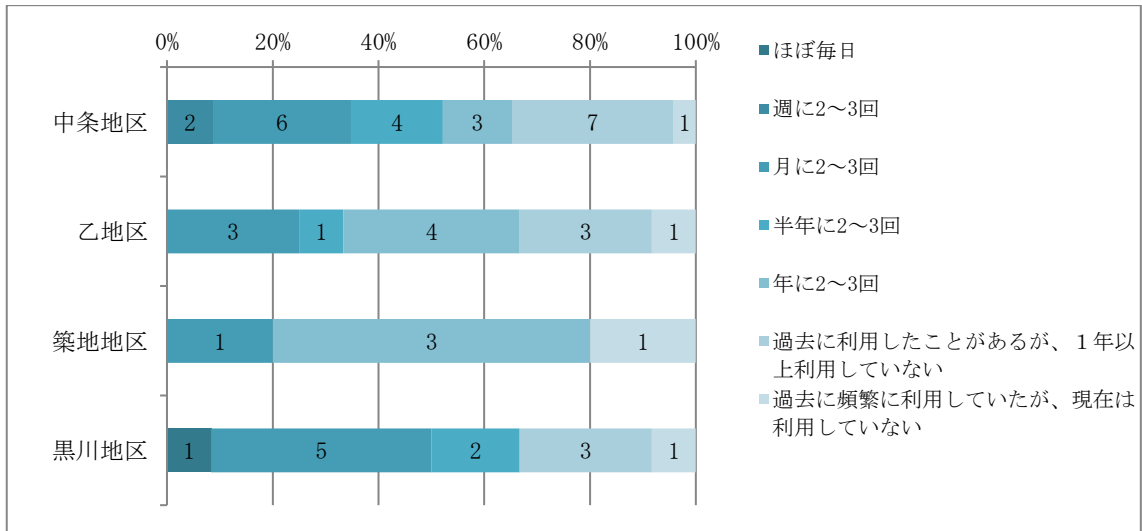
【図表1-6】利用者の利用頻度



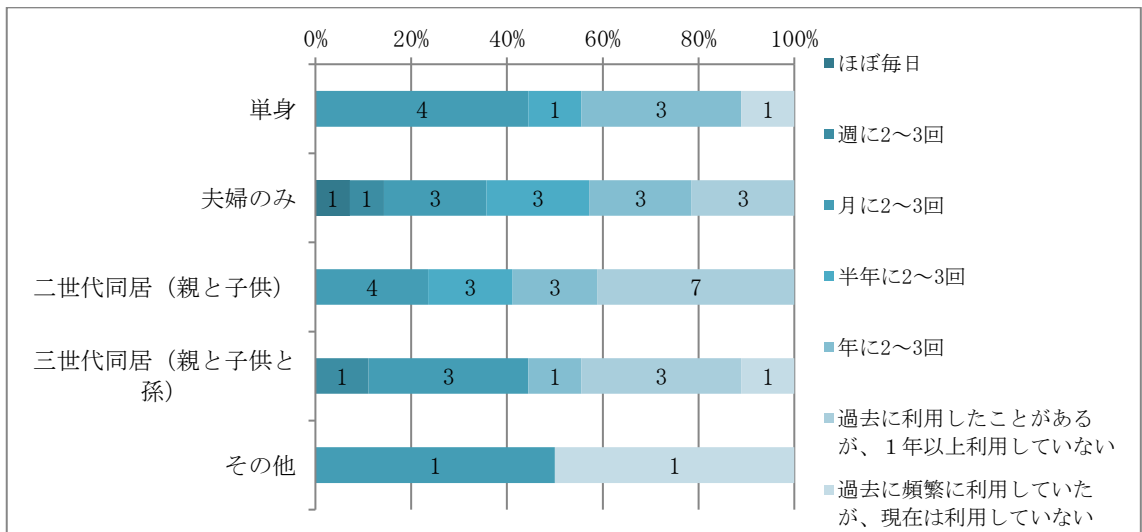
【図表1-7】年代別利用者の利用頻度



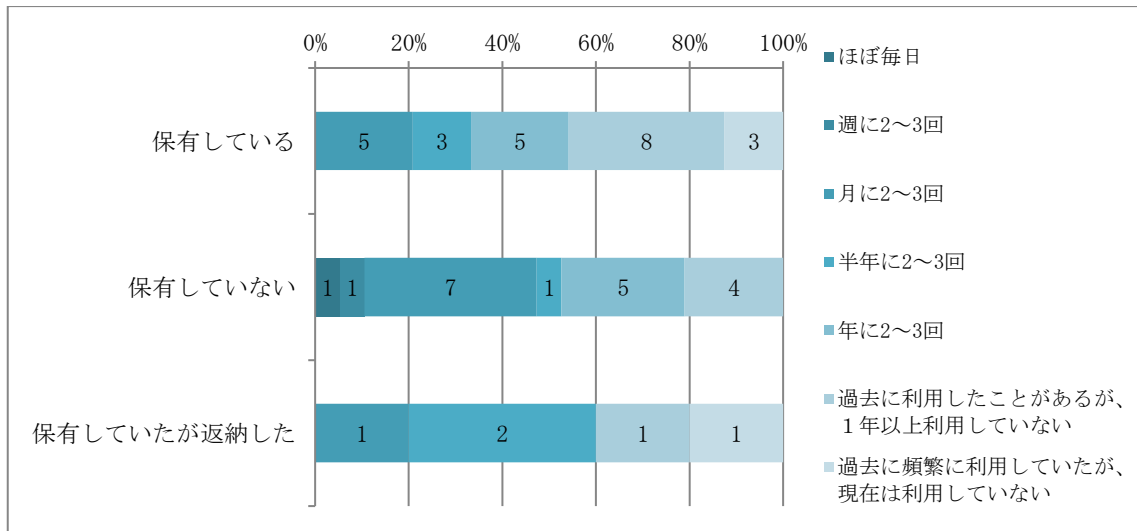
【図表1-8】居住地区別利用者の利用頻度



【図表1-9】家族構成別利用者の利用頻度



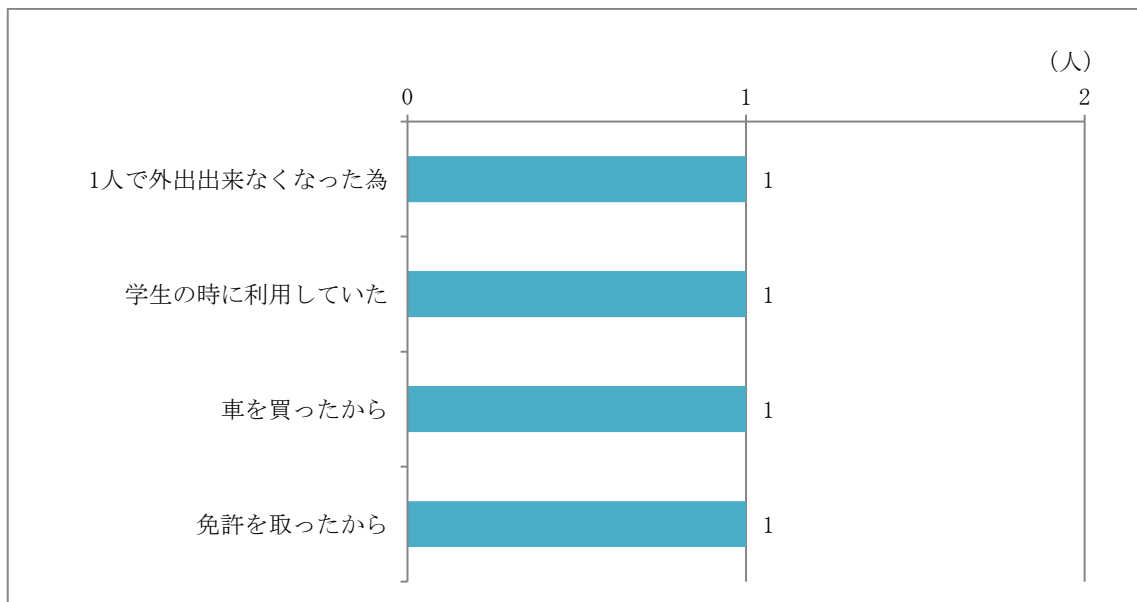
【図表1-10】免許保有状況別利用者の利用頻度



◆ 身体的理由のほか免許取得により移動手段を手に入れたことが利用しなくなった要因

「過去に利用したことがあるが、1年以上利用していない」又は「過去に頻繁に利用していたが、現在は利用していない」人の利用していない理由は、「一人で外出ができなくなった」という身体的理由と、「自動車を購入した」、「学生の時に利用をしていた」など、若年層が移動手段を手に入れたことによるものがみられます。

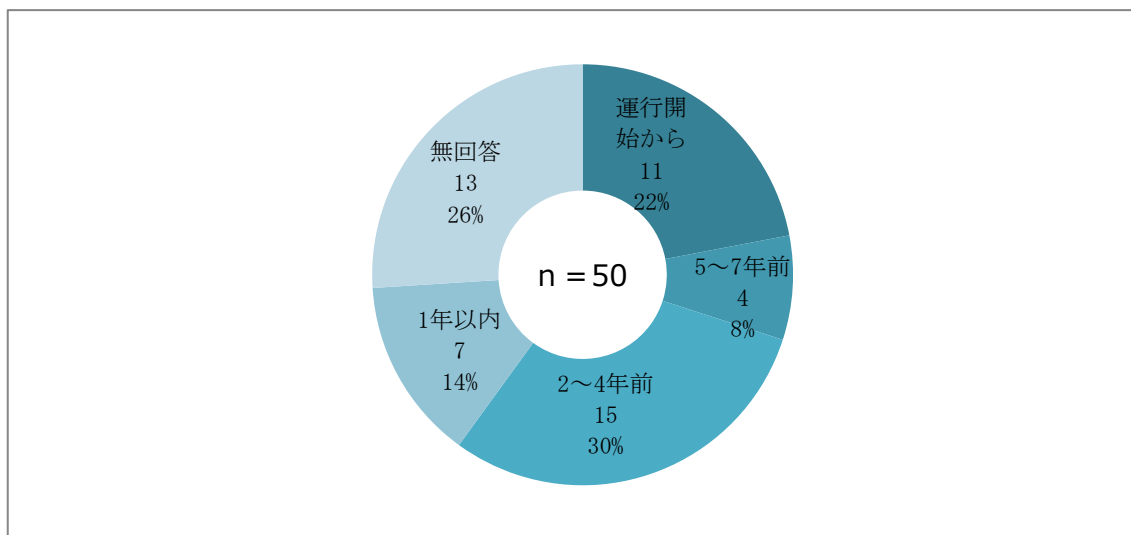
【図表1-11】主な理由



◆ 2～4年前に利用を開始した人が最も多い

のれんす号の運行を開始した「平成 21 年度から利用している」は、11 人（22%）、「4 年前以内に利用を開始した」は 15 人（34%）いました。なお、無回答が 13 人（26%）いますが、特段利用開始年月を意識していないために、不明であったことから回答できなかったものと思料されます。

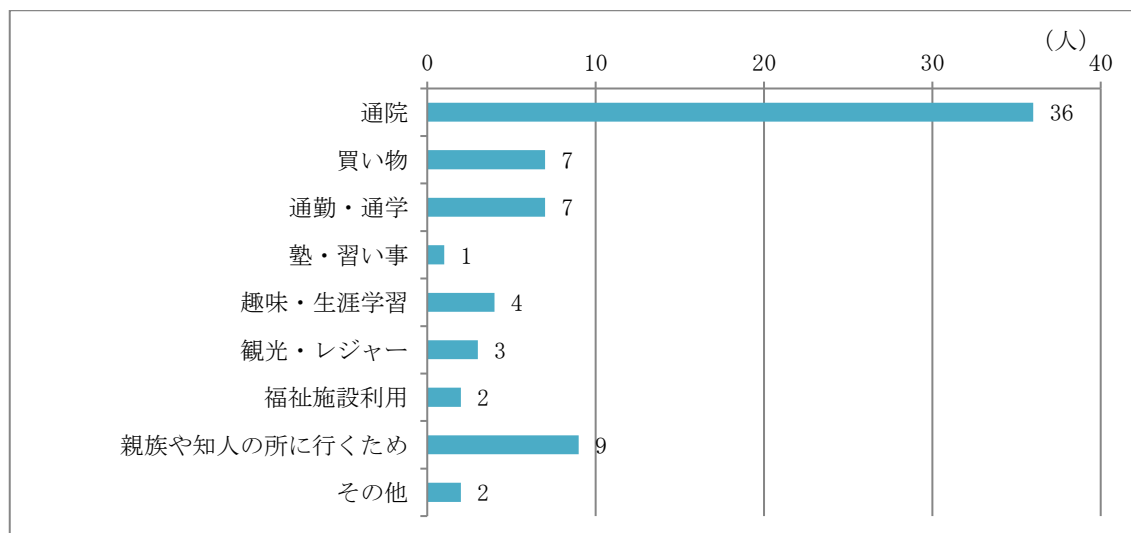
【図表 1 - 12】 利用開始年



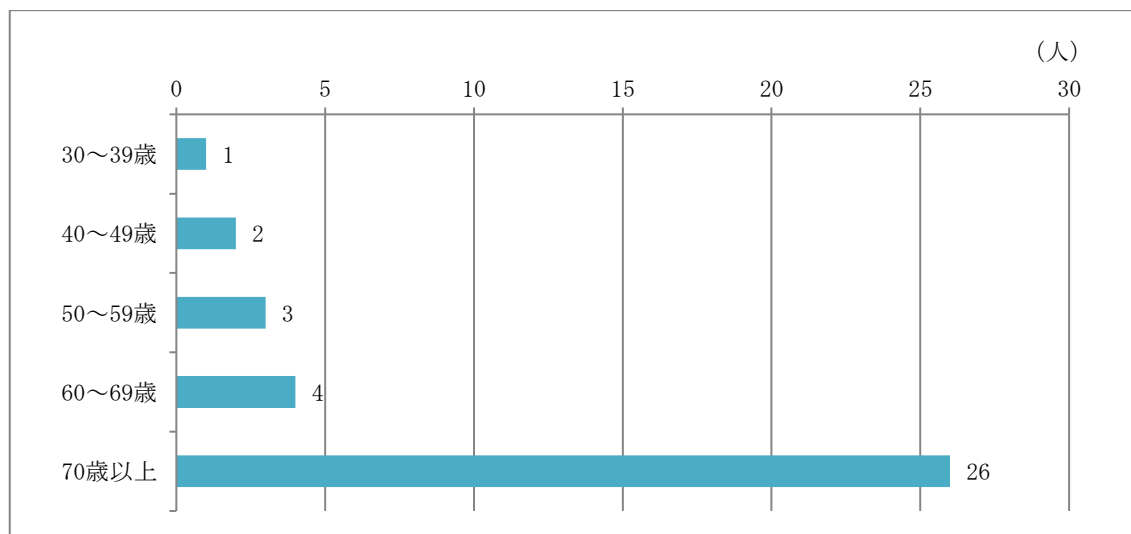
◆ 主な利用目的は通院

利用者 55 人のうち、36 人（65.5%）が「通院」にのれんす号を利用しています。特に 70 歳以上の通院での利用が多くなっています。それ以外の利用目的としては「親族や知人の所に行くため」が 16.4%、「買い物」、「通勤・通学」が 12.7%となっています。

【図表 1 - 13】 利用目的



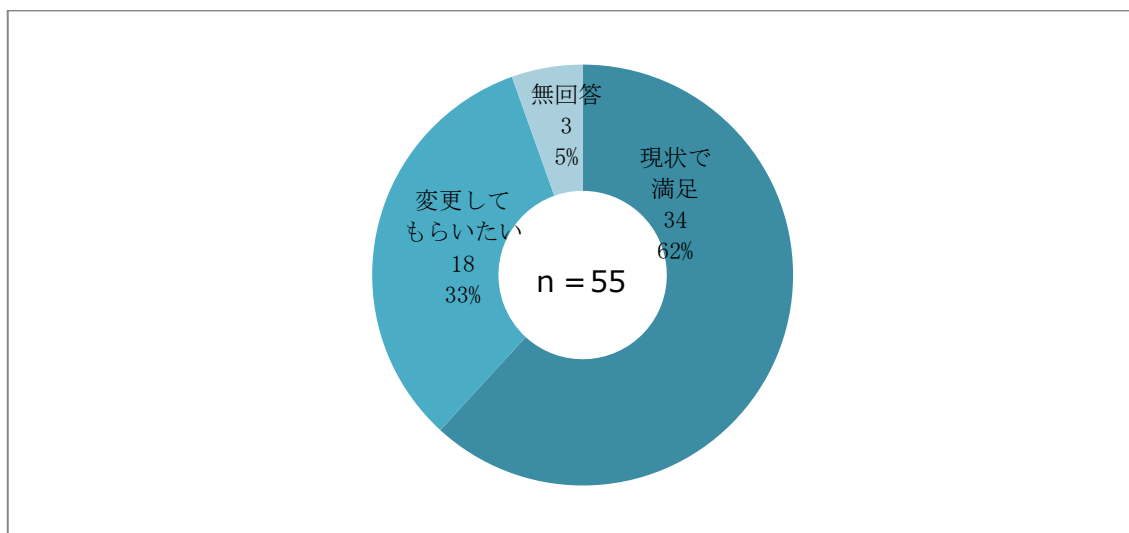
【図表 1 - 14】 利用目的（通院）



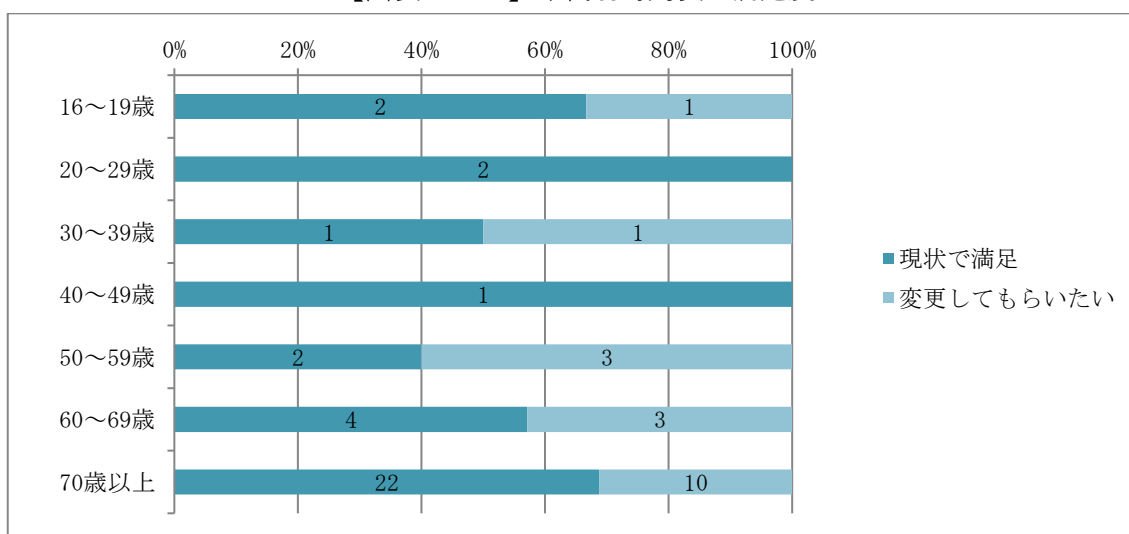
◆ 時刻表に対して現状で満足している人は60%超

のれんす号の時刻表に対して現状で満足している人が62%いる一方で、3人に1人は何らかの変更要望をもっています。

【図表1-15】時刻表の満足度



【図表1-16】年代別時刻表の満足度



◆ 時刻表に対する主な変更要望は、夕方の便を遅くまで運行してほしい

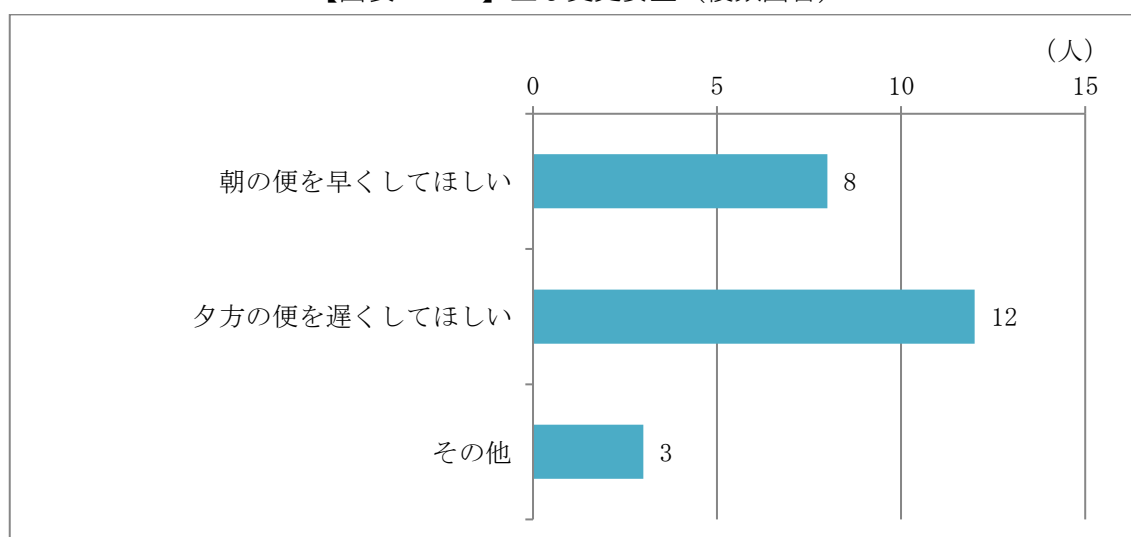
現在、「郊外発中心市街地行」の便を7時から、「中心市街地発郊外行」の便を8時30分から運行していますが、「朝の便を早くしてほしい」という要望が8人（14.5%）からありました。

朝の時間帯としては、「6時」が2人（25%）、「6時半」が1人（12.5%）、「7時」が3人（37.5%）、「8時」が2人（25%）となっています。なお、「7時」と回答した3人のうち2人は郊外にお住まいの人であったことから、発車時刻の周知が更に必要であると考えられます。

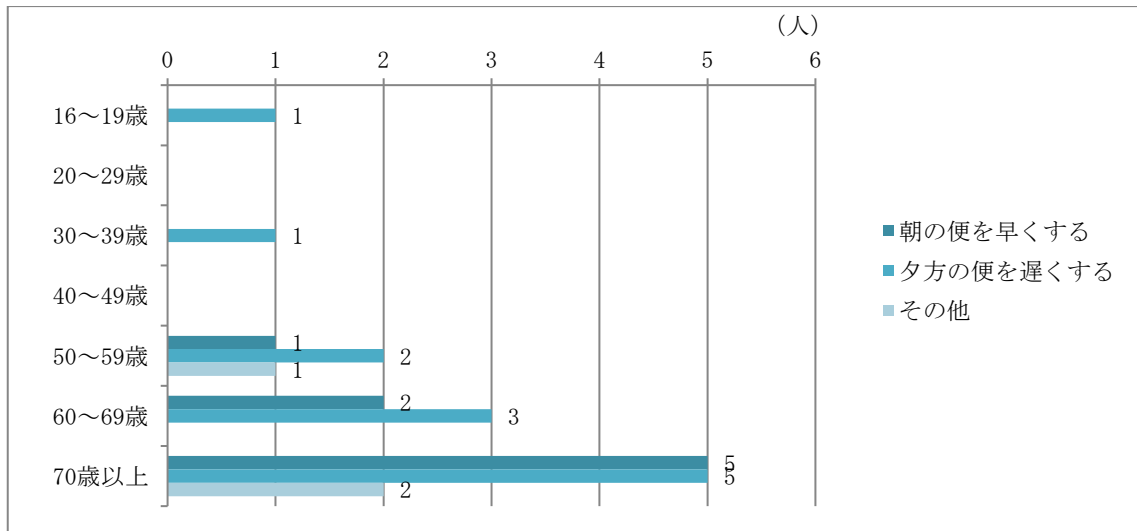
夕方の時間帯としては、「18時」が2人（16.7%）、「18時半」が1人（8.3%）、「19時」が3人（25%）、「20時」が2人（16.7%）となっています。

なお、その他の要望としては、「15分間隔で運行してほしい」、「1時間に1本あったらよい」が1件ずつありました。

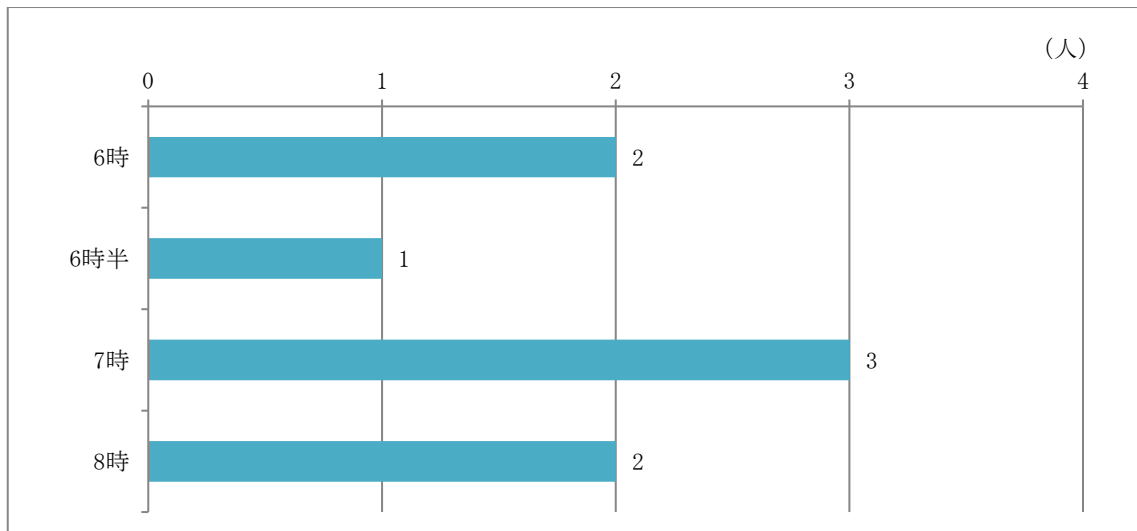
【図表1-17】主な変更要望（複数回答）



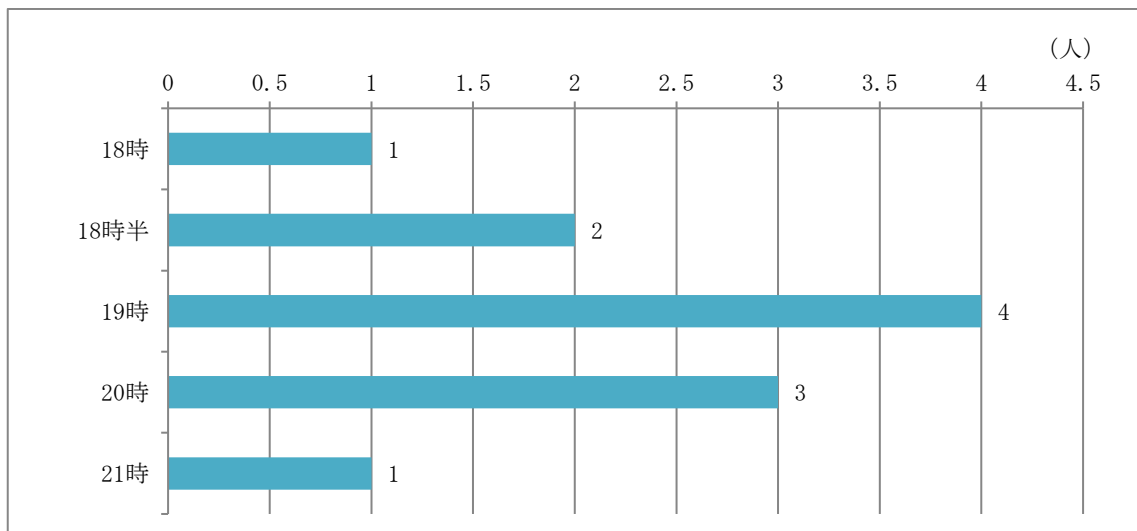
【図表 1 - 18】 年代別の主な変更要望



【図表 1 - 19】 具体的な内容（朝の時刻）



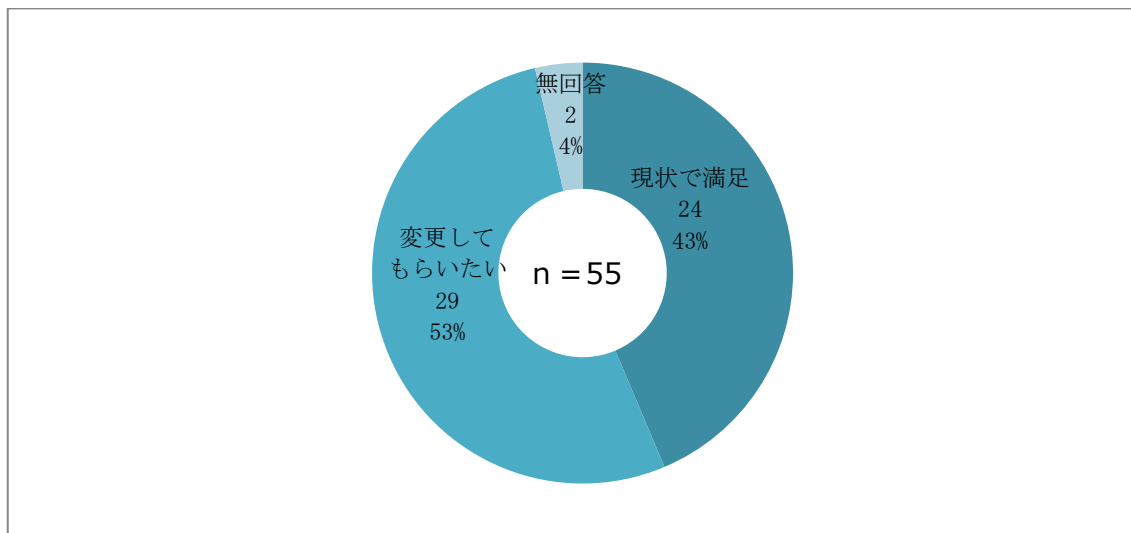
【図表 1 - 20】 具体的な内容（帰りの時刻）



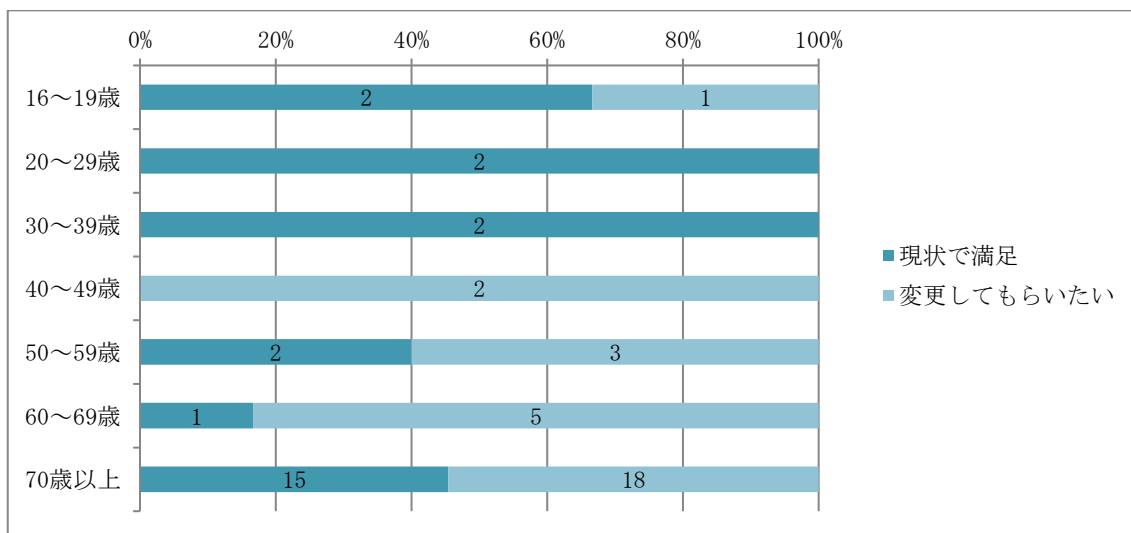
◆利用者の半数超が運行エリアの変更を要望

のれんす号の運行エリアに対して現状で満足している人は 43%で、2人に1人は何らかの変更要望をもっています。

【図表 1 - 21】 運行エリアの満足度



【図表 1 - 22】 年代別運行エリアの満足度



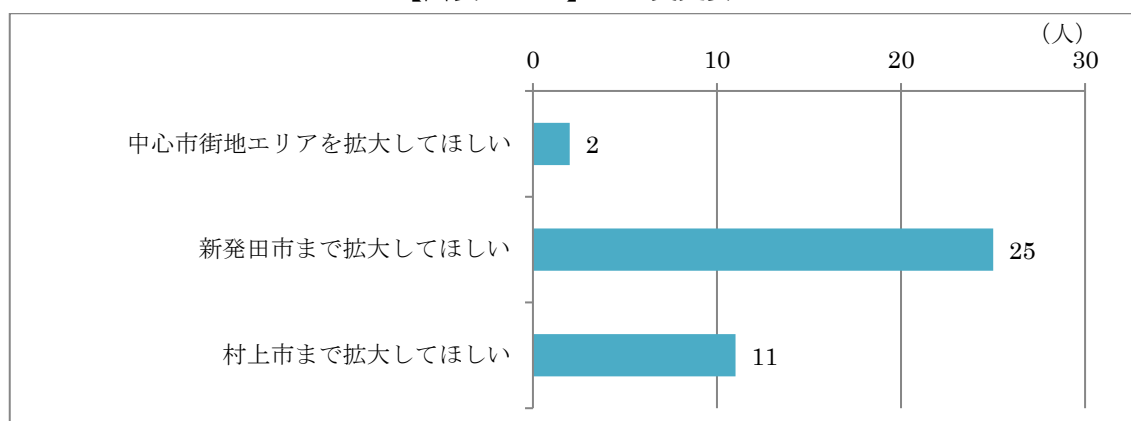
◆ 主な変更要望は、運行エリアを新発田市まで拡大してほしい

現在、奥胎内を除く市内全エリア、新発田市のJR金塚駅と笹川医院、村上市の県立坂町病院、JR坂町駅と佐野医院を運行エリアとしていますが、「新発田市への運行エリアを拡大してほしい」という要望が25人(45.5%)からありました。

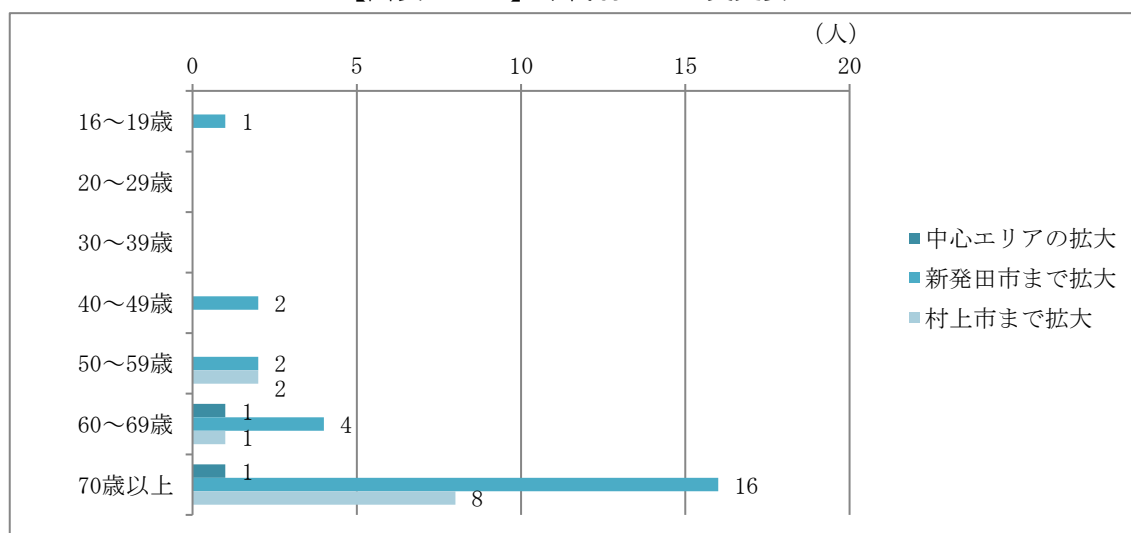
そのほか、「村上市までの拡大要望」が11人(20.0%)、「中心市街地エリアの拡大」が2人(3.6%)となっています。

新発田市エリアで運行要望が出ている箇所は、圧倒的に県立新発田病院が多く13人(52%)となっており、そのほかは、駅(新発田・西新発田)やイオン新発田店となっています。そして、村上市エリアで運行要望が出ている箇所は、村上総合病院の2人(18.2%)、イオン村上店、村上駅等となっています。なお、現在運行エリアになっている佐野医院を要望箇所として記入した人がいることから、市外の運行エリアについても更なる周知が必要であると考えられます。

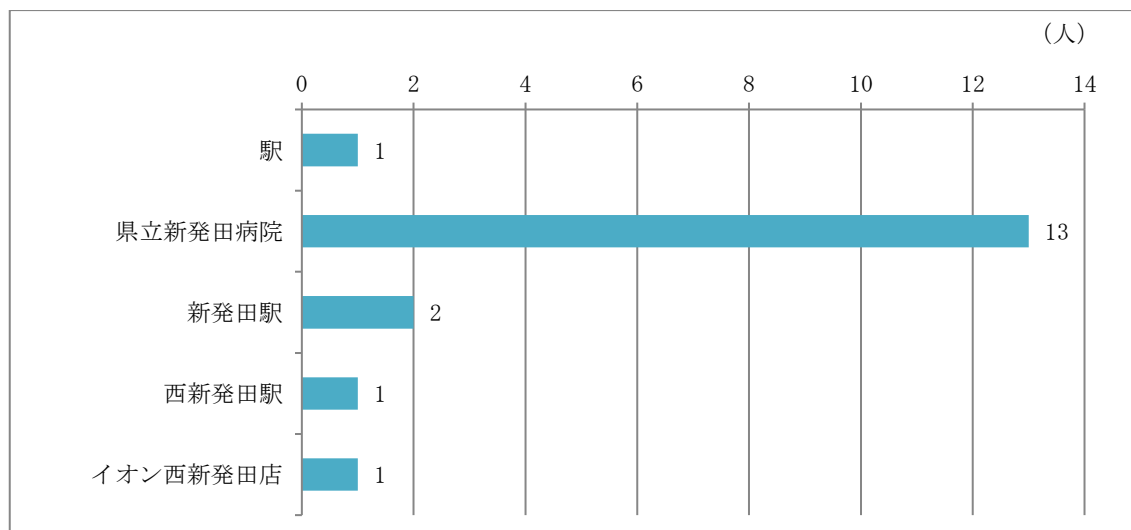
【図表1-23】主な変更要望



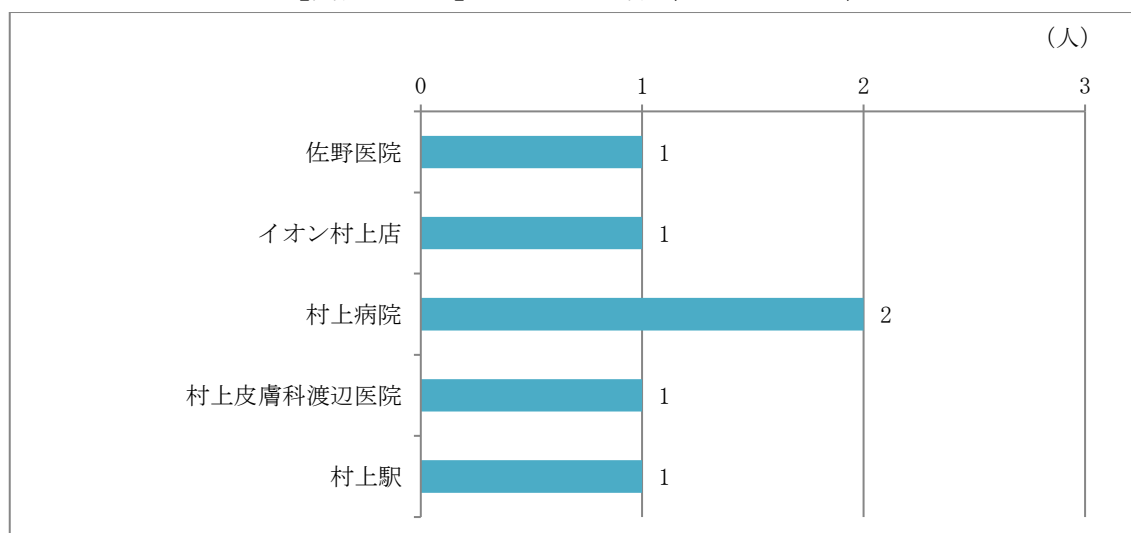
【図表1-24】年代別の主な変更要望



【図表 1 - 25】 具体的な内容 (新発田市エリア)



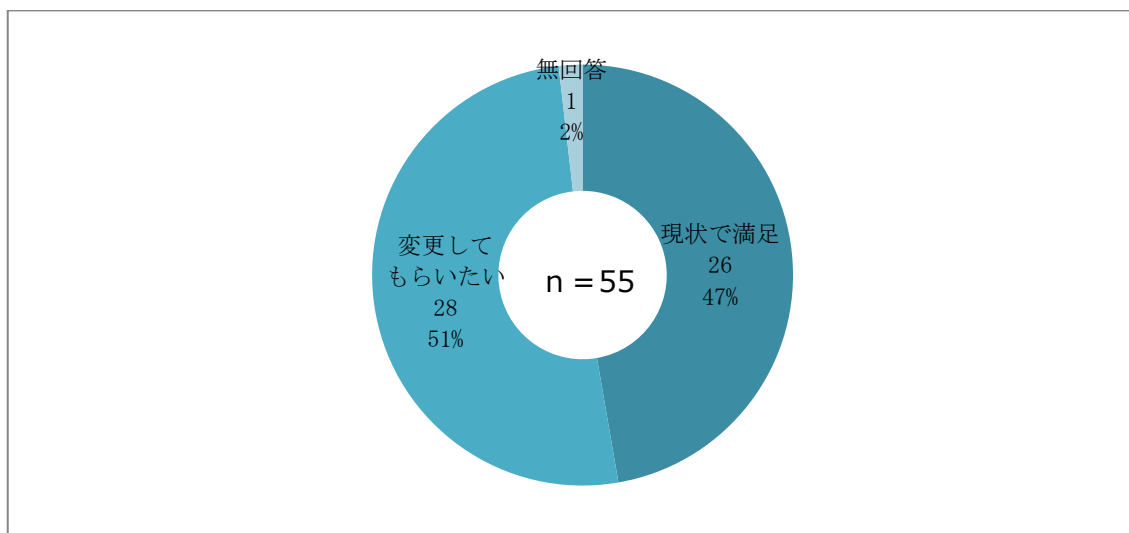
【図表 1 - 26】 具体的な内容 (村上市エリア)



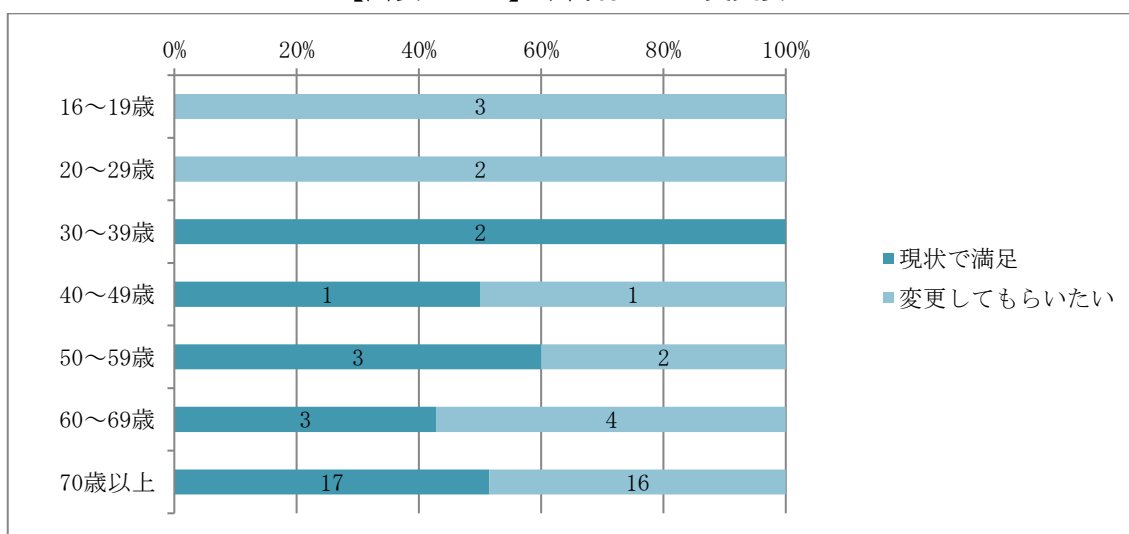
◆ 予約方法の満足度は、満足と変更要望が拮抗

のれんす号の予約方法について、現状で満足している人は 47%で、変更要望を有している人は 51%と、若干変更要望を有している人が多い状況です。

【図表 1 - 27】 予約方法の満足度



【図表 1 - 28】 年代別の主な変更要望

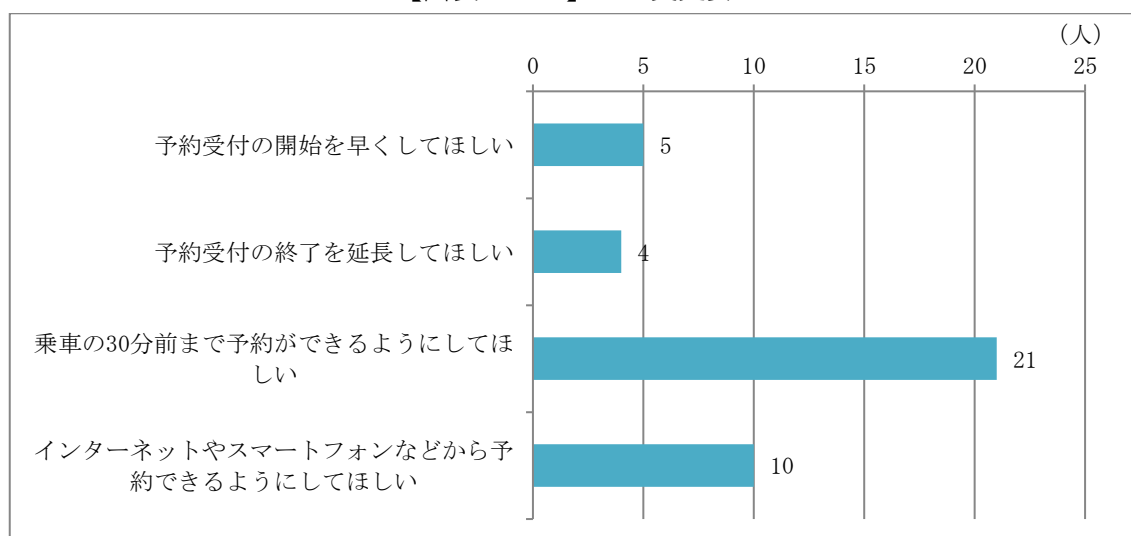


◆ 予約受付に対する主な変更要望は、乗車 30 分前まで予約できるようにしてほしい

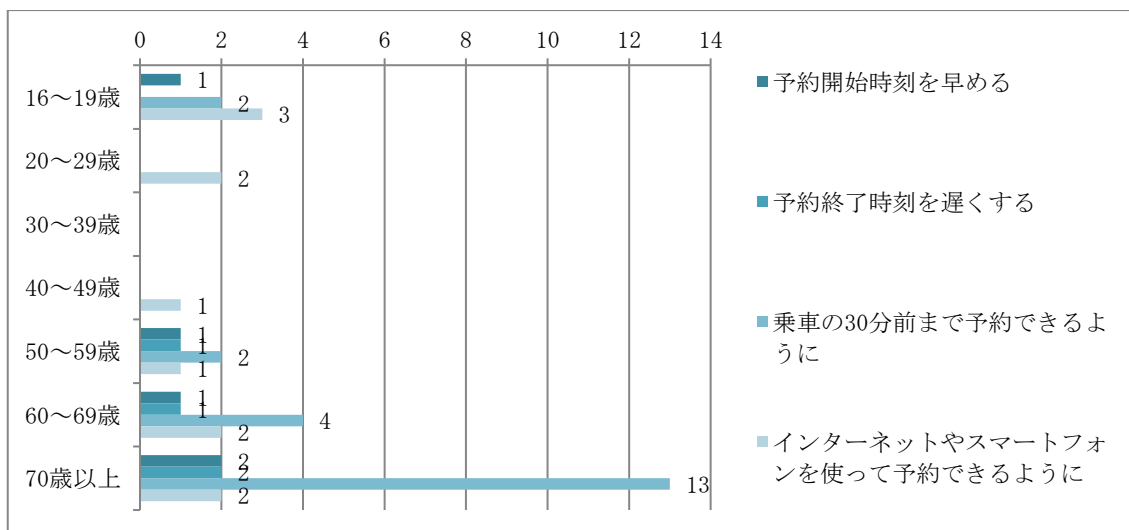
現在、のれんす号の予約は、乗車の 1 週間前から 1 時間前までに電話で予約する方法を採用していますが、最も多い要望は「乗車の 30 分前まで予約ができるようにしてほしい」で 21 人 (38.2%) となっています。次いで多いのは、「インターネットやスマートフォンなどから予約できるようにしてほしい」が 10 人 (18.2%) となっています。そのほか、「予約受付の開始を早くしてほしい」が 5 人 (9.1%)、「予約受付の終了を延長してほしい」が 4 人 (7.3%) となっています。

年代別でみると、10 代や 20 代では「インターネットやスマートフォンなどから予約できるようにしてほしい」が多く選ばれており、ICT 機器を活用して予約ができる体制を望んでいます。50 代以降では「乗車 30 分前まで予約できるようにしてほしい」が多く選ばれています。利用目的別で多かった「通院」に利用する人が多いことから、診療が終わってから予約することを考えると待ち時間が長くないようにとの意識でこの選択肢が選ばれているものと考えられます。

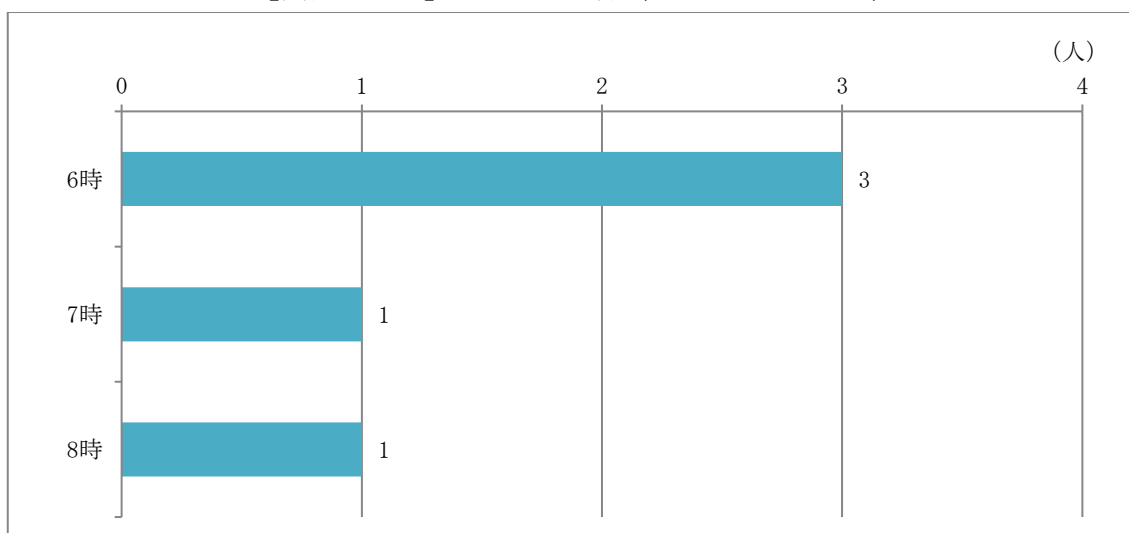
【図表 1 - 29】 主な変更要望



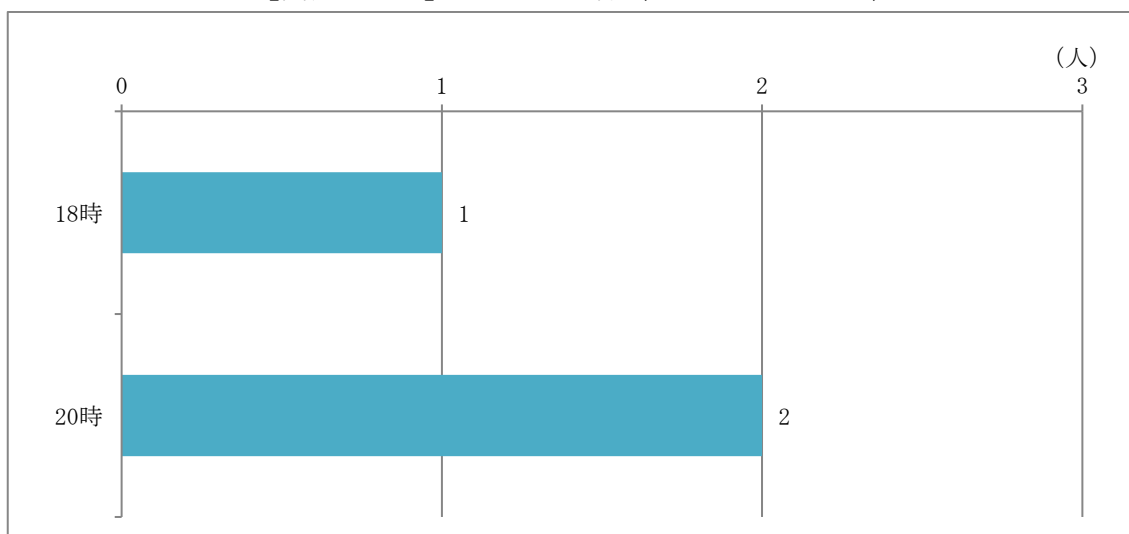
【図表 1 - 30】年代別の主な変更要望



【図表 1 - 31】具体的な内容（予約時間の前倒し）



【図表 1 - 32】具体的な内容（予約時間の後倒し）

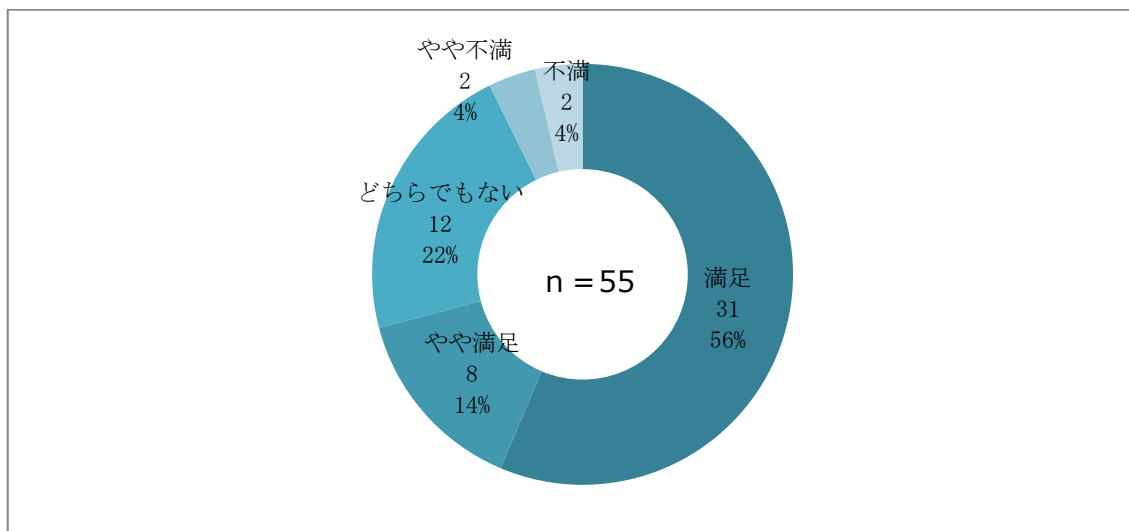


◆ 予約センターの受付対応は、半数以上が満足

のれんす号の予約を受け付ける予約センターでのオペレーターの受付対応に対して、「満足」又は「やや満足」と回答した人は39人（70.9%）となっています。一方、「不満」又は「やや不満」と回答した人は4人（7.2%）となっています。

自由記載の選択理由では、「丁寧な対応をしてもらった」から「満足」と回答する人がいる一方で、「1人以外は対応が良くない」として「不満」と回答する人がいました。このことから、どのオペレーターでも誰に対しても同じような接遇ができるよう研修等の機会を設けることが必要ではないかと考えられます。

【図表1-33】 予約センターの受付対応の満足度



【図表1-34】 選択理由

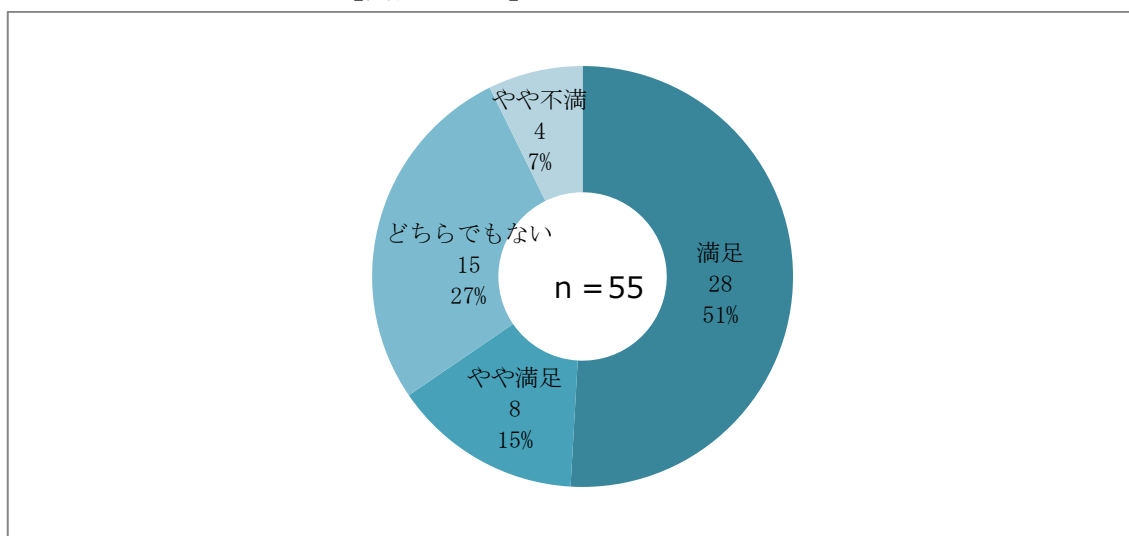
満足・やや満足	
丁寧に対応してもらえるから	1
適切な対応をしている	1
電話の受け答えがとても感じが良いから	1
どちらでもない	
自分で予約した事がないから	1
朝の電話が通じにくいから	1
不満・やや不満	
1人だけ良い人がいましたけど、あとは対応が良くないから	1

◆ 運転員の対応は、半数以上が満足

のれんす号の運転員の対応に対して、「満足」又は「やや満足」と回答した人は36人（65.5%）となっています。一方、「不満」又は「やや不満」と回答した人は4人（7.2%）となっています。

自由記載の選択理由では、「話しかけてくれる方もいて乗っていて楽しい」から「満足」と回答する人がいる一方で、「あいさつがほぼない」として「やや不満」と回答する人がいました。このことから、どの運転員も公共交通に携わっているという認識の下、誰に対しても同じような接遇ができるよう研修等の機会を設けることが必要ではないかと考えられます。

【図表 1 - 35】 運転員の対応の満足度



【図表 1 - 36】 選択理由

満足	
友達みたいに話せるから	1
話しかけてくれる方もいて乗っていて楽しいから	1
やや満足	
親切な人と、親切でない人がある	1
どちらでもない	
適切な対応をしている	1
普通だと思います	1
やや不満	
あいさつがほぼない	1
同じ地域から乗車する人の個人情報をしゃべる運転手さんがいる	1

<利用者の実態から見えた現状と課題のまとめ>

- ・利用者は、市民全体の10%未満程度です。
- ・居住地区によって利用者数にバラつきがあり、乙地区が13%となっています。
- ・自動車運転免許証の保有状況が利用の有無に影響しています。
- ・週に2～3回以上利用する人は、利用者のうち6%程度であり、月に2～3回や半年に2～3回が多い状況です。
- ・主な利用者層は70代以上で、70代の免許保有率は○%となっており、主な利用目的は、「通院」です。
- ・時刻表については、利用者の6割程度が「現状で満足」としています。しかしながら、3人に1人は、変更要望を持っており、主な変更要望は、「夕方の便を遅くまで運行してほしい」でした。延長時間としては、19時や20時発車が多い状況です。
- ・運行エリアについては、利用者の半数以上が変更要望を有しています。内容としては、「新発田市の運行エリアを拡大してほしい」が主なもので、「県立新発田病院」までを要望する割合がとても多い状況です。
- ・予約方法については、利用者の半数程度が変更要望を有しています。内容としては、「乗車の30分前までの予約を可能にしてほしい」が主なもので、そのほかには「インターネットやスマートフォンで予約できるようにしてほしい」といったものが若年層から出されています。
- ・予約センターの受付対応については、9割以上の方は不満を有していません。
- ・運転員の対応については、9割以上の方は不満を有していません。

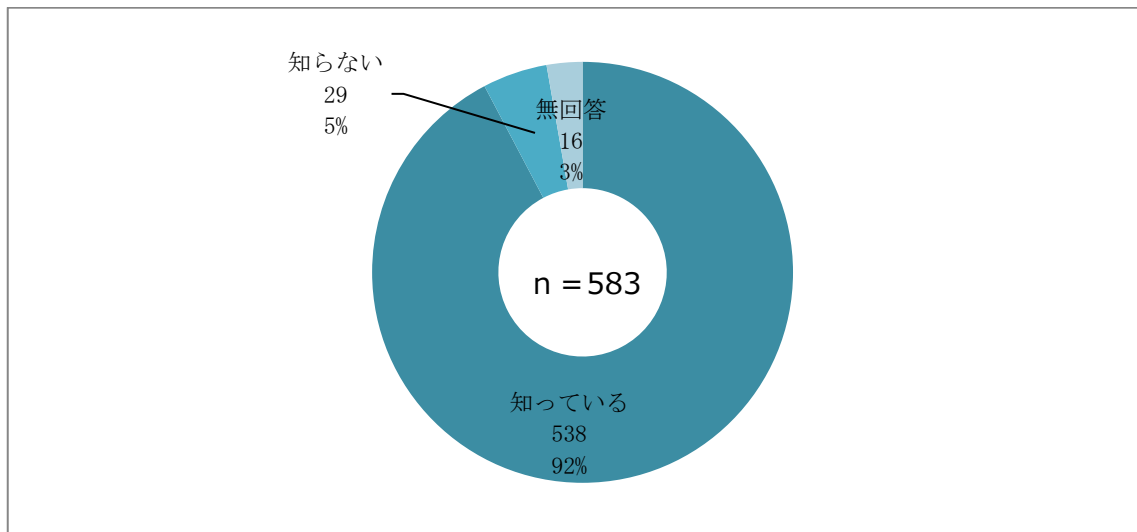
2 予約制乗合自動車「のれんす号」を利用したことがない人の状況等

◆ 利用したことがなくてものれんす号を認知している人は92%

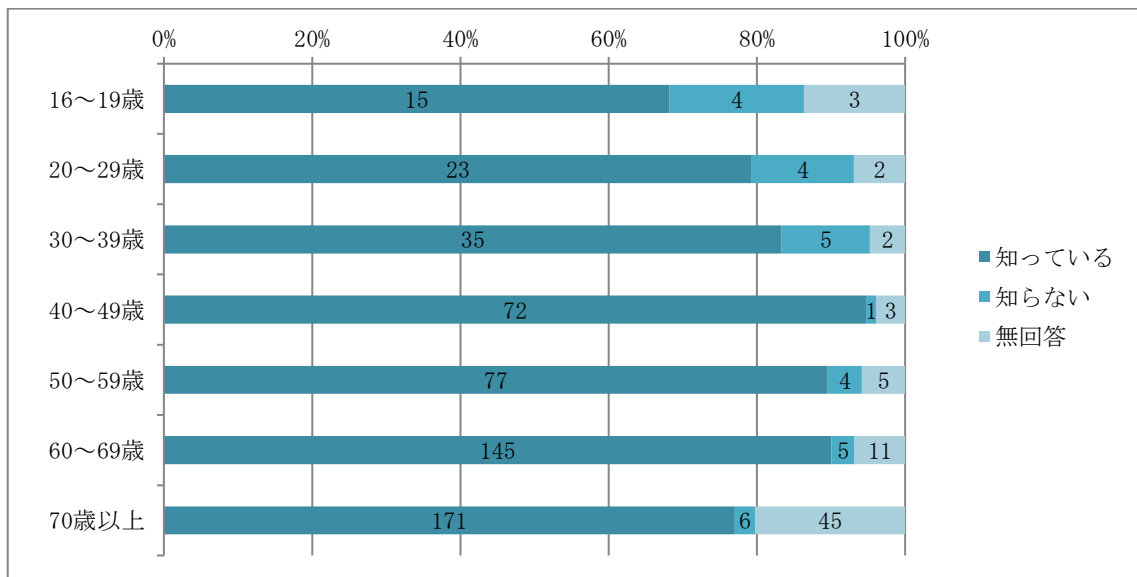
のれんす号を利用したことがない人でも92%の人はのれんす号を知っていました。一方、「知らない」と回答した人は29人(5%)でした。年代が若くなるにつれて、「知らない」と回答する人の割合が高くなっています。

認知度の上昇を図る場合は、知らない層がよく利用するメディアを用いてPRする必要があると考えられます。

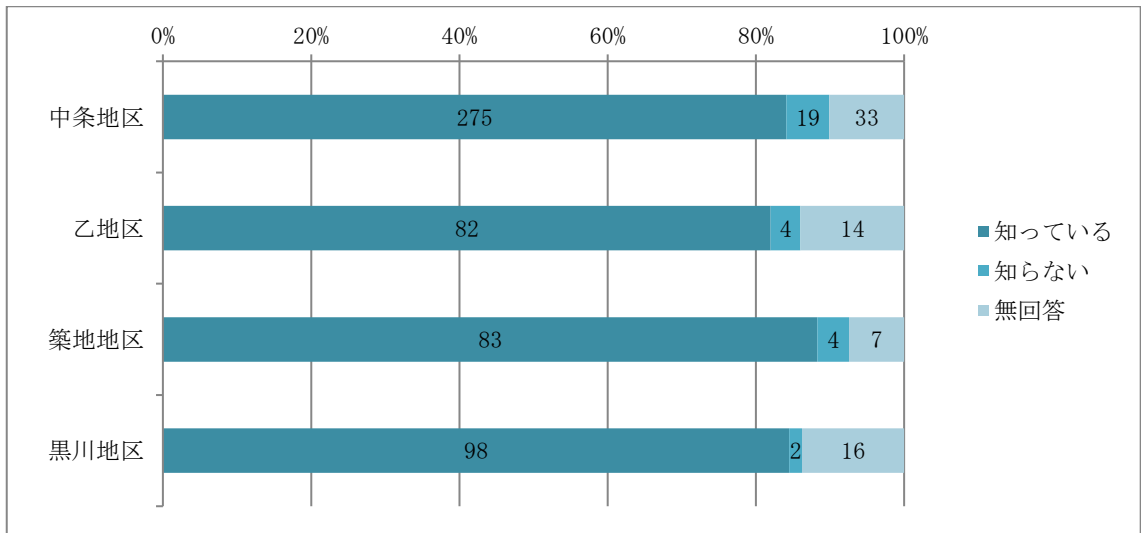
【図表2-1】利用したことがない人の認知度



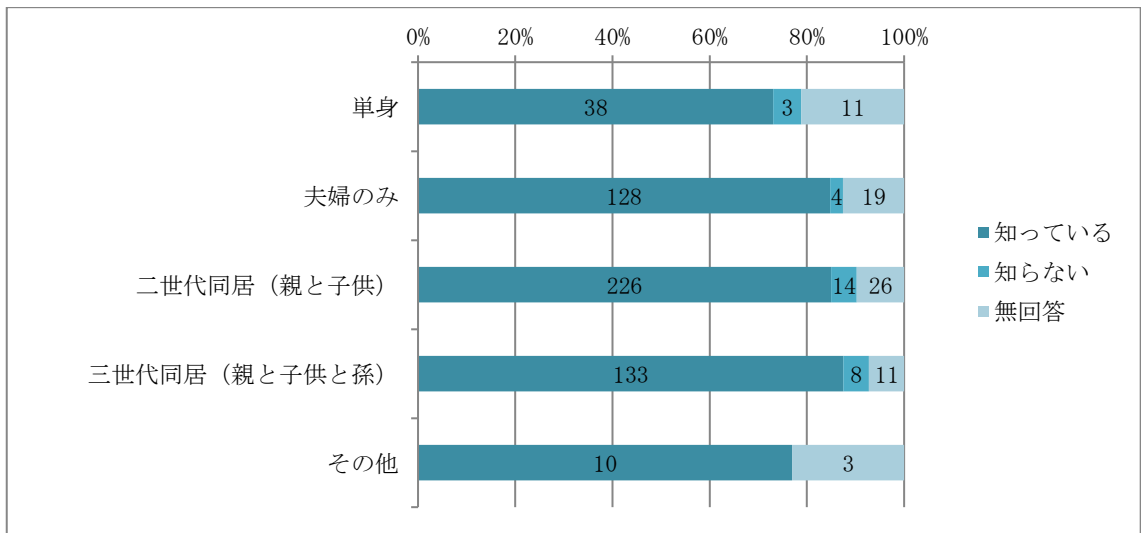
【図表2-2】年代別利用したことがない人の認知度



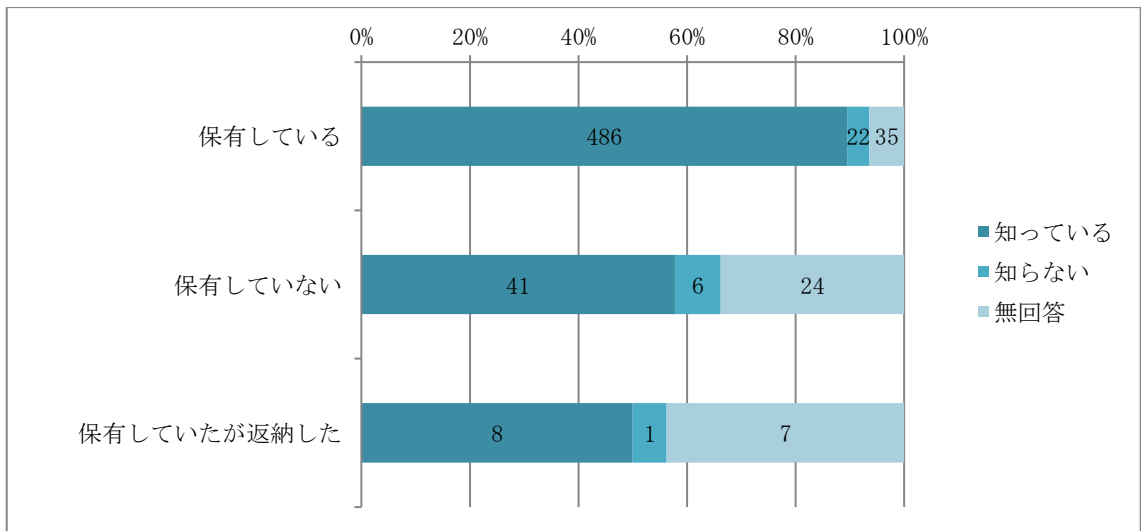
【図表2-3】居住地別利用したことがない人の認知度



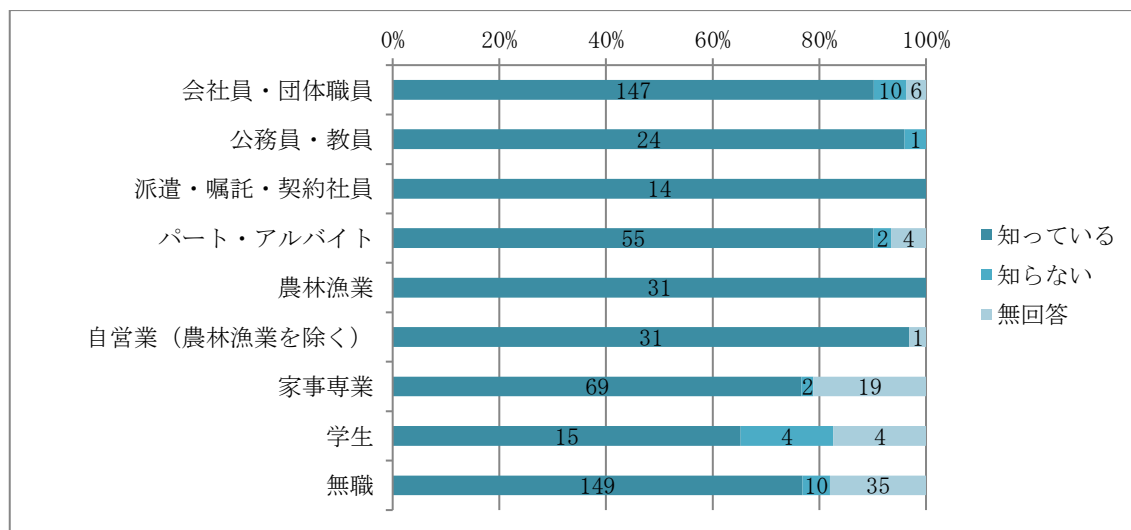
【図表 2 - 4】 家族構成別利用したことがない人の認知度



【図表 2 - 5】 免許保有状況別利用したことがない人の認知度



【図表 2 - 6】職業別利用したことがない人の認知度



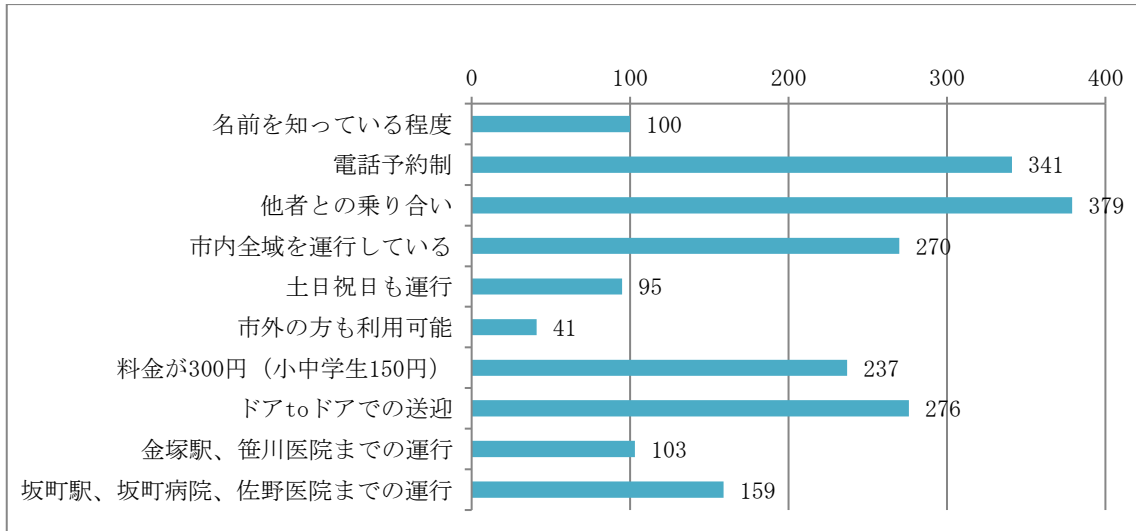
◆ のれんす号を知っていると答えた人の多くは、他者との乗り合い、電話で予約することを認知している

のれんす号について、「名前を知っている程度」と回答した人は 100 人（18.6%）で約 2 割の人が特徴等については知らないということが分かりました。特に 10 代はこの傾向が強いようです。

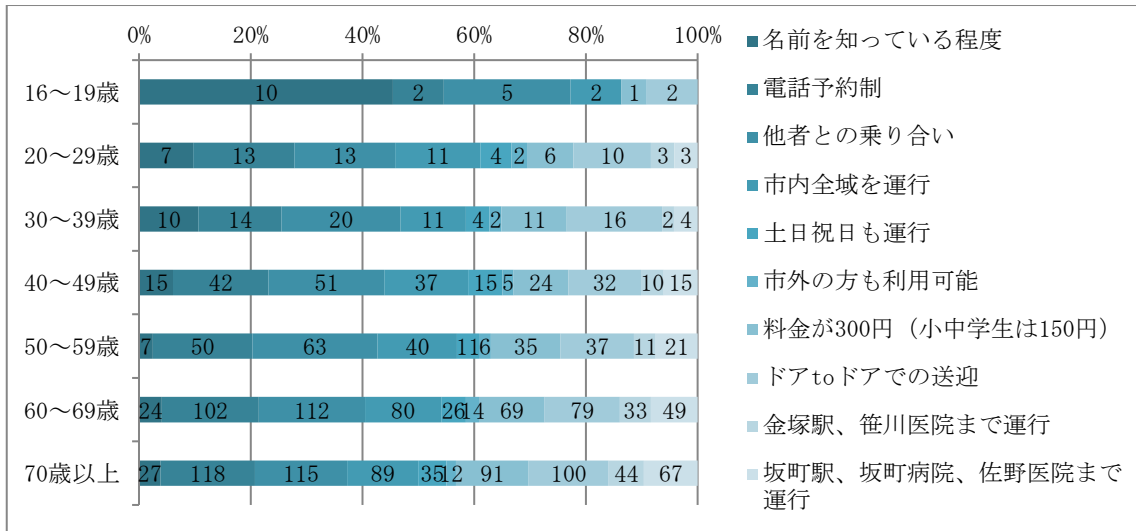
知られている特徴で最も多かったものは、「他者との乗り合いであること」が 379 人（70.4%）となっており、「電話予約制であること」が 341 人（63.4%）、「停留所ではなく自宅から目的地まで送迎すること（ドア to ドア）」が 276 人（51.3%）、「市内全域を運行していること」が 270 人（50.2%）と続いています。この辺りまでは 2 人に 1 人は認知している特徴です。そのほか、「料金が 300 円であること（小中学生は 150 円）」が 237 人（44.1%）、「村上市の坂町駅、坂町病院、佐野医院まで行けること」が 159 人（29.6%）、「新発田市の金塚駅、笹川医院まで行けること」が 103 人（19.1%）、「土日祝日も運行していること」が 95 人（17.7%）、「市外の方も利用できること」が 41 人（7.6%）となっています。

新発田市又は村上市の一部のスポットまで運行していること、土日祝日の利用ができること及び市外の方も利用できることの認知が低いことが分かりました。

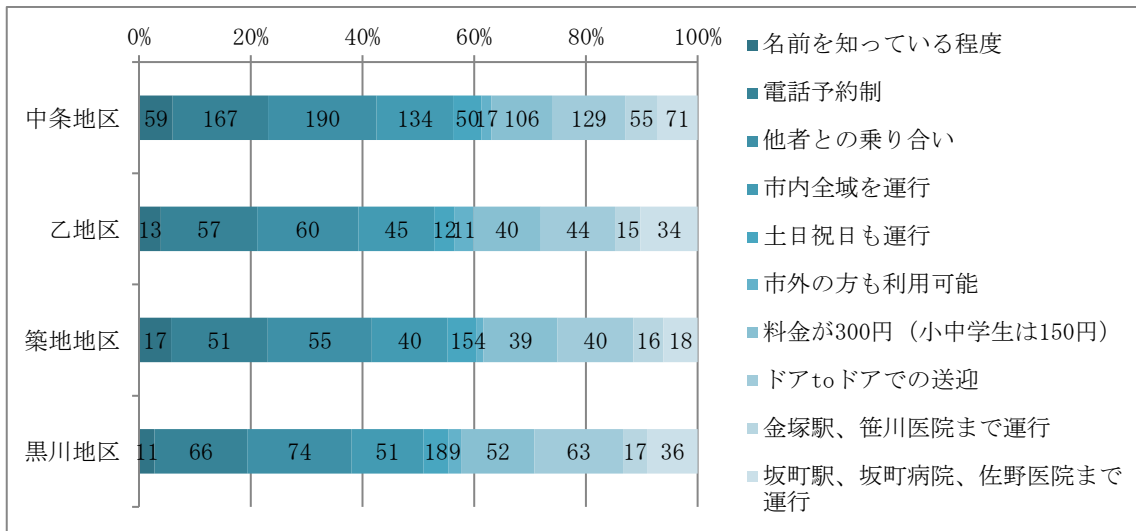
【図表 2 - 7】 のれんす号について知られている内容（複数回答）



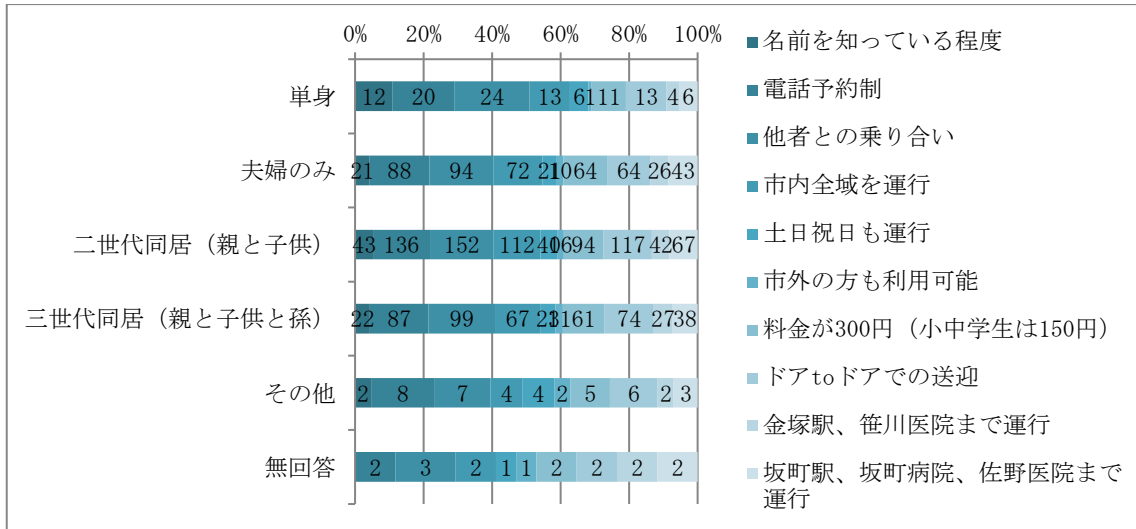
【図表 2 - 8】 年代別知っている内容



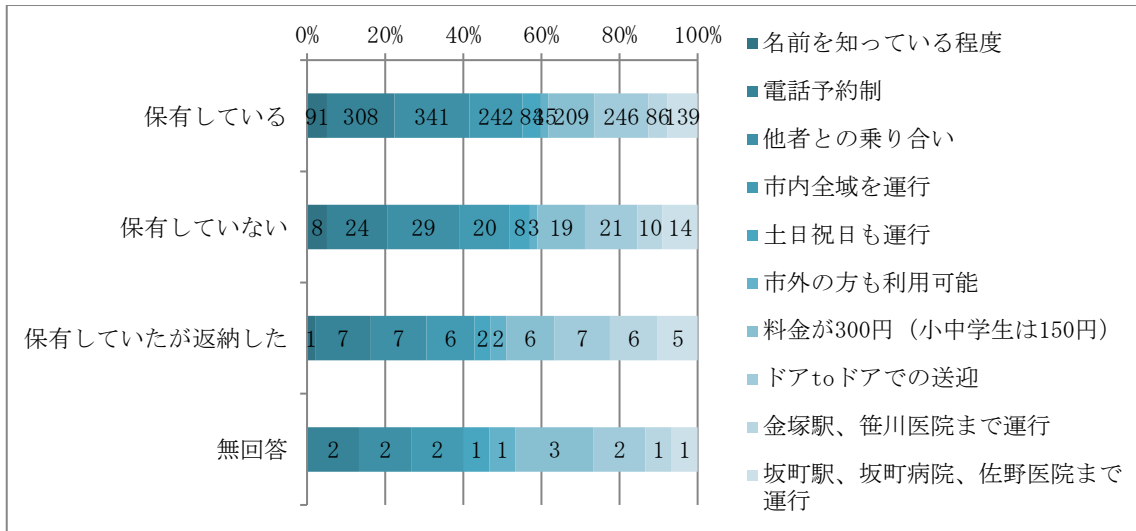
【図表 2 - 9】 居住地別知っている内容



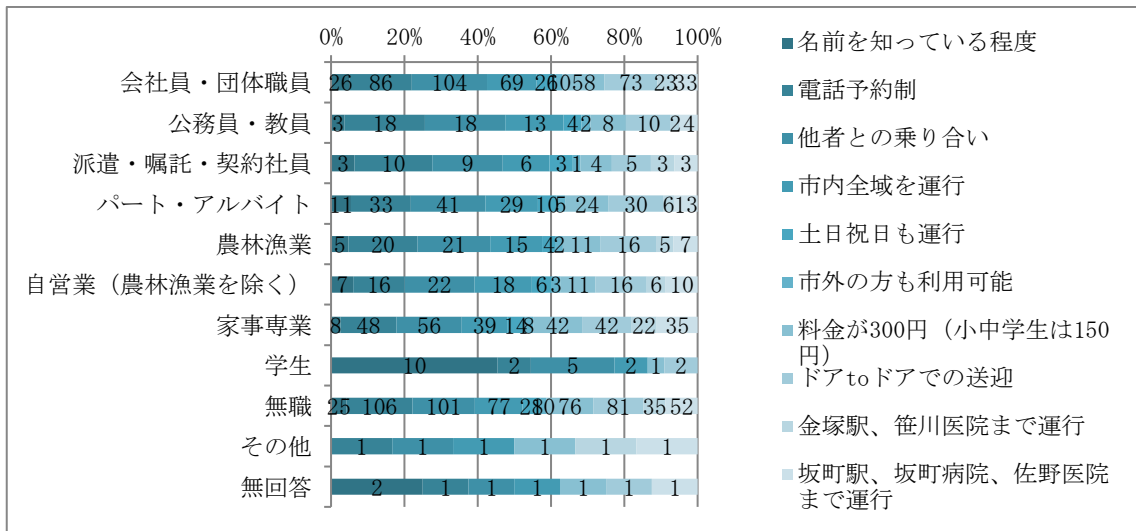
【図表 2-10】 家族構成別知っている内容



【図表 2-11】 免許保有状況別知っている内容



【図表 2-12】 職業別知っている内容

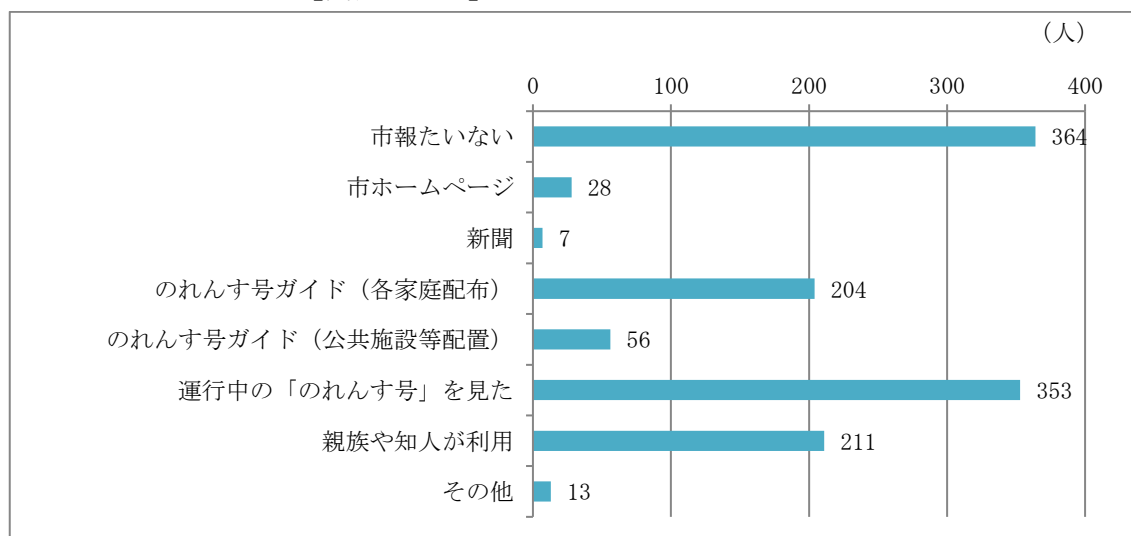


◆ 「市報たいない」で、のれんす号を知った人が多い

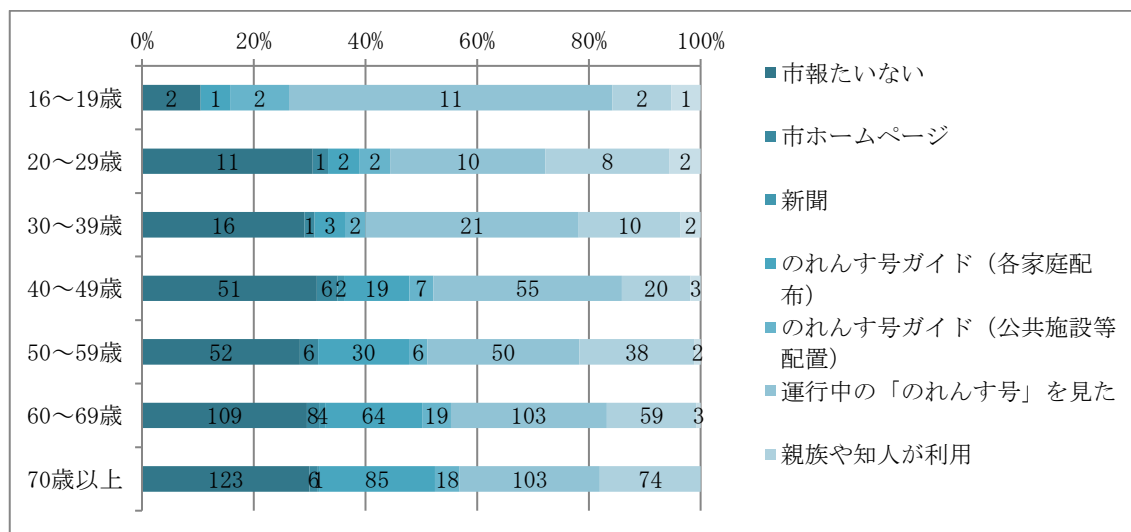
のれんす号を知ったきっかけとして最も多かったものは、「市報たいない」で364人(67.6%)、続いて「運行している「のれんす号」を見た」が353人(65.6%)となっています。そのほかは、「親族や知人が利用している(利用していた)」が211人(39.2%)、「各家庭に配布している「のれんす号ガイド」」が204人(37.9%)となっており、市のホームページや公共施設等に置いてある「のれんす号ガイド」を選択した人は、少数でした。

市報による周知が最も効果が高く、各家庭にガイドを配布することも効果が高いと考えられます。

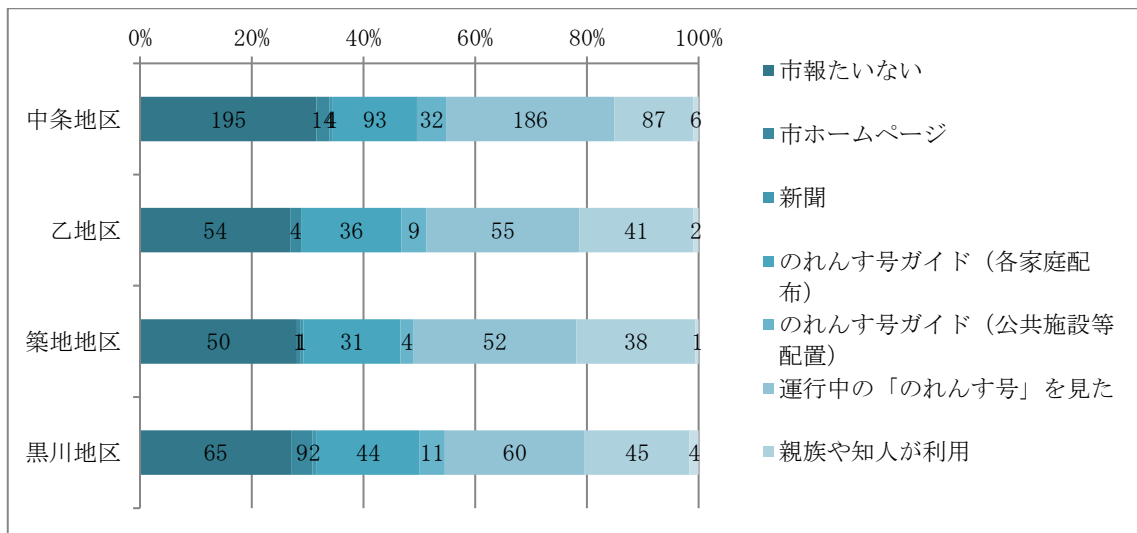
【図表2-13】 のれんす号を知ったきっかけ



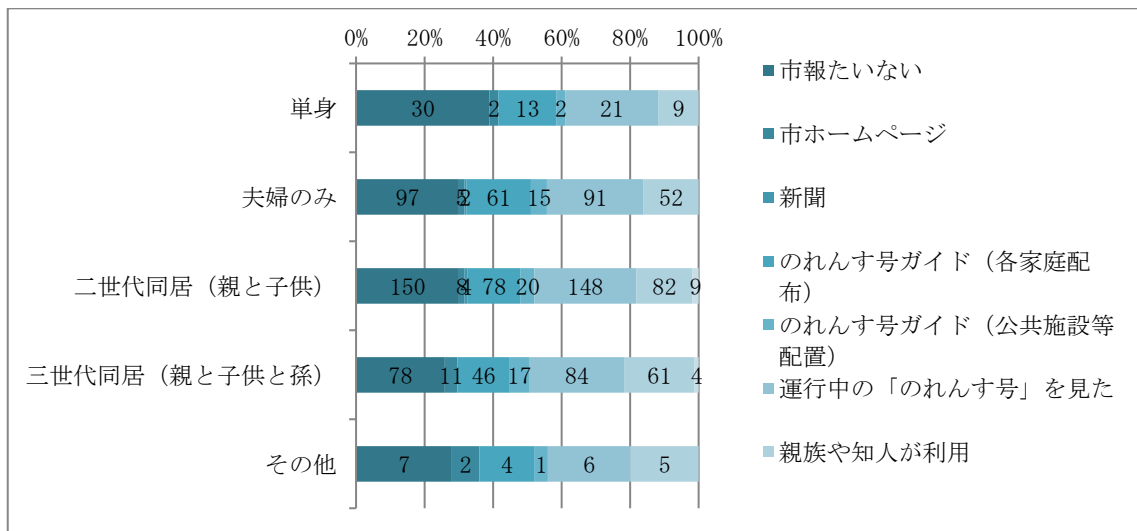
【図表2-14】 年代別知ったきっかけ



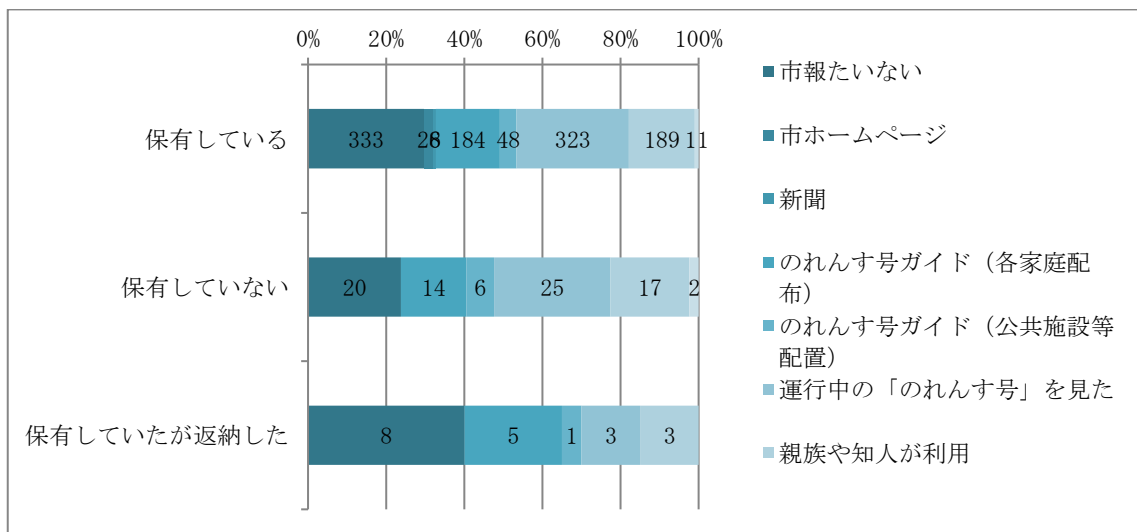
【図表2-15】 居住地別知ったきっかけ



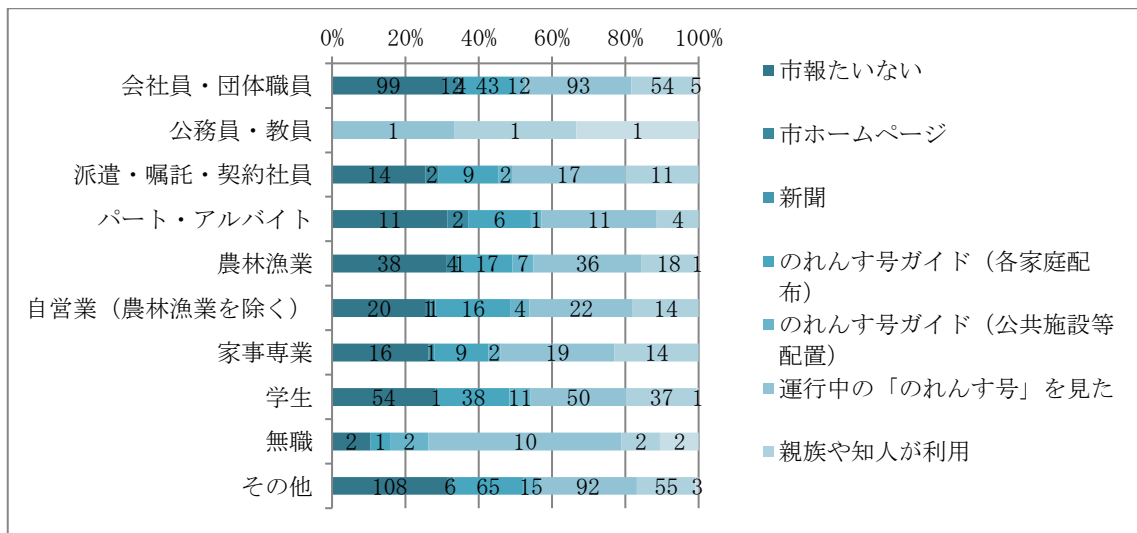
【図表 2 - 16】 家族構成別知ったきっかけ



【図表 2 - 17】 免許保有状況別知ったきっかけ



【図表 2 - 18】 職業別知ったきっかけ

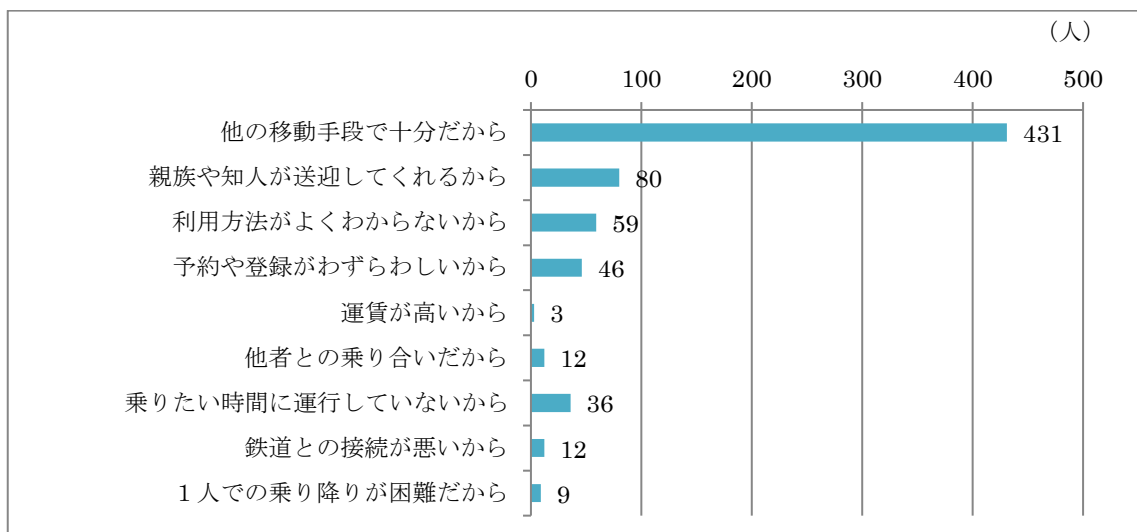


◆ のれんす号を利用しない理由は、「他の移動手段で十分だから」が圧倒的に多い

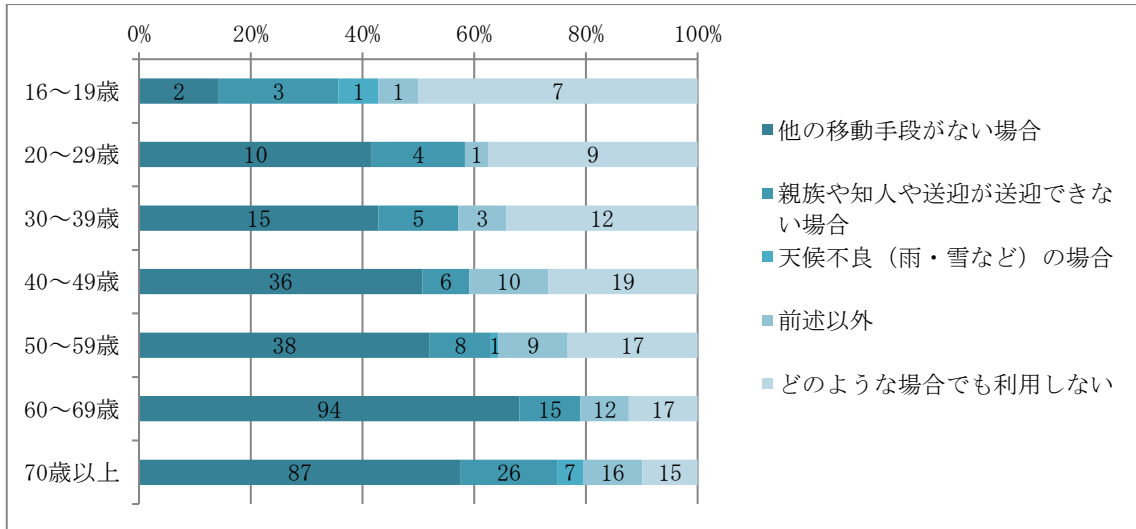
のれんす号を知っているが利用しない理由として最も多かったのは、「他の移動手段で十分」で431人（80.1%）となっており、「親族や知人が送迎してくれる」を選択した人も80人（14.9%）います。自動車を自ら運転するなど移動手段があることからのれんす号を利用していない人が多いという結果になっています。

その他少数意見ではありますが、「利用方法がよくわからない」が59人（11.0%）、予約の方法に関する「予約や登録が煩わしい」が46人（8.6%）、運行時刻に関する「乗りたい時間に運行していない」や「鉄道との接続が悪い」がそれぞれ36人（6.7%）、12人（2.2%）となっています。

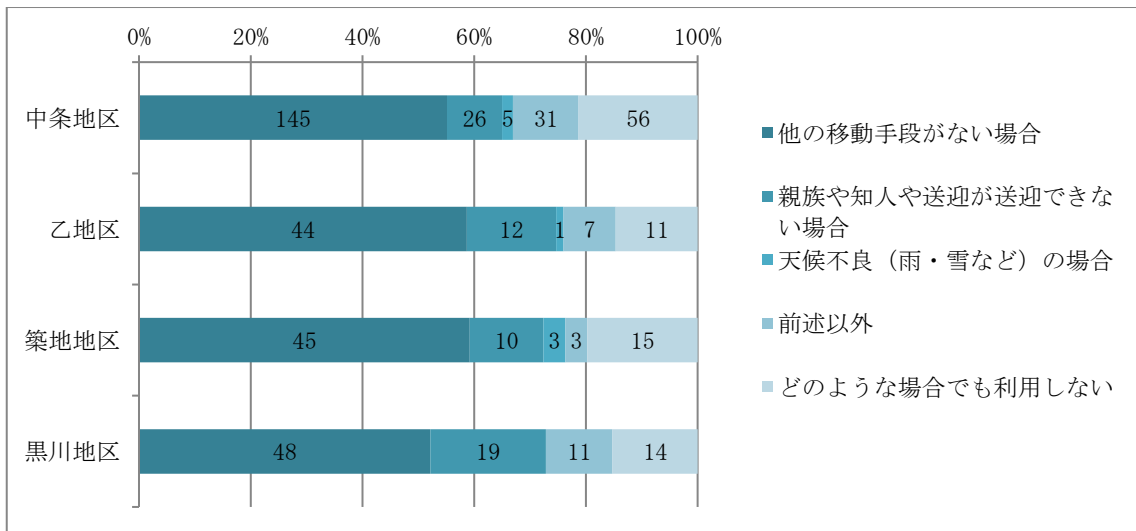
【図表2-19】利用しない主な理由



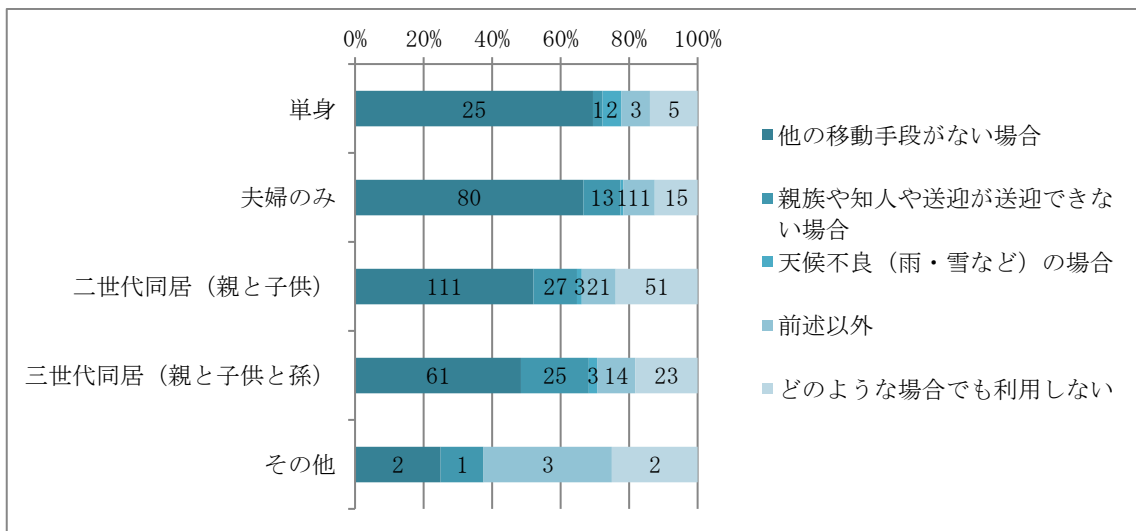
【図表 2 - 20】 年代別利用しない主な理由



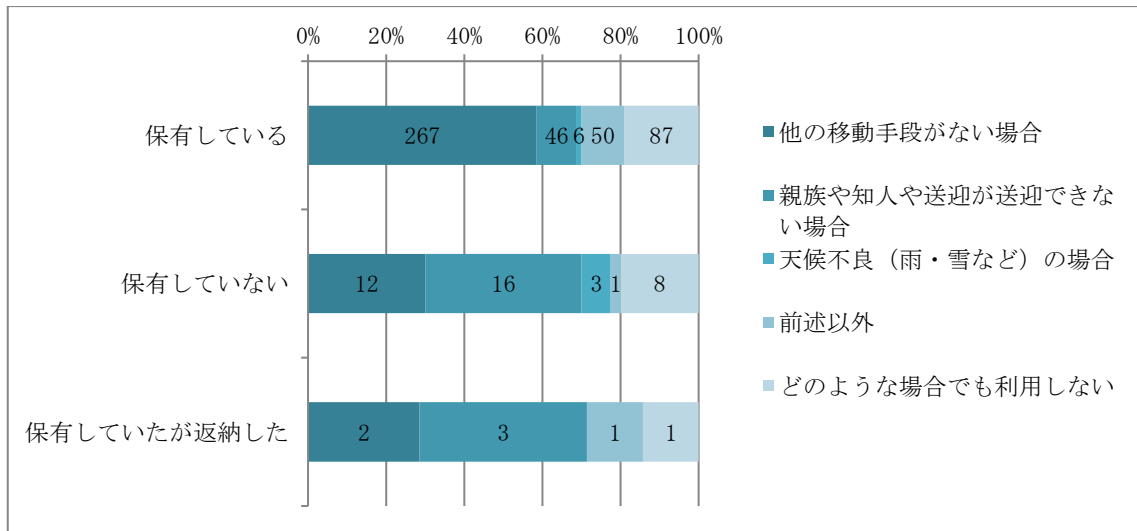
【図表 2 - 21】 居住地別利用しない主な理由



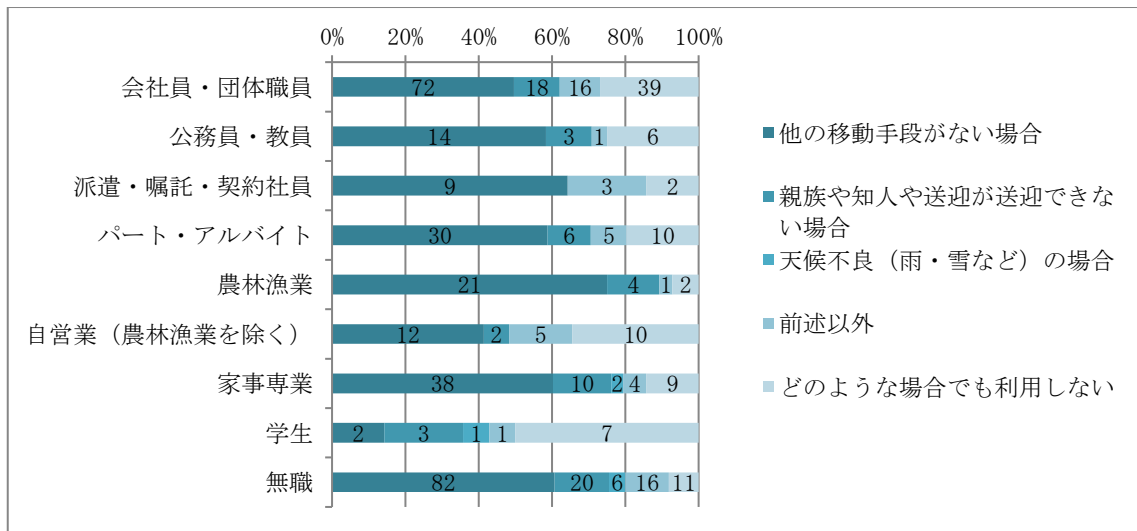
【図表 2 - 22】 家族構成別利用しない主な理由



【図表 2 - 23】 免許保有状況別利用しない主な理由



【図表 2 - 24】 職業別利用しない主な理由

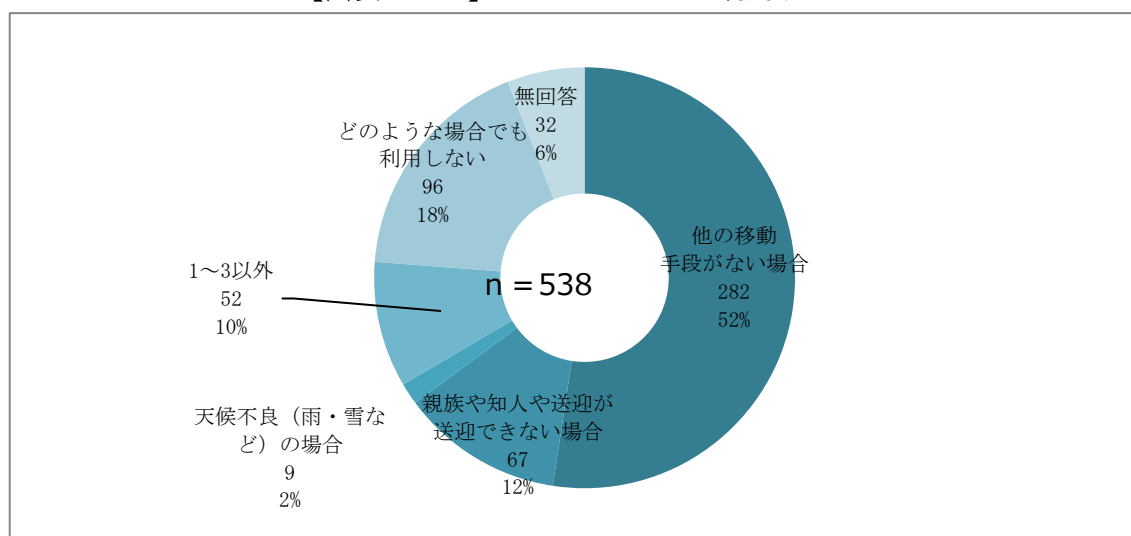


◆ 他の移動手段がないときに利用する可能性があるとする回答が半数

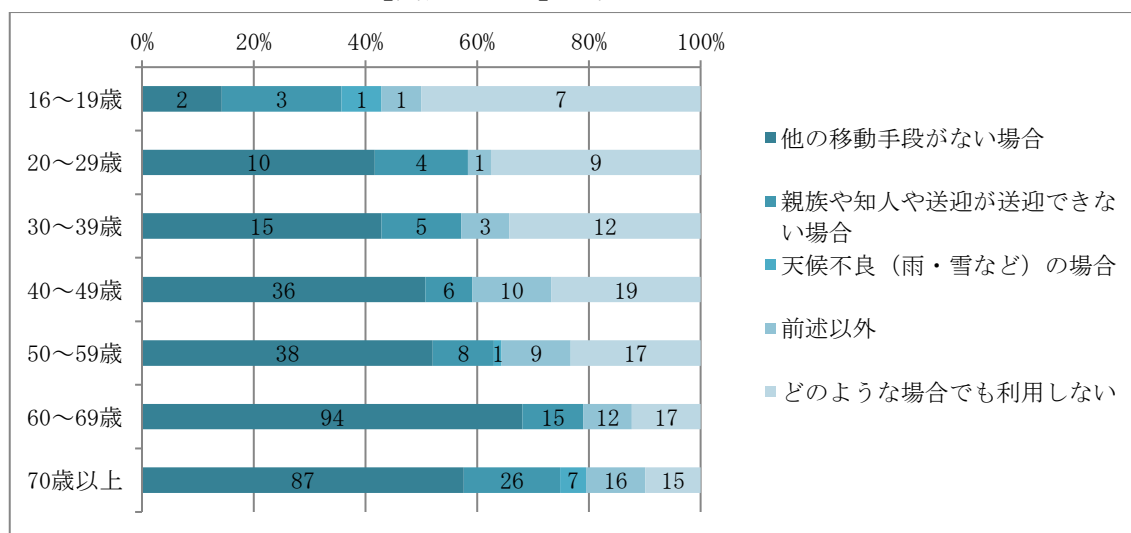
「他の移動手段がない場合」に利用する可能性があると回答した人が 282 人（52%）いる一方で、「どのような場合でも利用しない」が 96 人（18%）いました。現在利用していない人にとってのれんす号は最終手段として利用する要素が強いです。

若年層になるにつれて、「どのような場合でも利用しない」を選択する傾向が強くなっています。

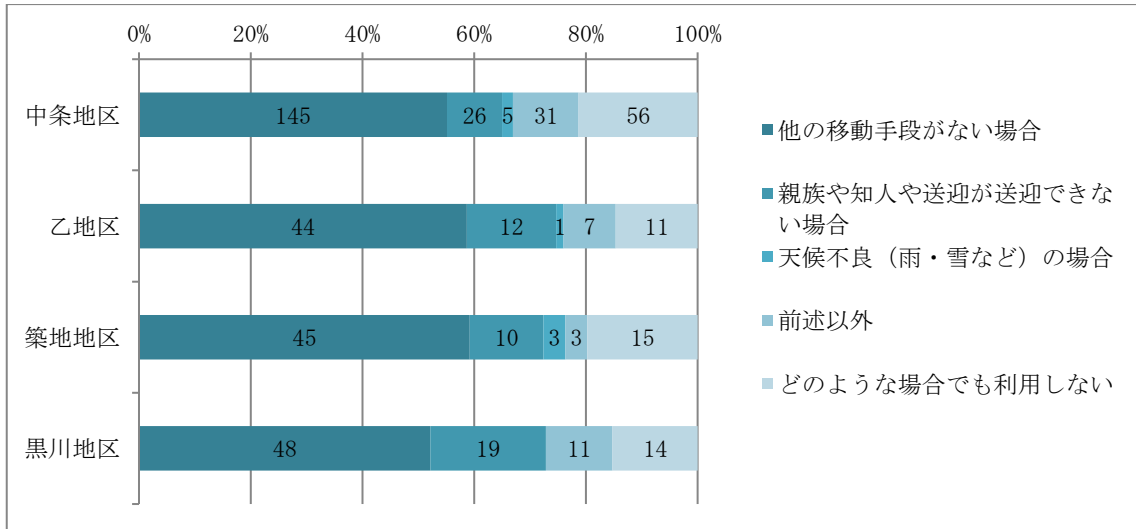
【図表 2 - 25】 どのようなときに利用するか



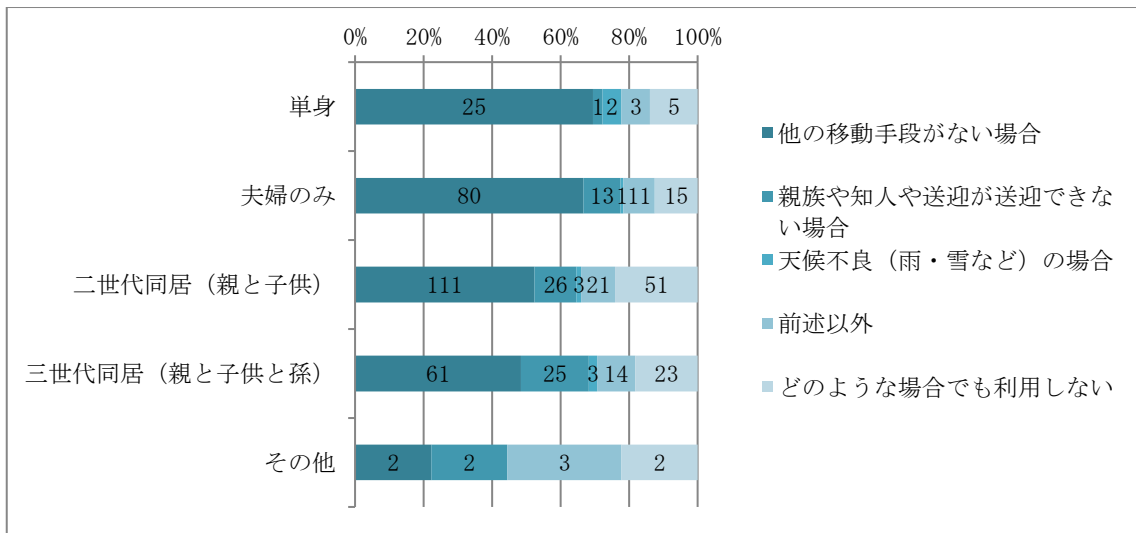
【図表 2 - 26】 年代別利用可能性



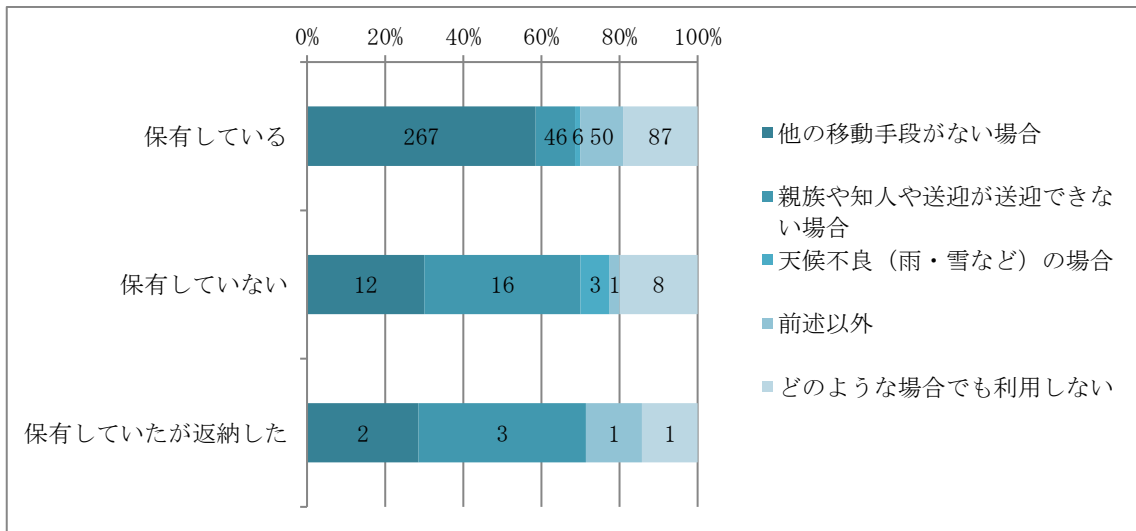
【図表 2 - 27】居住地別利用可能性



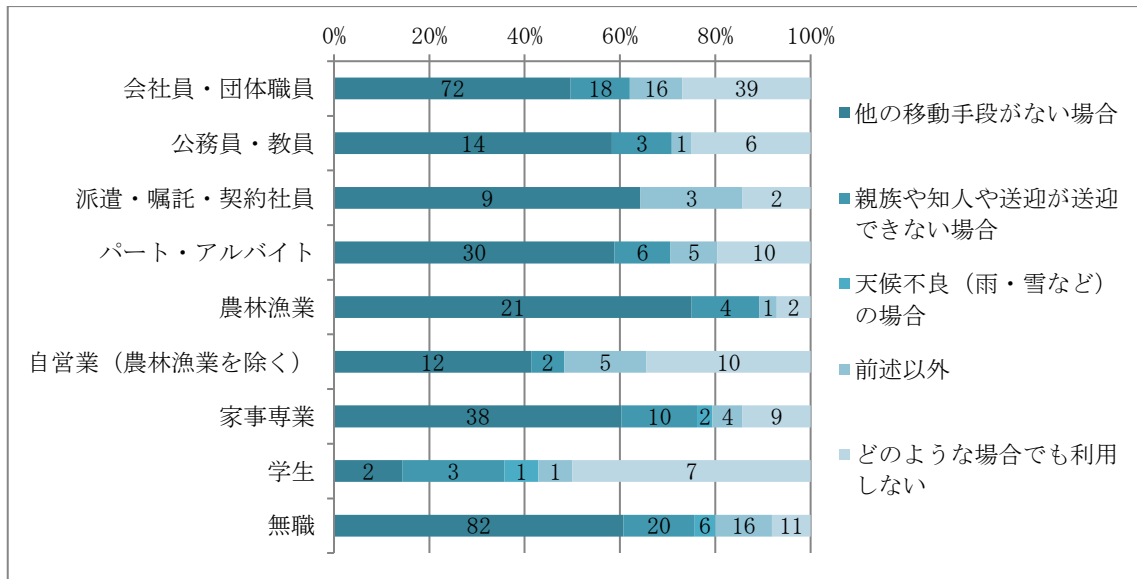
【図表 2 - 28】家族構成別利用可能性



【図表 2 - 29】免許保有状況別利用可能性



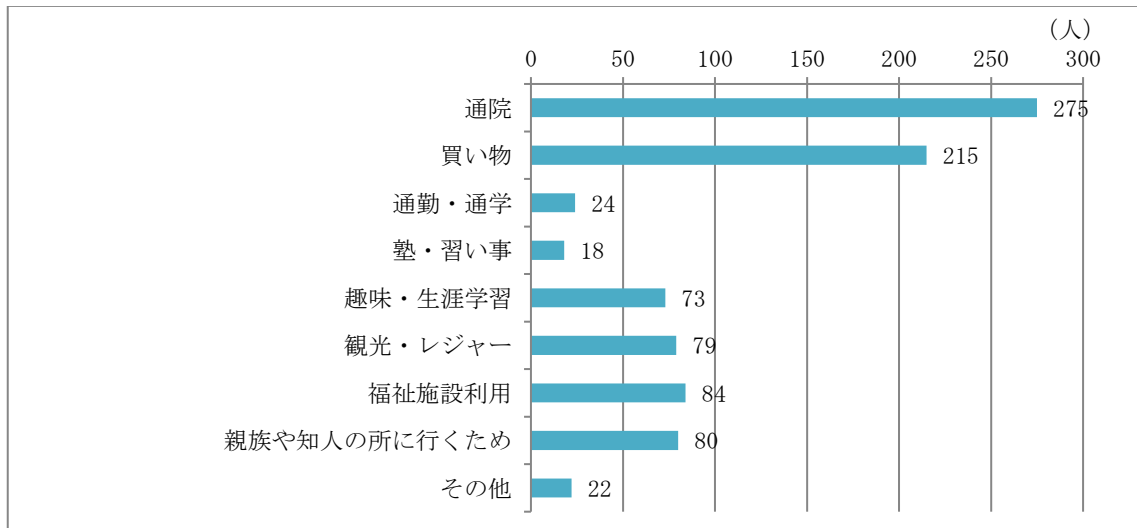
【図表 2 - 30】 職業別利用可能性



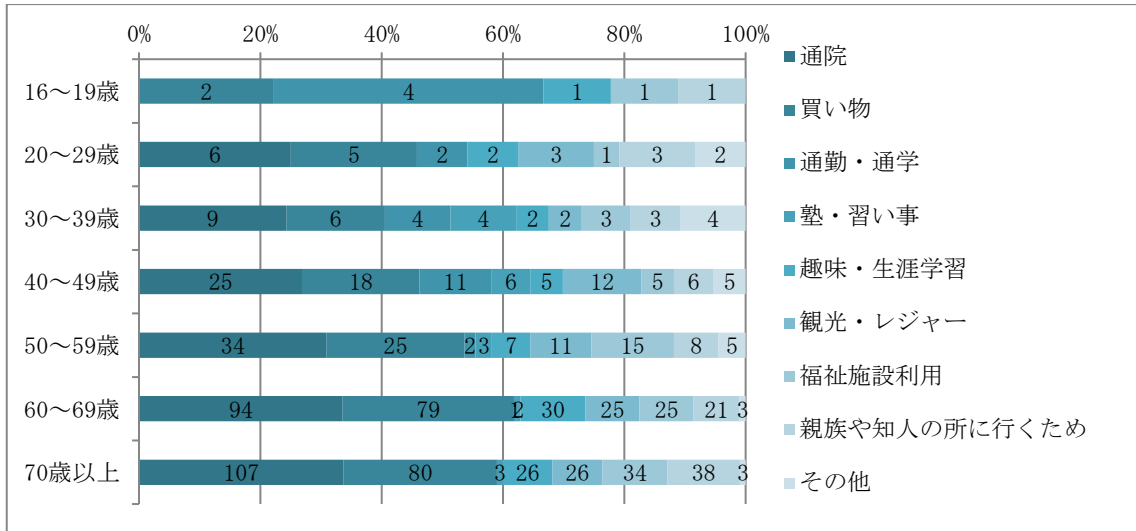
◆ のれんす号の目的別にみる利用可能性は、「通院」や「買い物」がとても多い

目的別ののれんす号の利用可能性では、「通院」が最も多く 275 人（66.8%）、次いで「買い物」が 215 人（52.4%）となっています。そのほかは、「ほっとHOT中条などの福祉施設利用」が 84 人（20.5%）、「親族や知人の所に行く」が 80 人（19.5%）、「観光・レジャー」が 79 人（19.3%）、「趣味・生涯学習」が 73 人（17.8%）となっています。

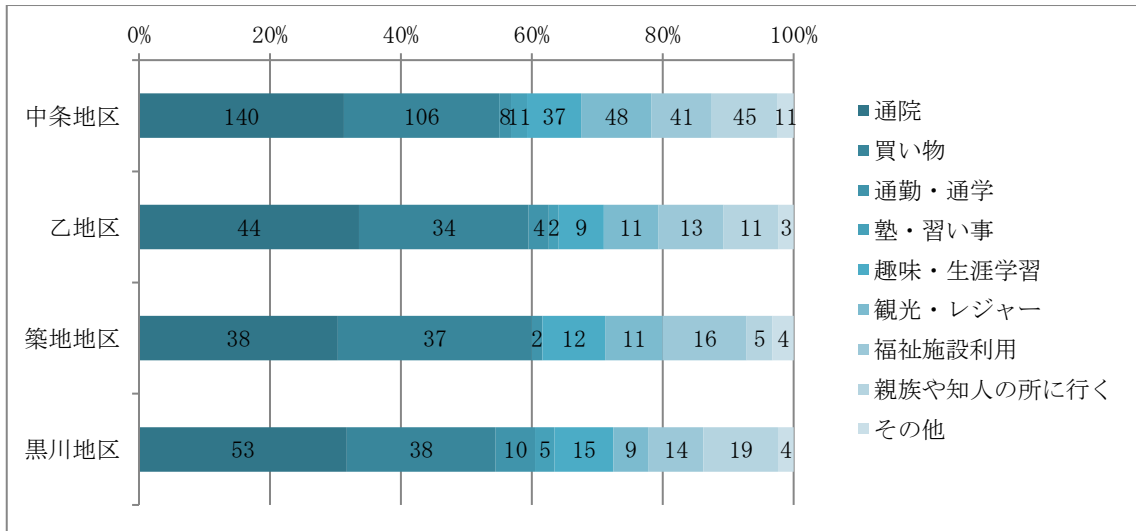
【図表 2 - 31】 どのようなときに利用するか



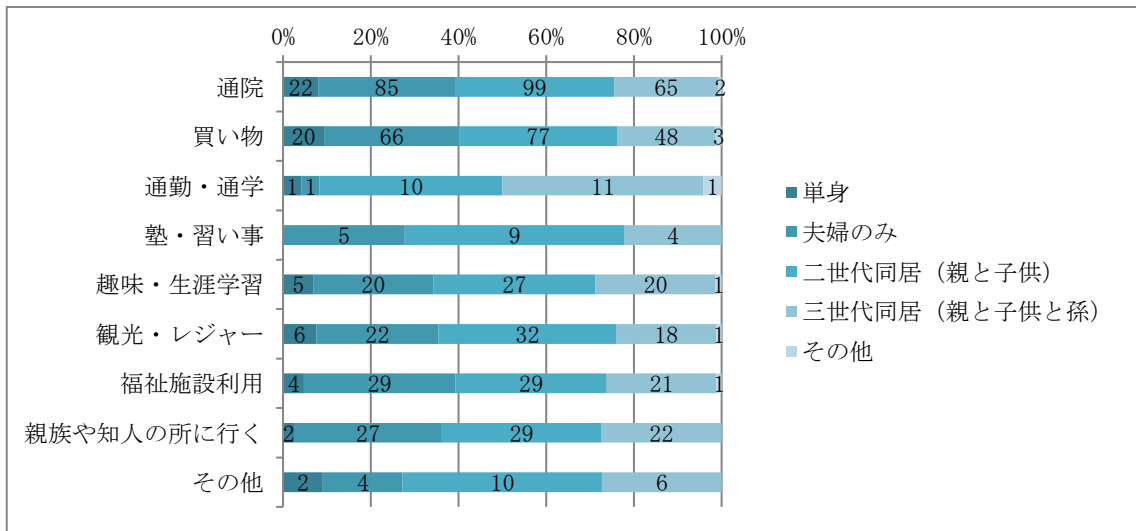
【図表 2 - 32】年代別利用可能性



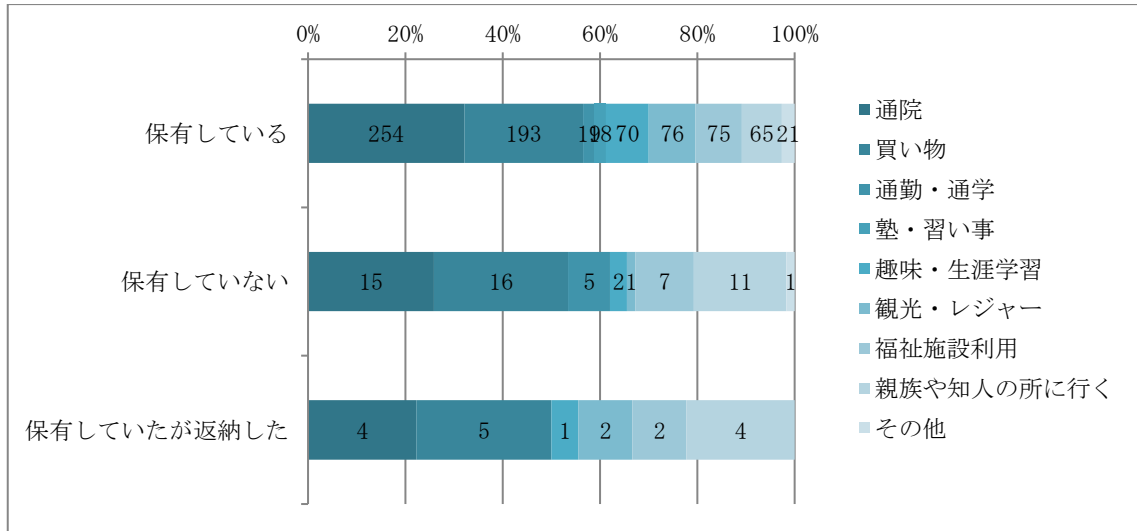
【図表 2 - 33】居住地別利用可能性



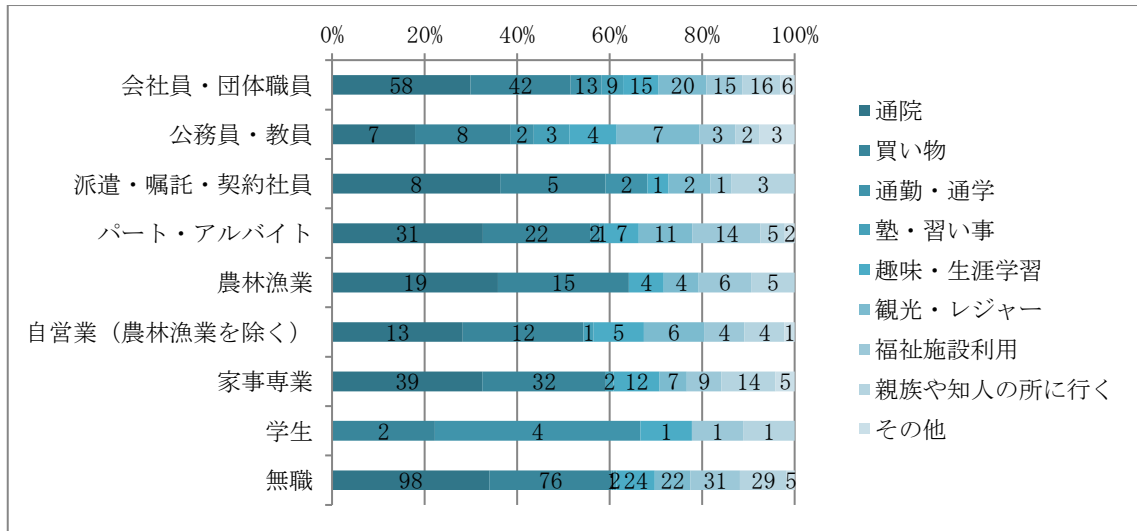
【図表 2 - 34】家族構成別利用可能性



【図表 2 - 35】 免許保有状況別利用可能性



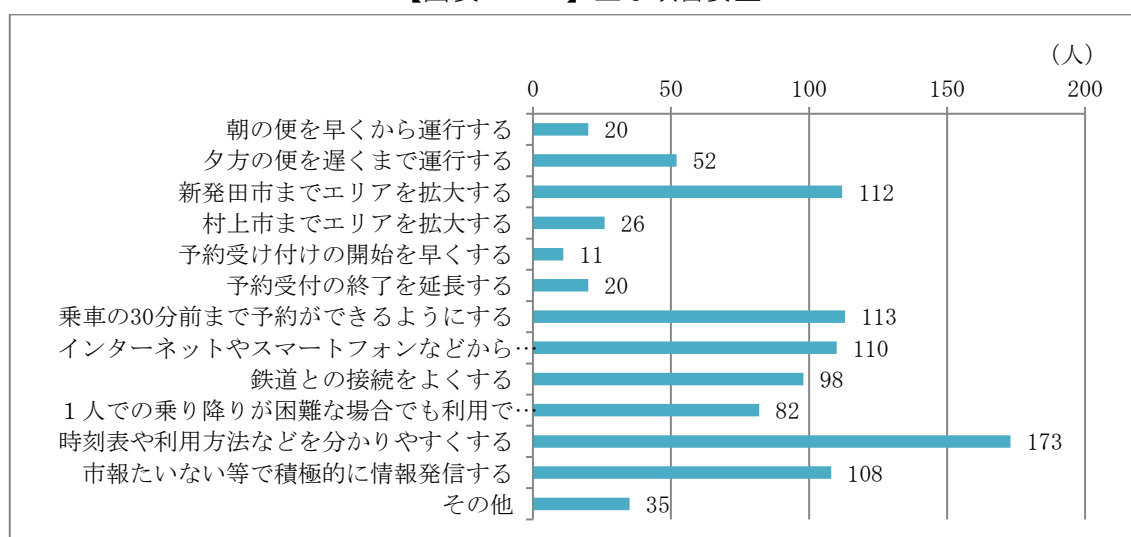
【図表 2 - 36】 職業別利用可能性



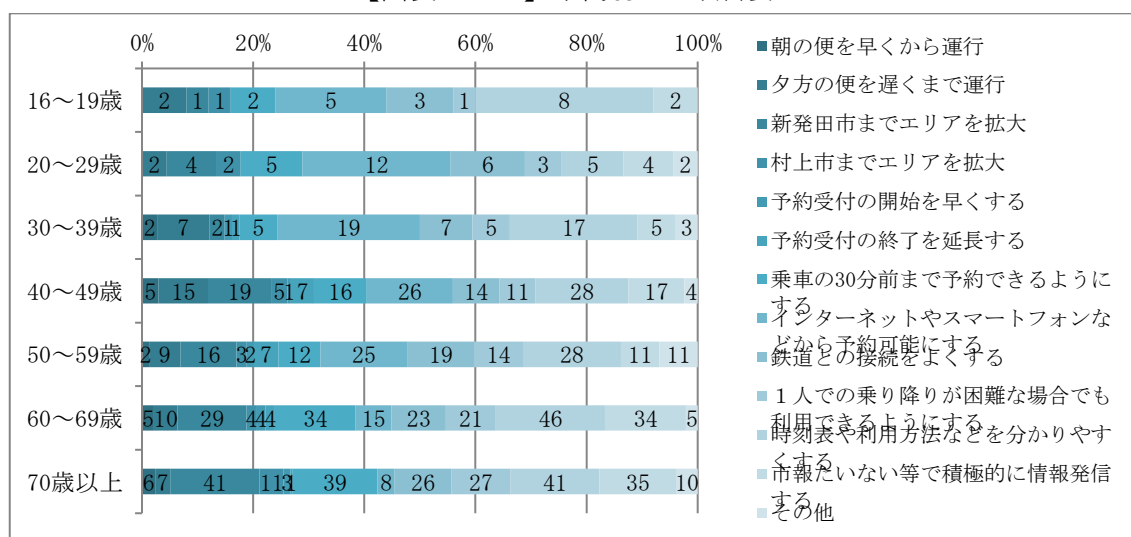
◆ のれんす号の改善要望は、「時刻表や利用方法などを分かりやすくする」が最多

のれんす号を利用したことがない人に、今後どのような改善が必要か尋ねたところ、「時刻表や利用方法などを分かりやすくする」が173人(32.2%)でした。平成29年度に配布したガイドでは時刻表の表記を、利用したことがない人でも分かるよう変更したところではありますが、今後も色々な人の意見を踏まえて、修正していく必要があると考えられます。そのほか、「新発田市までエリアを拡大する」が112人(20.8%)、「乗車の30分前まで予約ができるようにする」が113人(21.0%)、「インターネットやスマートフォンなどから予約可能にする」が110人(20.4%)、「市報たいない等で積極的に情報発信する」が108人(20.1%)、「鉄道との接続をよくする」が98人(18.2%)、「一人で乗り降りが困難な場合でも利用できるようにする」が82人(15.2%)となっています。

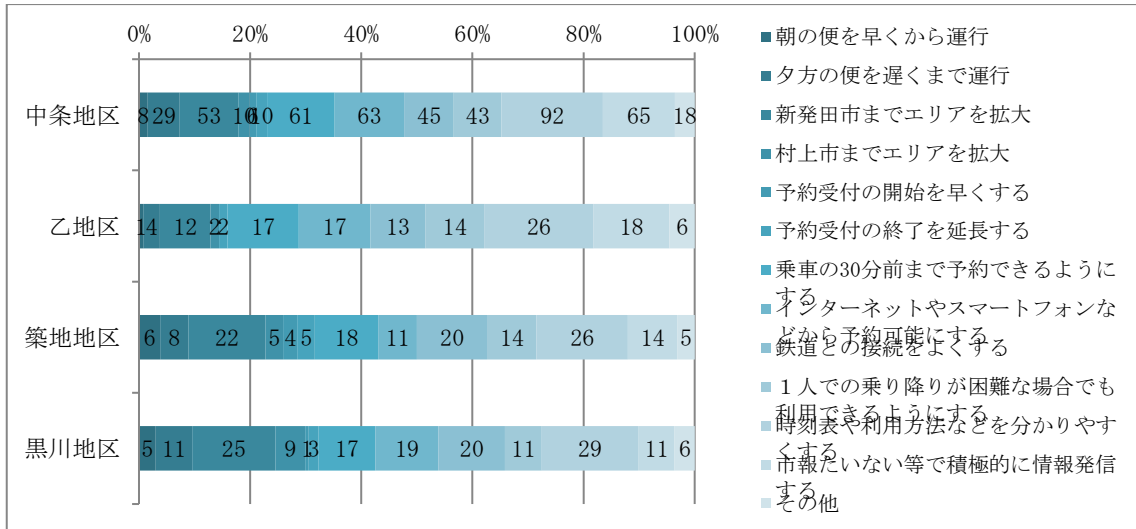
【図表2-37】主な改善要望



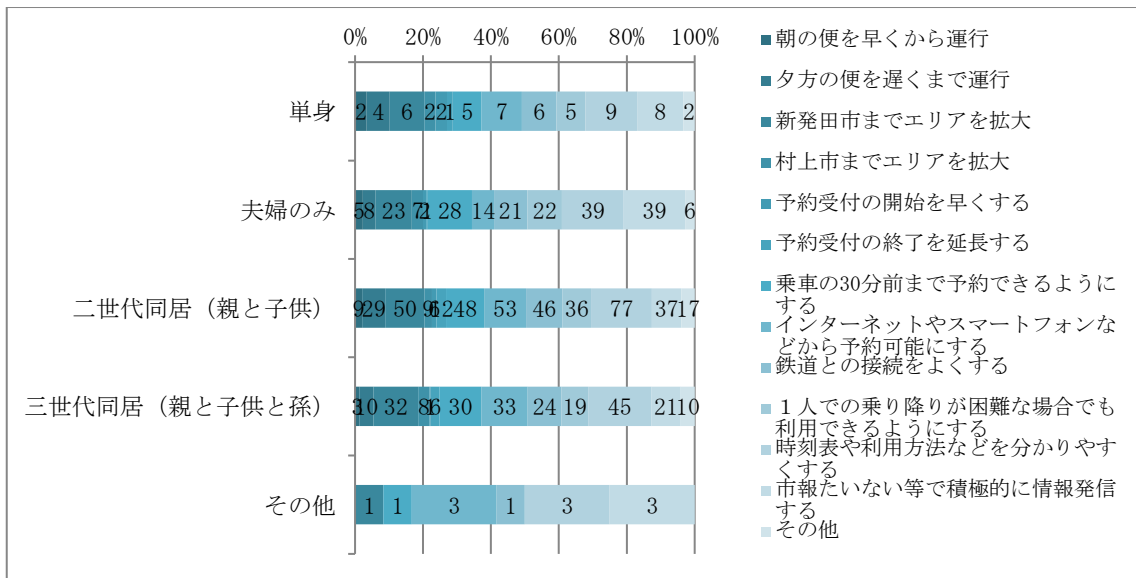
【図表2-38】年代別主な改善要望



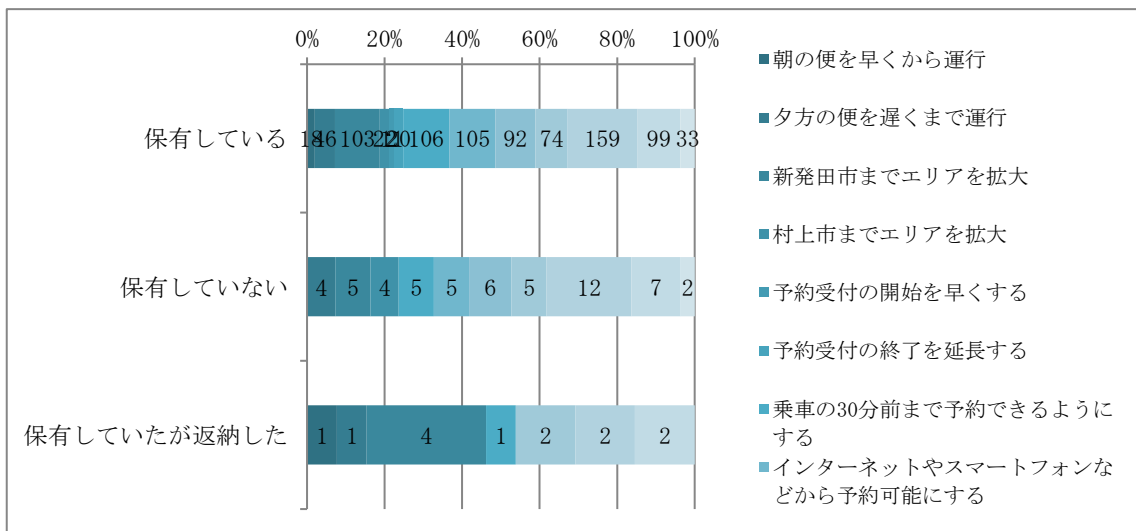
【図表 2 - 39】 居住地別主な改善要望



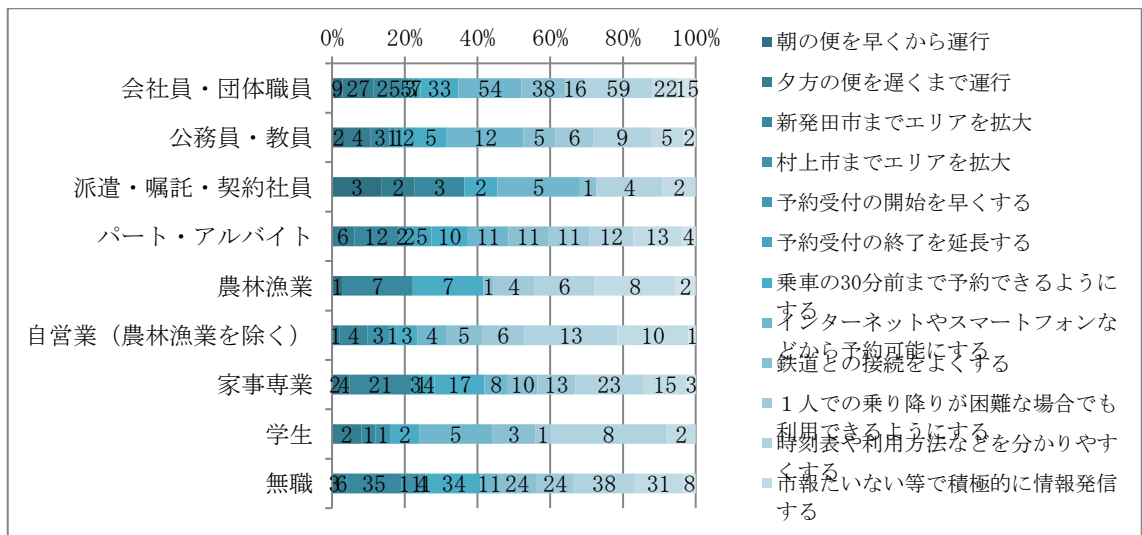
【図表 2 - 40】 家族構成別主な改善要望



【図表 2 - 41】 免許保有状況別主な改善要望

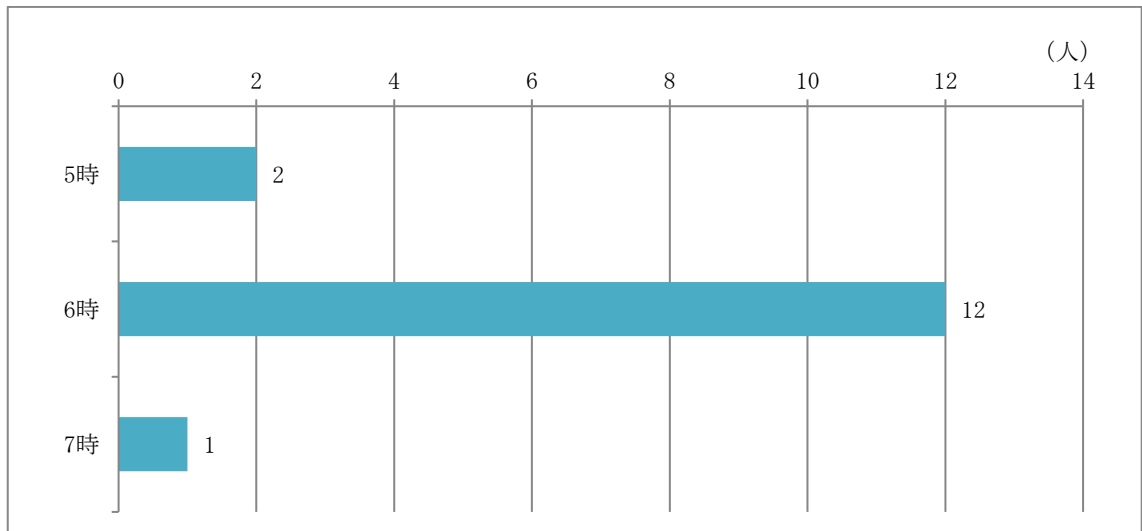


【図表 2 - 42】 職業別主な改善要望

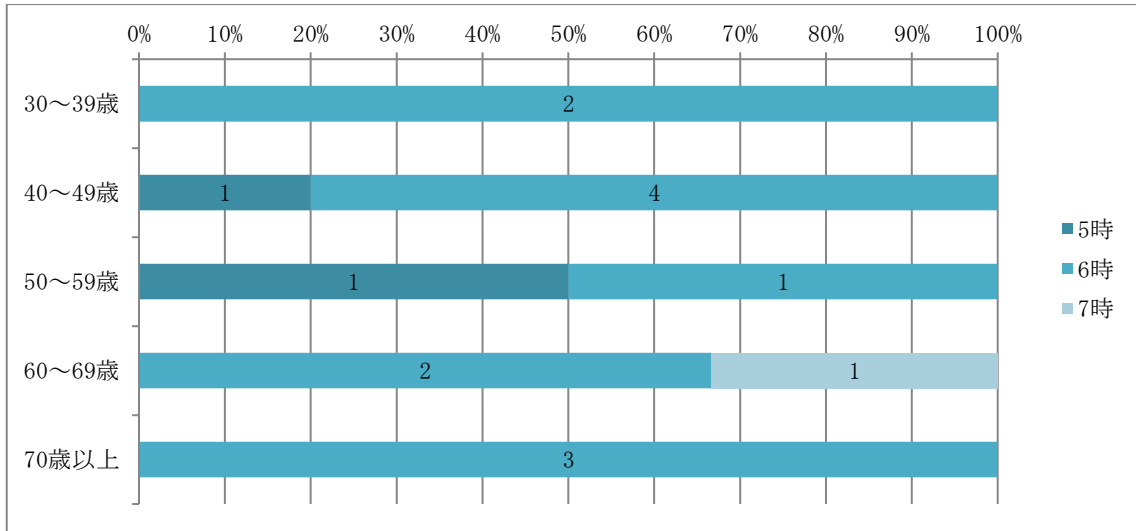


「朝の便を早くから運行する」を選んだ人の多くは、「6時」からの運行を要望しています。

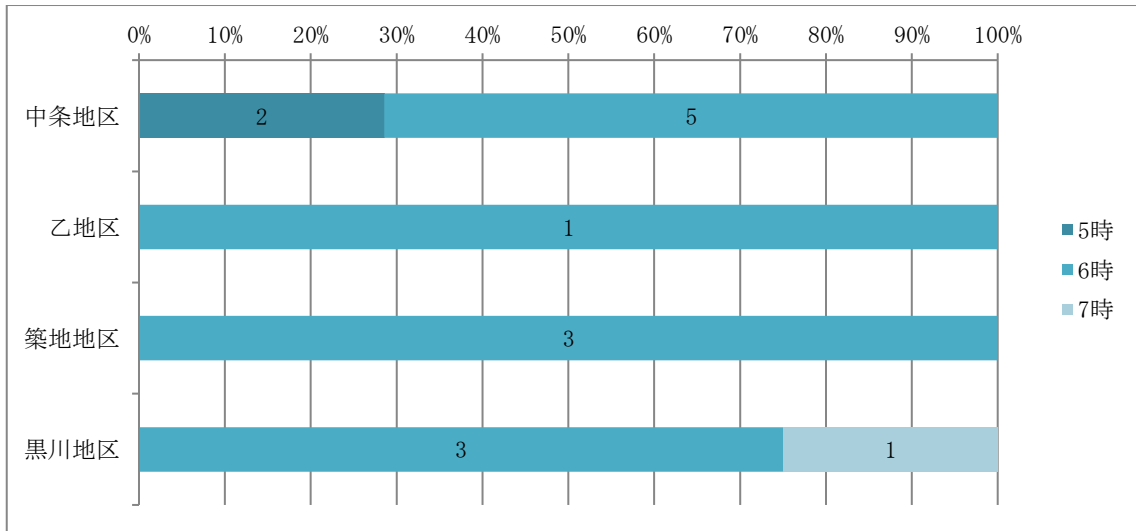
【図表 2 - 43】 具体的な内容（朝の便の運行）



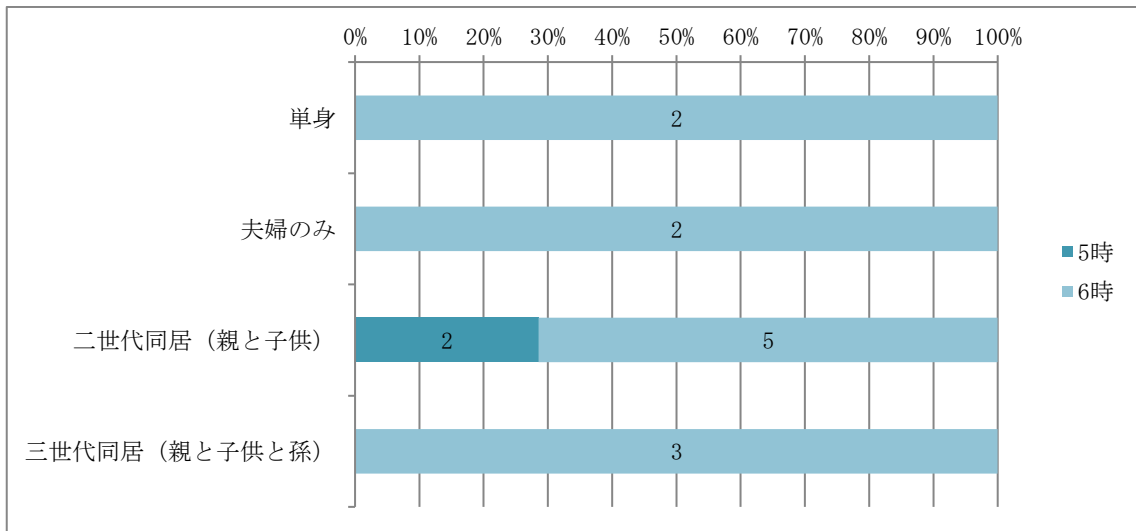
【図表 2 - 44】年代別具体的な内容（朝の便の運行）



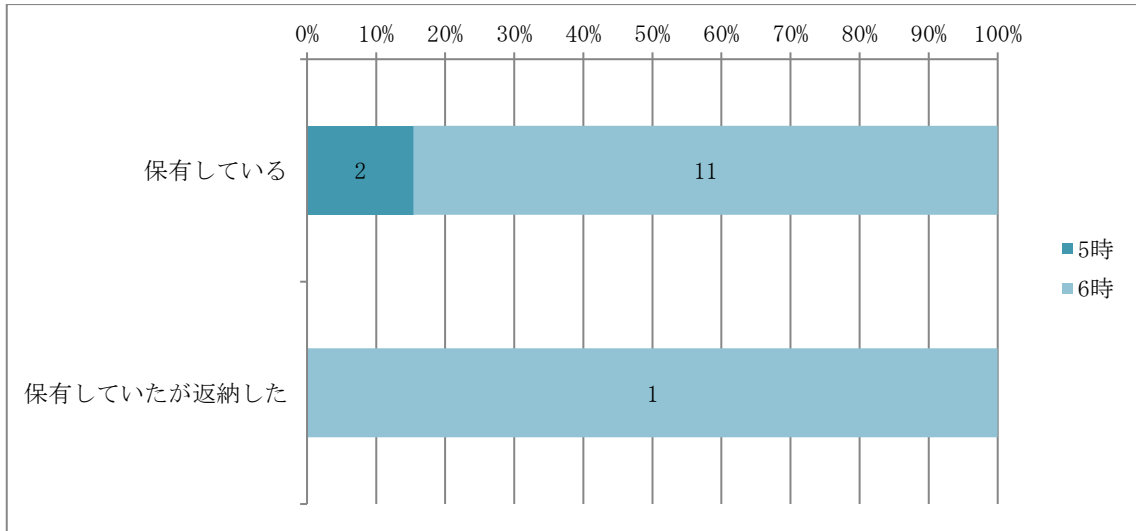
【図表 2 - 45】居住地別具体的な内容（朝の便の運行）



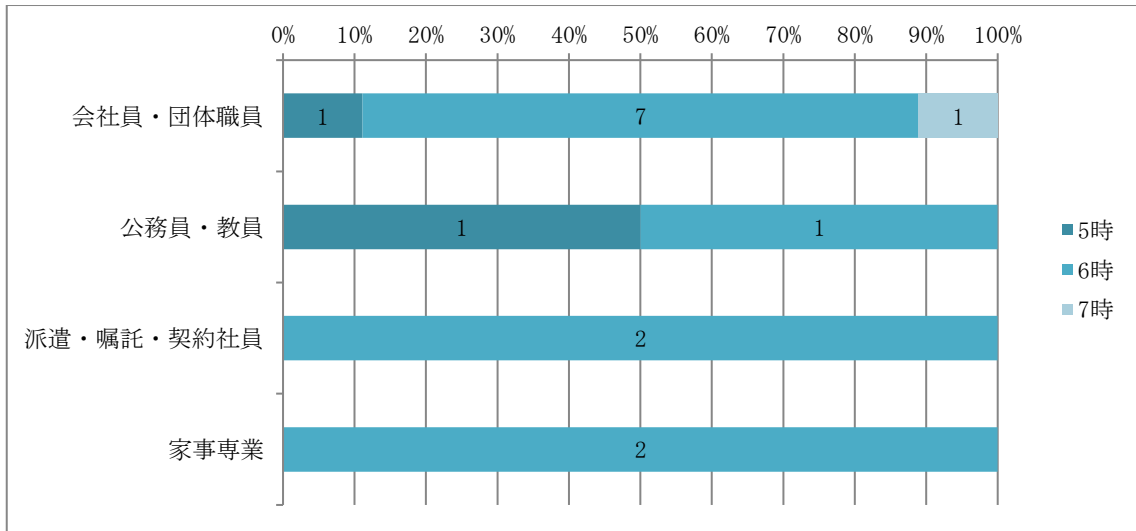
【図表 2 - 46】家族構成別具体的な内容（朝の便の運行）



【図表 2 - 47】 免許保有状況別具体的な内容（朝の便の運行）

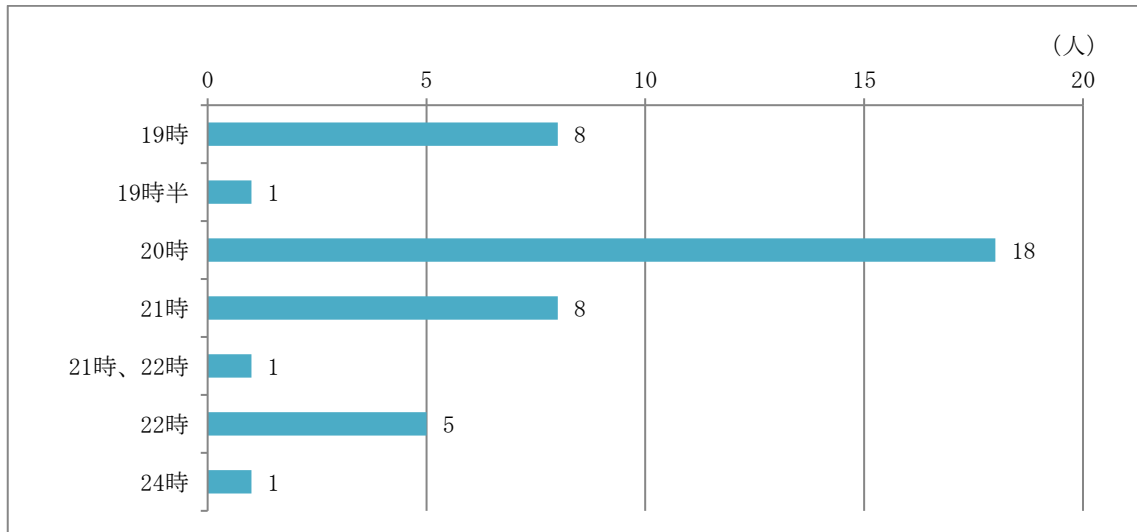


【図表 2 - 48】 職業別具体的な内容（朝の便の運行）

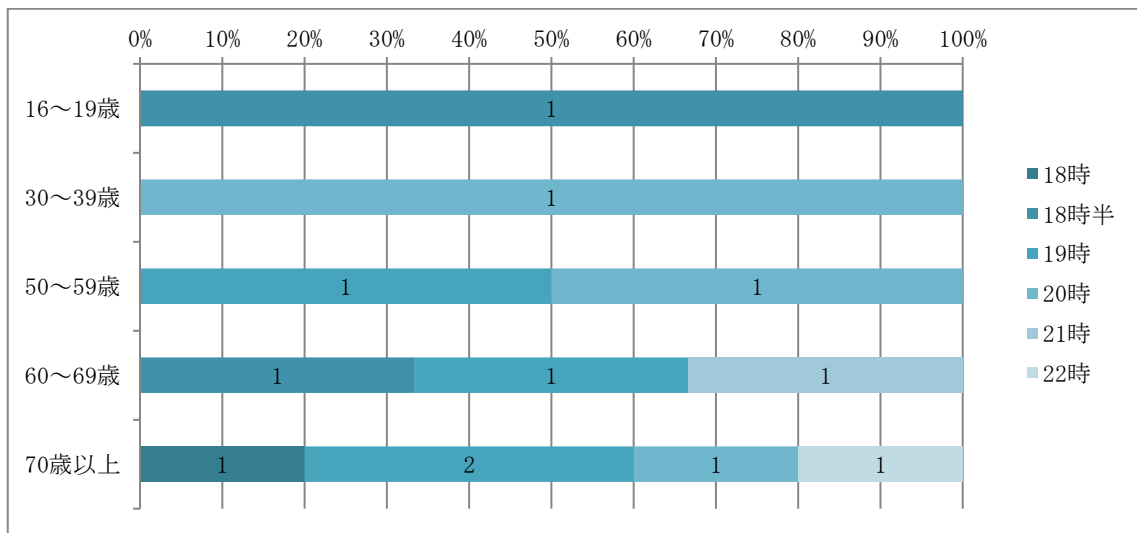


「夕方の便を遅くまで運行する」を選んだ人の多くは、「20時」までの運行を要望しています。

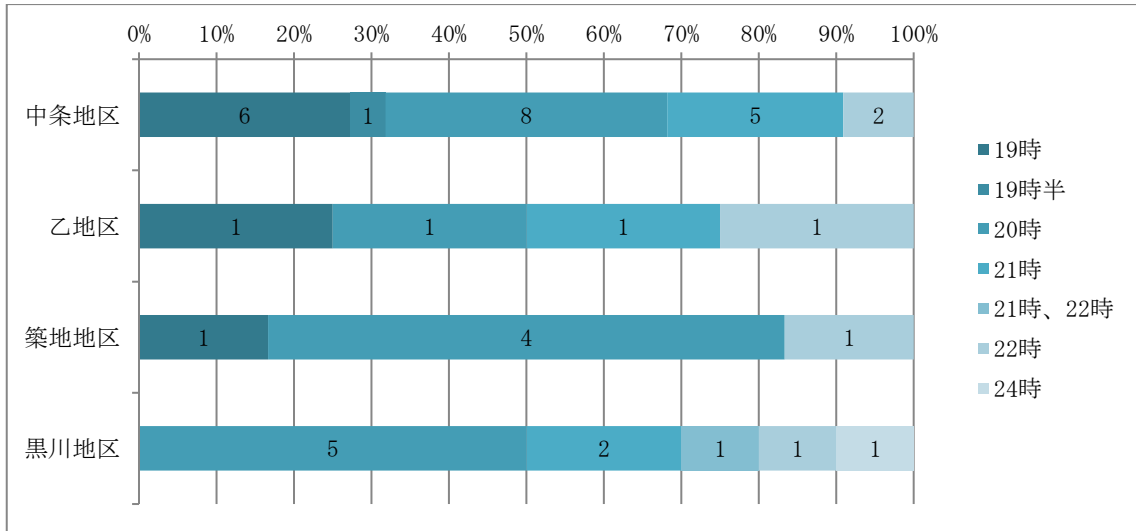
【図表 2 - 49】 具体的な内容（夕方の便の運行）



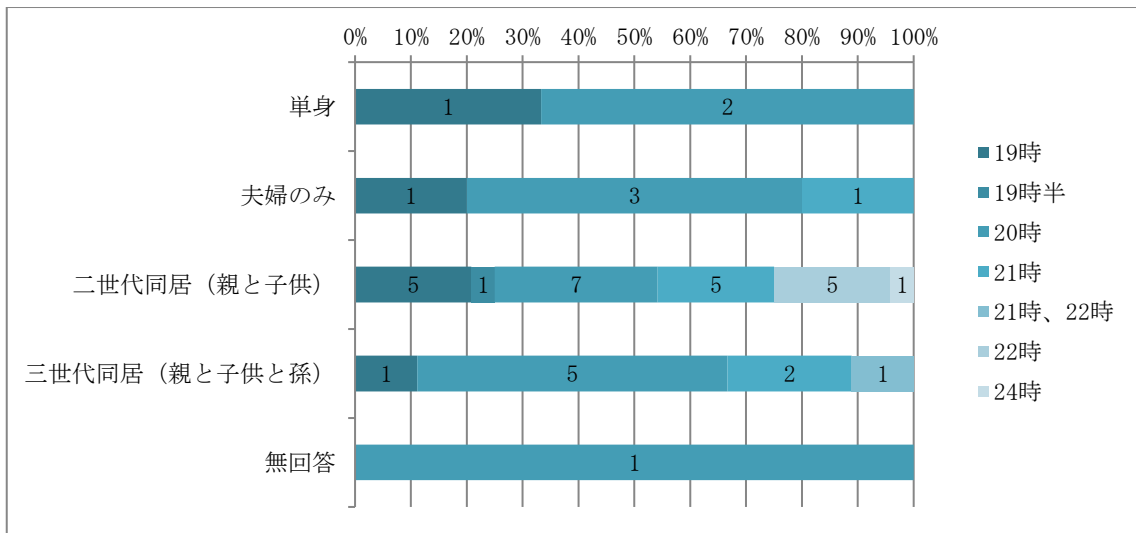
【図表 2 - 50】 年代別具体的な内容（夕方の便の運行）



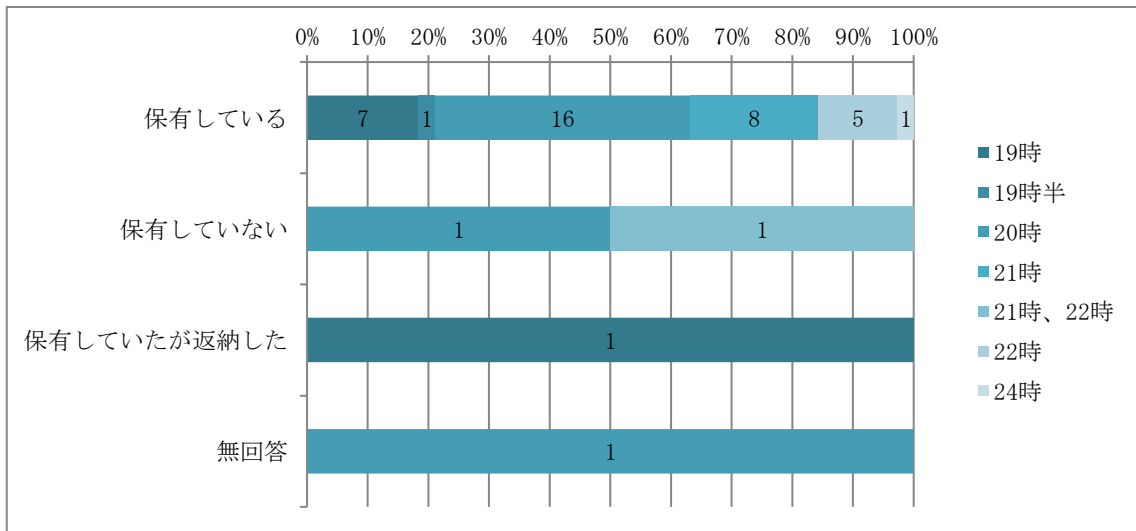
【図表 2 - 51】 居住地別主な改善要望



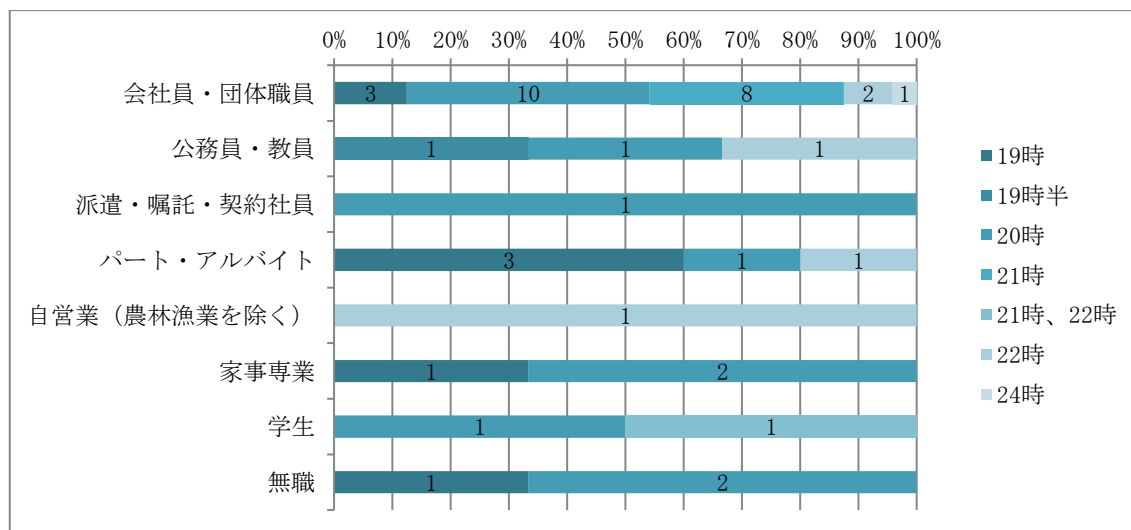
【図表 2 - 52】 家族構成別主な改善要望



【図表 2 - 53】 免許保有状況別主な改善要望

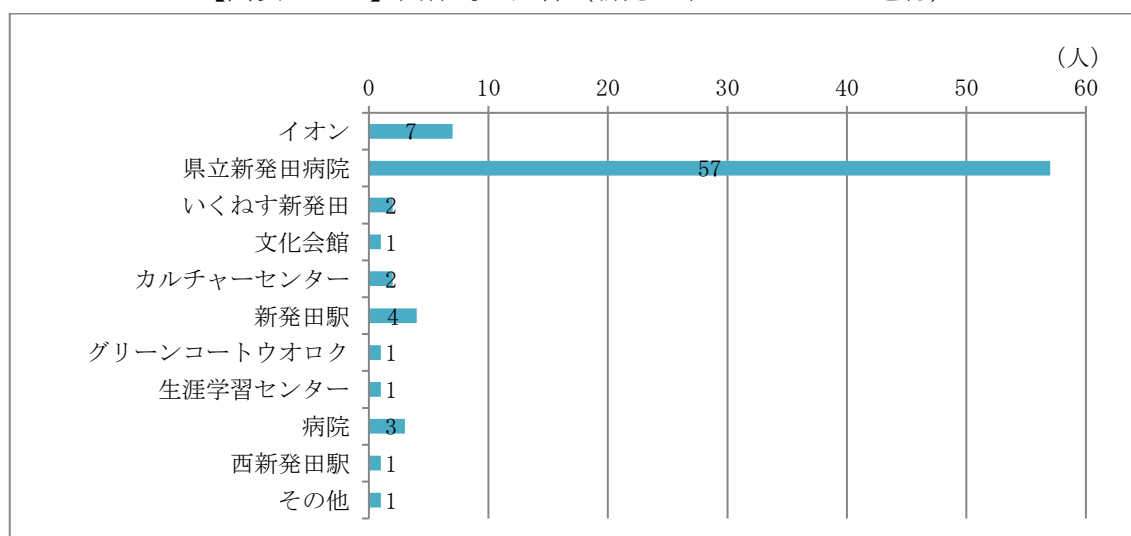


【図表 2 - 54】 職業別主な改善要望

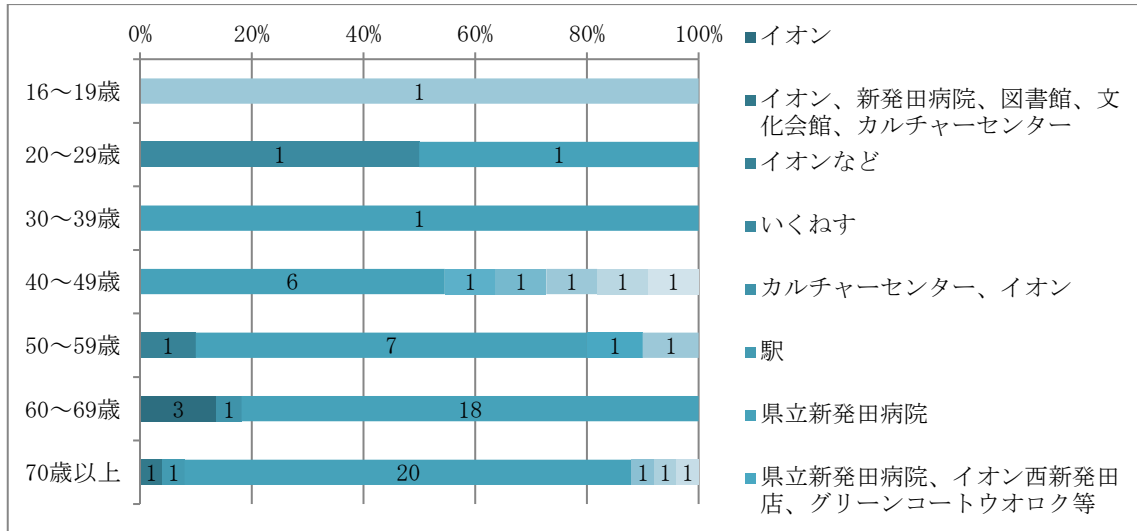


「新発田市までエリアを拡大する」を選んだ人の多くは、「県立新発田病院」までの運行を要望しています。

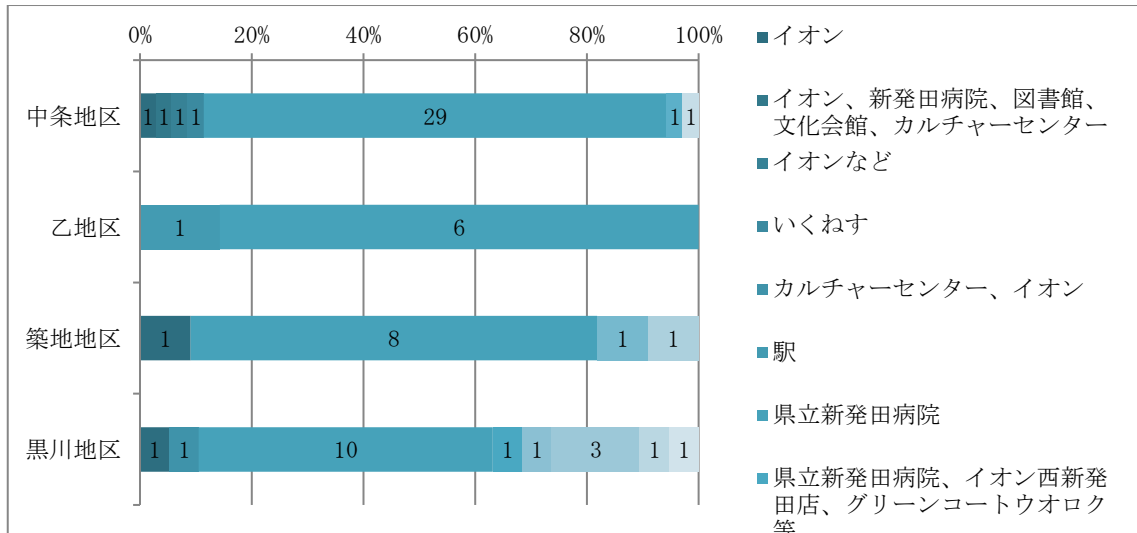
【図表 2 - 55】 具体的な内容（新発田市エリアまでの運行）



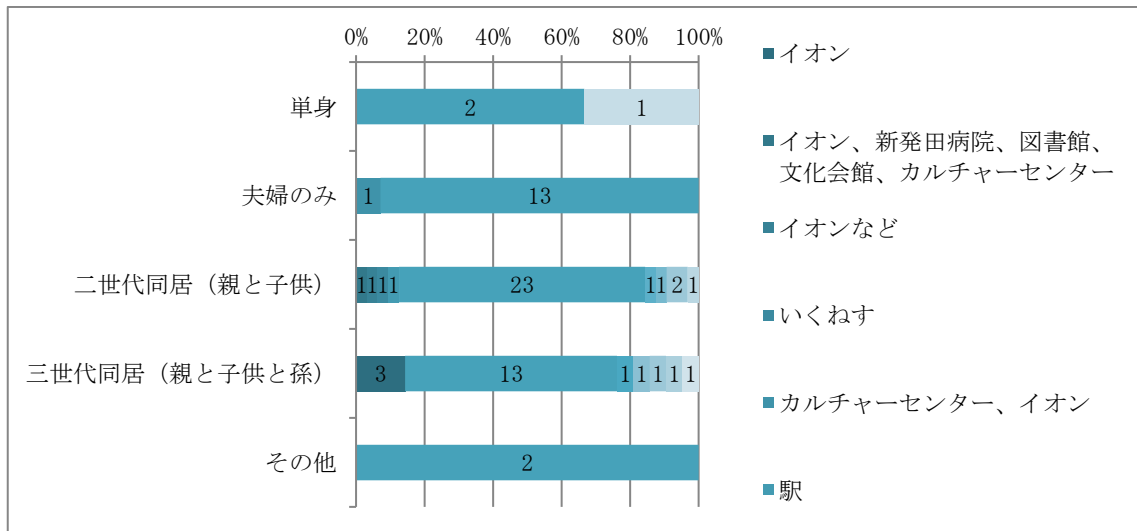
【図表 2-56】年代別具体的な内容（新発田市エリアまでの運行）



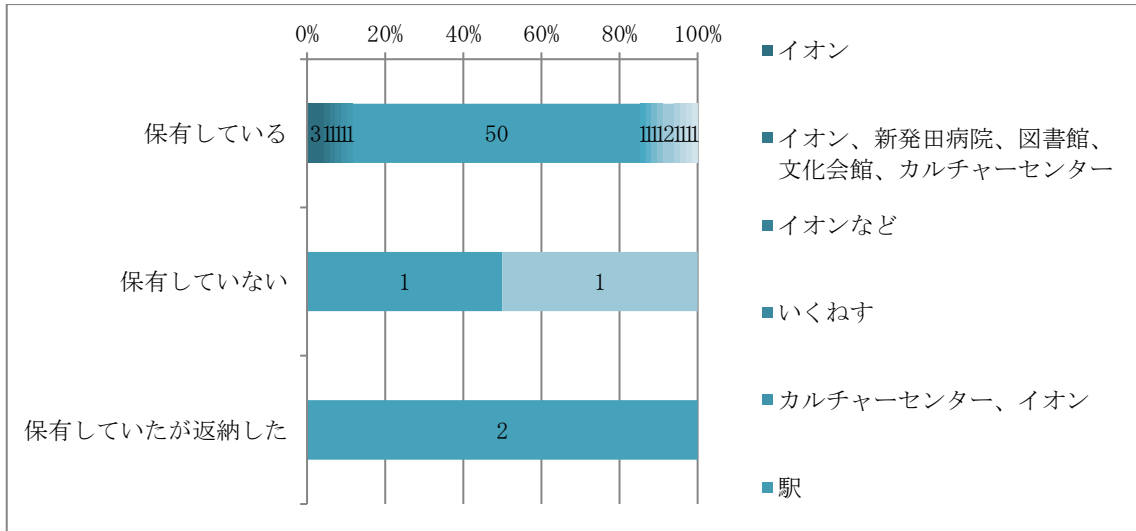
【図表 2-57】居住地別具体的な内容（新発田市エリアまでの運行）



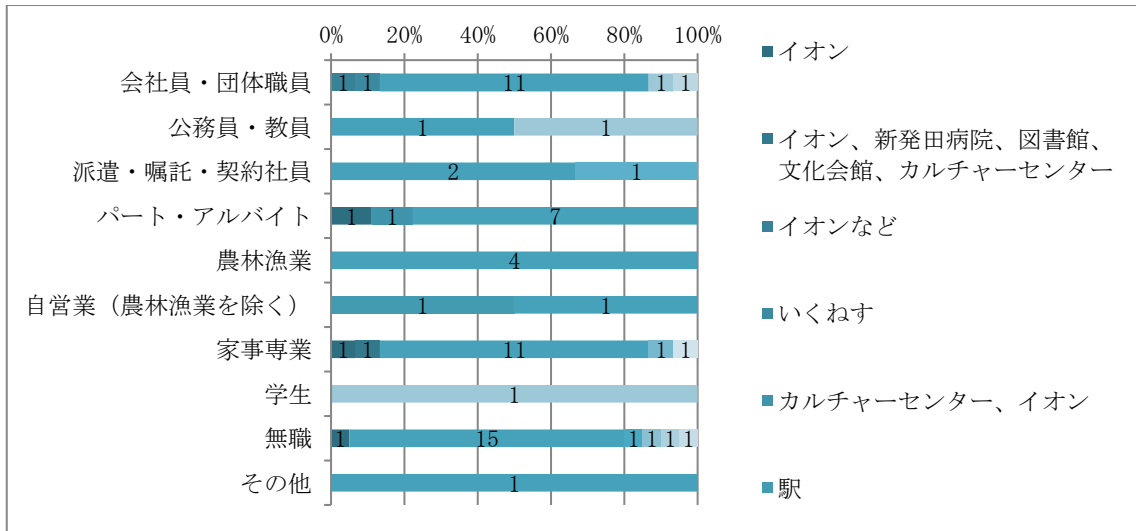
【図表 2-58】家族構成別具体的な内容（新発田市エリアまでの運行）



【図表 2 - 59】 免許保有状況別具体的な内容（新発田市エリアまでの運行）

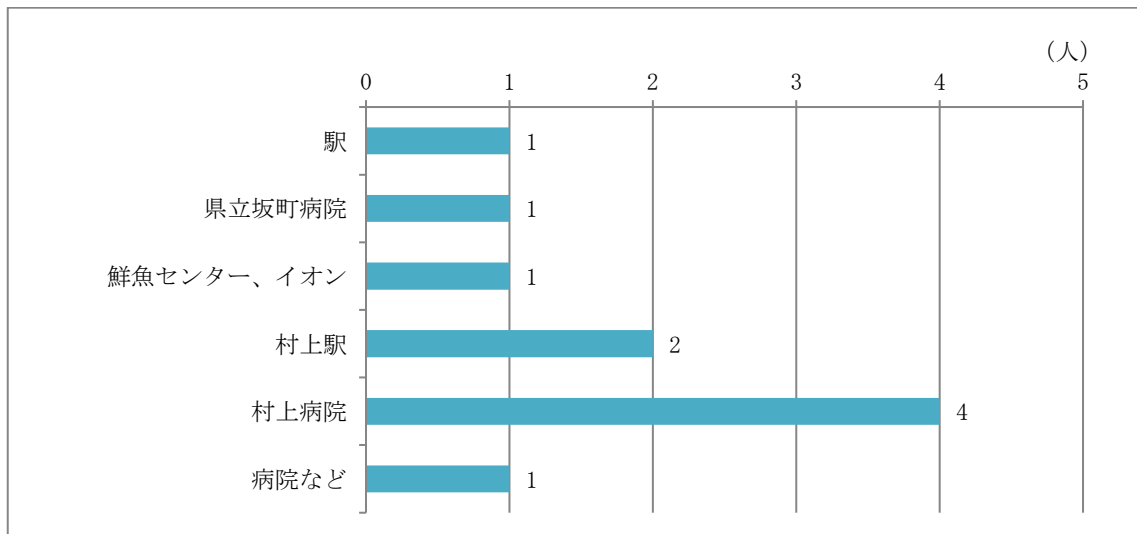


【図表 2 - 60】 職業別具体的な内容（新発田市エリアまでの運行）

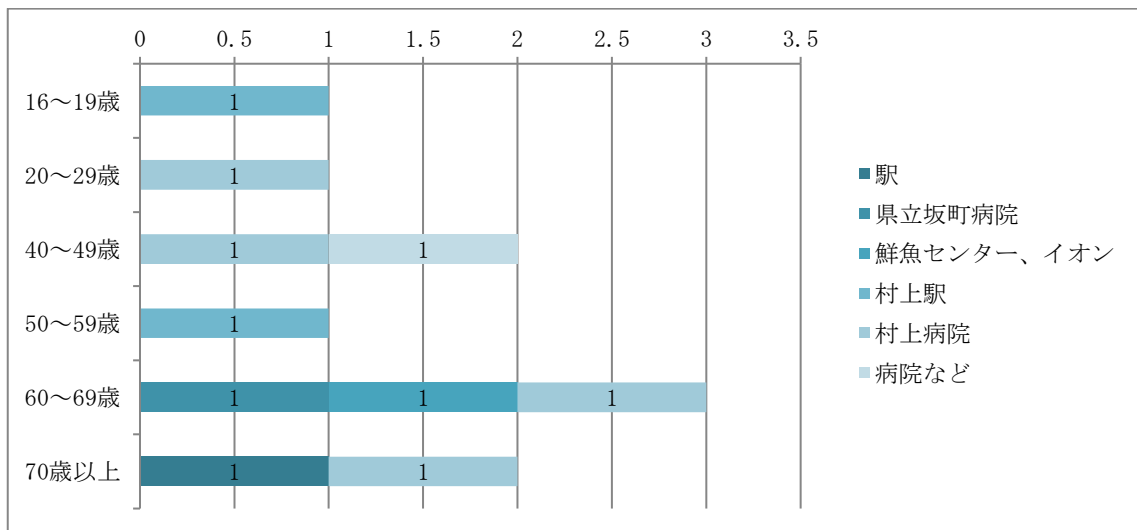


「村上市までエリアを拡大する」を選んだ人はあまり多くいませんが、その中では「村上病院」までの運行要望が出ています。

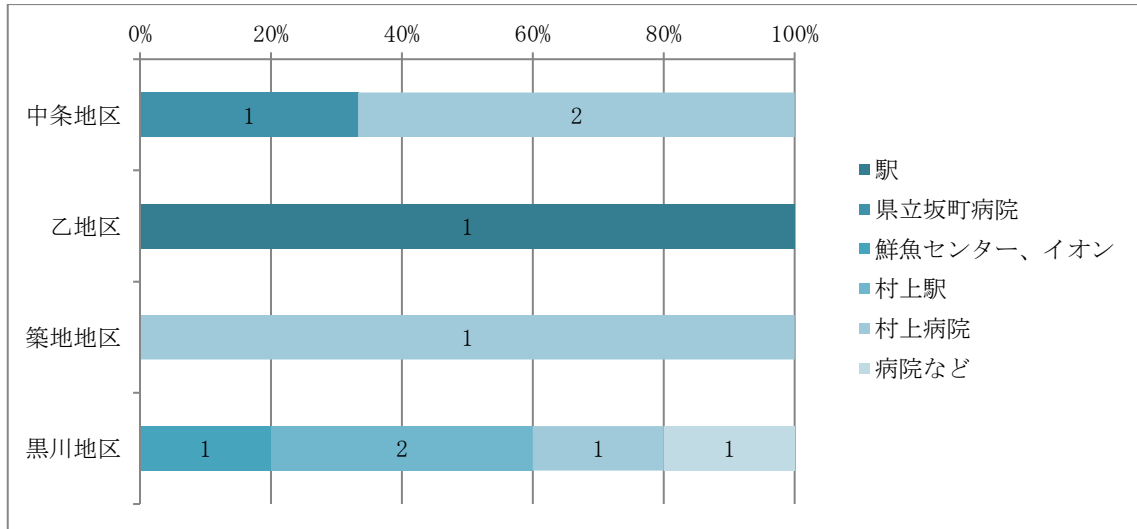
【図表 2 - 61】 具体的な内容（村上市エリアまでの運行）



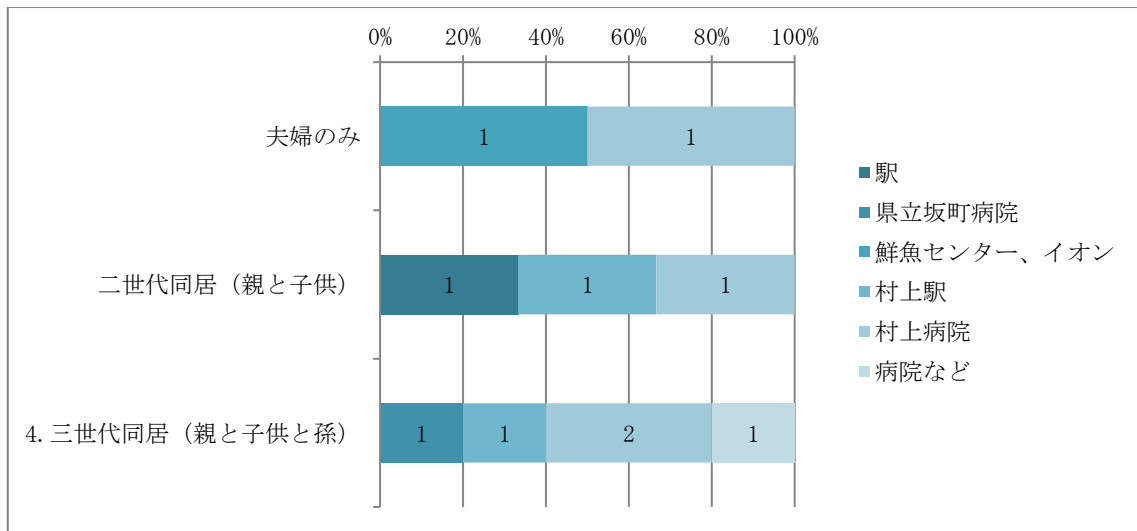
【図表 2 - 62】 年代別具体的な内容（村上市エリアまでの運行）



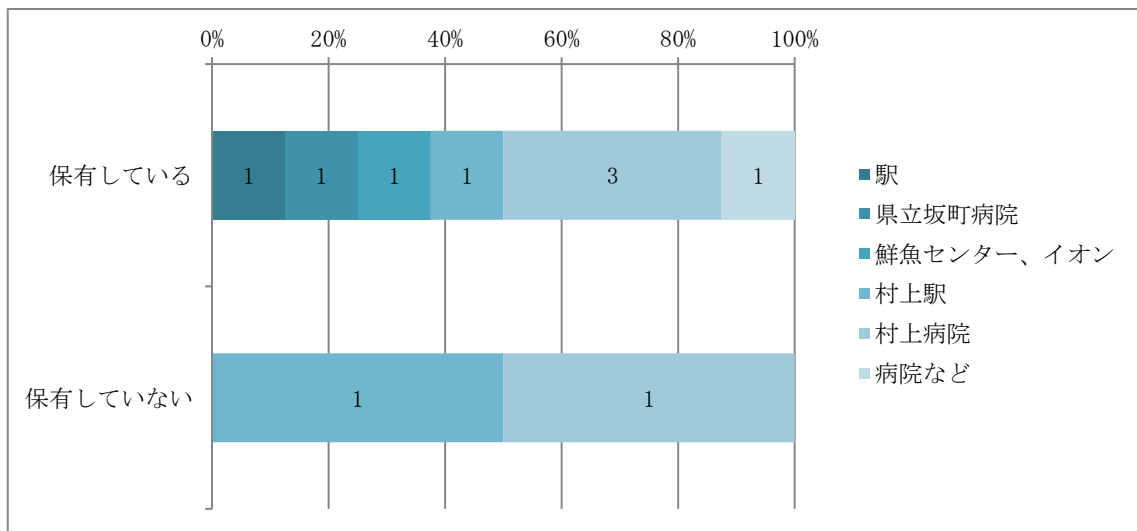
【図表 2 - 63】居住地別具体的な内容（村上市エリアまでの運行）



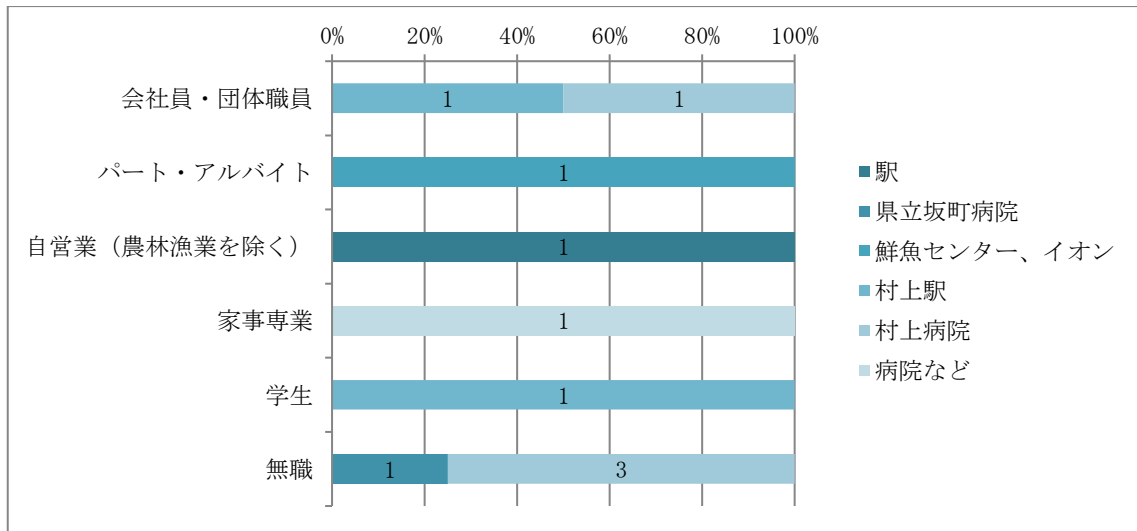
【図表 2 - 64】家族構成別具体的な内容（村上市エリアまでの運行）



【図表 2 - 65】免許保有状況別具体的な内容（村上市エリアまでの運行）

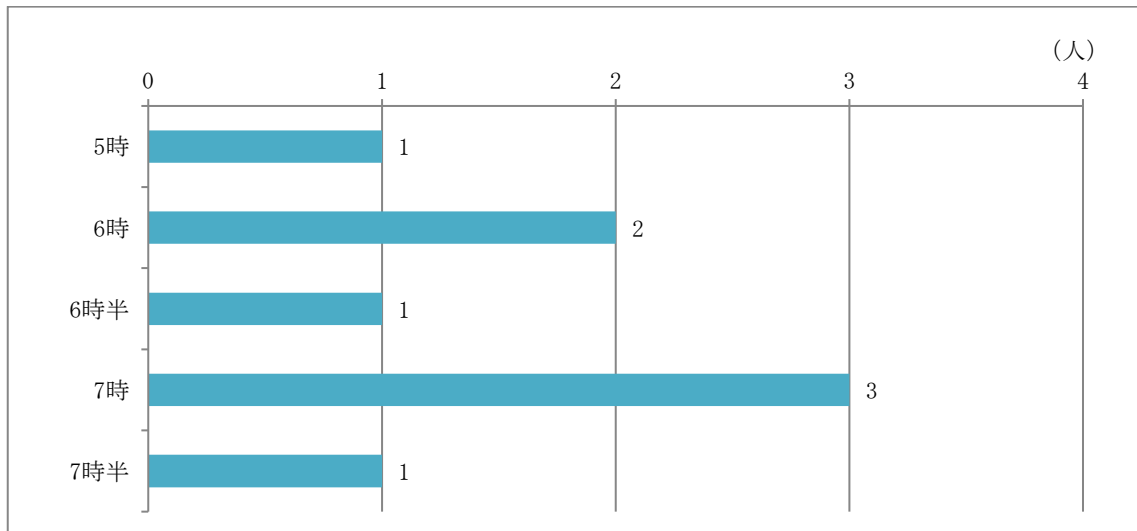


【図表 2 - 66】 職業別具体的な内容（村上市エリアまでの運行）

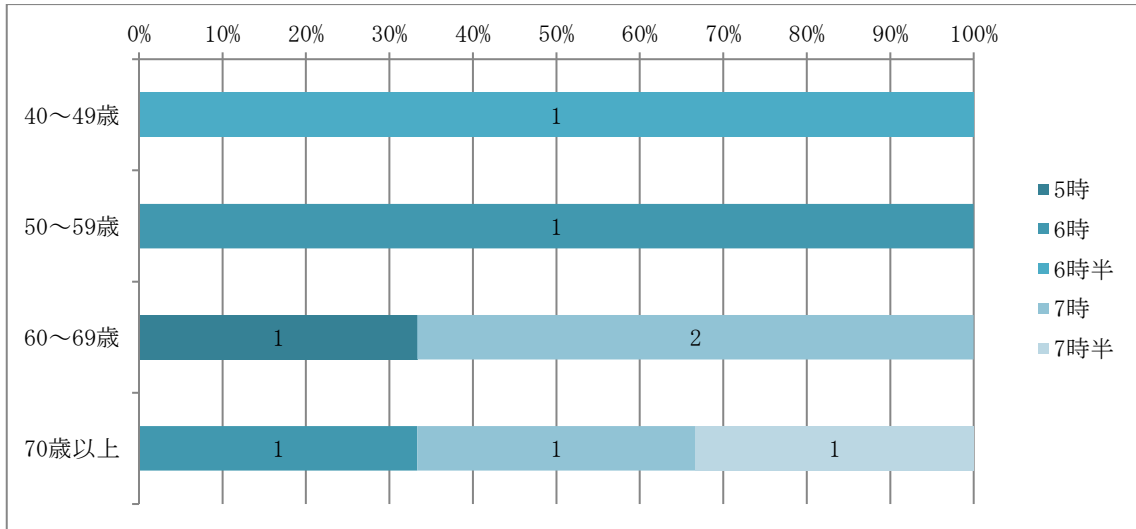


「予約受付の開始を早くする」を選んだ人の多くは、「7時」からの予約受付を要望しています。

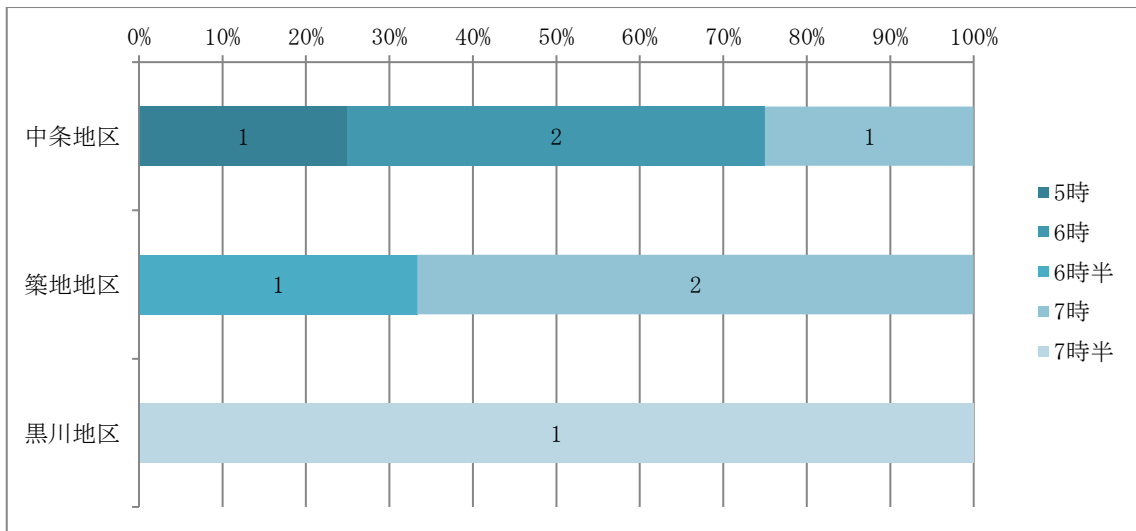
【図表 2 - 67】 具体的な内容（予約受付開始時間）



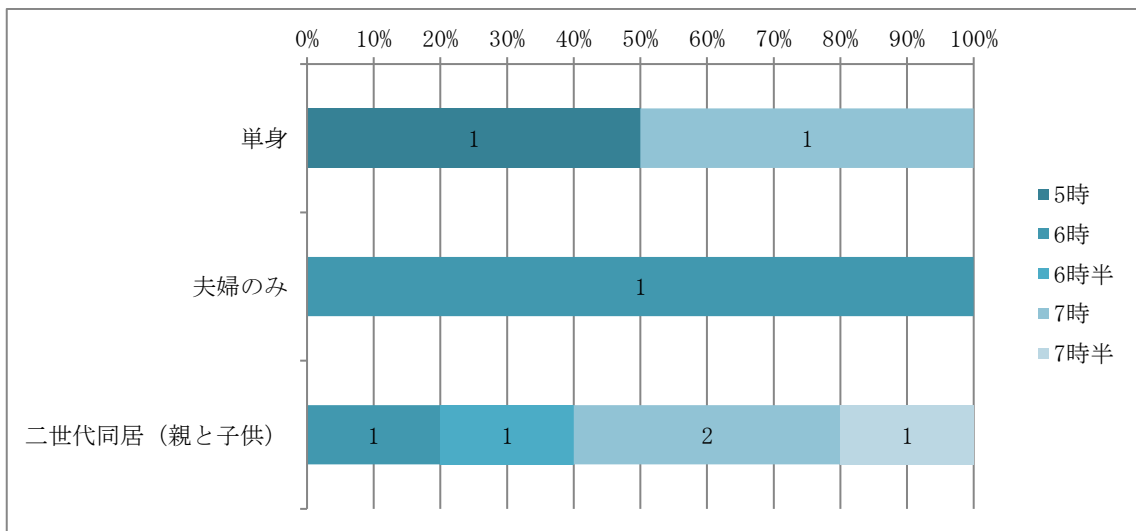
【図表 2 - 68】年代別具体的な内容（予約受付開始時間）



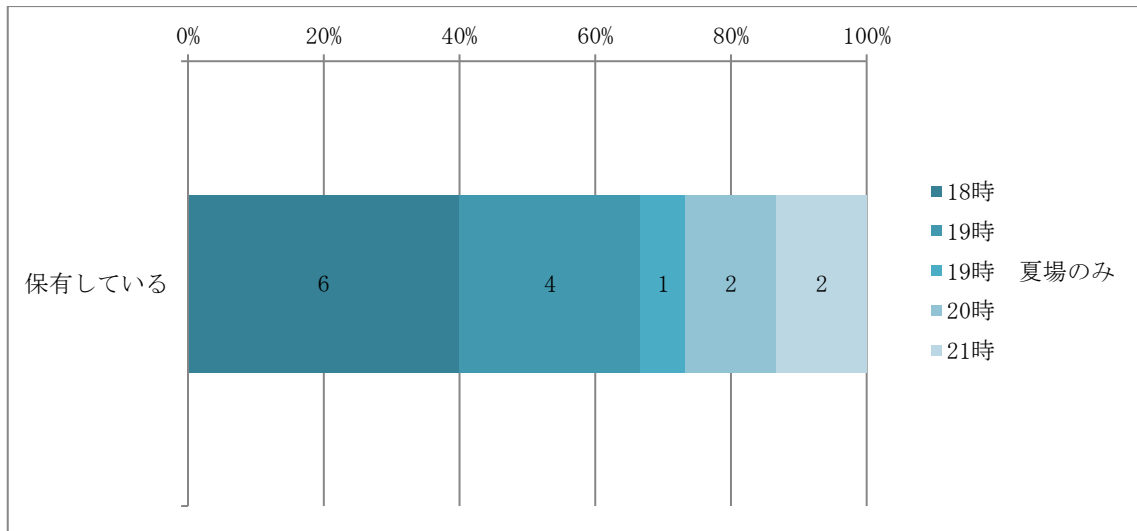
【図表 2 - 69】居住地別具体的な内容（予約受付開始時間）



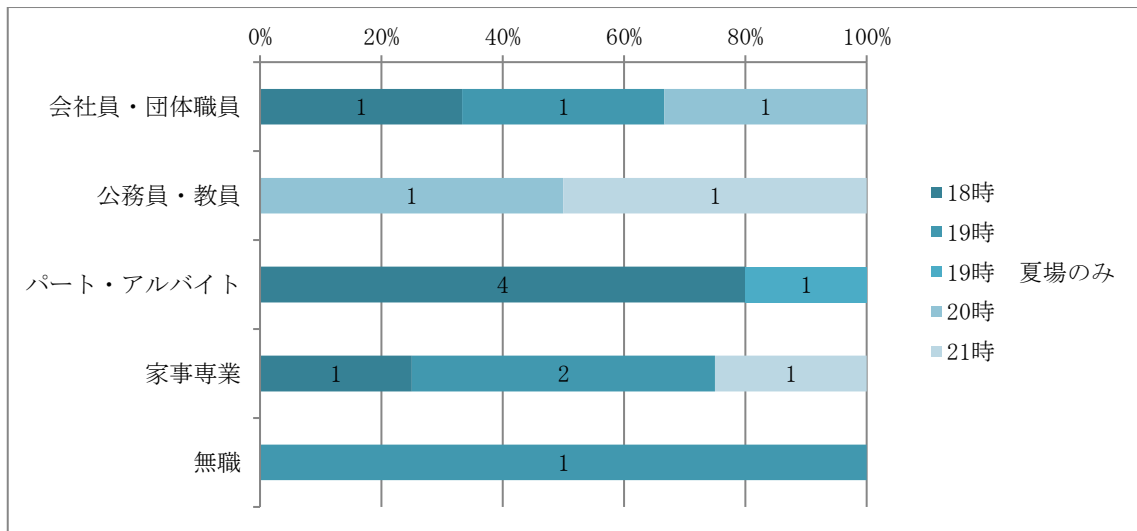
【図表 2 - 70】家族構成別具体的な内容（予約受付開始時間）



【図表 2 - 71】 免許保有状況別具体的な内容（予約受付開始時間）

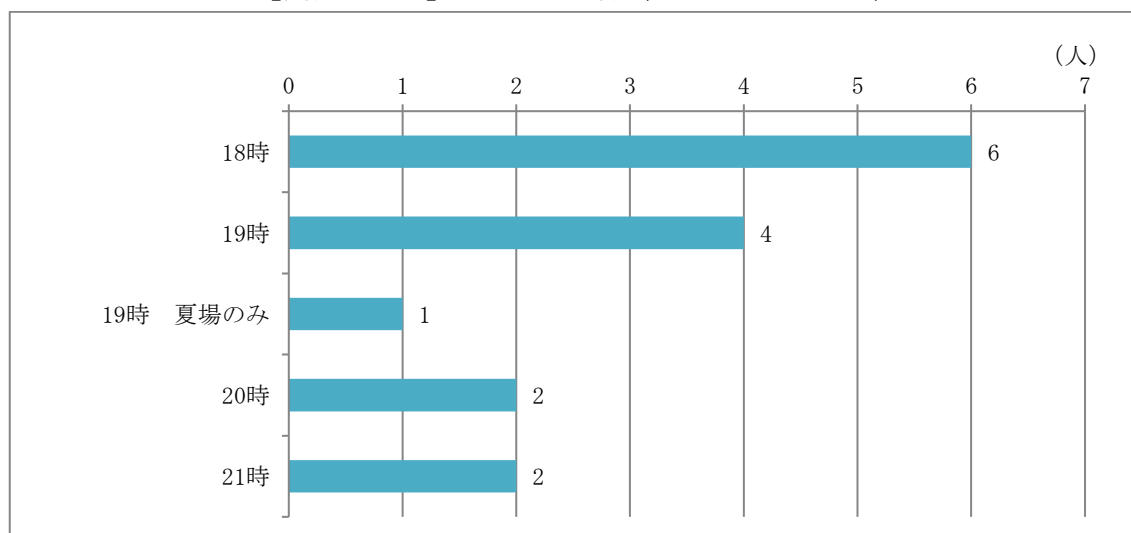


【図表 2 - 72】 職業別具体的な内容（予約受付開始時間）

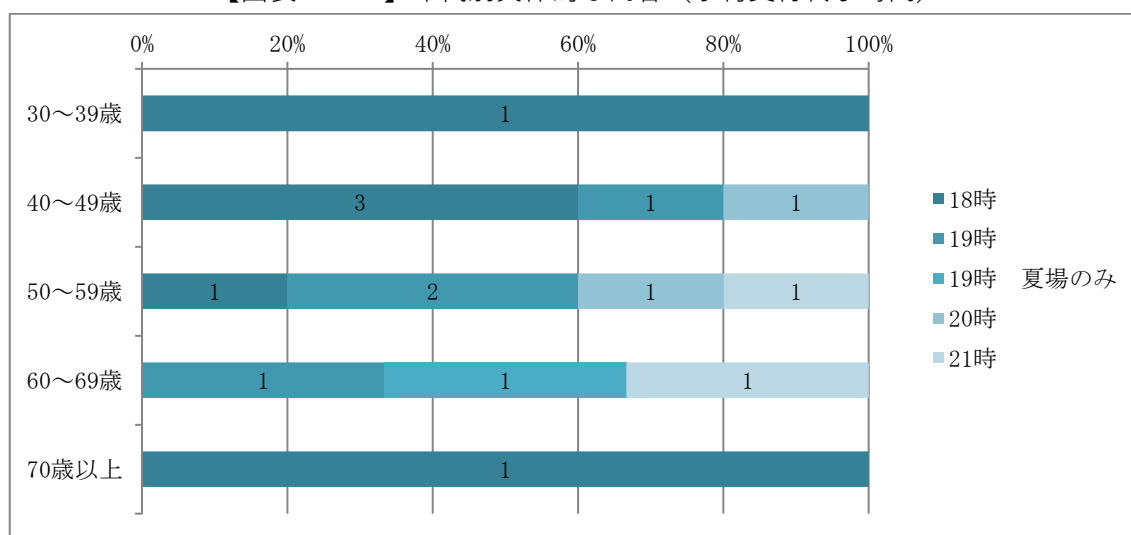


「予約受付の終了を延長する」を選んだ人の多くは、「18時」までの予約受付を要望しています。

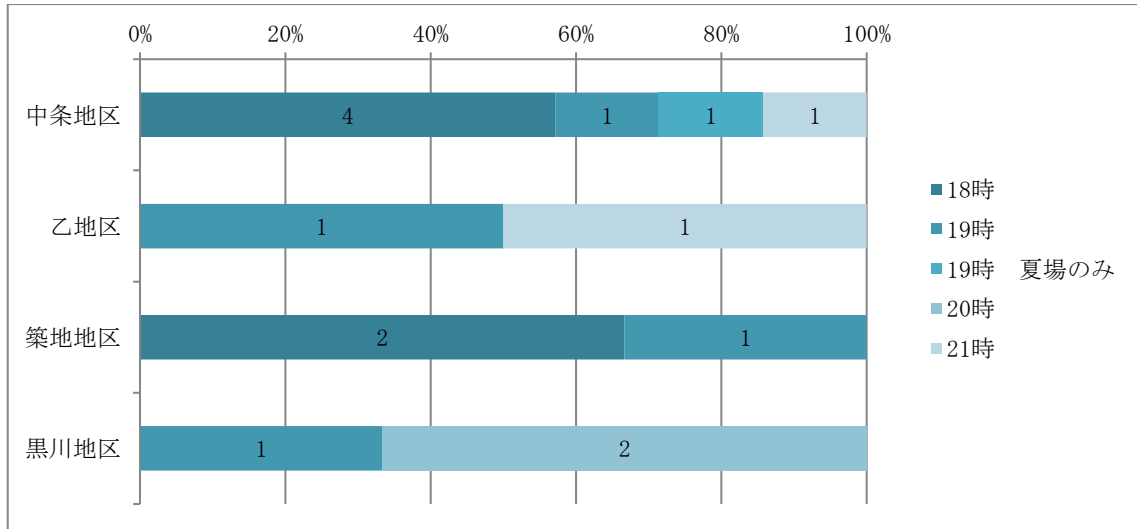
【図表 2 - 73】 具体的な内容（予約受付終了時間）



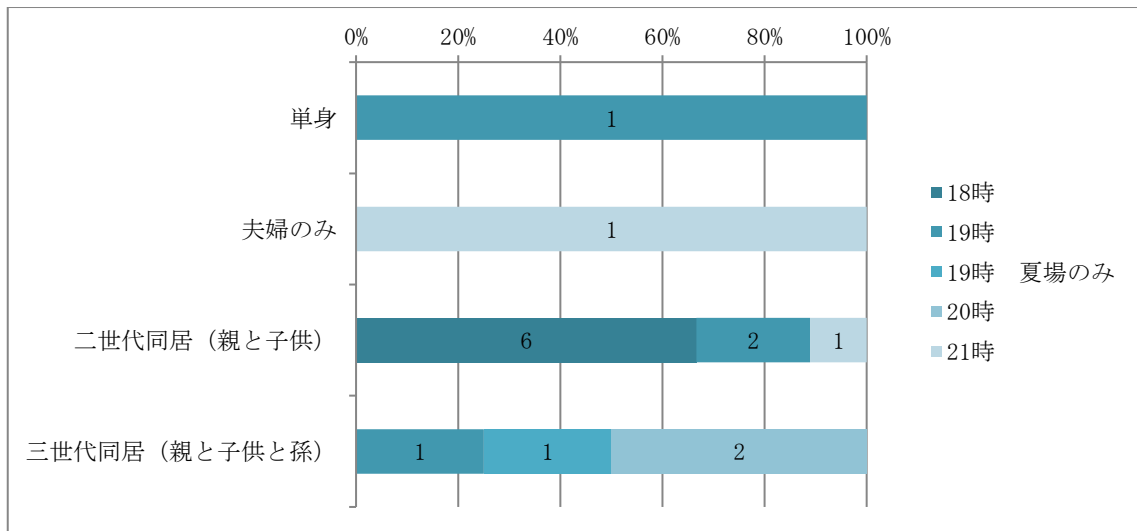
【図表 2 - 74】 年代別具体的な内容（予約受付終了時間）



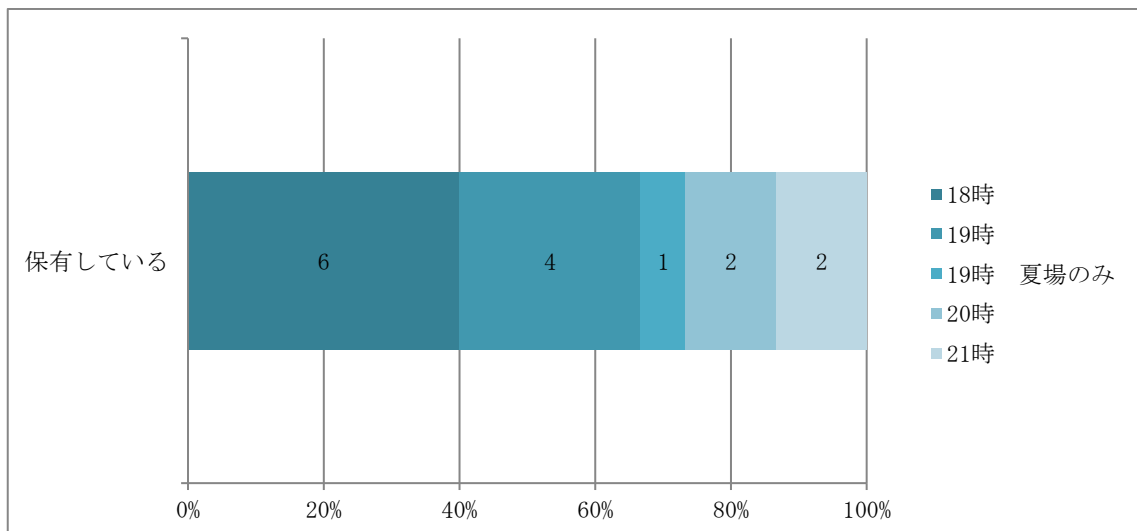
【図表 2 - 75】居住地別具体的な内容（予約受付終了時間）



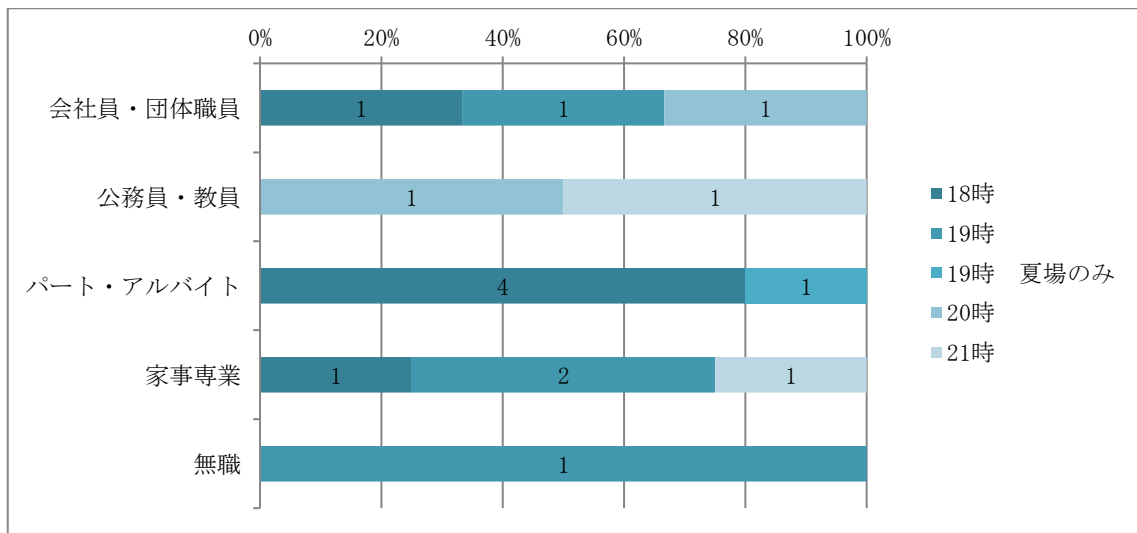
【図表 2 - 76】家族構成別具体的な内容（予約受付終了時間）



【図表 2 - 77】免許保有状況別具体的な内容（予約受付終了時間）



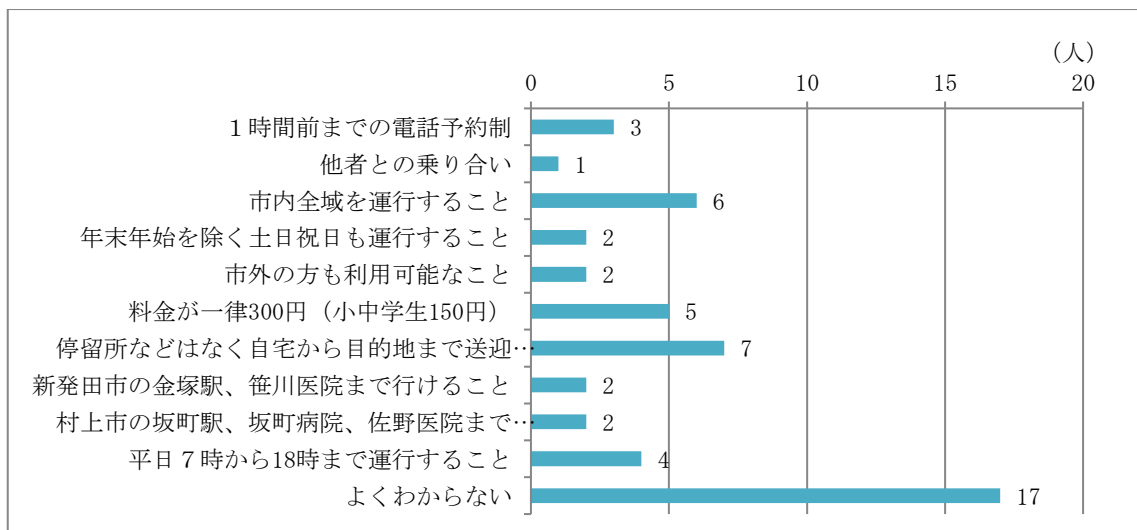
【図表 2 - 78】職業別具体的な内容（予約受付終了時間）



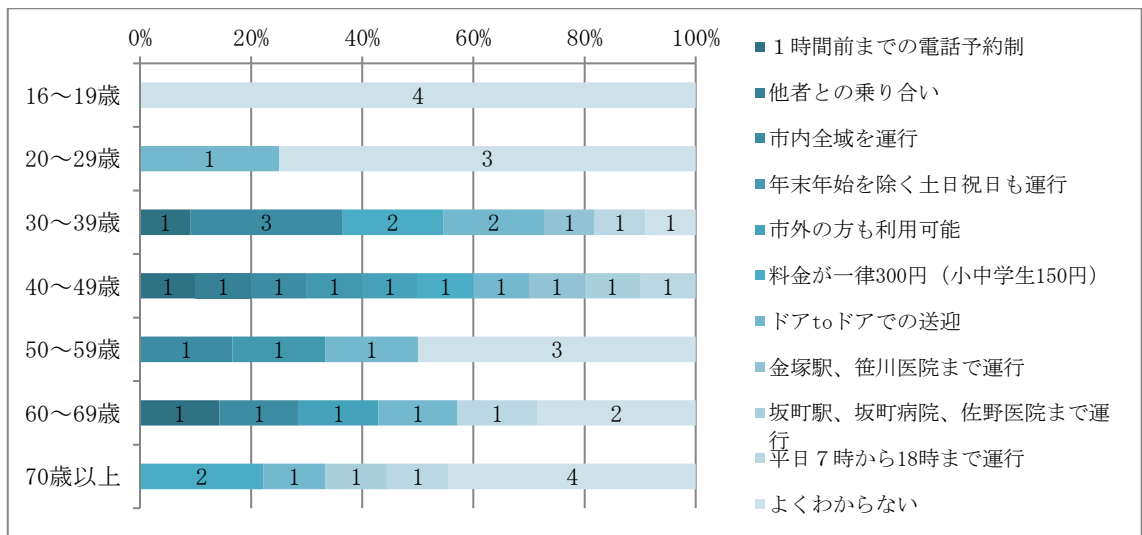
◆ のれんす号を知らない人が回答した良いと思うのれんす号の特徴は、「ドア to ドアでの運行」

のれんす号を知らない人に対してどのような特徴が良いと思うか尋ねた結果、「よくわからない」が17人（58.6%）で最も多い回答でした。そのほかは、「ドア to ドア」、「市内全域を運行すること」、「料金が一律300円」が選ばれていました。

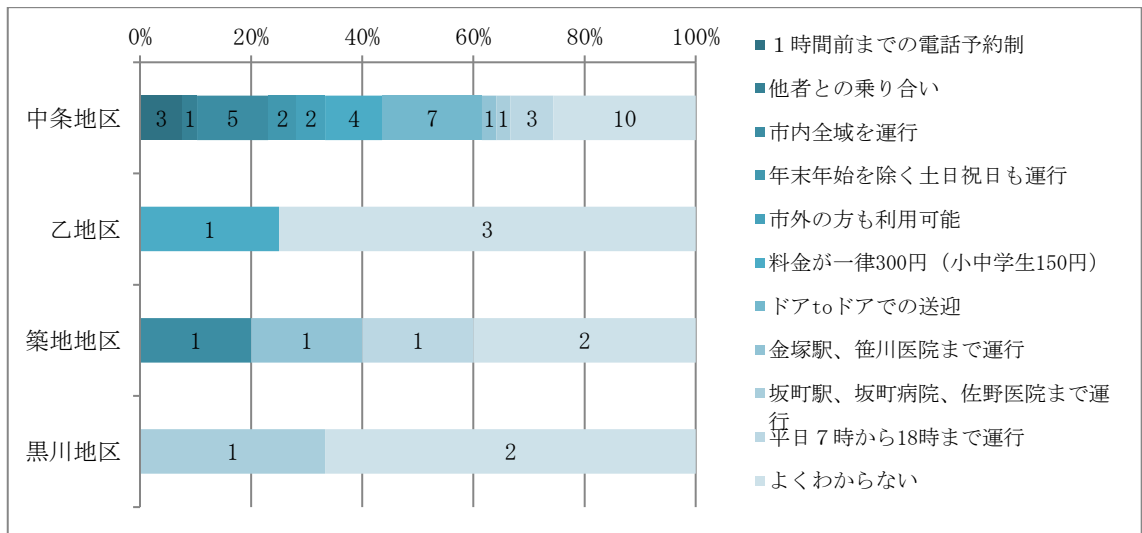
【図表2-79】 のれんす号の良いと思う特徴



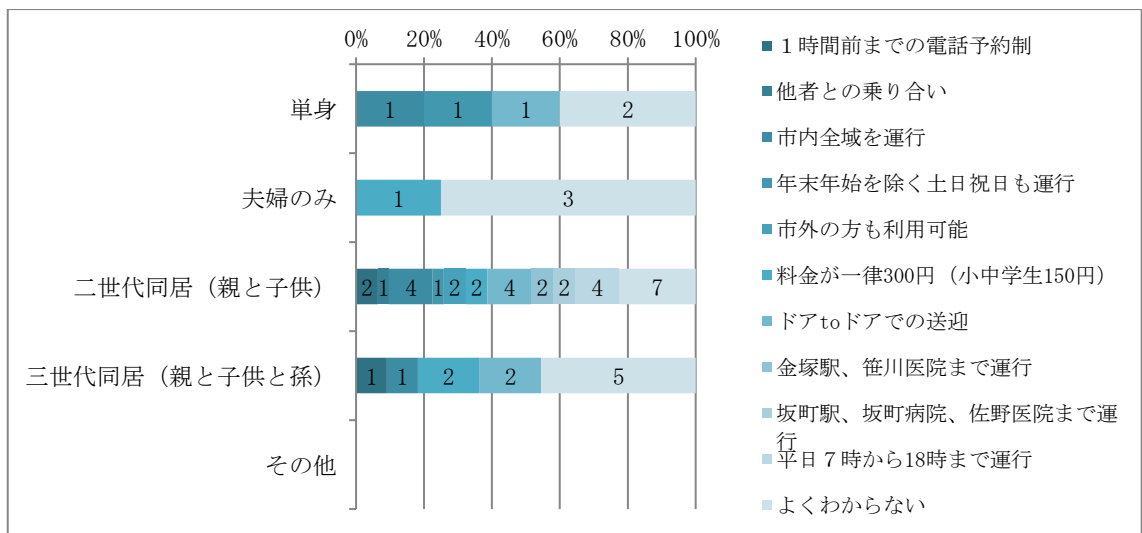
【図表2-80】 年代別ののれんす号の良いと思う特徴



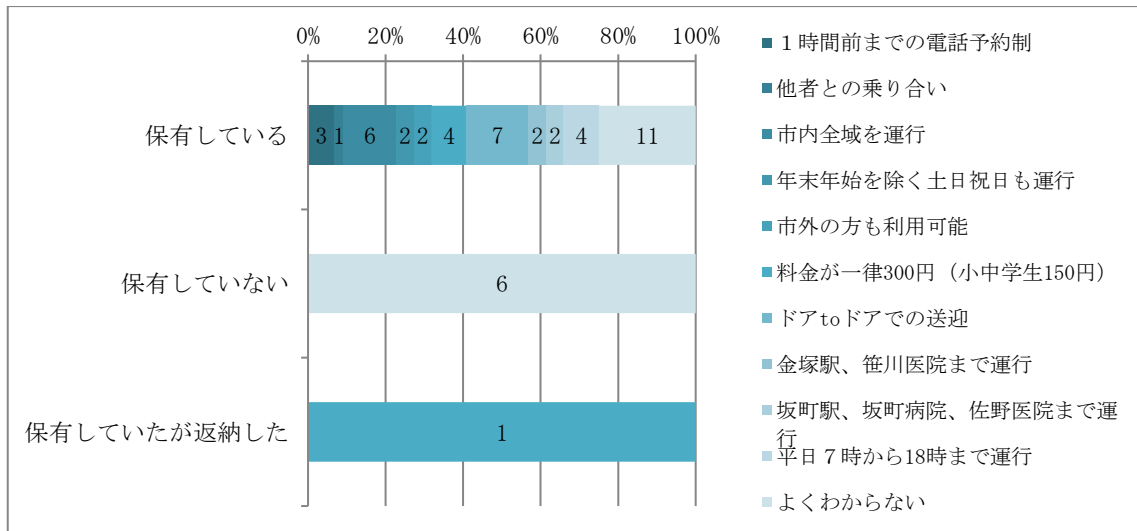
【図表2-81】居住地別のれんす号の良いと思う特徴



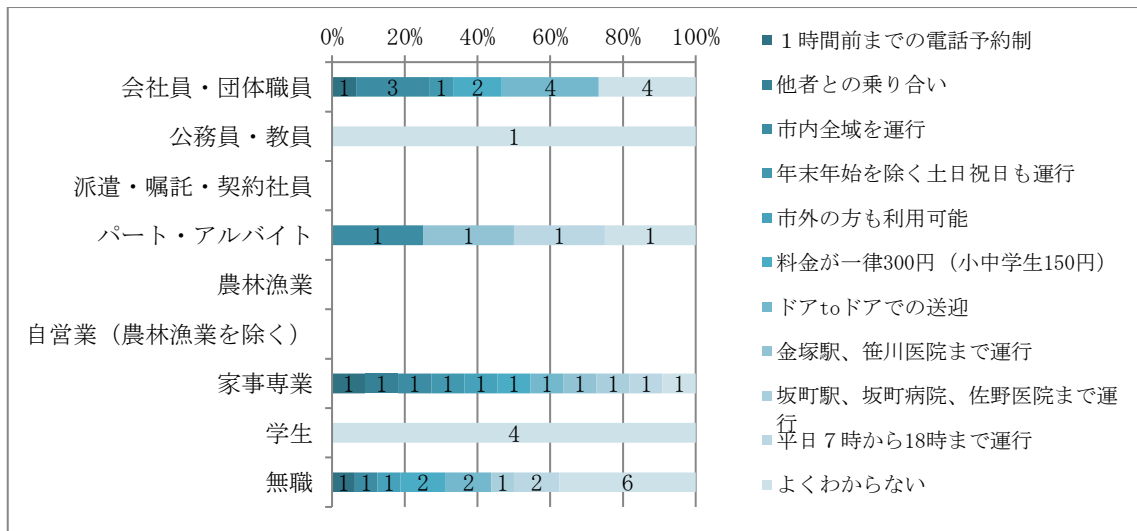
【図表2-82】家族構成別のれんす号の良いと思う特徴



【図表 2 - 83】 免許保有状況別のれんす号の良いと思う特徴



【図表 2 - 84】 職業別のれんす号の良いと思う特徴

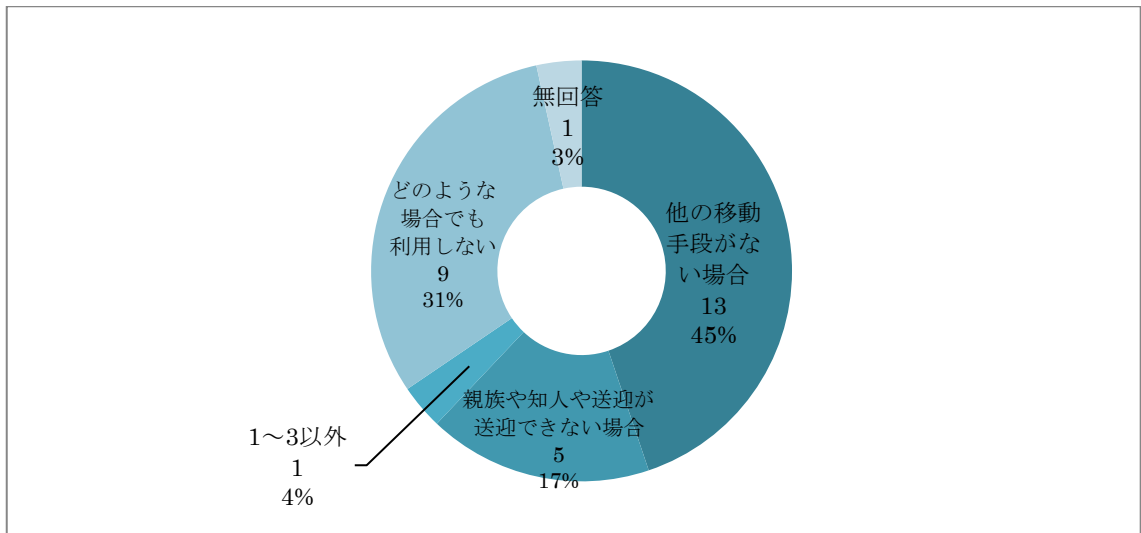


◆のれんす号の利用可能性は、「他の利用手段がないとき」

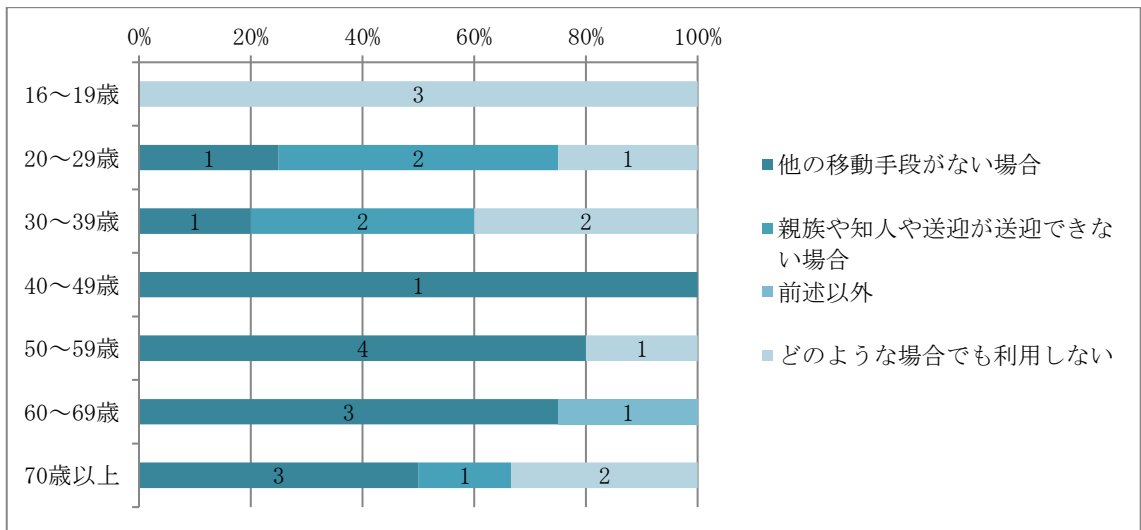
「他の移動手段がない場合」に利用する可能性があるという回答した人が13人（44.8%）いる一方で、「どのような場合でも利用しない」が9人（31.0%）いました。現在利用していない人にとってのれんす号は最終手段として利用する要素が強いです。

若年層になるにつれて、「どのような場合でも利用しない」を選択する傾向が強くなっています。

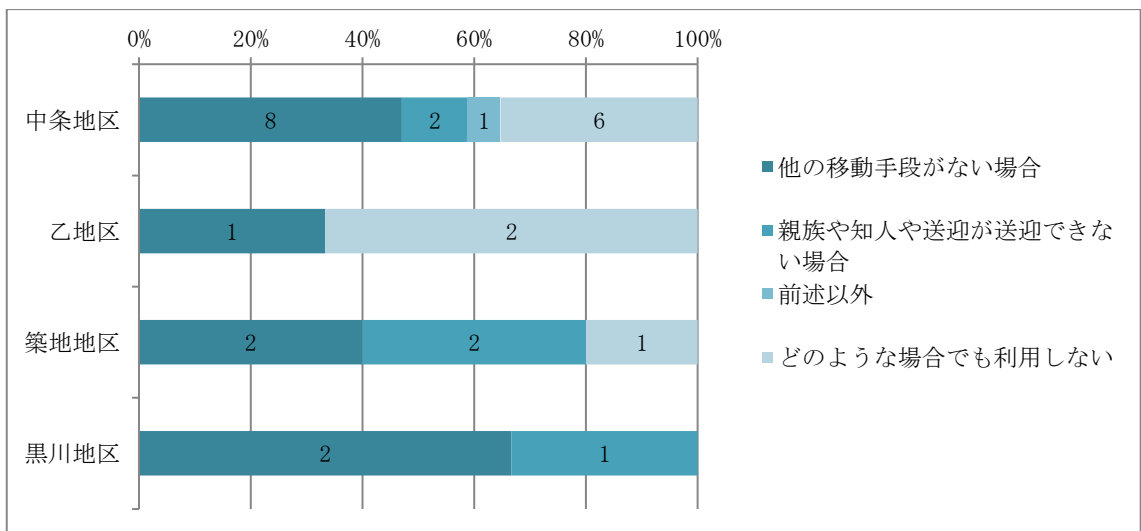
【図表 2 - 85】 どのようなときに利用するか



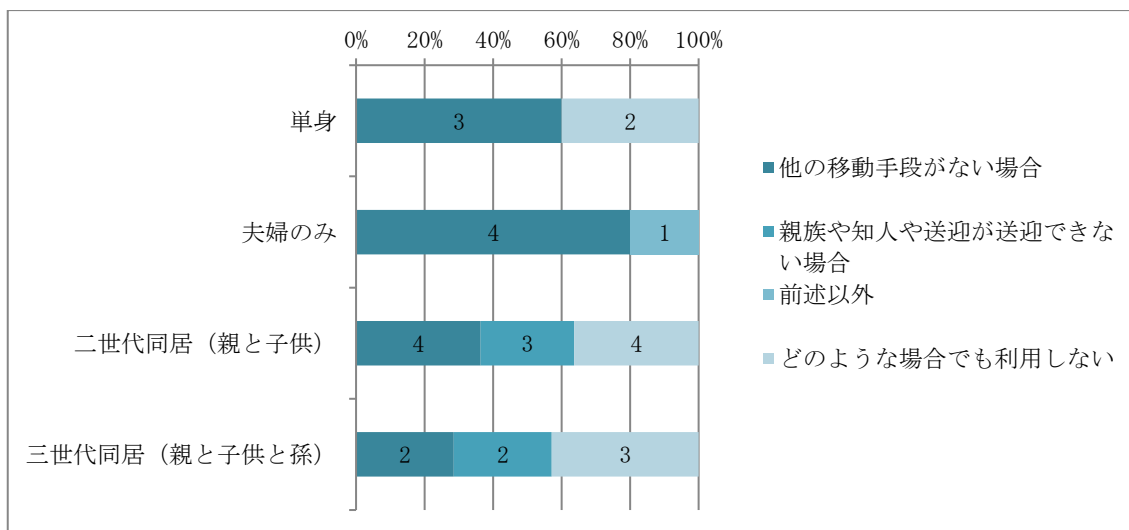
【図表 2 - 86】年代別利用可能性



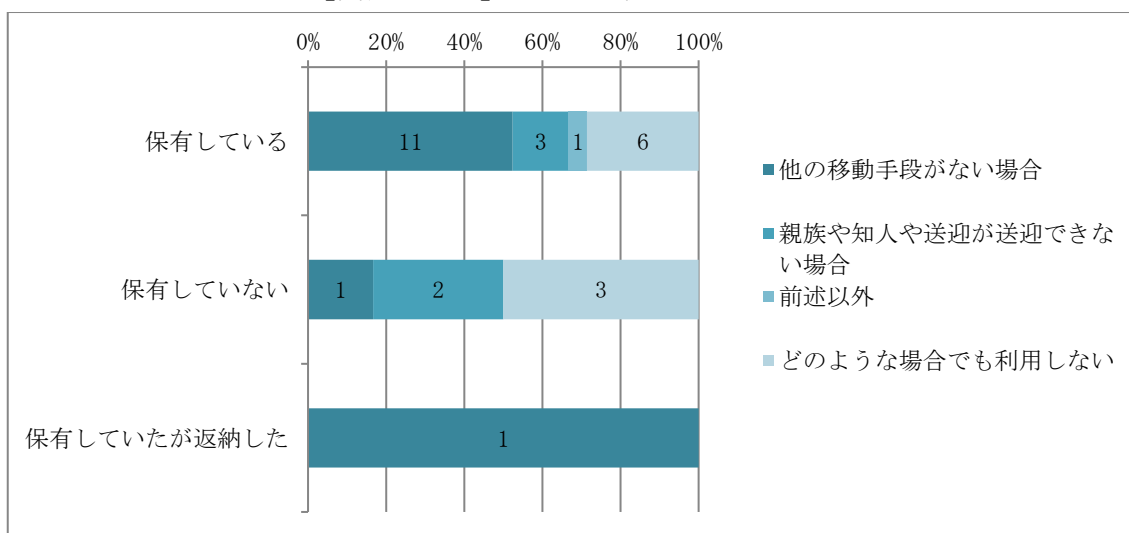
【図表 2 - 87】居住地別利用可能性



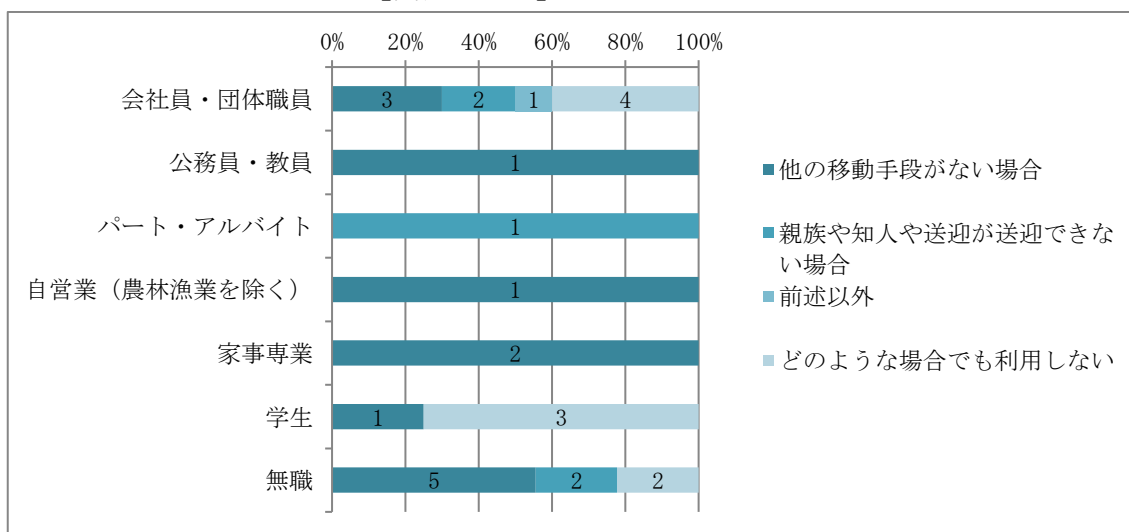
【図表 2 - 88】 家族構成別利用可能性



【図表 2 - 89】 免許保有状況別利用可能性



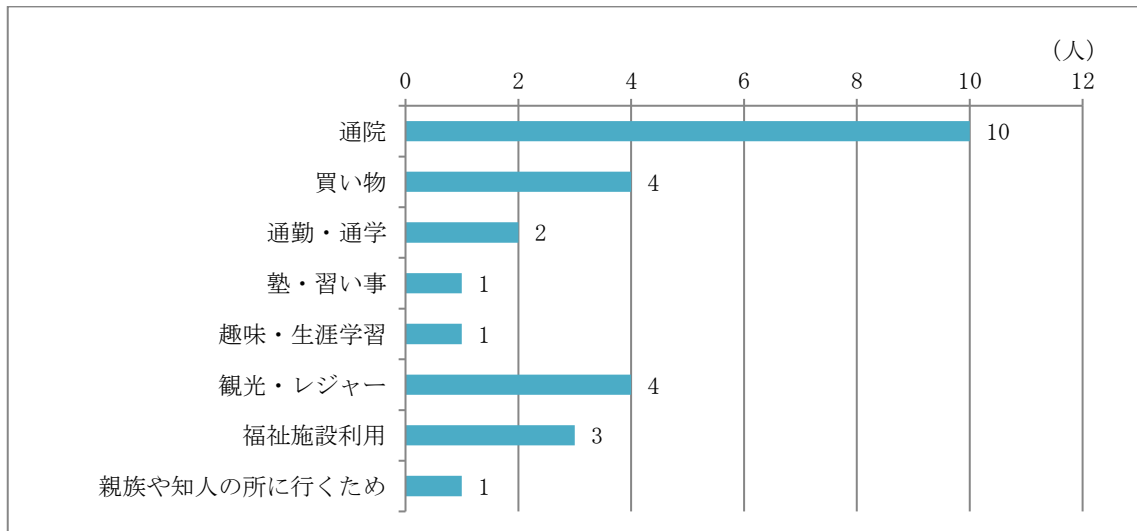
【図表 2 - 90】 職業別利用可能性



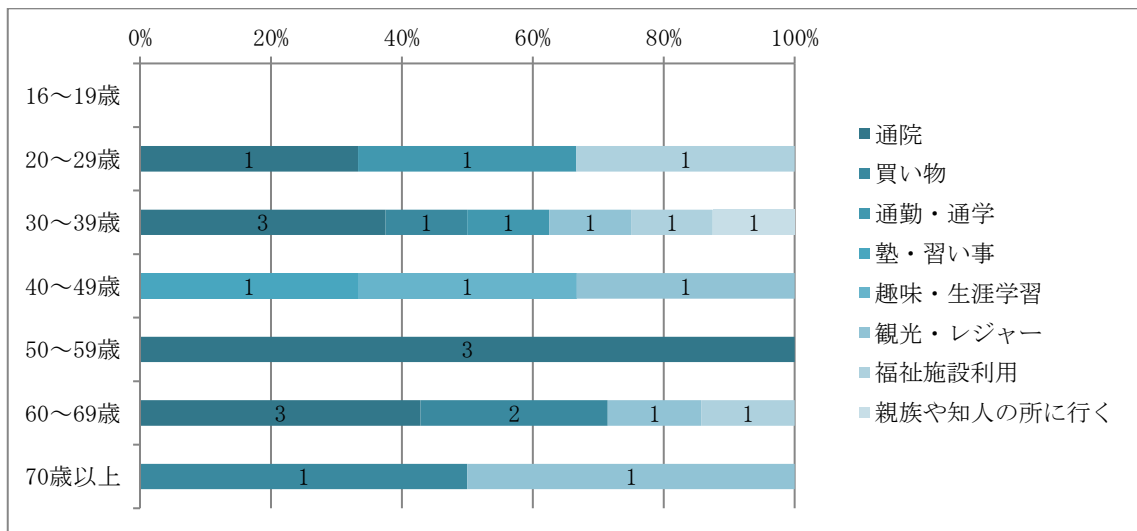
◆ のれんす号の目的別にみる利用可能性は、他と同様「通院」が多い

のれんす号を認知しているが利用したことがない人と同様に「通院」との回答が10人(34.5%)となっています。

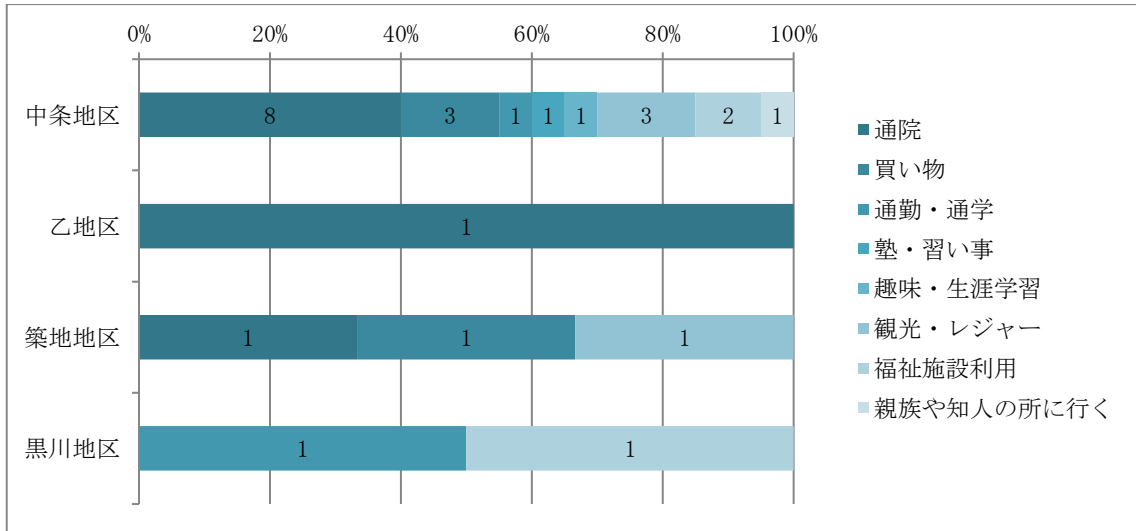
【図表2-91】 どのようなときに利用するか



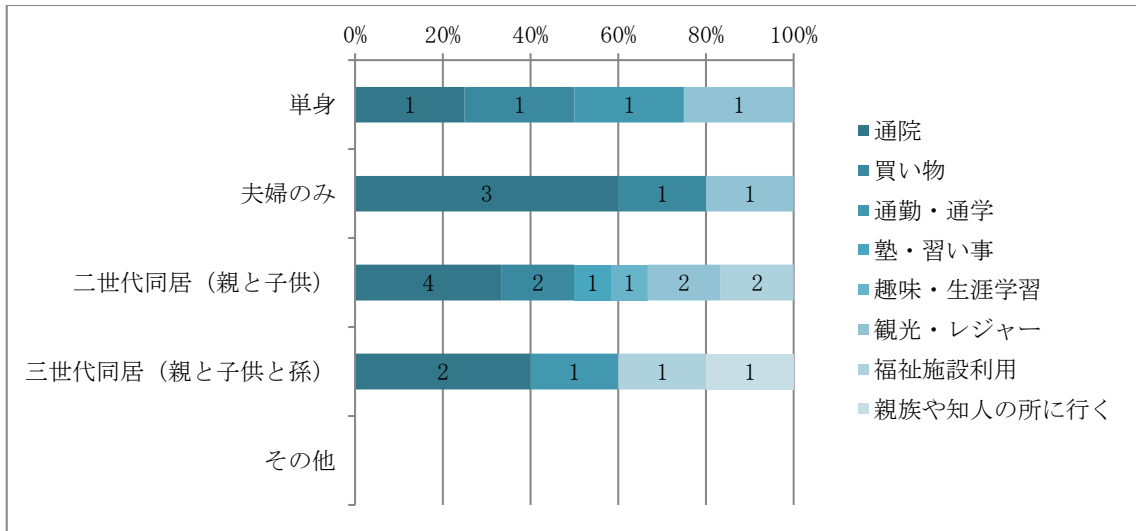
【図表2-92】 年代別利用可能性



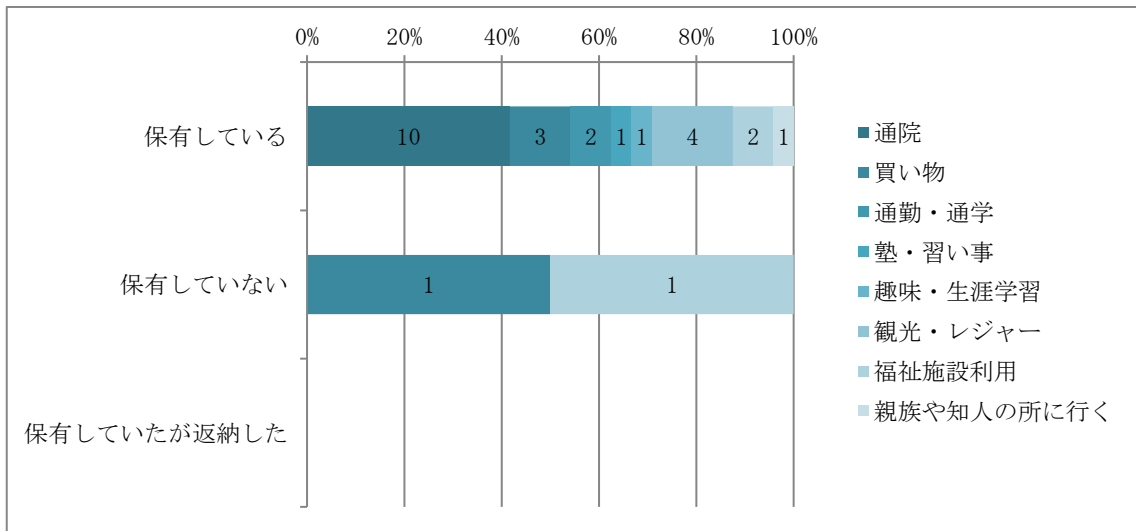
【図表 2 - 93】居住地別利用可能性



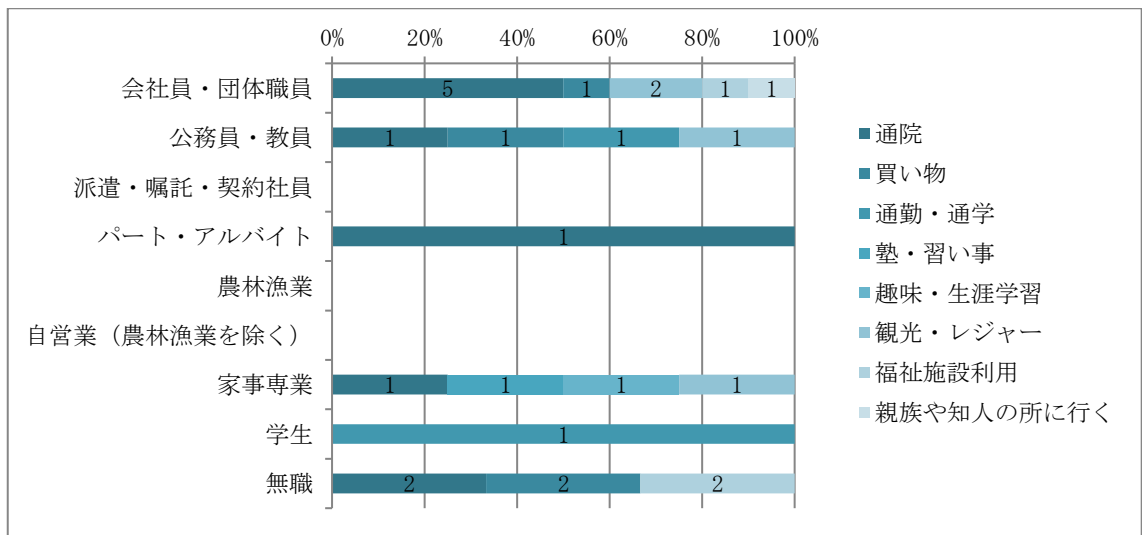
【図表 2 - 94】家族構成別利用可能性



【図表 2 - 95】免許保有状況別利用可能性



【図表 2 - 96】職業別利用可能性



<のれんす号を利用者したことがない人の現状把握と課題のまとめ>

- ・利用したことがない人でも「のれんす号」を知っている人は9割いましたが、市外の人でも利用できることや土日祝日も運行していることなどの細かな特徴まで知っている人は多くありませんでした。
- ・知っているが利用しない理由は、「他の移動手段で十分だから」が多くを占めていました。なお、「他の移動手段がない場合」に利用する可能性があるとした人が半数おり、最終的な手段として考えていることが分かりました。
- ・利用したい目的としては、「通院」と「買い物」を選んだ人が多くいました。
- ・のれんす号の改善要望としては、「時刻表や利用方法を分かりやすくする」が多く選ばれ、市報たいない等で積極的に情報発信することも望まれています。そのほか、実際に利用している人と同様に、新発田市の運行エリアを拡大すること、乗車の30分前までに予約ができるようにすること、そして、インターネットやスマートフォンで予約できるようにすることが選ばれていました。

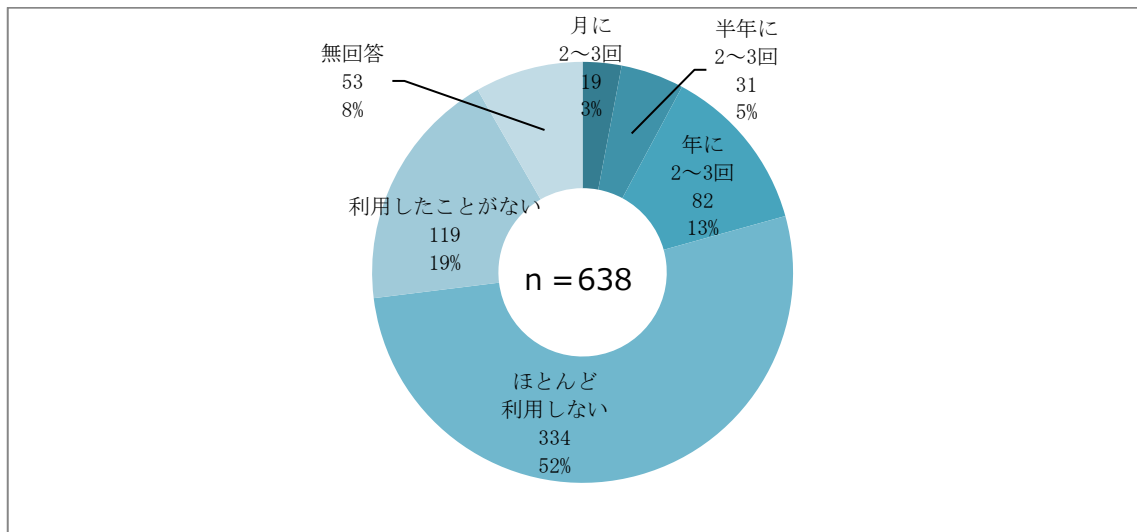
3 タクシーの利用について

◆ タクシーを利用することはほとんどない

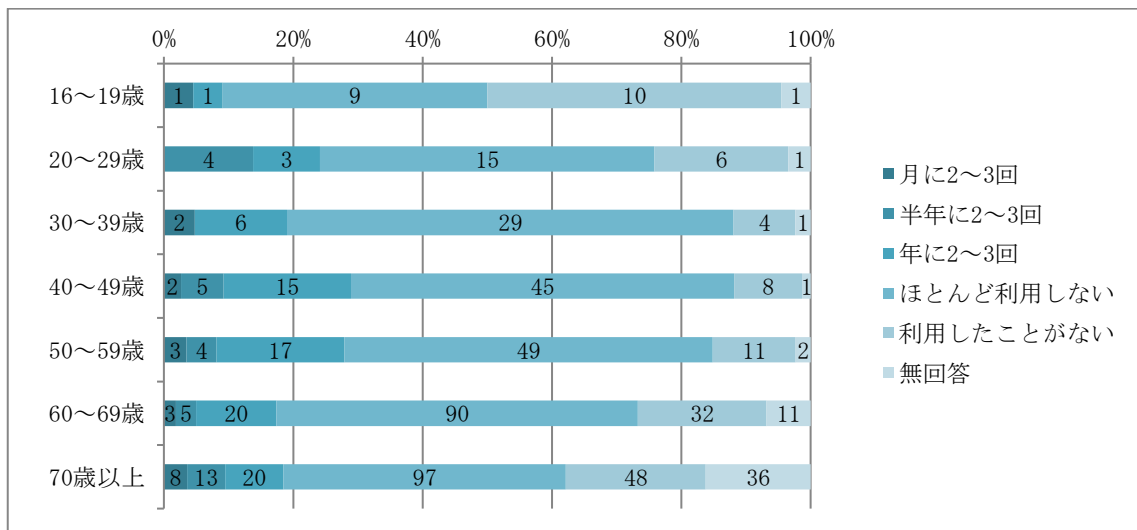
半数を超える 334 人 (52.4%) が「ほとんど利用しない」と回答しており、「利用したことがない」の 119 人 (18.7%) を加えると、7 割超となります。

一方、利用している人では、「月に 2～3 回」という人が 19 人 (3.0%)、「半年に 2～3 回」が 31 人 (4.9%)、「年に 2～3 回」が 82 人 (12.9%) となっています。

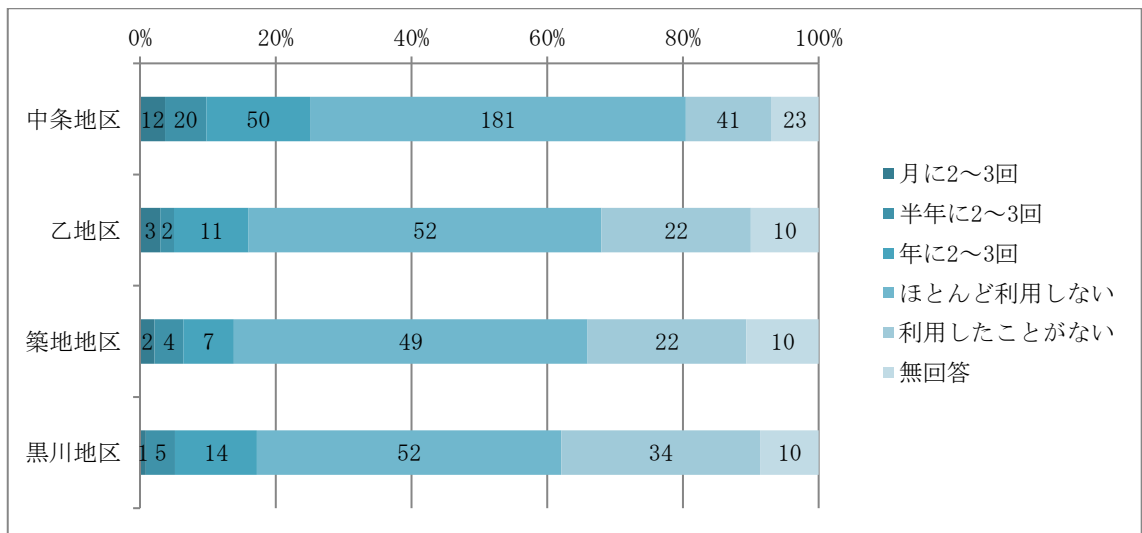
【図表 3 - 1】 利用頻度



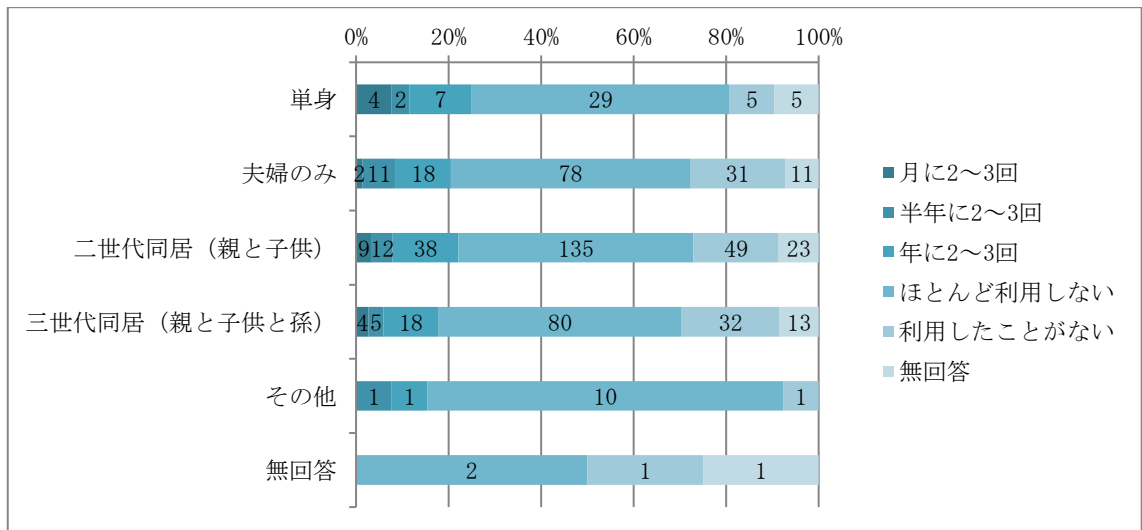
【図表 3 - 2】 年代別利用状況



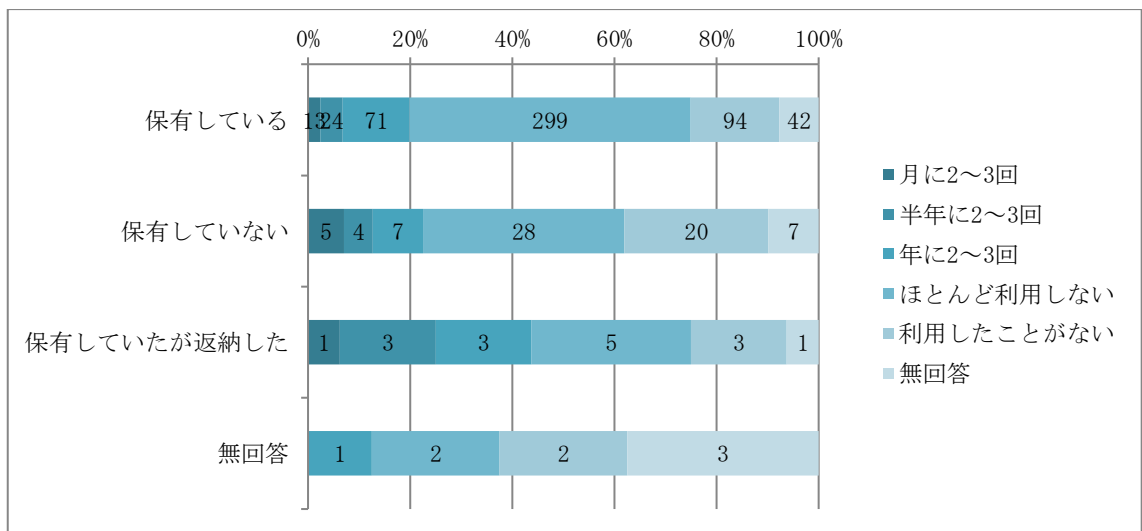
【図表 3 - 3】 居住地別利用状況



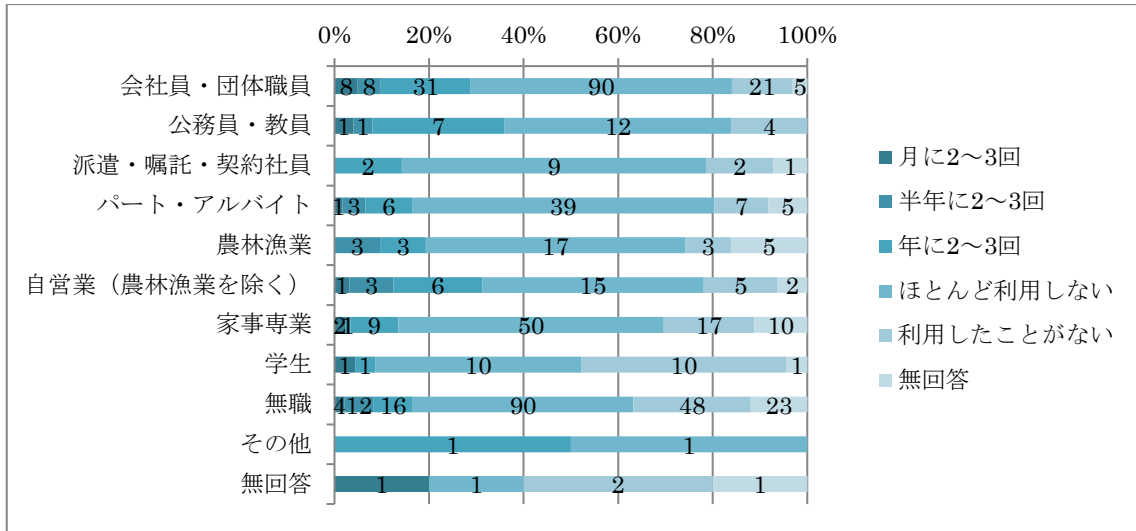
【図表 3 - 4】 家族構成別利用状況



【図表 3 - 5】 免許保有状況別利用状況

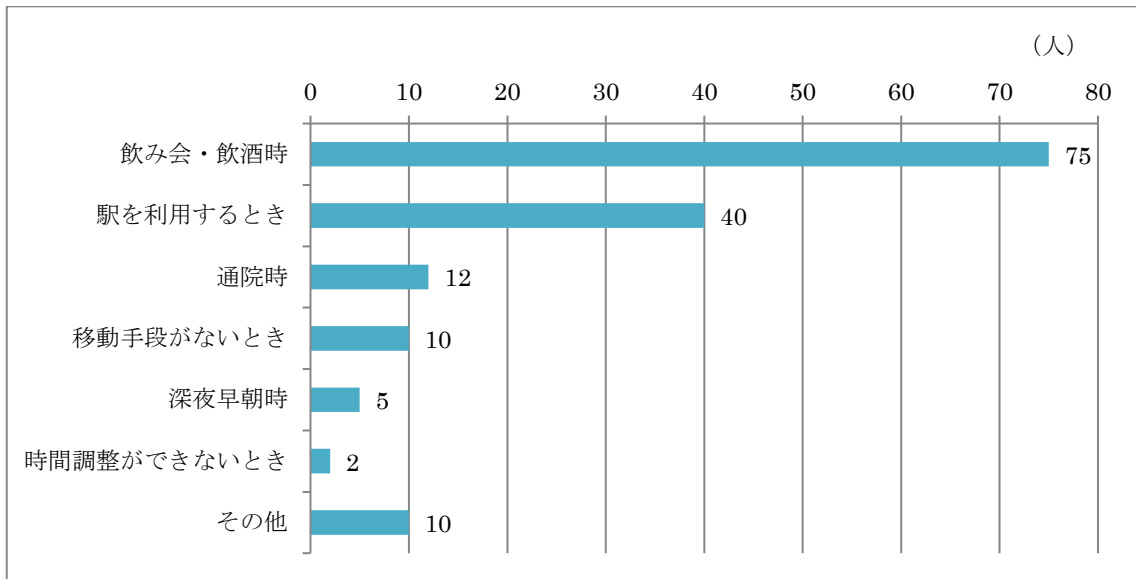


【図表 3 - 6】職業別利用状況



圧倒的に「飲み会」時にタクシーを利用していることが多いことが分かりました。それ以外は、鉄道を利用しての長期の旅行などで車を置いておけないときに駅までの移動手段として用いる人も多くいました。

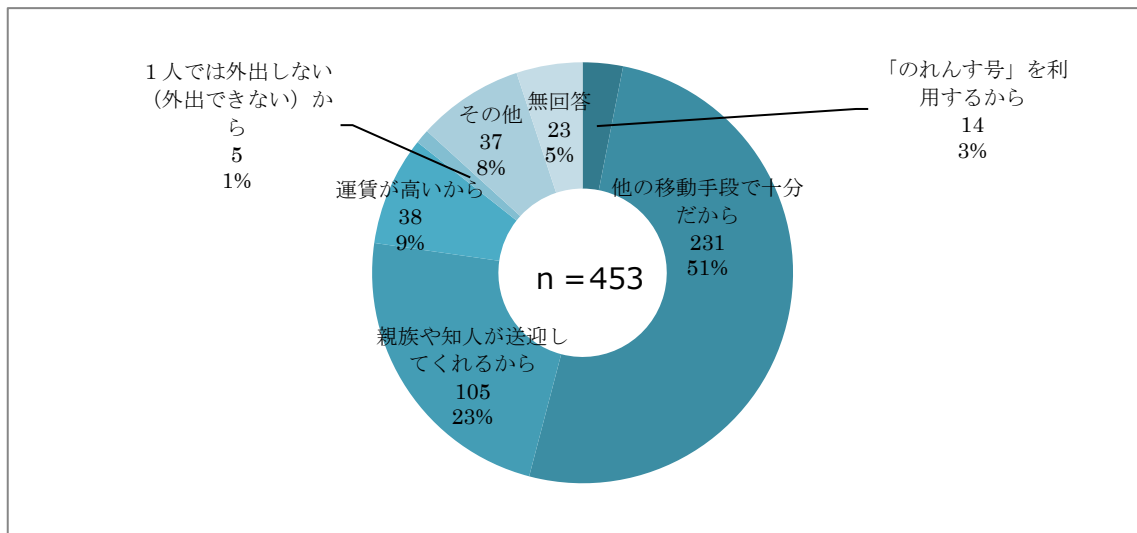
【図表 3 - 1】利用理由



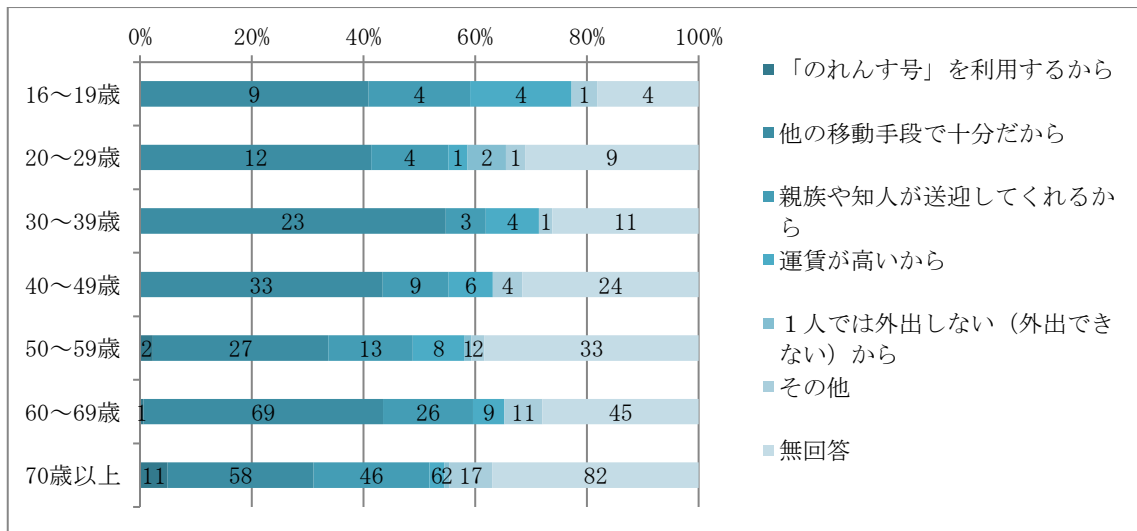
◆ タクシーを利用しない理由は、「他の移動手段で十分」が半数程度

タクシーを利用しない理由で最も多かったものは「他の移動手段で十分だから」で 231 人 (51.0%) となっており、「親族や知人が送迎してくれるから」が 105 人 (23.2%) と続いています。なお、「のれんす号を利用するから」と回答した人は 14 人 (3.1%) となっています。

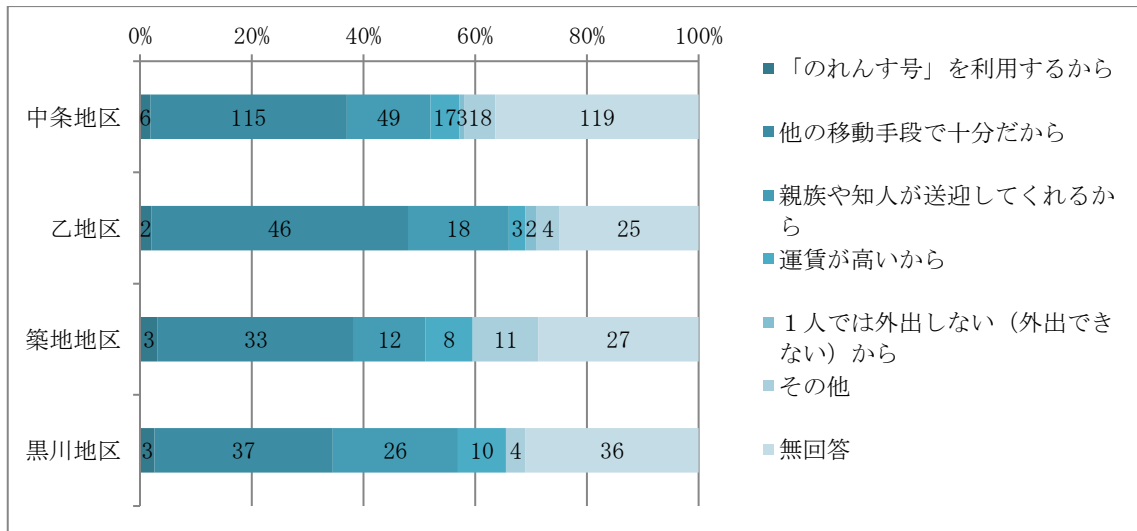
【図表 3 - 1】 利用しない理由



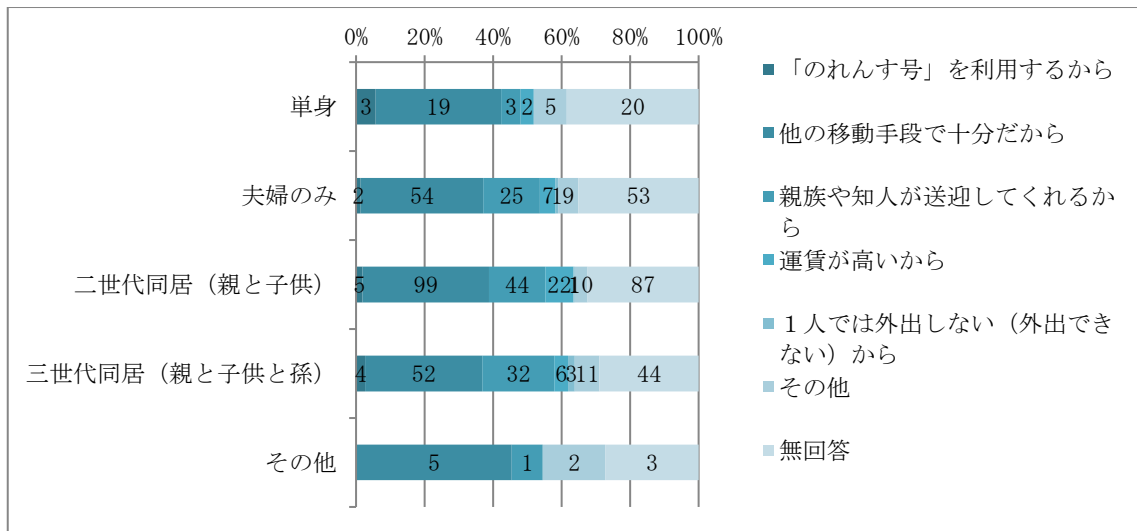
【図表 3 - 2】 年代別利用状況



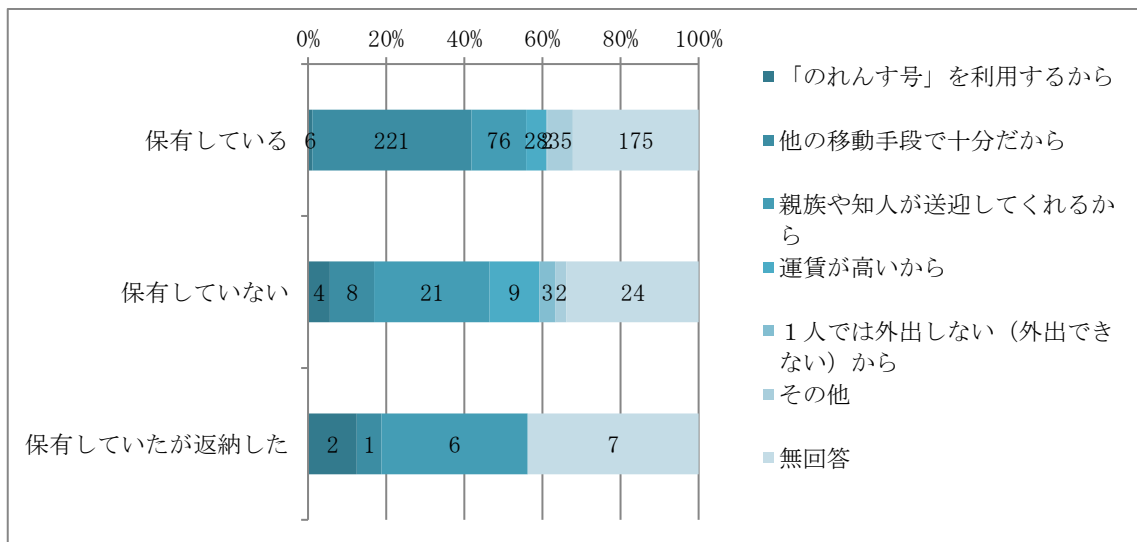
【図表 3 - 3】居住地別利用状況



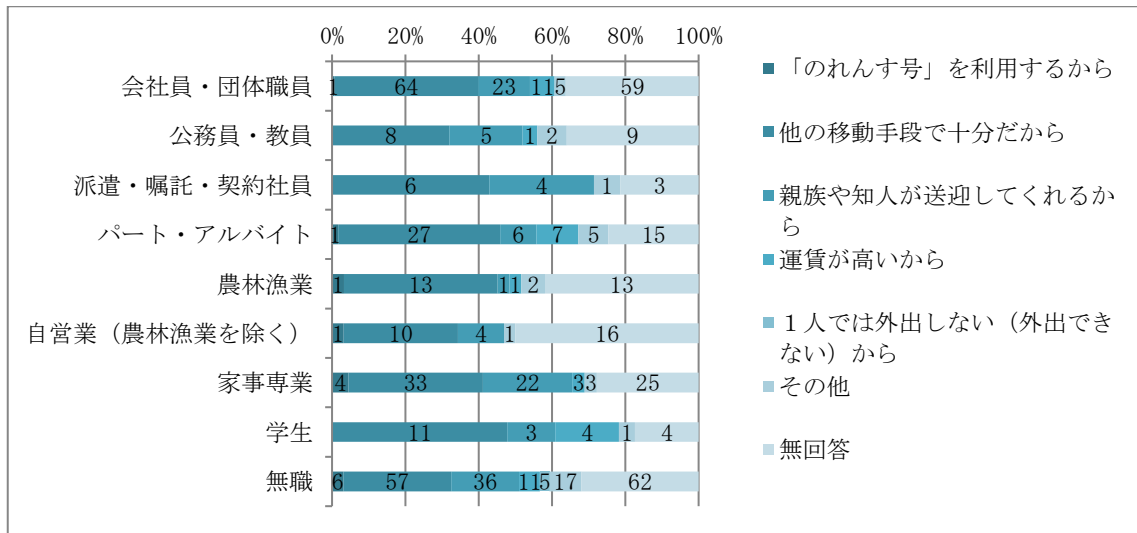
【図表 3 - 4】家族構成別利用状況



【図表 3 - 5】免許保有状況別利用状況



【図表 3 - 6】職業別利用状況



<タクシーの利用実態からみる現状と課題>

- ・タクシーはほとんど利用しない傾向。
- ・飲酒時や帰宅が遅いとき、日帰りではない出張や旅行で鉄道を利用する際にタクシーが多く利用されています。

タクシーは深夜早朝など公共交通機関がない場合に多く利用されていますが、のれんす号を遅くまで運行してほしいという要望が出ており、住み分けが必要になってきます。

2-2 地域公共交通アンケート

- 1 調査対象：市民 1,350 人
- 2 調査方法：無作為に抽出した 16 歳以上の市民にアンケート調査票を郵送し、期限までに投函してもらう。
ただし、通学に関する意見を多く聴取するため、10 代は該当者全体の 25%に相当する人数に送付した。
- 3 調査期間：2018 年 9 月 7 日から 2018 年 9 月 21 日
- 4 有効回答数：540（回答率 40.0%）
- 5 回答者の属性：
各項目の n は無回答を除く。

<年齢 n=538>

年代	計
10 代	102
20 代	26
30 代	49
40 代	63
50 代	76
60 代	92
70 代以上	130
無回答	2

<性別 n=536>

性別	計
男性	249
女性	287
無回答	4

<居住地域 n=539>

地区	計
中条地区	300
乙地区	66
築地地区	80
黒川地区	93
無回答	1

<職業 n=532>

職業	計
会社員・団体職員	145
公務員・教員	19
派遣・嘱託・契約社員	13
パート・アルバイト	47
農林漁業	23
自営業（農林漁業を除く）	22
家事専業	55
学生	97
無職	105
無回答	8

<家族構成 n=532>

家族構成	計
単身	33
夫婦のみ	86
二世帯同居（親と子供）	252
三世帯同居（親と子供と孫）	146
その他	15
無回答	8



四世代同居	4
兄弟姉妹	1
施設入所	2
親と姉妹夫婦	1

<運転免許証 n=530>

保有の有無	計
保有している	401
保有していない	119
保有していたが返納した	10
無回答	10

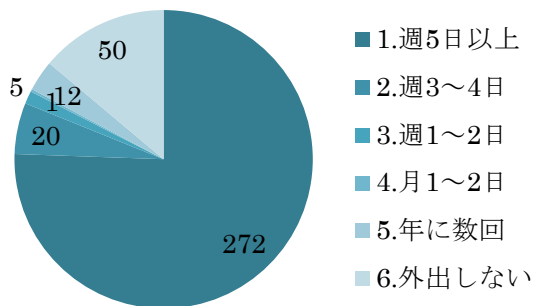
調査結果

1 日常の移動や交通利用の状況について

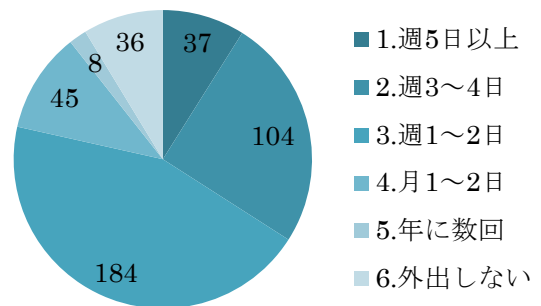
1-1 頻度

「通勤・通学」では「週5日以上」の割合が最も高い。次いで「食料品の買い物」が「週1～2日」の割合が高く、「衣料品の買い物」「通院・通所」「公共施設・金融機関」「趣味・娯楽」は「月1～2日」の割合が高い。

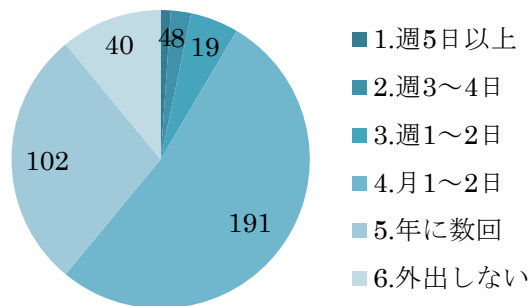
①通勤・通学



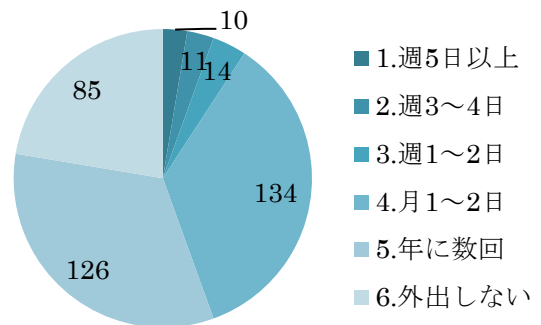
②食料品の買い物



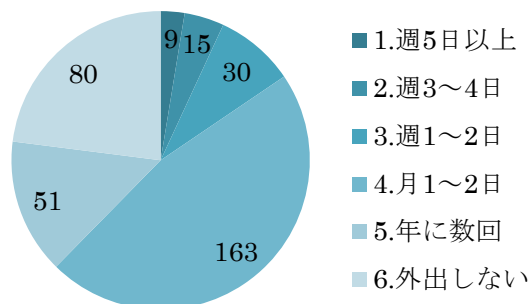
③衣料品の買い物



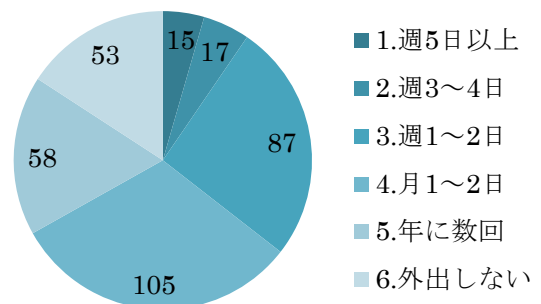
④通院・通所



⑤公共施設・金融機関



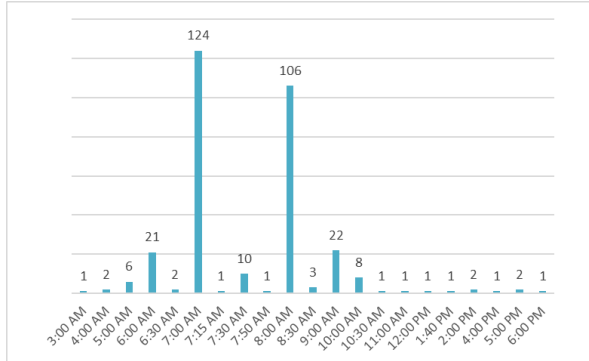
⑥趣味・娯楽



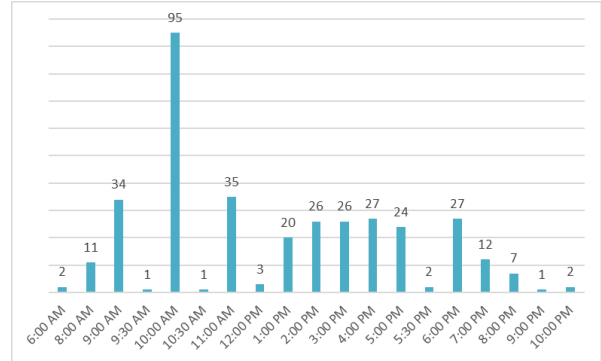
1-2 出発時間

「通勤・通学」では午前7～8時の割合が高いが、それ以外については午前9～10時の割合が高い。

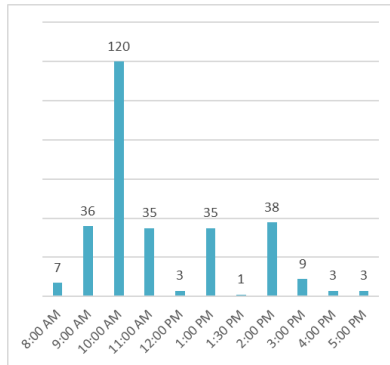
①通勤・通学



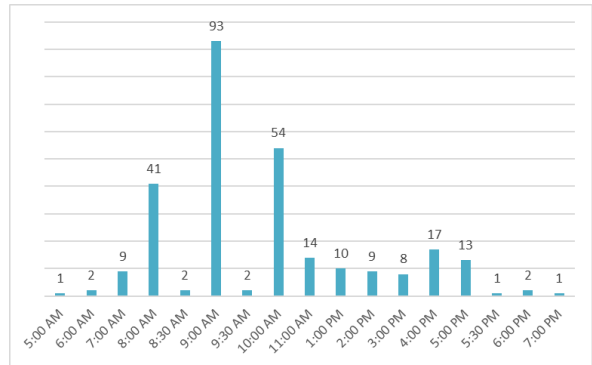
②食料品の買い物



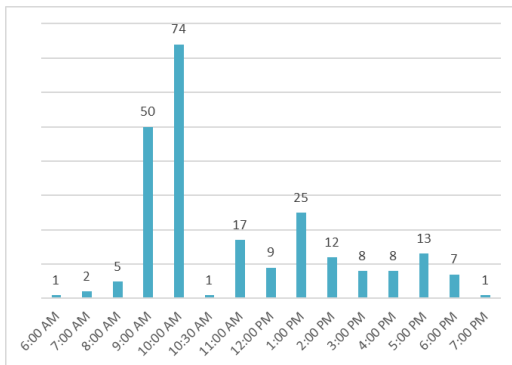
③衣料品の買い物



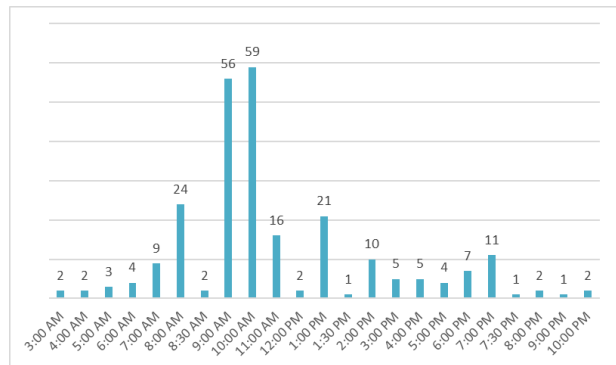
④通院・通所



⑤公共施設・金融機関



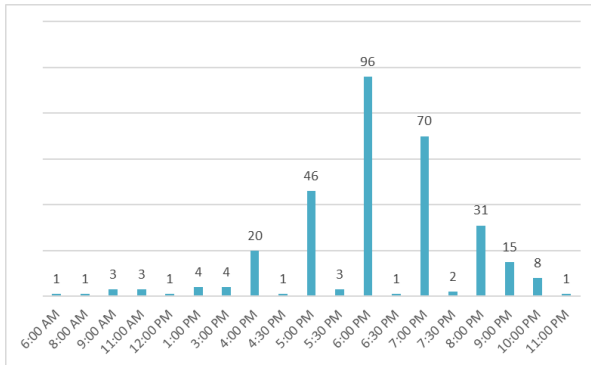
⑥趣味・娯楽



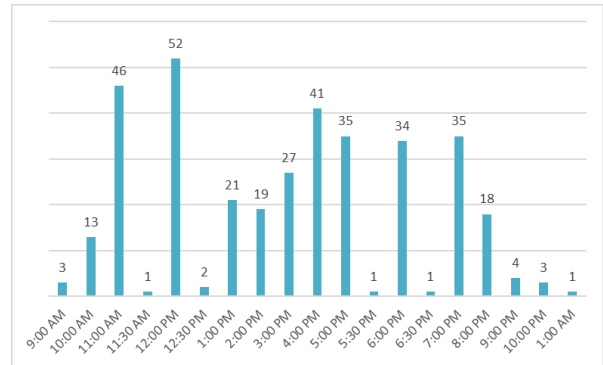
1-2 帰宅時間

「通勤・通学」では午後6～7時の割合が高い。「食料品の買い物」「通院・通所」「公共施設・金融機関」は午前11～12時の割合が高く、「衣料品の買い物」「趣味・娯楽」は午後3～4時の割合が高い。

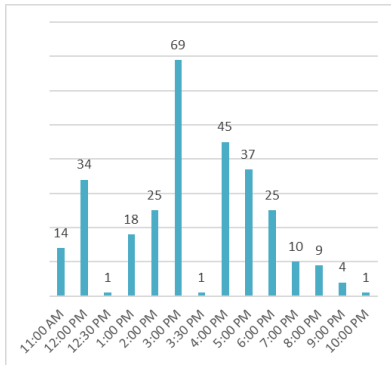
①通勤・通学



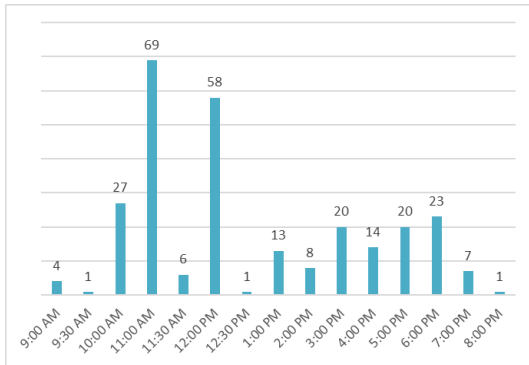
②食料品の買い物



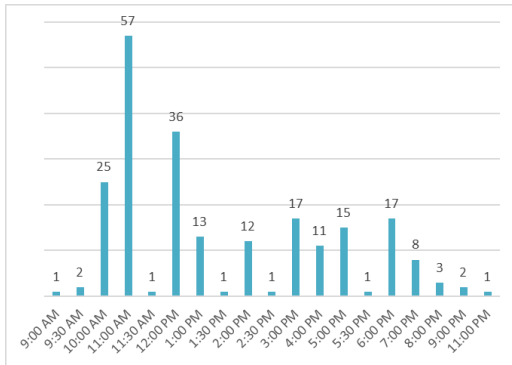
③衣料品の買い物



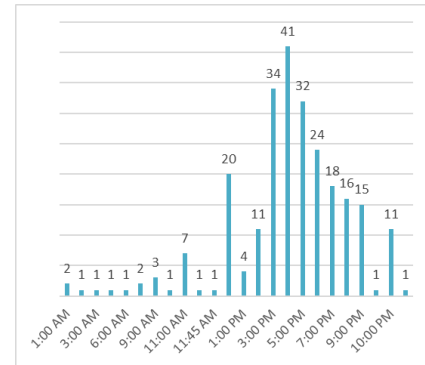
④通院・通所



⑤公共施設・金融機関



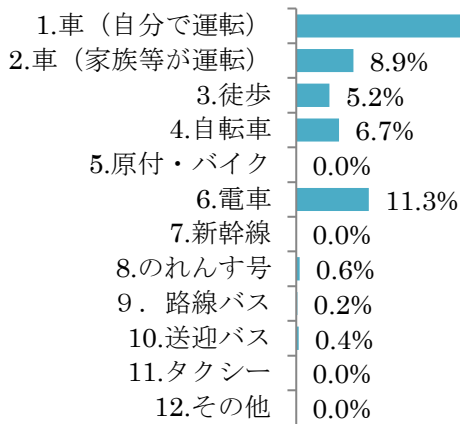
⑥趣味・娯楽



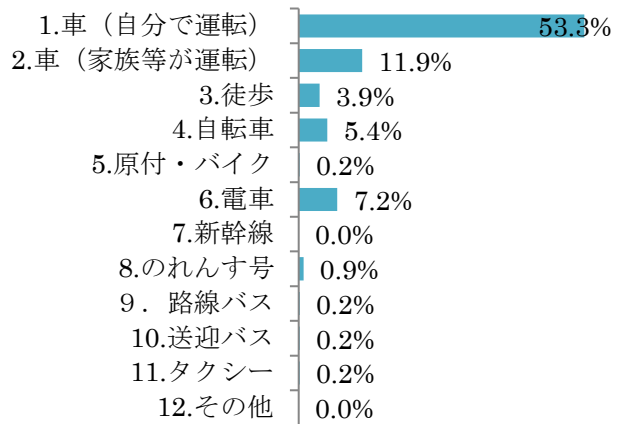
1-3 移動手段

目的別で大きな差はないが、「通勤・通学」「食料品の買い物」において電車の利用割合が高い。

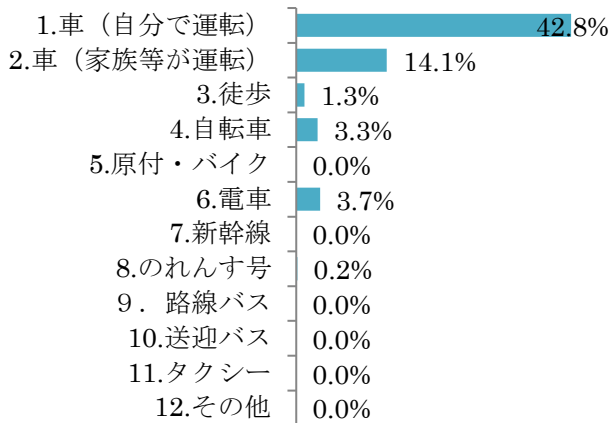
①通勤・通学



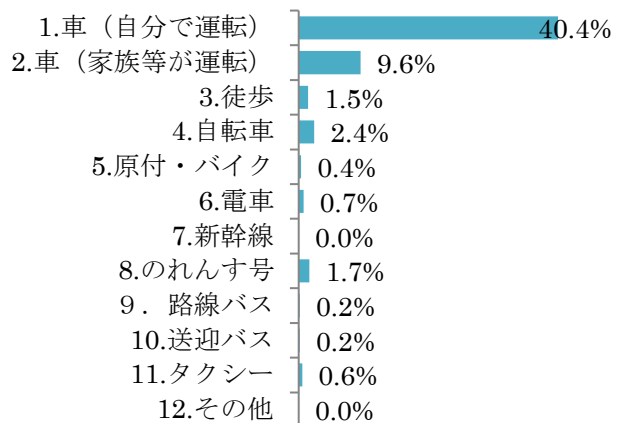
②食料品の買い物



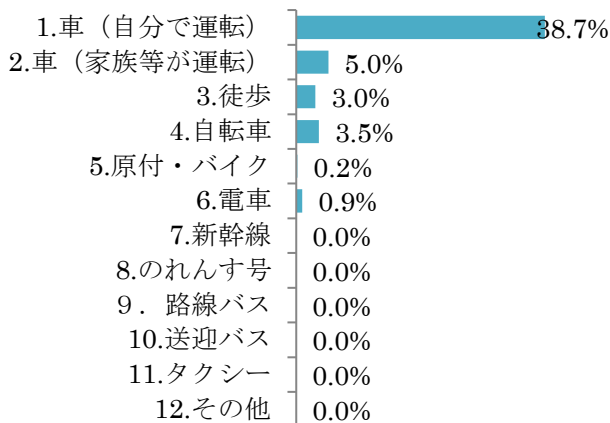
③衣料品の買い物



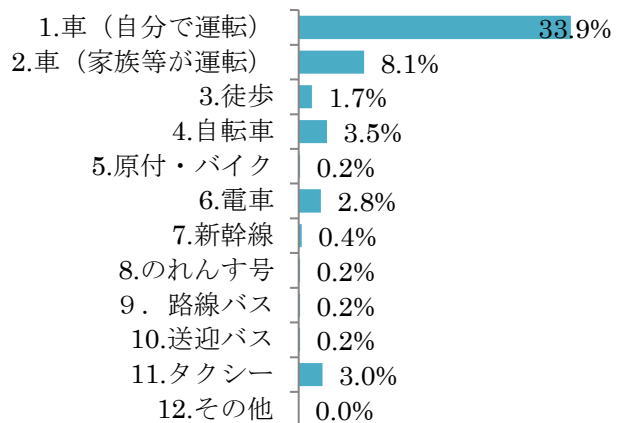
④通院・通所



⑤公共施設・金融機関



⑥趣味・娯楽



1-4 行き先

「通勤通学」「趣味・娯楽」は胎内市が最も高く次いで新発田市、その他、村上市の順となっている。

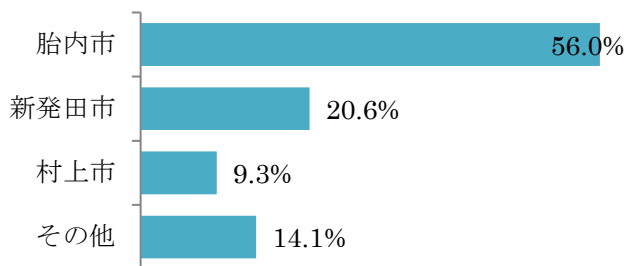
「食料品の買い物」「通院・通所」胎内市が最も高く次いで新発田市、村上市、その他の順となっている。

「衣料品の買い物」は新発田市が最も多く、次いで胎内市、その他、村上市の順となっている。

「公共施設・金融機関」は胎内市が約9割でそれ以外については割合が低くなっている。

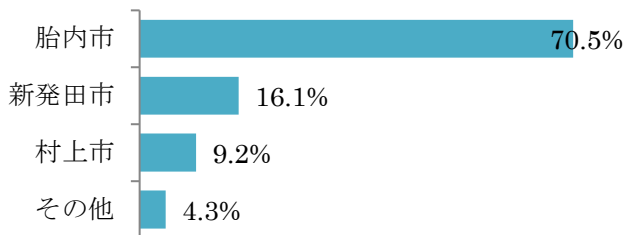
「趣味・娯楽」は胎内市とその他の割合がほぼ同じで新発田市、村上市の順となっている。

①通勤・通学



②食料品の買い物

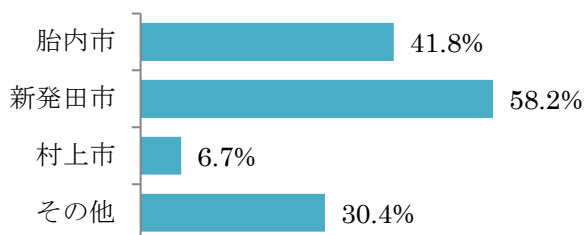
行き先上位



1	ウオロク中条店
2	イオンスタイル中条
3	ひらせいホームセンター中条店生鮮広場

③衣料品の買い物

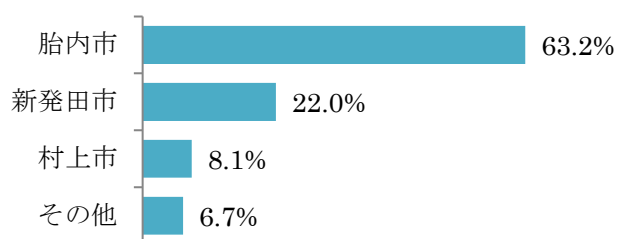
行き先上位



1	イオンモール新発田
2	しまむら中条店
3	ファッション市場サンキ中条店

④通院・通所

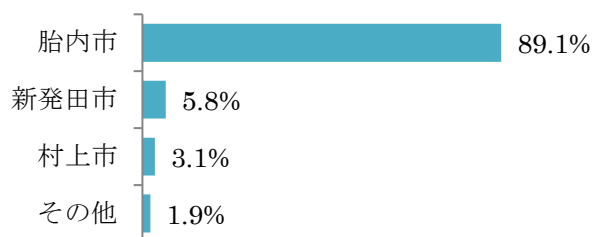
行き先上位



1	中条中央病院
2	新潟県立新発田病院
3	わたなべ医院

⑤公共施設・金融機関

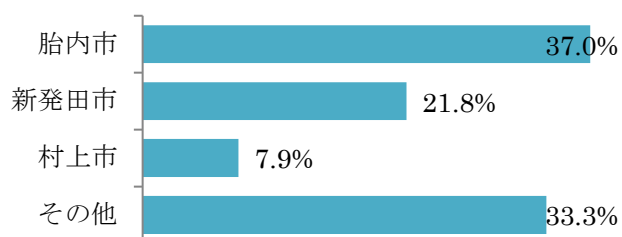
行き先上位



1	第四銀行中条支店
2	郵便局
3	胎内市農業協同組合

⑥趣味・娯楽

行き先上位

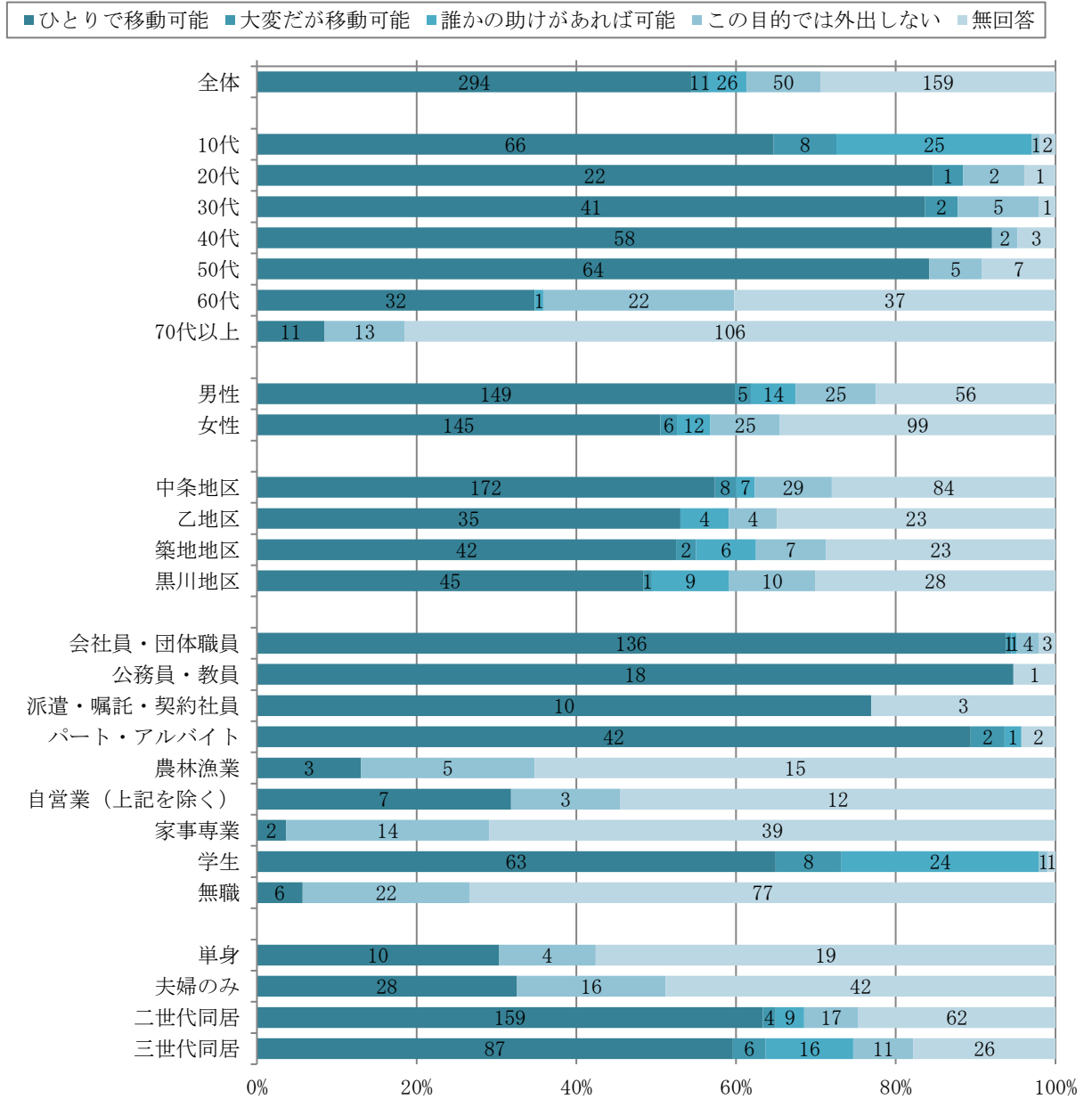


1	イオンモール新発田
2	ふれすぽ胎内
3	TSUTAYA中条店

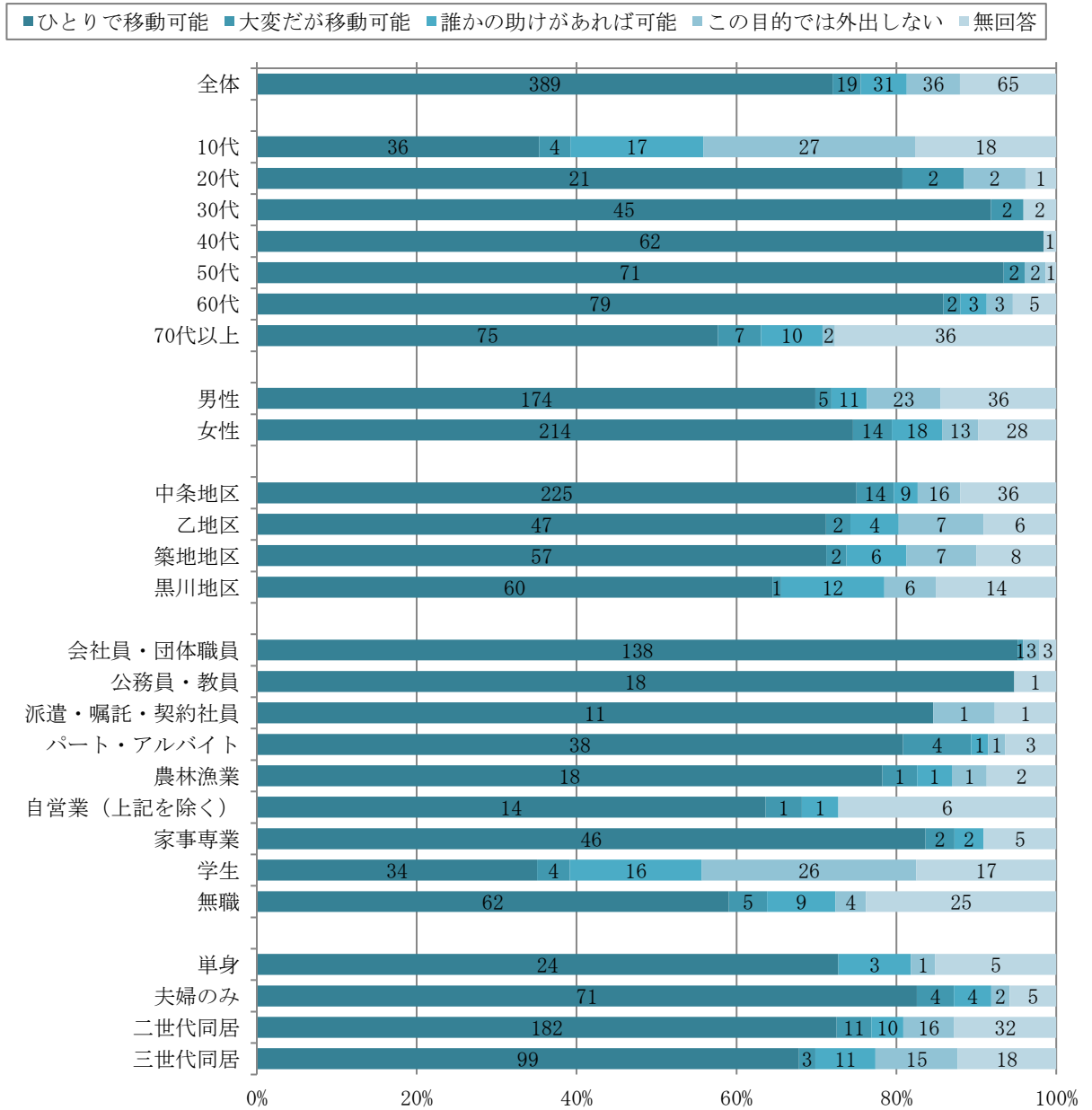
2 目的ごとの移動の状況

目的ごとに大きな差はみられないが、「通勤・通学」の「10代」「学生」において他者への依存度が高くなっている。

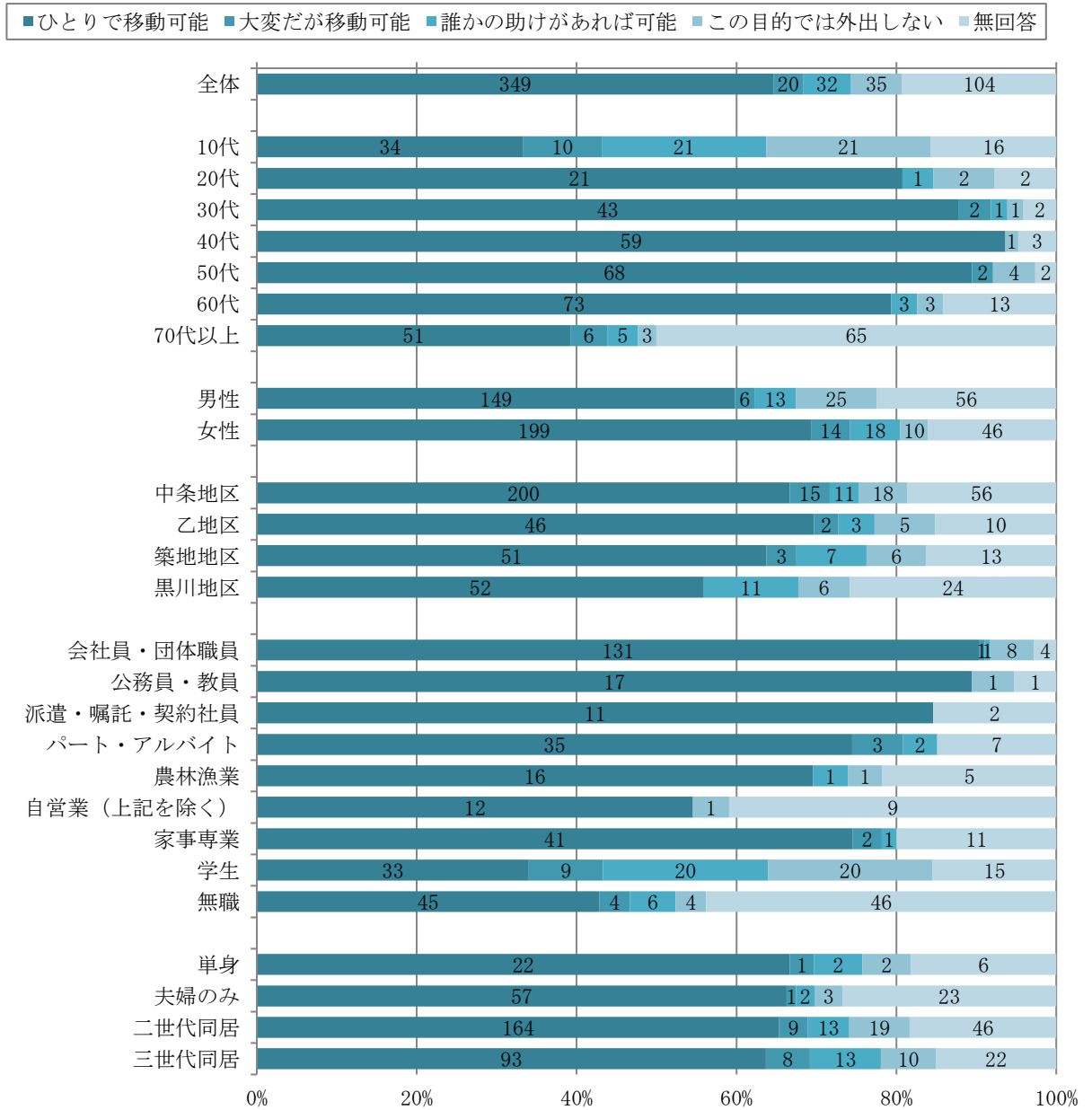
①通勤・通学



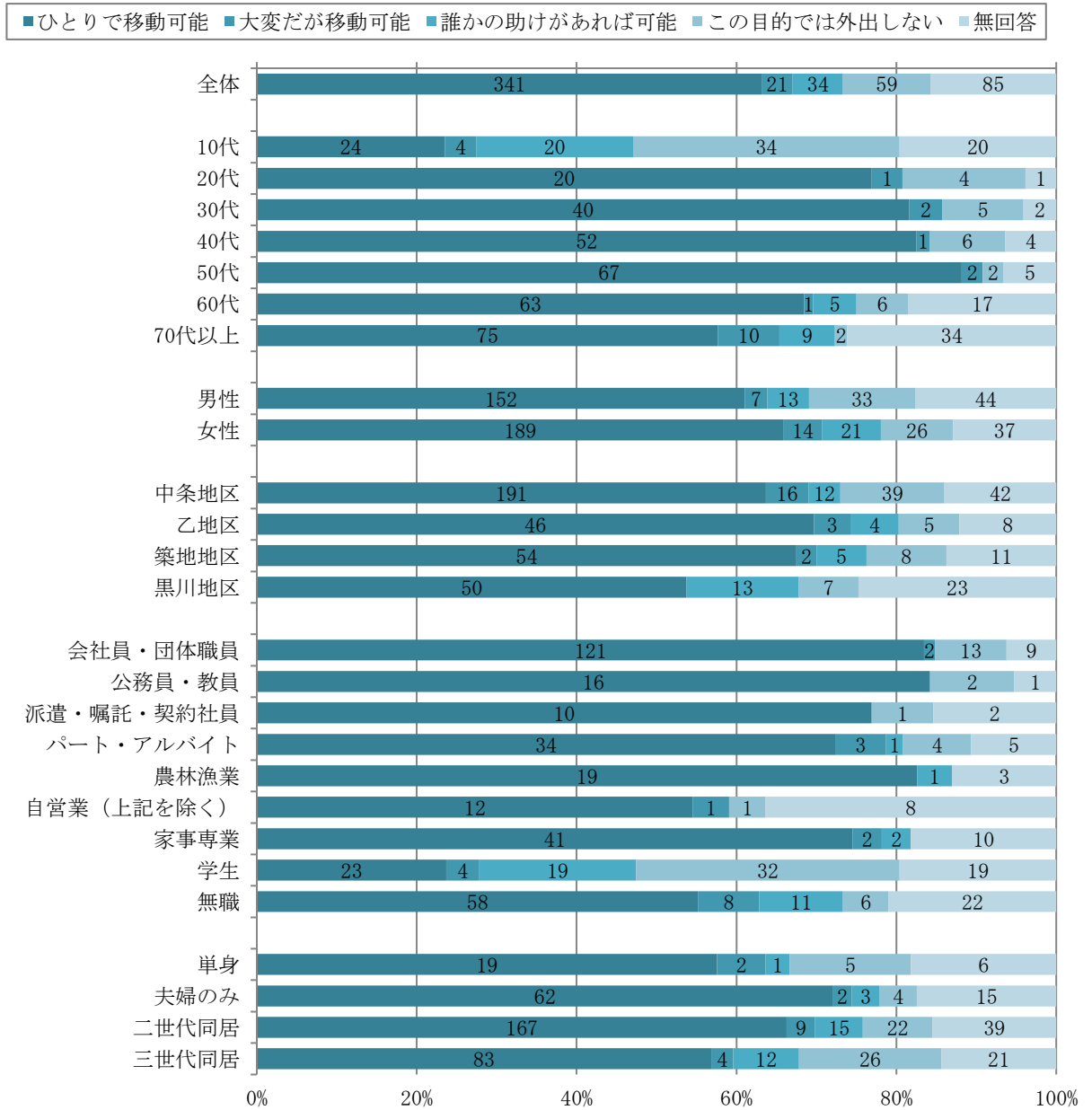
②食料品の買い物



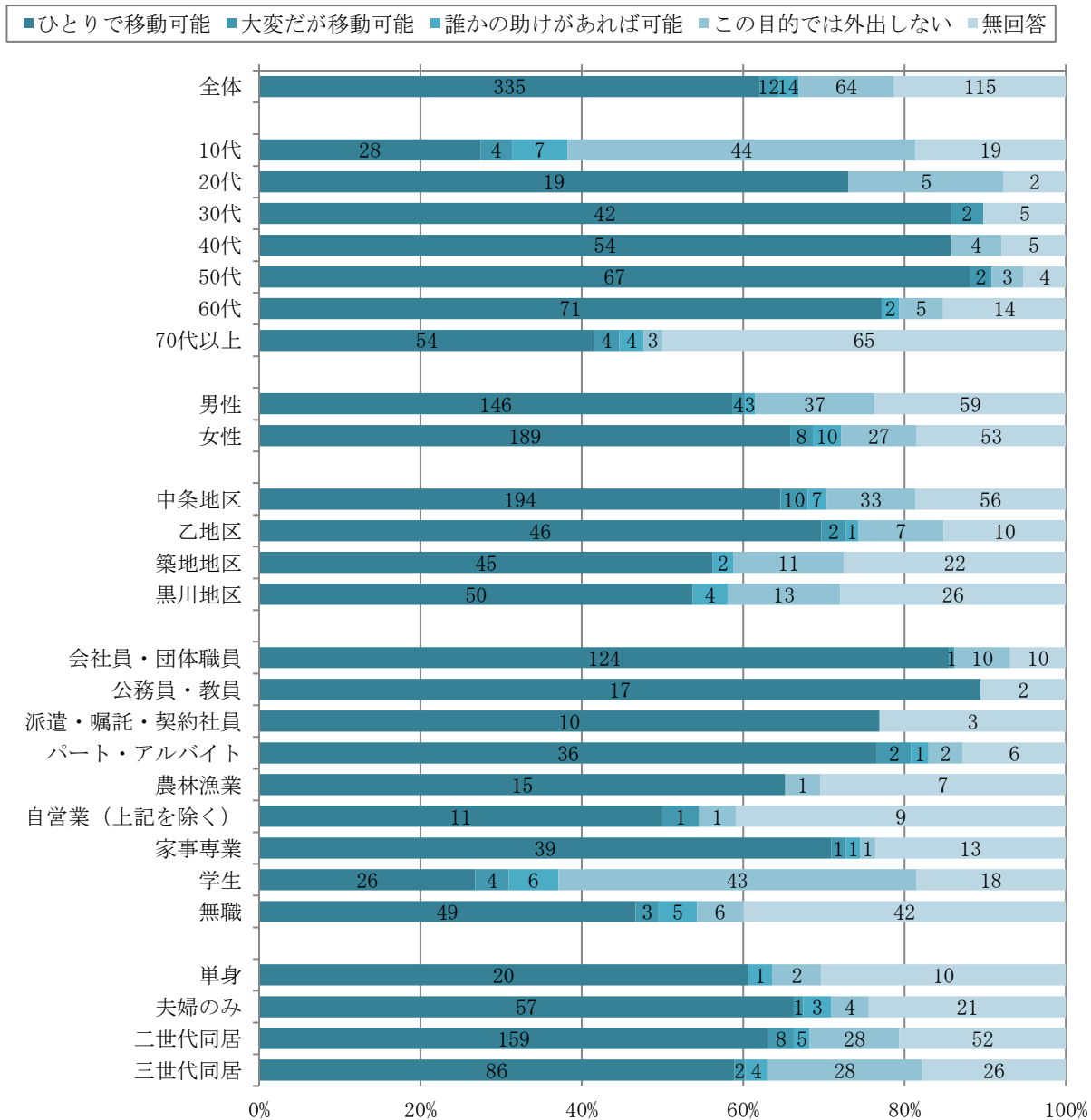
③衣料品の買い物



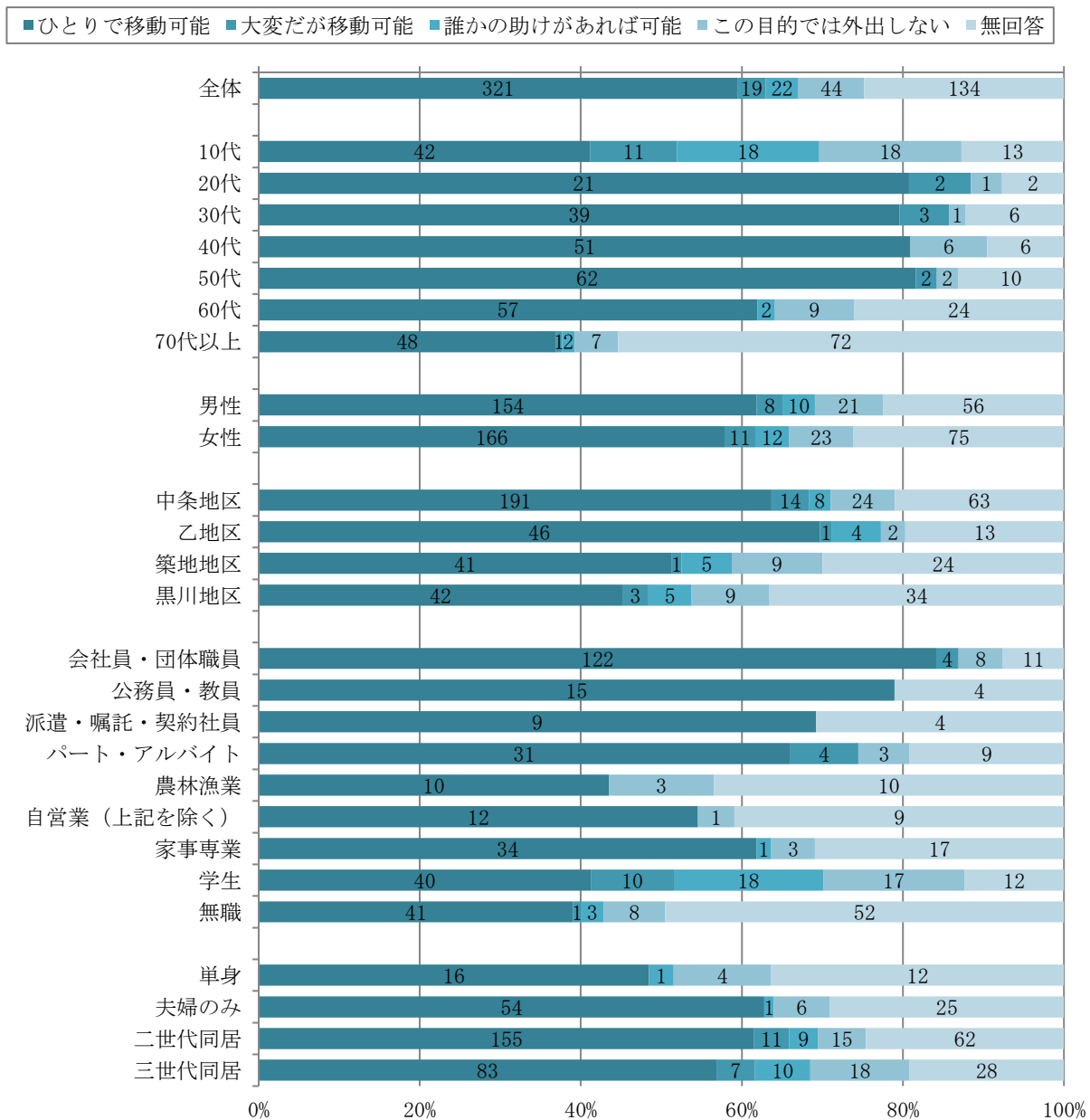
④通院・通所



⑤公共施設・金融機関

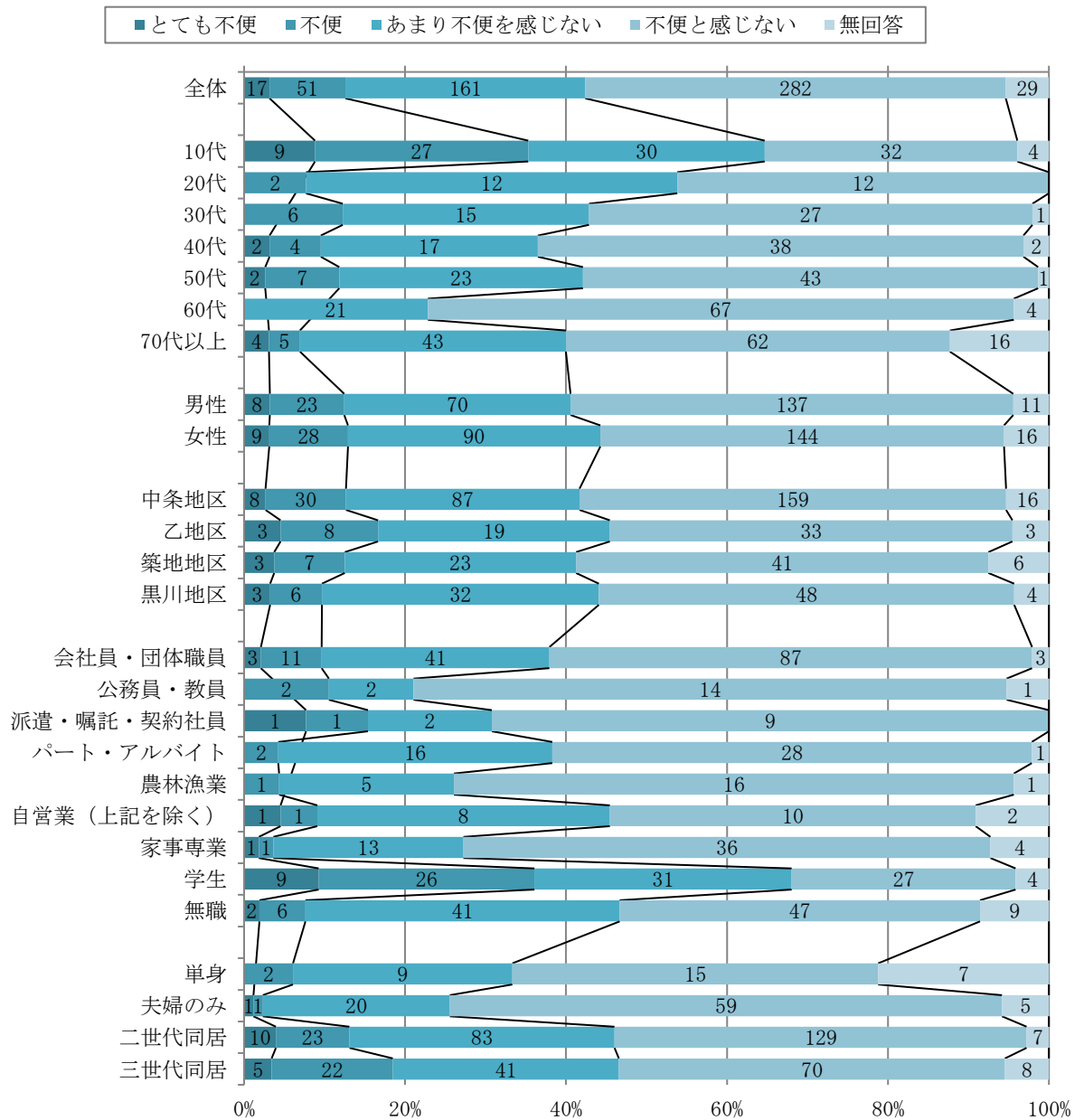


⑥趣味・娯楽



3 日常移動に対する不便度

全体と比較し年代別では「10代」、地区別では「乙地区」、職業別では「学生」、家族構成別では「三世代同居」が「とても不便」「不便」と感じている割合が高い。

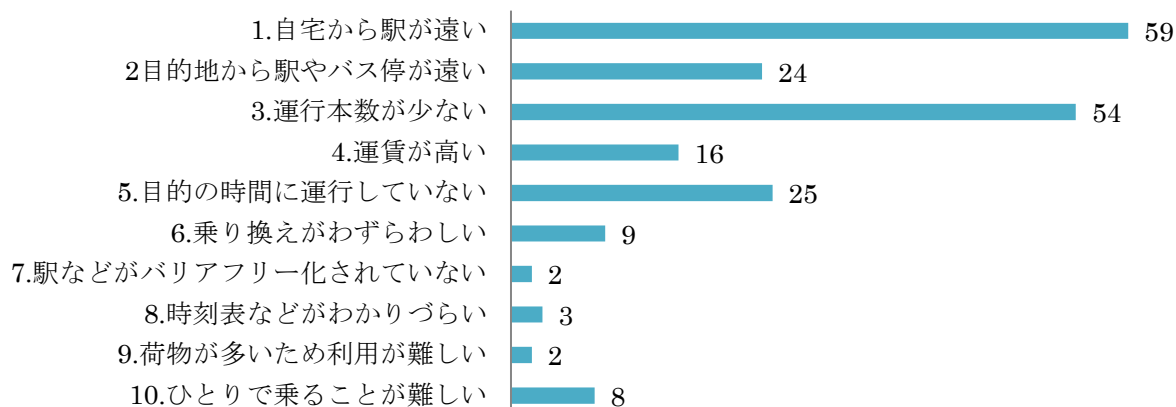


4 不便を感じる理由

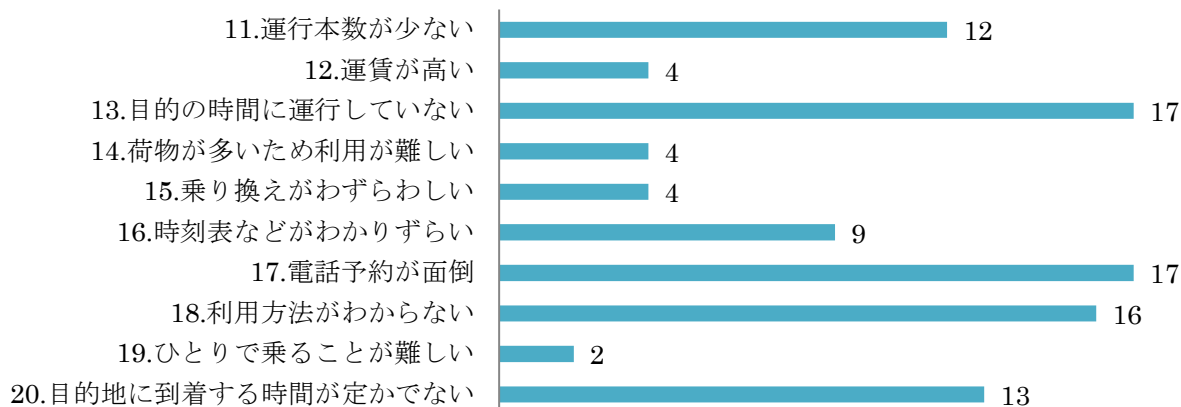
鉄道関係については、「自宅から駅が遠い」「目的地から駅やバス停が遠い」「運行本数が少ない」「運賃が高い」「目的の時間に運行していない」という点を不便に感じています。

のれんす号関係については、「運行本数が少ない」「目的の時間に運行していない」「電話予約が面倒」「利用方法がわからない」「目的地に到着する時間が定かでない」という点を不便に感じています。

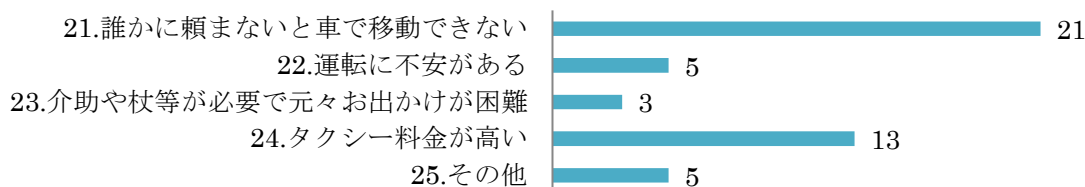
鉄道関係



のれんす号関係



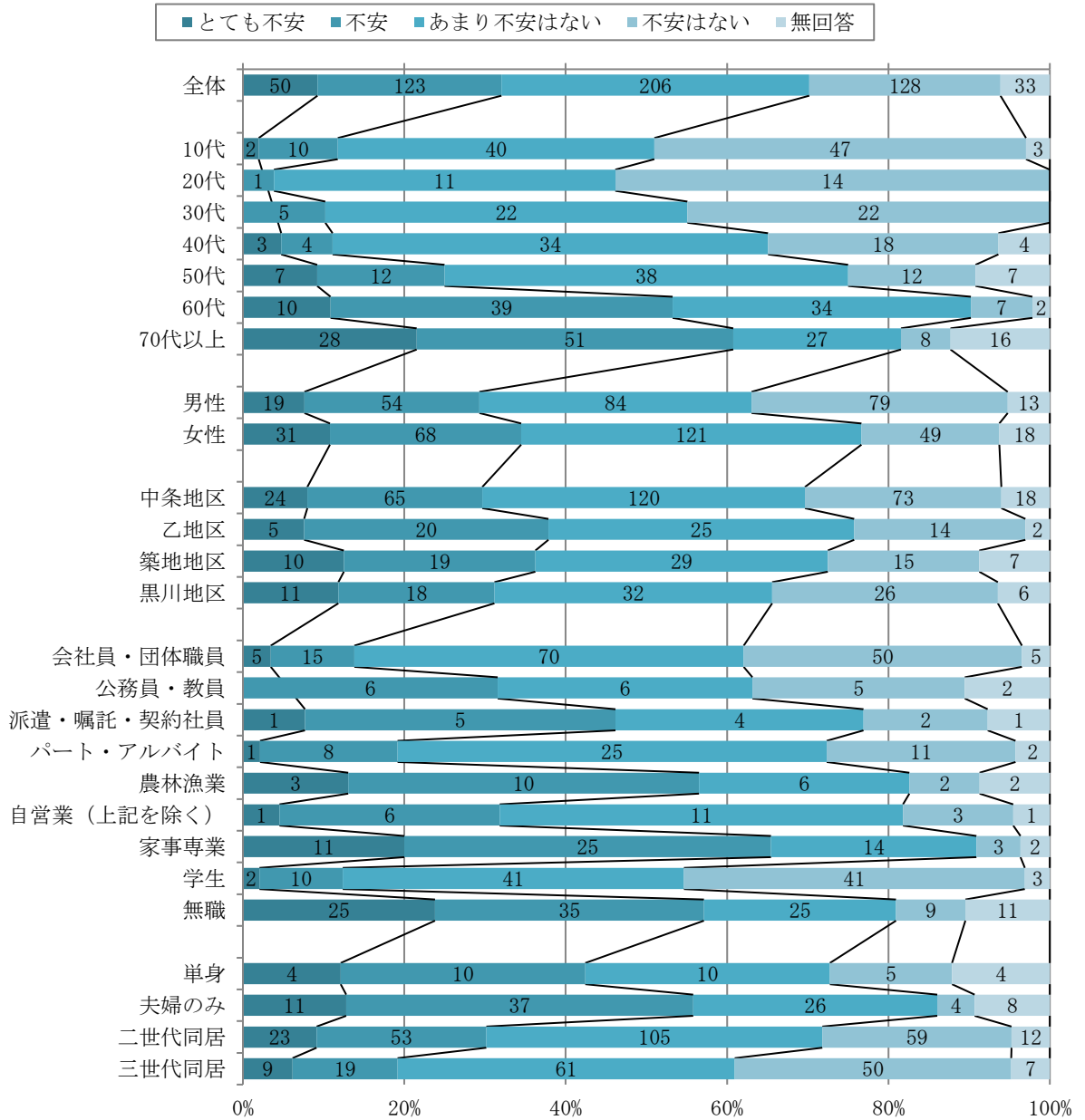
その他



5 10年後の移動に対する不安度

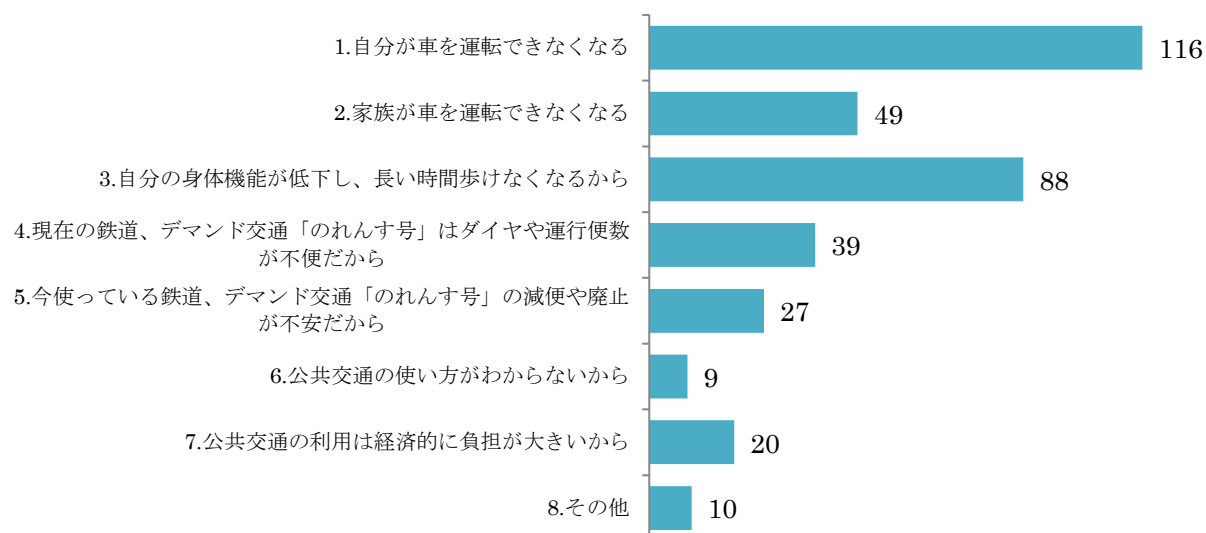
年代別では20代以降、年代が上がるにつれて不安度が高くなっています。

また、全体と比較し性別では「女性」、地区別では「乙地区」「築地地区」、職業別では「派遣・嘱託・契約社員」「農林漁業」「家事専業」「無職」、家族構成別では「単身」「夫婦のみ」が不安度が高くなっています。



6 10年後の移動に対する不安理由

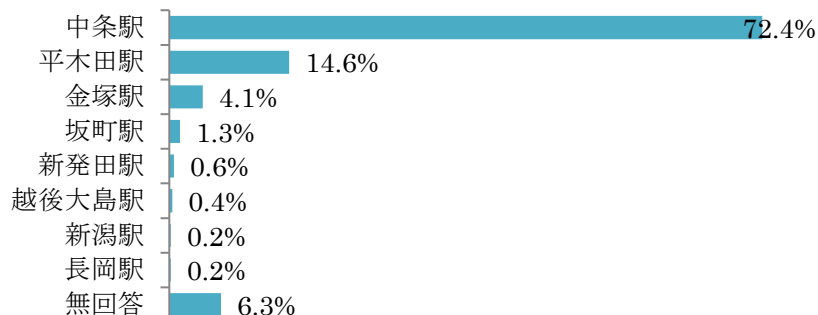
不安に感じている理由は「自分が車を運転できなくなる」が最も多く、次いで「自分の身体機能が低下し、長い時間歩けなくなるから」「家族が運転できなくなる」「現在の鉄道、デマンド交通「のれんす号」はダイヤや運行便数が不便だから」「今使っている鉄道、デマンド交通「のれんす号」の減便や廃止が不安だから」の順となっています。



7 定時定路線型交通について

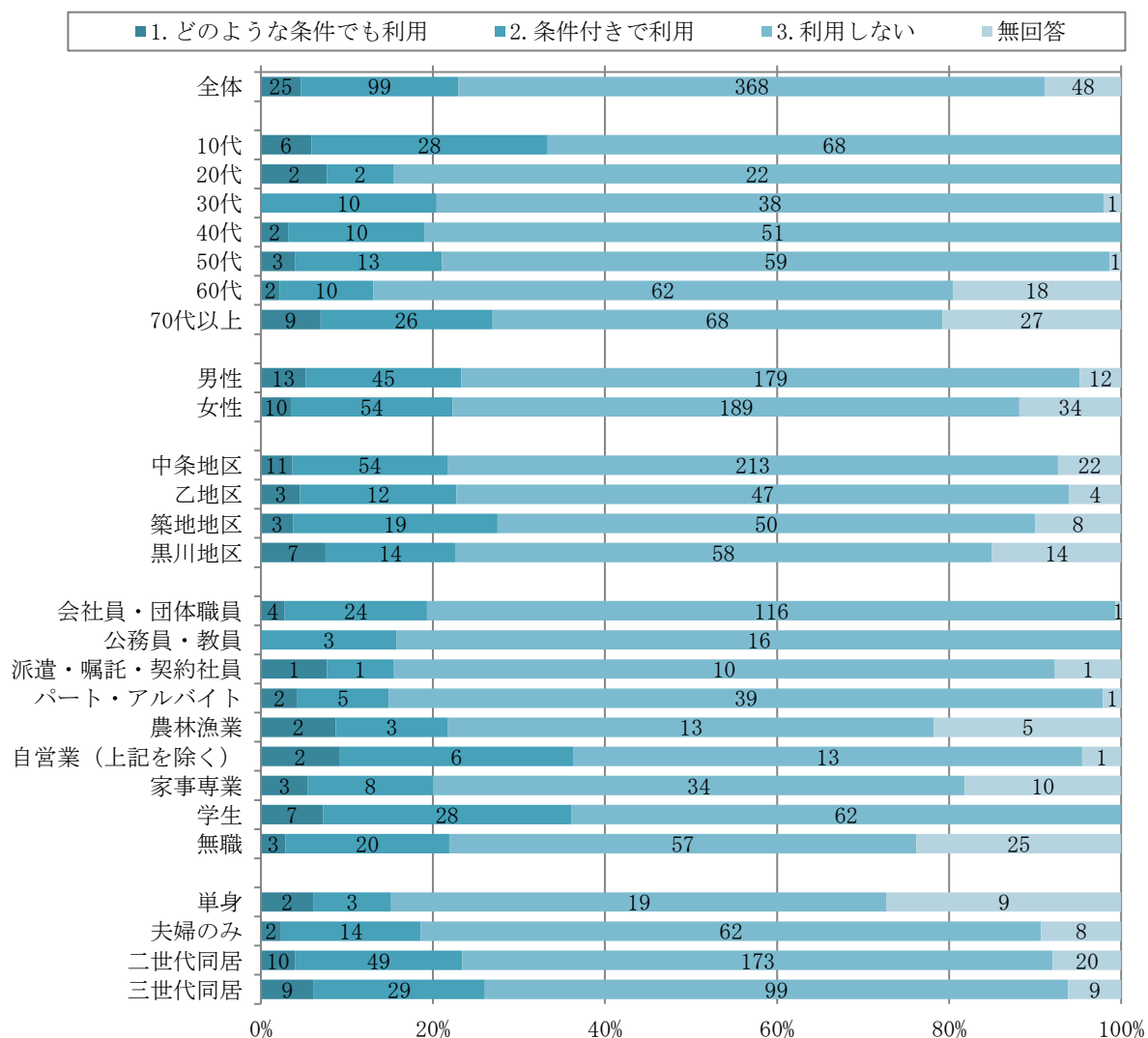
7-1 最寄り駅

最寄り駅は中条駅が最も多く、次いで平木田駅、金塚駅（新発田市）、の坂町駅（村上市）となっています。



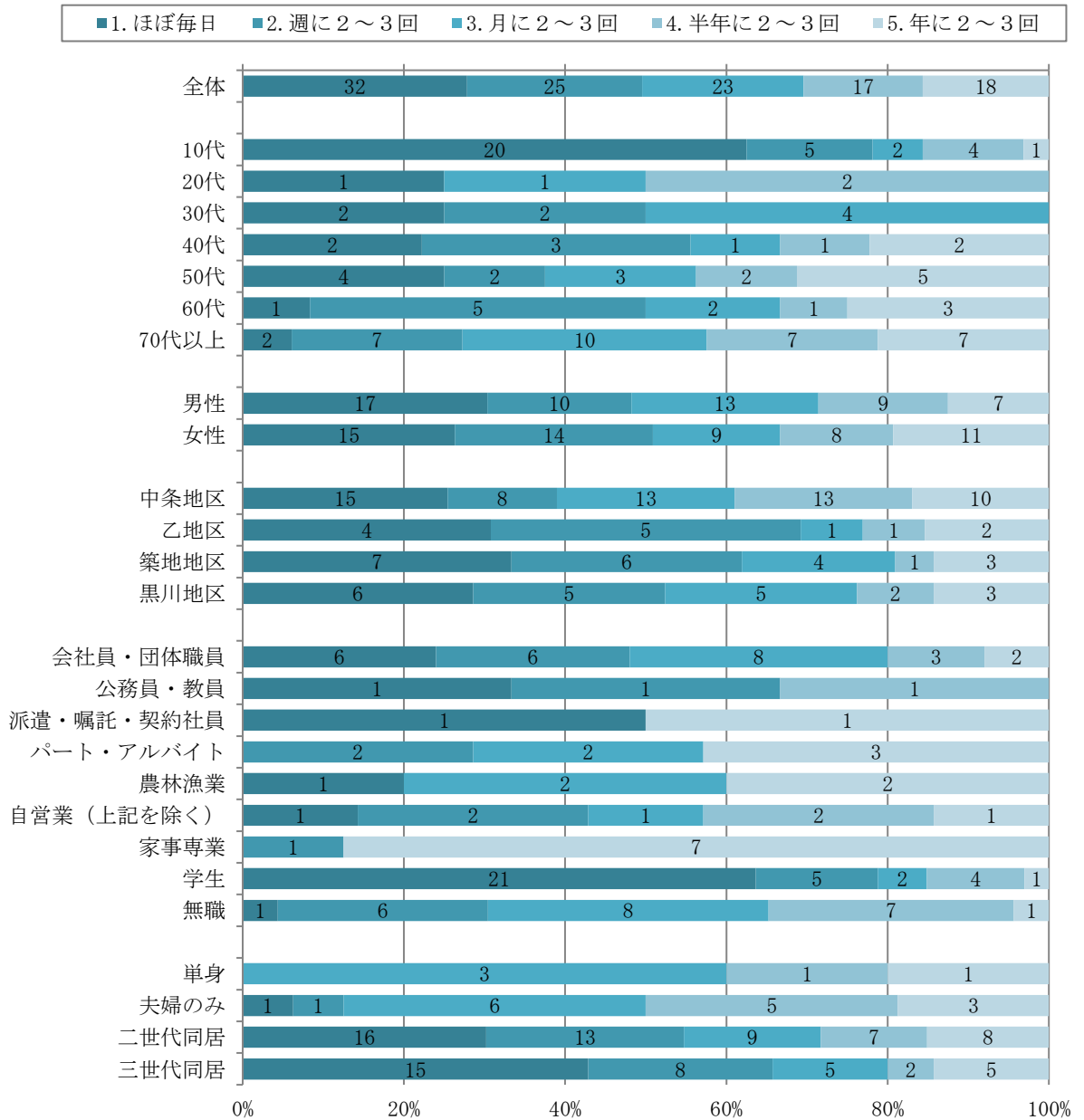
7-2 利用意向

全体と比較し年代別では「10代」職業別では「自営業」「学生」の利用意向が高くなっています。



7-3 利用頻度（どのような条件でも利用または条件付きで利用すると回答中）

週に2~3回以上利用すると回答した割合は全体と比較し年代別では「10代」「40代」、地区別では「乙地区」「築地地区」「黒川地区」、職業別では「公務員・教員」「学生」、家族構成別では「二世
代同居」「三世代同居」が多くなっています。



7-4 条件内容

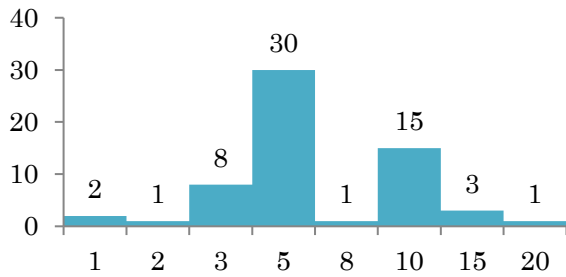
自宅から停留所までの距離は徒歩「5分以内」が最も多く、次いで「10分以内」が多くなっています。

乗車料金は「200円以内」が最も多く、次いで300円以内が多くなっています。

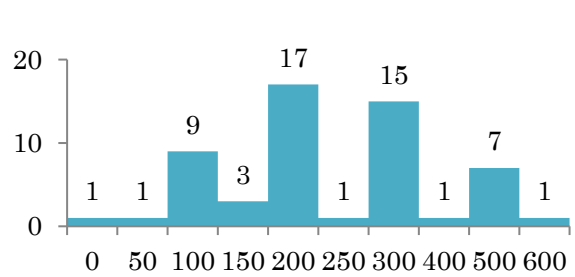
朝の駅到着時刻は「7時」が最も多く、次いで「7時30分」が多くなっています。

夕方の駅出発時刻は「18時」が最も多く、次いで「18時30分」「19時」が多くなっています。

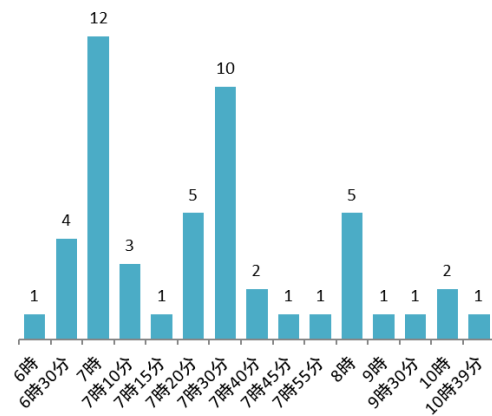
自宅から停留所までの距離（徒歩○分以内）



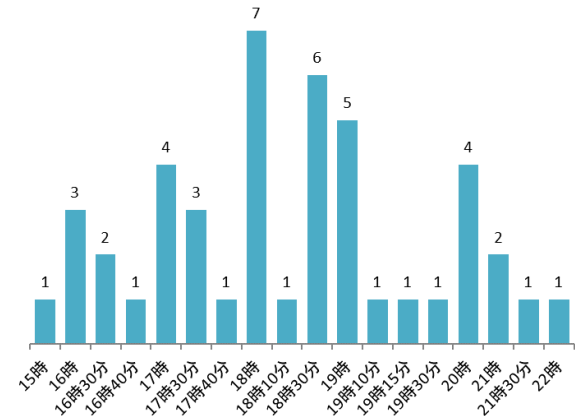
乗車料金（○円以内）



朝の駅到着時刻



夕方の駅出発時刻



利用しない理由

